

第 2 期
身延町まち・ひと・しごと創生・総合戦略

まちづくりアンケート調査結果

(町民対象)

令和 2 年 1 月

もくじ

調査概要	1
町民アンケート	2
問 1 (ア) : 性別 (SA)	2
問 1 (イ) : 年齢 (SA)	3
問 1 (ウ) : 職業 (SA)	4
問 1 (エ) : 居住地区 (SA)	5
問 1 (オ) : 身延町での居住年数(旧町から通算) (SA)	6
問 1 (カ) : 同居家族 (MA)	7
問 1 (キ) : 住まい (SA)	8
問 2 : 身延町の住みやすさ (SA)	10
問 3 : これからも身延町に住み続けたいと思うか (SA)	12
問 3-① : 「今の場所に住み続けたい」「町内の別のところに移りたい」と思う理由 (FA)	14
問 3-② : 「町外に移りたい」と思う理由 (MA)	15
問 3-③ : 「将来的には身延町に戻って居住したい」と思うか (SA)	20
問 4 : 第 1 期総合戦略の取り組みの状況についての満足度 (SA)	23
問 5 : 第 1 期総合戦略の取り組みについての重要度 (SA)	27
問 6 : 働いている場所 (SA)	31
問 7 : 希望する働く場所 (SA)	34
問 7-① : 身延町内を選ぶ理由 (FA)	35
問 7-② : あると良い支援 (FA)	35
問 7-③ : 身延町外を選ぶ理由 (FA)	36
問 8 : 身延町の豊かな自然資源や地場産業などを活用して身延町の産業・経済を活性化する方法について、あなたの考えに最も近いもの (MA)	37
問 9 : 身延町のインバウンド観光について、あなたの考えに最も近いもの (SA)	39
問 9-① : 「どちらかというと受け入れたくない」「受け入れたくない」理由 (FA)	39
問 10 : 地域や各種団体・サークル等の活動にどの程度参加しているか (SA)	40
問 11 : どのような活動に参加しているか(または参加したいか) (MA)	41
問 12 : 「地元高校生と大学が連携したまちづくり研究」への支援、「町長と語る高校生の集い」、「みのべーしょん 2 8 8」のような取り組みについて (SA)	43
問 13 : 身延町外に在住したことがあるか (SA)	44
問 13-① : 在住したことがある市町村 (MA)	45
問 13-② : 身延町に転入してきた理由 (MA)	46
問 14 : 若年層の定住促進のために特に必要だと考えること (MA)	48

問 15：移住者の受け入れについて（SA）	50
問 16：結婚しているか（SA）	52
問 16-①：将来結婚したいと思うか（SA）	53
問 17：何人の子どもがいるか（SA）	55
問 17-①：将来、子どもが身延町に住んでもらいたいと思うか（SA）	56
問 17-②：子どもに身延町に住んでもらいたくない理由（FA）	57
問 18：理想的な子どもの数（SA）	58
問 18-①：「1人」「2人」の理由（FA）	59
問 19：結婚を希望する未婚者に対する支援として重要だと思うもの（MA）	60
問 20：結婚・子育てにとって、支障になること（MA）	62
問 21：町の活力を維持していくために必要な人口規模（SA）	64
問 22：身延町にあつたらよい、もしくは、増えたらよいと思う店舗・サービス（MA）	65
問 23：身延町内または町外で頻繁に行くとところとイベント（FA）	74
問 24：あなたが想う身延町の名所と特産品（FA）	89
問 25：今後のまちづくりにおける、取り組みの重要度（それぞれについて SA）	96
問 26：他の市町村と比較して、身延町の「良い点」（MA）	107
問 26：他の市町村と比較して、身延町の「良くない点」（MA）	108
問 26-①：「良い点」を選択した項目について、具体的な内容（FA）	109
問 26-②：「良くない点」を選択した項目について、具体的な内容（FA）	118
問 27：通勤・通学している場所（SA）	127
問 27-①：通勤・通学の主な手段（MA）	130
問 27-②：通勤・通学に要している時間(片道)と距離(片道)（SA）	131
問 27-③：中部横断自動車道双葉JCT～新清水JCT 開通後、通勤・通学に利用するか（SA）	133
問 28：「地域に根ざした雇用の創出」について、意見や要望（FA）	134
問 29：「町を元気にできる人財の育成」について、意見や要望（FA）	147
問 30：「人の流れをつくり、移住・定住の促進」について、意見や要望（FA）	155
問 31：「結婚・出産・子育て環境の充実」について、意見や要望（FA）	164
問 32：「特色ある持続可能な地域社会の形成」(まちづくり全般)について、意見や要望（FA）	171
アンケート調査票	180

調査概要

① 調査の目的

第1期身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略に続く第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョン改訂版を策定する基礎資料にするため、町民を対象にアンケート調査を行う。

② 調査時期

アンケート期間：令和元年10月4日（金）～10月16日（水）

③ 調査対象

- 身延町に在住する18歳以上の町民を無作為抽出
- 調査対象者数：3,000人

④ 調査方法

郵送による配布・回収

⑤ 回収結果

1,268件（有効回収率42.3%）

⑥ 本報告書中の記号、調査結果の数値について

（S A）……単一回答（Single Answer）の略。選択回答は1項目のみ。

（M A）……複数回答（Multi Answer）の略。

（一部回答を限定しているものもある。）

複数回答における回答率は100%を超える場合がある。

（N A）……数値回答（Number Answer）の略。該当する数値を記入するもの。

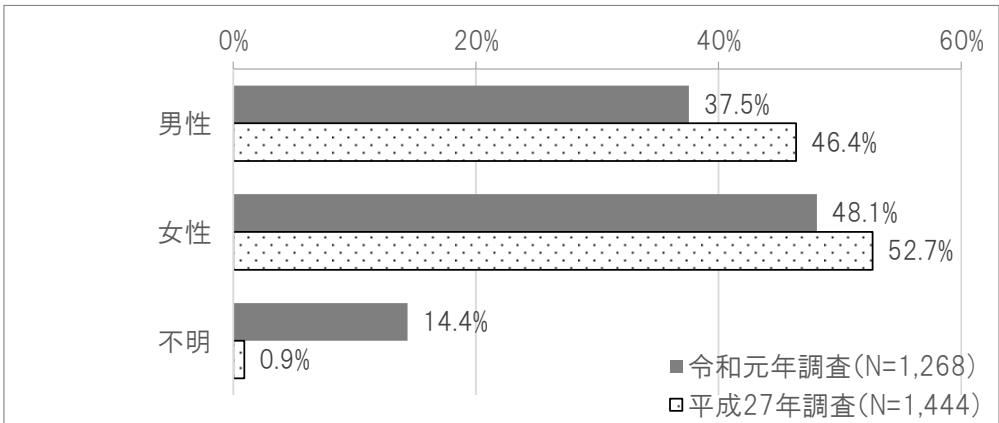
n ……………回答者数（number）をあらわす。「n = 100」は、回答者数が100人ということ。

各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もある。

町民アンケート

問 1 (ア) : 性別 (SA)

性別は、男性が 37.5%、女性が 48.1%となっている。

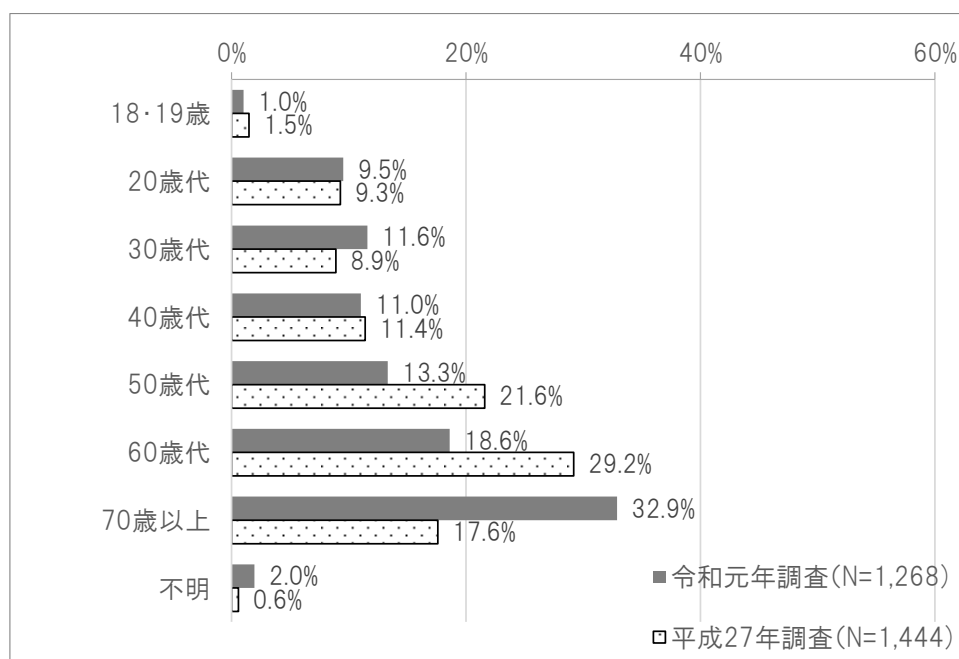


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
男性	476	37.5%	670	46.4%
女性	610	48.1%	761	52.7%
不明	182	14.4%	13	0.9%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1 (イ) : 年齢 (SA)

年齢は、「70歳以上」が32.9%と最も高く、次いで「60歳代」(18.6%)、「50歳代」(13.3%)と続いている。回答者の約2/3(64.8%)が50歳以上となっている。

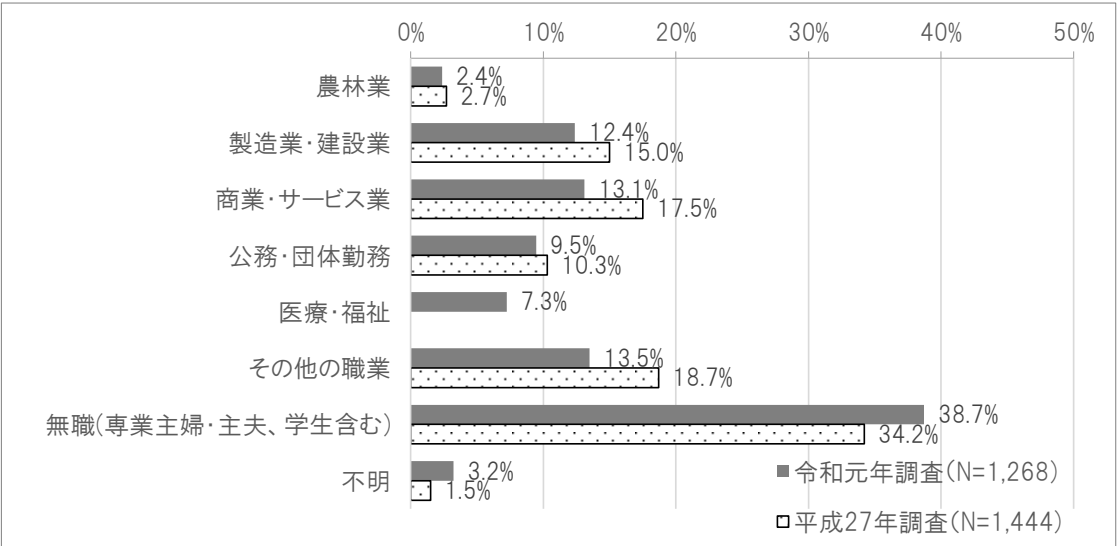
平成27年調査と比較して、70歳以上の回答者の占める割合が高くなっている。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
18・19歳	13	1.0%	22	1.5%
20歳代	121	9.5%	134	9.3%
30歳代	147	11.6%	128	8.9%
40歳代	140	11.0%	164	11.4%
50歳代	169	13.3%	312	21.6%
60歳代	236	18.6%	421	29.2%
70歳以上	417	32.9%	254	17.6%
不明	25	2.0%	9	0.6%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1(ウ)：職業（SA）

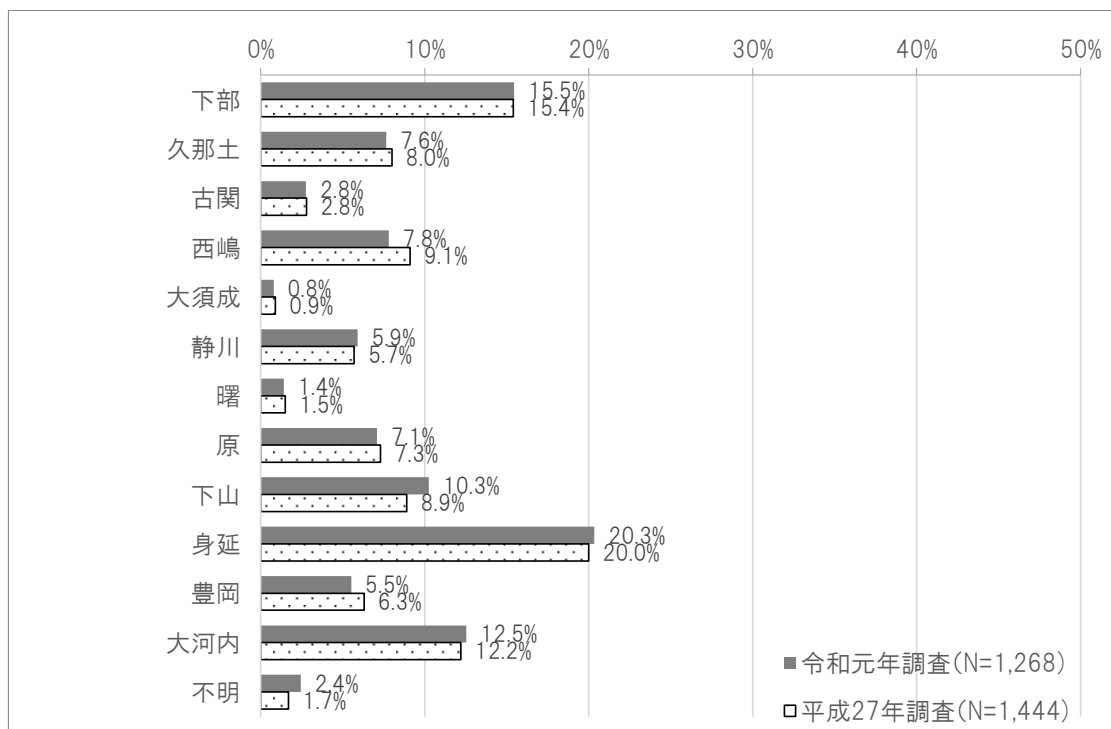
職業は、「無職（専業主婦・主夫、学生含む）」が 38.7%と最も多く、次いで「商業・サービス業」（13.1%）、「製造業・建設業」（12.4%）と続いている。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
農林業	30	2.4%	39	2.7%
製造業・建設業	157	12.4%	217	15.0%
商業・サービス業	166	13.1%	253	17.5%
公務・団体勤務	120	9.5%	149	10.3%
医療・福祉	92	7.3%		
その他の職業	171	13.5%	270	18.7%
無職(専業主婦・主夫、学生含む)	491	38.7%	494	34.2%
不明	41	3.2%	22	1.5%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1(エ) : 居住地区 (SA)

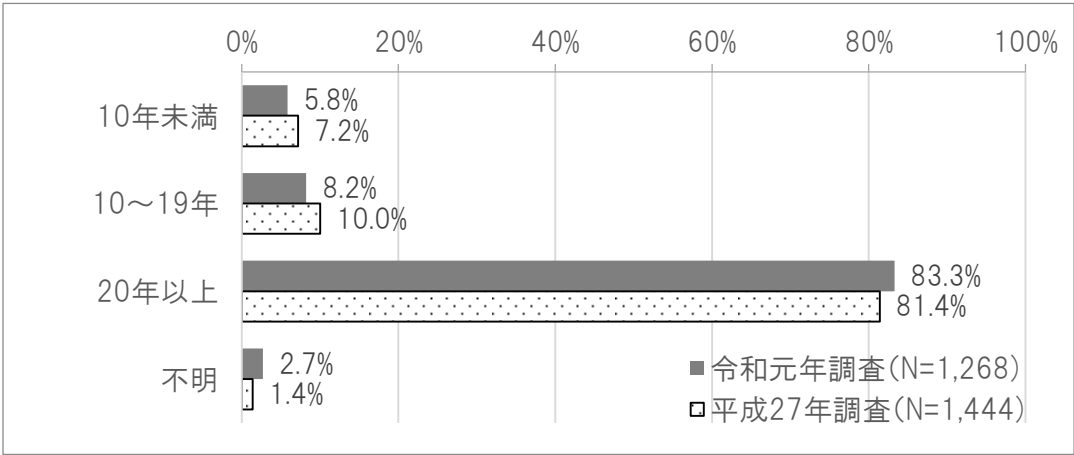
居住地区は、「身延」が 20.3%と最も多く、次いで「下部」(15.5%)、「大河内」(12.5%)と続いている。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
下部	196	15.5%	223	15.4%
久那土	97	7.6%	116	8.0%
古関	35	2.8%	41	2.8%
西嶋	99	7.8%	132	9.1%
大須成	10	0.8%	13	0.9%
静川	75	5.9%	83	5.7%
曙	18	1.4%	22	1.5%
原	90	7.1%	106	7.3%
下山	130	10.3%	128	8.9%
身延	258	20.3%	289	20.0%
豊岡	70	5.5%	91	6.3%
大河内	159	12.5%	176	12.2%
不明	31	2.4%	24	1.7%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1(オ)：身延町での居住年数(旧町から通算)（SA）

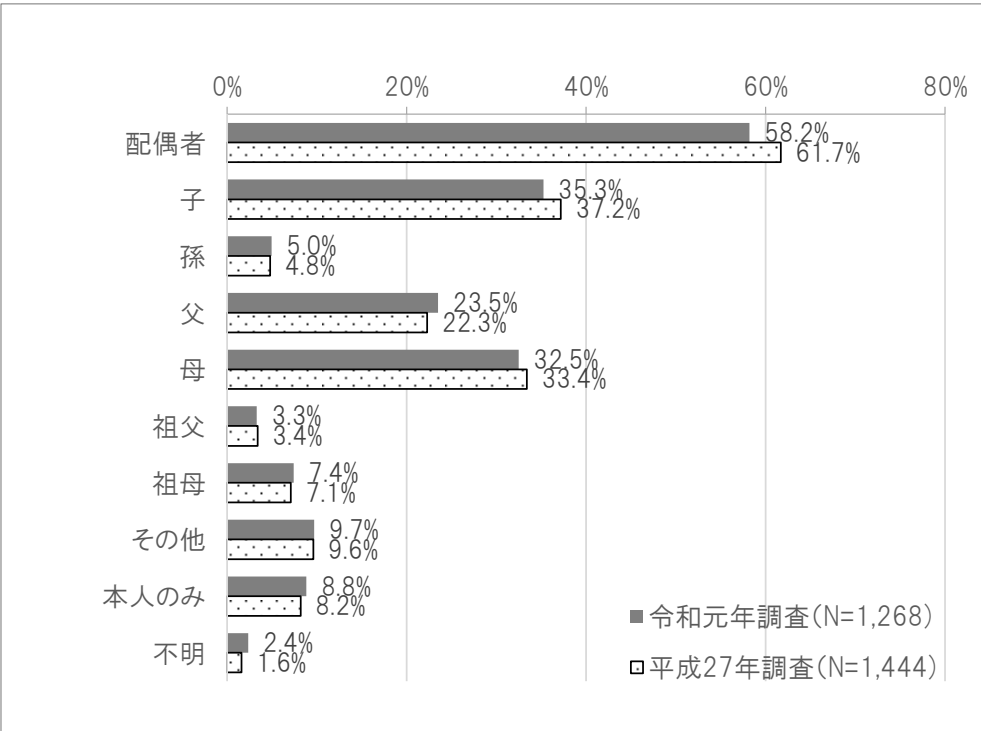
身延町での居住年数（旧町からの通算）は、「20年以上」が83.3%と大多数を占めており、「10～19年」が8.2%、「10年未満」が5.8%となっている。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
10年未満	74	5.8%	104	7.2%
10～19年	104	8.2%	144	10.0%
20年以上	1,056	83.3%	1,176	81.4%
不明	34	2.7%	20	1.4%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1(カ)：同居家族（MA）

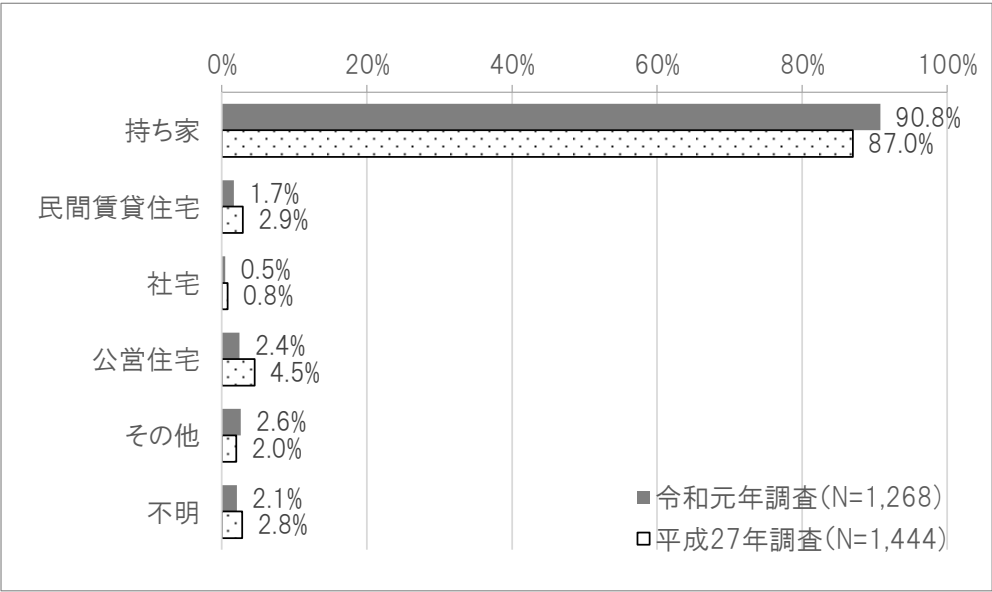
同居家族は、「配偶者」が 58.2%と最も多く、次いで「子」（35.3%）、「母」（32.5%）と続いている。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
配偶者	738	58.2%	891	61.7%
子	447	35.3%	537	37.2%
孫	63	5.0%	69	4.8%
父	298	23.5%	322	22.3%
母	412	32.5%	482	33.4%
祖父	42	3.3%	49	3.4%
祖母	94	7.4%	102	7.1%
その他	123	9.7%	138	9.6%
本人のみ	112	8.8%	118	8.2%
不明	30	2.4%	23	1.6%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1(キ)：住まい（SA）

現在の住まいは、持ち家が 90.8%と圧倒的に高い。次いで公営住宅が 2.4%である。民間の賃貸住宅はわずか 1.7%であり、若者や移住者などの多様なライフスタイルに対応した住宅形式は少ない。



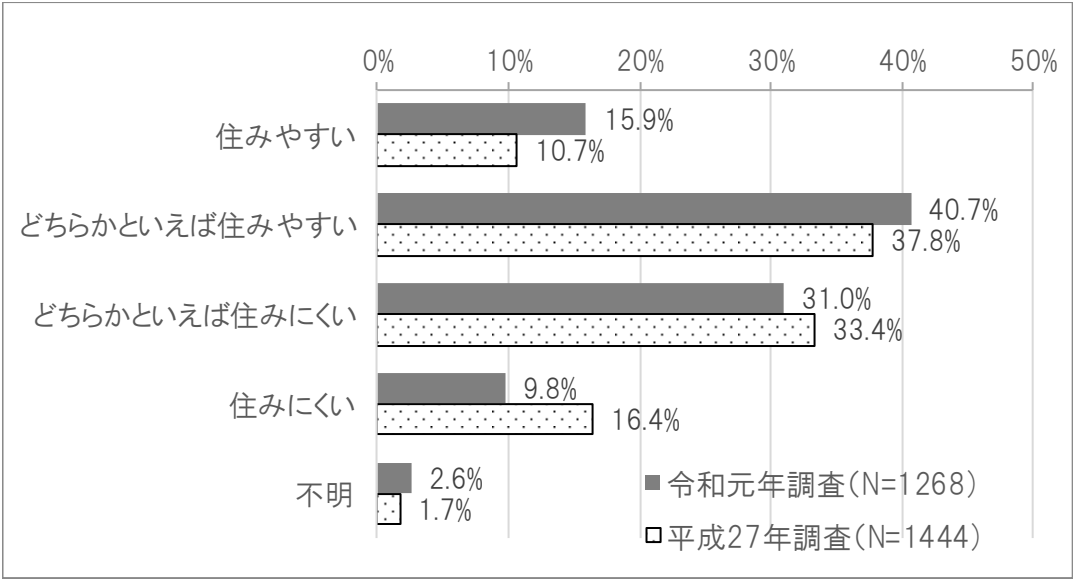
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
持ち家（一戸建て、集合住宅など）	1,151	90.8%	1,256	87.0%
民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅など）	21	1.7%	42	2.9%
社宅（一戸建て、アパートなど）	6	0.5%	12	0.8%
公営住宅	31	2.4%	65	4.5%
その他	33	2.6%	29	2.0%
不明	26	2.1%	40	2.8%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 1（キ）：その他	件数
将来は身延町に戻って居住したいと思う	8
実家	2
家族所有	4
借家	2
他人の家を借りている。	1
団地	1
町営住宅	2
空き家バンク	1
寺	2
施設	3
施設利用	1
障害者施設	4
無回答	10
計	33

問 2：身延町の住みやすさ（SA）

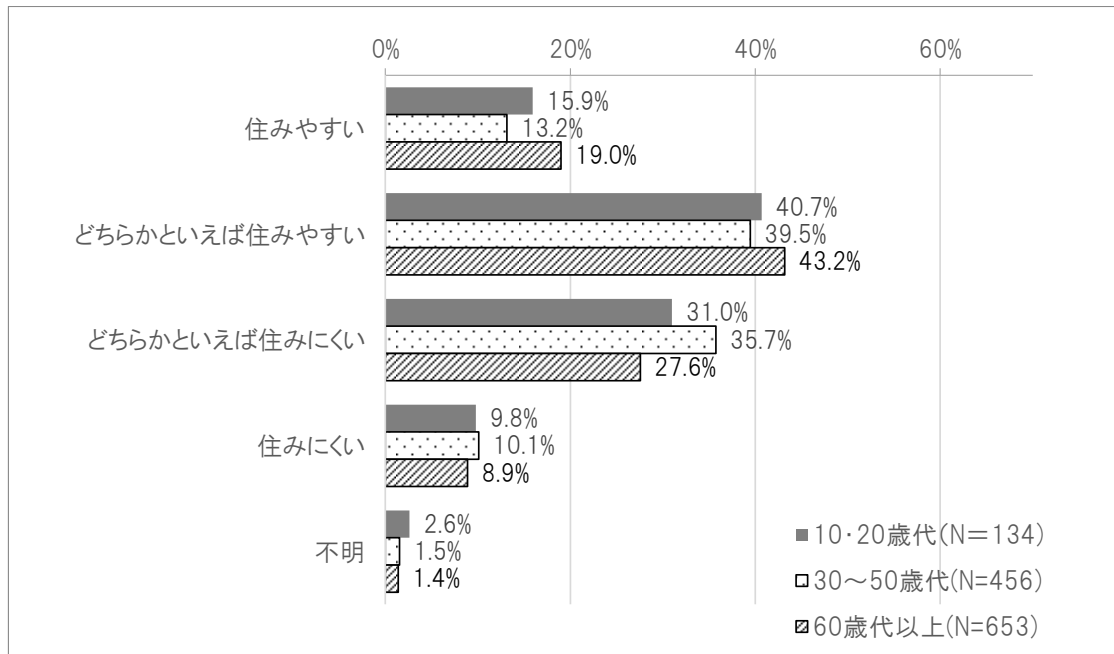
身延町の住みやすさについて質問したところ、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合は 56.6%で、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」の割合は 40.8%となり、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が上回った。

平成 27 年調査と比較すると、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」が増加し、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」は減少している。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
住みやすい	202	15.9%	154	10.7%
どちらかといえば住みやすい	516	40.7%	546	37.8%
どちらかといえば住みにくい	393	31.0%	482	33.4%
住みにくい	124	9.8%	237	16.4%
不明	33	2.6%	25	1.7%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

年代別に見ると、10・20 歳代、30～50 歳代、60 歳代以上ともに「どちらかといえば住みやすい」という回答が最も多く、「どちらかといえば住みにくい」、「住みやすい」が続いており、年代による差は顕著ではない。

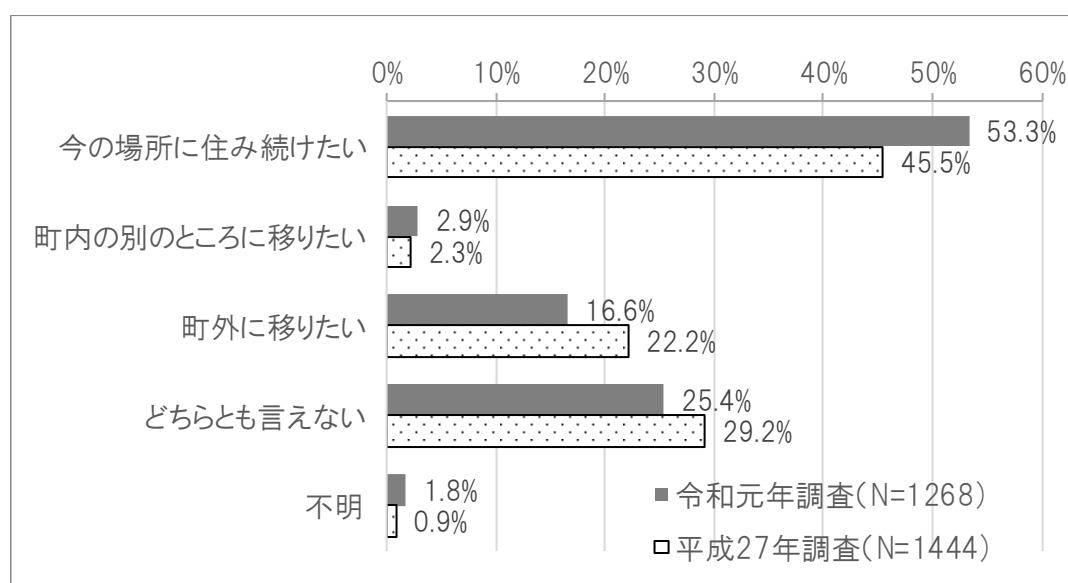


	10・20歳代		30～50歳代		60歳代以上	
	N	%	N	%	N	%
住みやすい	17	15.9%	60	13.2%	124	19.0%
どちらかといえば住みやすい	51	40.7%	180	39.5%	282	43.2%
どちらかといえば住みにくい	47	31.0%	163	35.7%	180	27.6%
住みにくい	18	9.8%	46	10.1%	58	8.9%
不明	1	2.6%	7	1.5%	9	1.4%
サンプル数	134	100.0%	456	100.0%	653	100.0%

問 3：これからも身延町に住み続けたいと思うか（SA）

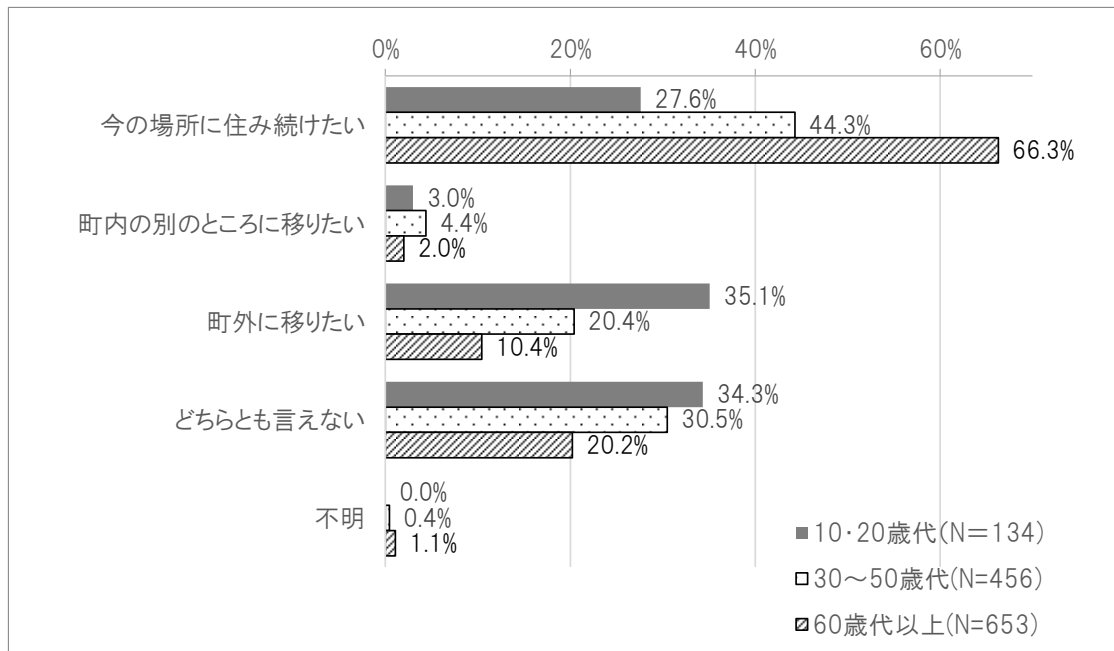
これからも身延町に住み続けたいと思うかについて質問したところ、「今の場所に住み続けたい」と答えた人の割合は 53.3%で最も多かったが、一方で、「町外に移りたい」と答えた人の割合は 16.6%、「どちらとも言えない」が 25.4%もあり、潜在的な転出者が多いことがわかる。

平成 27 年調査と比較すると、「今の場所に住み続けたい」が増加している一方で、「町外に移りたい」は減少している。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
今の場所に住み続けたい	676	53.3%	657	45.5%
町内の別のところに移りたい	37	2.9%	33	2.3%
町外に移りたい	210	16.6%	320	22.2%
どちらとも言えない	322	25.4%	421	29.2%
不明	23	1.8%	13	0.9%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

年代別に見ると、60 歳代以上では「今の場所に住み続けたい」という回答が多いのに対して、10・20 歳代では「町外に移りたい」が最も多くなっており、年代による差が顕著に出ている。



	10・20歳代		30～50歳代		60歳代以上	
	N	%	N	%	N	%
今の場所に住み続けたい	37	27.6%	202	44.3%	433	66.3%
町内の別のところに移りたい	4	3.0%	20	4.4%	13	2.0%
町外に移りたい	47	35.1%	93	20.4%	68	10.4%
どちらとも言えない	46	34.3%	139	30.5%	132	20.2%
不明	0	0.0%	2	0.4%	7	1.1%
サンプル数	134	100.0%	456	100.0%	653	100.0%

問 3 - ① : 「今の場所に住み続けたい」「町内の別のところに移りたい」と思う理由 (FA)

「今の場所に住み続けたい」と思う理由として、「故郷だから」が最も多く、「家があるから」、「自然・環境がよいから」が続いている。

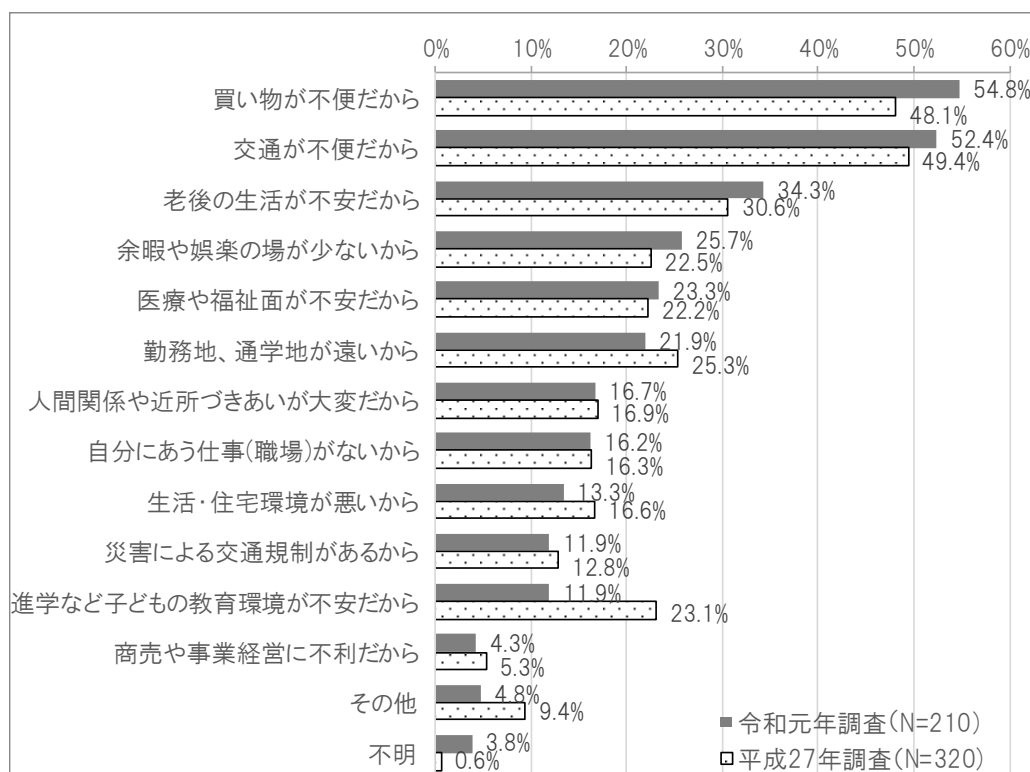
※「今の場所に住み続けたい」と回答した方

問 3-① : 「今の場所に住み続けたい」理由	件数
故郷だから	221
家があるから	70
自然・環境がよいから	67
人とのつながり	62
他に選択肢がない	51
便利だから	46
安全・安心	13
家族がいるから	13
仕事があるから	11
子育て	9
信仰	4
限界集落故にいくつかの役を受けなければならず他にまわす人もいない 仕事にもさしつかえる	1
高齢者に対する配慮がある (スポーツ施設、文化協会)	1
寺院	1
自分がやりたいことができる場所だから (街おこし教育)	1

問3-②：「町外に移りたい」と思う理由（MA）

問3で「町外に移りたい」と回答した人に理由を聞いたところ、「買い物が不便だから」と回答した人の割合が最も高く54.8%、次いで「交通が不便だから」（52.4%）、「老後の生活が不安だから」（34.3%）と続いている。これらは、平成27年調査と比較して、割合が高くなっている。

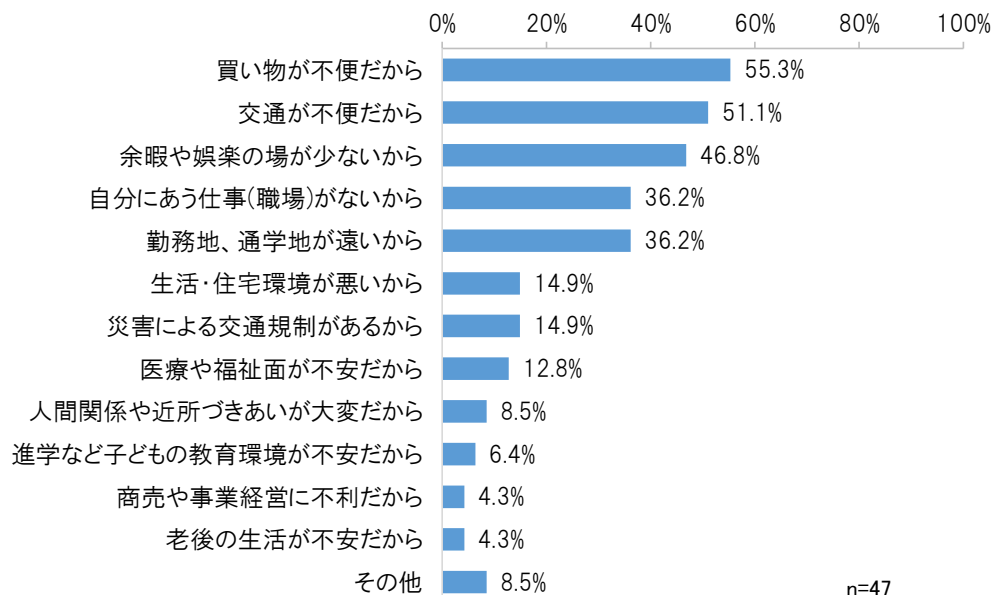
一方、「進学など子どもの教育環境が不安だから」は減少傾向にある。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
買い物が不便だから	115	54.8%	154	48.1%
交通が不便だから	110	52.4%	158	49.4%
老後の生活が不安だから	72	34.3%	98	30.6%
余暇や娯楽の場が少ないから	54	25.7%	72	22.5%
医療や福祉面が不安だから	49	23.3%	71	22.2%
勤務地、通学地が遠いから	46	21.9%	81	25.3%
人間関係や近所づきあいが大変だから	35	16.7%	54	16.9%
自分にあう仕事(職場)がないから	34	16.2%	52	16.3%
生活・住宅環境が悪いから	28	13.3%	53	16.6%
災害による交通規制があるから	25	11.9%	41	12.8%
進学など子どもの教育環境が不安だから	25	11.9%	74	23.1%
商売や事業経営に不利だから	9	4.3%	17	5.3%
その他	10	4.8%	30	9.4%
不明	8	3.8%	2	0.6%
サンプル数	210	100.0%	320	100.0%

【10・20 歳代】

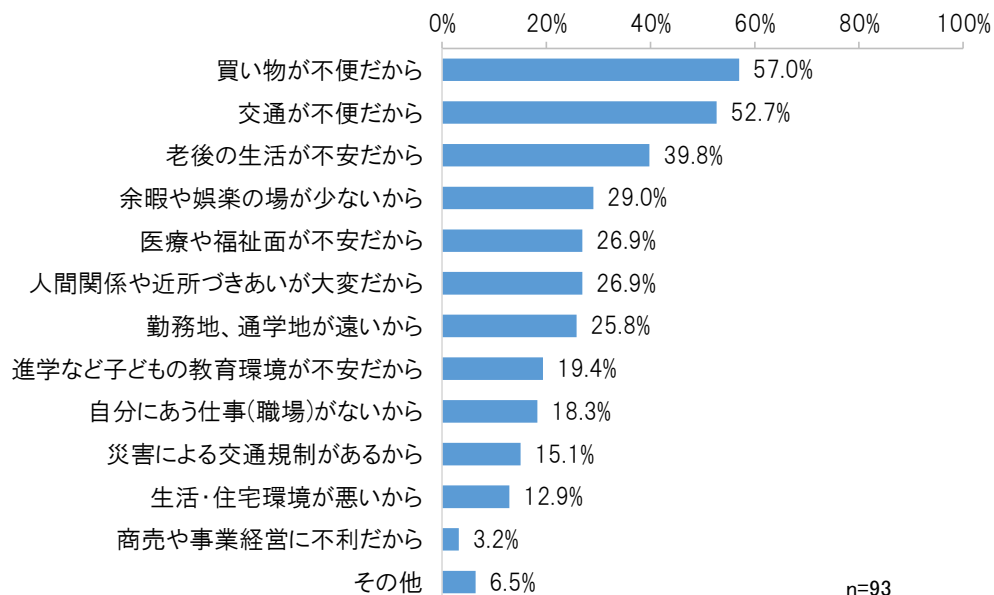
回答者の年代別に見ると、10・20 歳代では「買い物が不便だから」が 55.3%と最も多く、「交通が不便だから」(51.1%)、「余暇や娯楽の場が少ないから」(46.8%)、「自分にあう仕事(職場)がないから」(36.2%)、「勤務地、通学地が遠いから」(36.2%)が続いている。



	N	%
買い物が不便だから	26	55.3%
交通が不便だから	24	51.1%
余暇や娯楽の場が少ないから	22	46.8%
自分にあう仕事(職場)がないから	17	36.2%
勤務地、通学地が遠いから	17	36.2%
生活・住宅環境が悪いから	7	14.9%
災害による交通規制があるから	7	14.9%
医療や福祉面が不安だから	6	12.8%
人間関係や近所づきあいが大変だから	4	8.5%
進学など子どもの教育環境が不安だから	3	6.4%
商売や事業経営に不利だから	2	4.3%
老後の生活が不安だから	2	4.3%
その他	4	8.5%
サンプル数	47	100.0%

【30～50 歳代】

30～50 歳代では「買い物が不便だから」が 57.0%と最も多く、「交通が不便だから」(52.7%)、「老後の生活が不安だから」(39.8%)が続いている。

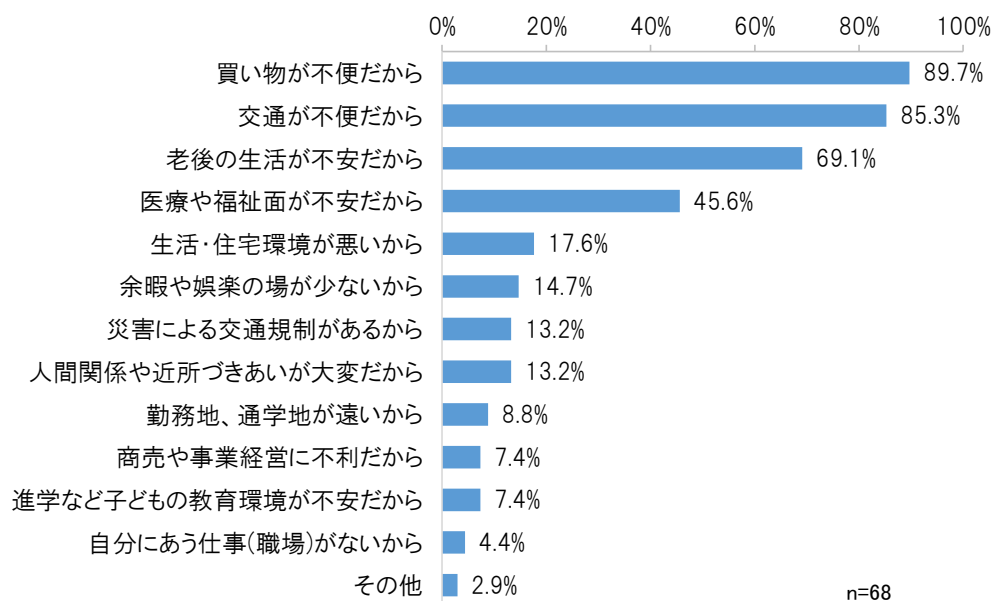


	N	%
買い物が不便だから	53	57.0%
交通が不便だから	49	52.7%
老後の生活が不安だから	37	39.8%
余暇や娯楽の場が少ないから	27	29.0%
医療や福祉面が不安だから	25	26.9%
人間関係や近所づきあいが大変だから	25	26.9%
勤務地、通学地が遠いから	24	25.8%
進学など子どもの教育環境が不安だから	18	19.4%
自分にあう仕事(職場)がないから	17	18.3%
災害による交通規制があるから	14	15.1%
生活・住宅環境が悪いから	12	12.9%
商売や事業経営に不利だから	3	3.2%
その他	6	6.5%
サンプル数	93	100.0%

【60 歳代以上】

60 歳代以上では「買い物が不便だから」が 89.7%と最も多く、「交通が不便だから」(85.3%)、「老後の生活が不安だから」(69.1%)、「医療や福祉面が不安だから」(45.6%)が続いている。

「買い物が不便だから」「交通が不便だから」は各年代であがっているが、特に 60 歳代以上では 8 割以上の人が理由にあげている。



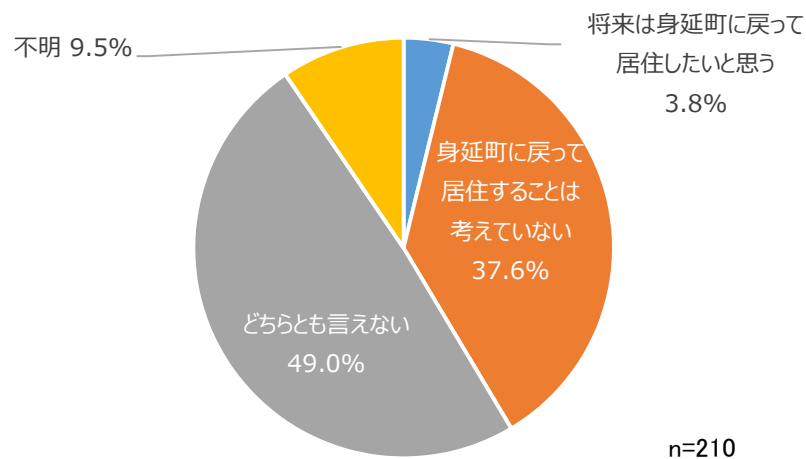
	N	%
買い物が不便だから	61	89.7%
交通が不便だから	58	85.3%
老後の生活が不安だから	47	69.1%
医療や福祉面が不安だから	31	45.6%
生活・住宅環境が悪いから	12	17.6%
余暇や娯楽の場が少ないから	10	14.7%
災害による交通規制があるから	9	13.2%
人間関係や近所づきあいが大変だから	9	13.2%
勤務地、通学地が遠いから	6	8.8%
商売や事業経営に不利だから	5	7.4%
進学など子どもの教育環境が不安だから	5	7.4%
自分にあう仕事(職場)がないから	3	4.4%
その他	2	2.9%
サンプル数	68	100.0%

問 3-②：その他	件数
子供と別居	1
体力の低下、車運転が出来なくなる等	1
町外で一人暮らしがしたいから	1
イオンモールに近い所に住みたいです。	1
海の近くに住みたい	1
遊ぶところがない	1
価値観、世界観が合わない	1
税も高く、納税者への恩恵が感じられないから	1
土地、分譲地が少ない	1
なんとなく	1
アンケートに折り目を付けている時点で最低です。	1
無回答	1
計	12

問3-③：「将来的には身延町に戻って居住したい」と思うか（SA）

問3で「町外に移りたい」と回答した人に将来的な居住場所に関する意向を聞いたところ、「どちらとも言えない」と回答した人の割合が最も高く（49.0%）、「身延町に戻って居住することは考えていない」（37.6%）が続いている。

問3-③ 将来的には身延町に戻って居住したいと思うか（SA）



	N	%
将来は身延町に戻って居住したいと思う	8	3.8%
身延町に戻って居住することは考えていない	79	37.6%
どちらとも言えない	103	49.0%
不明	20	9.5%
サンプル数	210	100.0%

問 3-③：身延町に戻って居住することは考えていない理由	件数
不便だから	2
色々と不便だから。	1
すべてにおいて不便だから	1
生活に不便	1
生活に不便、町民にやさしくない	1
生活に便利な子、孫の近所で暮したい	1
病院がない	1
やっぱり買い物・病院などが近くにナイ	1
仕事、買い物に不便 利便性がないため	1
今以上になる不便、教育、不安、医療、福祉面不安	1
学校がない、商業施設がない、医療機関がない	1
交通が不便	1
小、中学校の通学で負担（本人、親）	1
車がなくても生活出来る所がいい	1
行動するには全て車で動くしかない、（衣、食、等）	1
台風、大雨ですぐに通行止めになり仕事にもいけない	1
勤務地から遠いから	1
通勤時間などを考えると戻ることはない	1
仕事が無いため	1
職場がないため	1
子供達が帰って来ても働く場所が無い。	1
老後の生活が困難と思われる	1
老後の生活が不安だから	1
年をとってからの生活が厳しい、買い物等	1
医療、福祉面が充実していないから老後とても不安	1
高齢になってから身延町内で生活するには限界がある。買い物・医療など利便性の良いところに移住したいと思っている。	1
老後、車の免許を返してしまったらインフラが整っていない身延町での生活は難しい。	1
今、72 才。あと 10 年後、運転が出来なくなったり、体力の低下により土地の維持管理ができなくなる為	1
地域の付き合いがめんどろ	1
太陽が朝からあたらぬ	1
もっと生活し易い所がいくらでもあるから	1
自分の中でより良い生活ができると思える町で住み続けたいと考えているため。今現在の見通しで、上で選択した理由が将来的に改善されるかは難しいのではないかと感じている。	1
甲府のほうが住みやすい。県外も考えている。	1
町外に移ったら、そこで生活を続けたいので。	1
町外に移ったらそのまま町外で就職し、住み続けたい。	1
町外に居住したら戻る気持ちはなくなりそう	1
子供と一緒に住むことを予定しており、年令的に行ったり帰えたり出来ないと思う。	1
息子夫婦が町外に家をかまえ、まっているため。息子は身延町が大好きだが子供の事を考え町外となった。	1
将来性を感じられない。	1
発展する要素が無い（少なすぎる）	1
今後さらに発展すると思えないから	1
人口が少なくなるため	1
近所に住民がいなくなってしまうため地区の存続も危うい	1

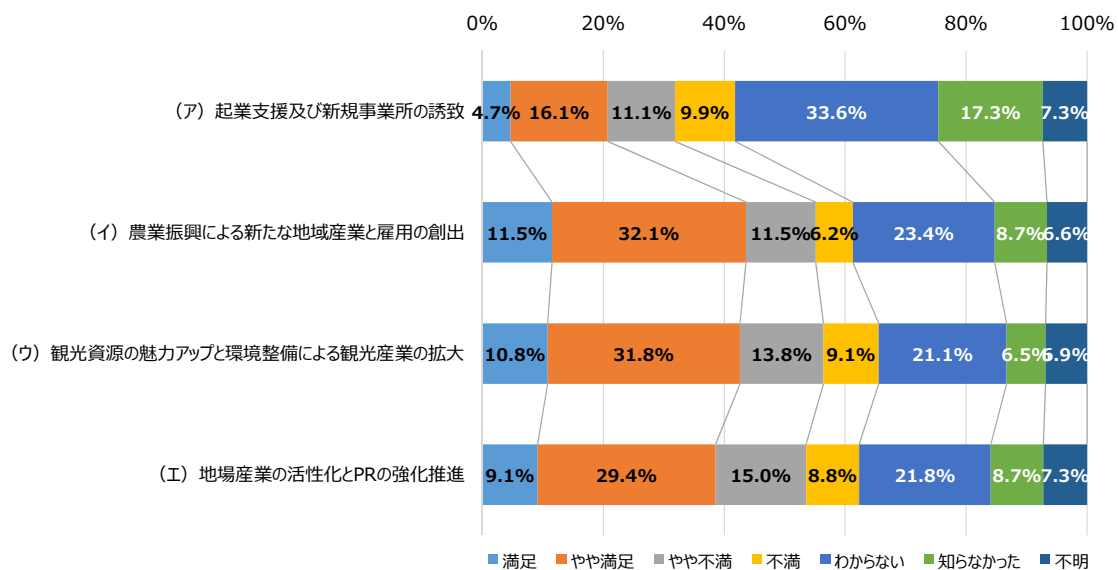
問 3-③：身延町に戻って居住することは考えていない理由	件数
周辺の家が空き家になって行く事と商店がシャッター閉でさみしい	1
学校もなく地域に元気が無い。子どもに戻ってこいとは言えない	1
いまのままでは変わらないので…戻る気にはならない	1
限界集落で生活できない！	1
住みたくない	1
戻りたいと思える理由がない	1
住みにくいと思って移っていくのだから 2 度と戻らないと思う	1
つまらんから	1
何も無い。役所の対応が悪い。	1
行政の破綻の可能性？	1
海が好きだから	1
身延町はたまに帰れる場所にしたいです。	1
問 3 の答えと、特に近所づきあいもない住みつづける家もない	1
上記のとおり	1
3－②の通り （私個人としてはそうしたい）	1
無回答	20
計	79

問 4：第 1 期総合戦略の取り組みの状況についての満足度（SA）

「地域に根ざした雇用の創出」の分野では、「農業振興による新たな地域産業と雇用の創出」、「観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大」、「地場産業の活性化と PR の強化推進」で満足度（満足、やや満足の合計）が高くなっている。「起業支援及び新規事業所の誘致」は「わからない」という回答が多くなっている。

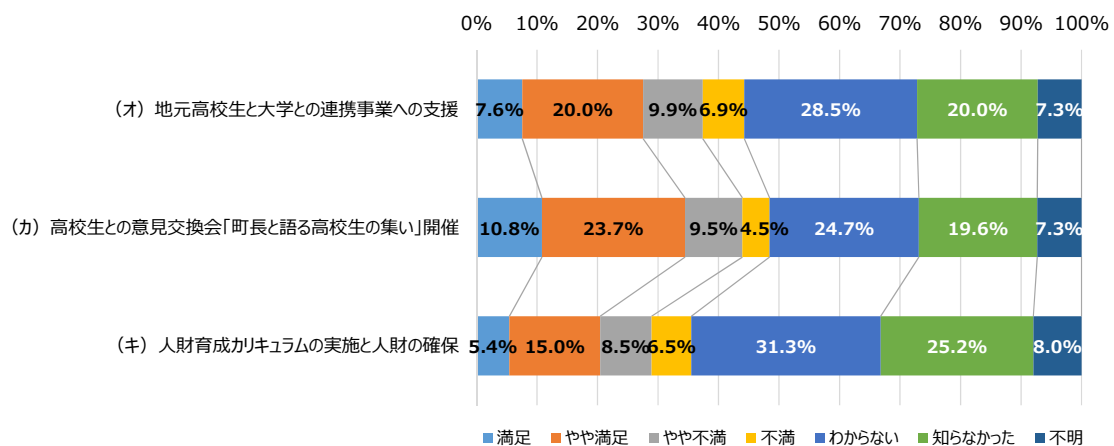
問 4：取り組みの状況についての満足度（SA）

【地域に根ざした雇用の創出】



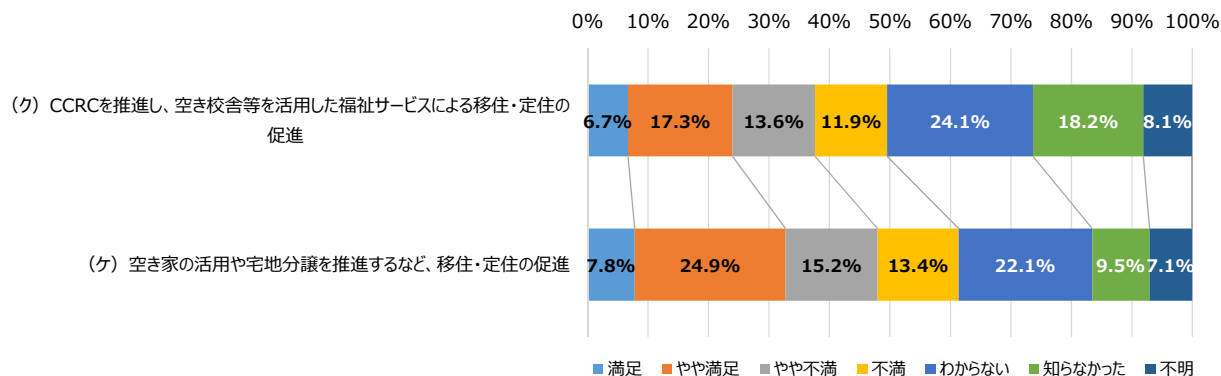
「町を元気にできる人財の育成」の分野では、「高校生との意見交換会「町長と語る高校生の集い」開催」で満足度（満足、やや満足の合計）が高くなっている。

【町を元気にできる人財の育成】



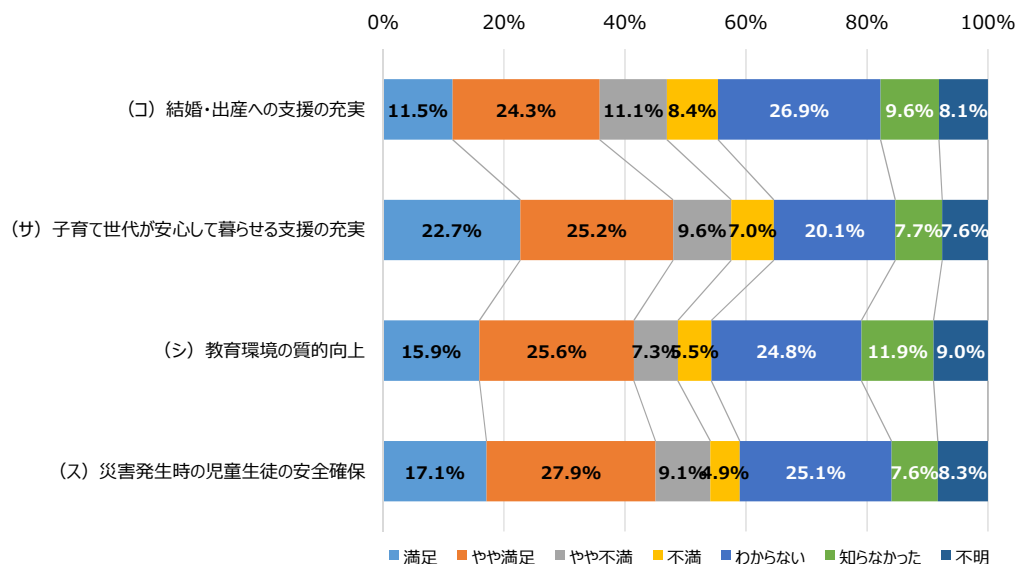
「人の流れをつくり、移住・定住の促進」の分野では、「空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進」で満足度（満足、やや満足の合計）が高くなっている。

【人の流れをつくり、移住・定住の促進】



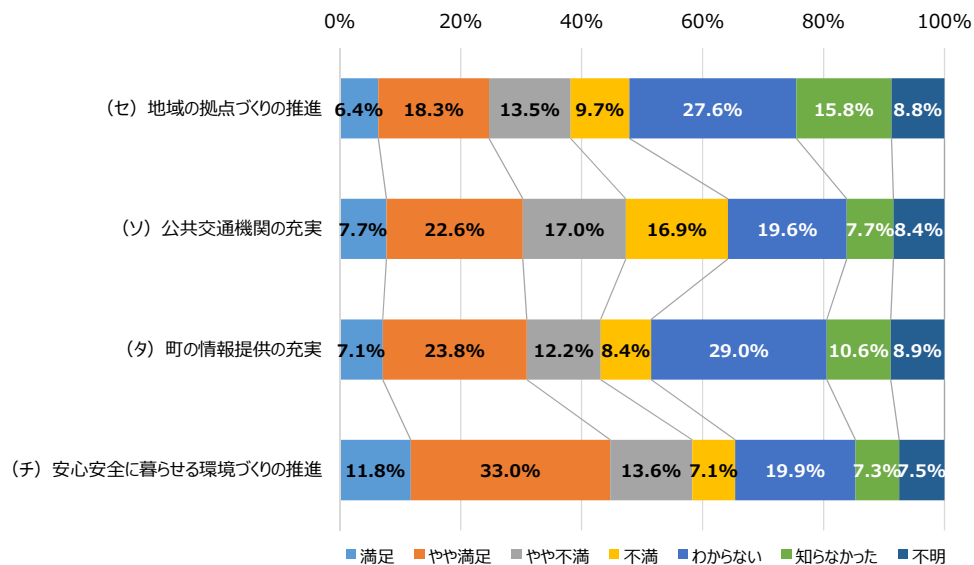
「結婚・出産・子育て環境の充実」の分野では全体的に満足度（満足、やや満足の合計）が高くなっている。特に「子育て世代が安心して暮らせる支援の充実」は、他分野含めた全ての取組の中で最も満足度が高く（満足・やや満足の合計で 47.9%）なっている。

【結婚・出産・子育て環境の充実】



「特色ある持続可能な地域社会の形成」の分野では、「安心安全に暮らせる環境づくりの推進」で満足度（満足、やや満足の合計）が高くなっている。

【特色ある持続可能な地域社会の形成】



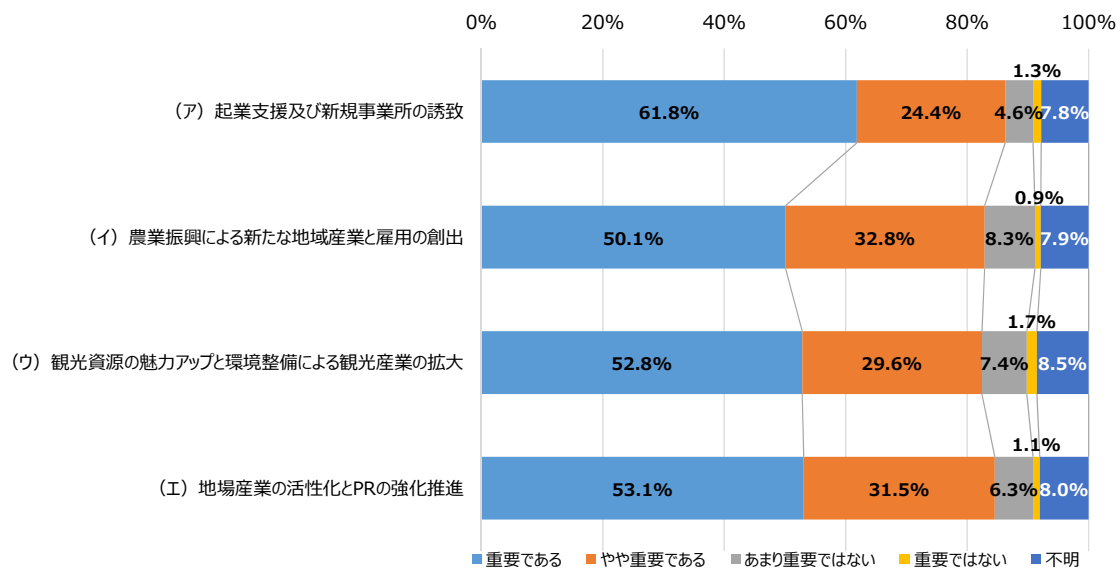
	N								%						
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	知らなかった	不明	サンプル数	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	知らなかった	不明
起業支援及び新規事業所の誘致	59	204	141	126	426	219	93	1268	4.7%	16.1%	11.1%	9.9%	33.6%	17.3%	7.3%
農業振興による新たな地域産業と雇用の創出	146	407	146	78	297	110	84	1268	11.5%	32.1%	11.5%	6.2%	23.4%	8.7%	6.6%
観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大	137	403	175	116	268	82	87	1268	10.8%	31.8%	13.8%	9.1%	21.1%	6.5%	6.9%
地場産業の活性化とPRの強化推進	116	373	190	111	276	110	92	1268	9.1%	29.4%	15.0%	8.8%	21.8%	8.7%	7.3%
地元高校生と大学との連携事業への支援	96	253	125	87	362	253	92	1268	7.6%	20.0%	9.9%	6.9%	28.5%	20.0%	7.3%
高校生との意見交換会「町長と語る高校生の集い」開催	137	300	120	57	313	248	93	1268	10.8%	23.7%	9.5%	4.5%	24.7%	19.6%	7.3%
人財育成カリキュラムの実施と人財の確保	69	190	108	83	397	320	101	1268	5.4%	15.0%	8.5%	6.5%	31.3%	25.2%	8.0%
CCRCを推進し、空き校舎等を活用した福祉サービスによる移住・定住の促進	85	219	173	151	306	231	103	1268	6.7%	17.3%	13.6%	11.9%	24.1%	18.2%	8.1%
空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進	99	316	193	170	280	120	90	1268	7.8%	24.9%	15.2%	13.4%	22.1%	9.5%	7.1%
結婚・出産への支援の充実	146	308	141	107	341	122	103	1268	11.5%	24.3%	11.1%	8.4%	26.9%	9.6%	8.1%
子育て世代が安心して暮らせる支援の充実	288	320	122	89	255	98	96	1268	22.7%	25.2%	9.6%	7.0%	20.1%	7.7%	7.6%
教育環境の質的向上	202	324	92	70	315	151	114	1268	15.9%	25.6%	7.3%	5.5%	24.8%	11.9%	9.0%
災害発生時の児童生徒の安全確保	217	354	115	62	318	97	105	1268	17.1%	27.9%	9.1%	4.9%	25.1%	7.6%	8.3%
地域の拠点づくりの推進	81	232	171	123	350	200	111	1268	6.4%	18.3%	13.5%	9.7%	27.6%	15.8%	8.8%
公共交通機関の充実	98	286	216	214	249	98	107	1268	7.7%	22.6%	17.0%	16.9%	19.6%	7.7%	8.4%
町の情報提供の充実	90	302	155	106	368	134	113	1268	7.1%	23.8%	12.2%	8.4%	29.0%	10.6%	8.9%
安心安全に暮らせる環境づくりの推進	149	418	172	90	252	92	95	1268	11.8%	33.0%	13.6%	7.1%	19.9%	7.3%	7.5%

問 5 : 第 1 期総合戦略の取り組みについての重要度 (SA)

「地域に根ざした雇用の創出」の分野では、各取り組みとも 8 割以上の人が重要度が高い（重要である、やや重要であるの合計）と回答している。特に、「起業支援及び新規事業所の誘致」では「重要である」と回答している人が多い。

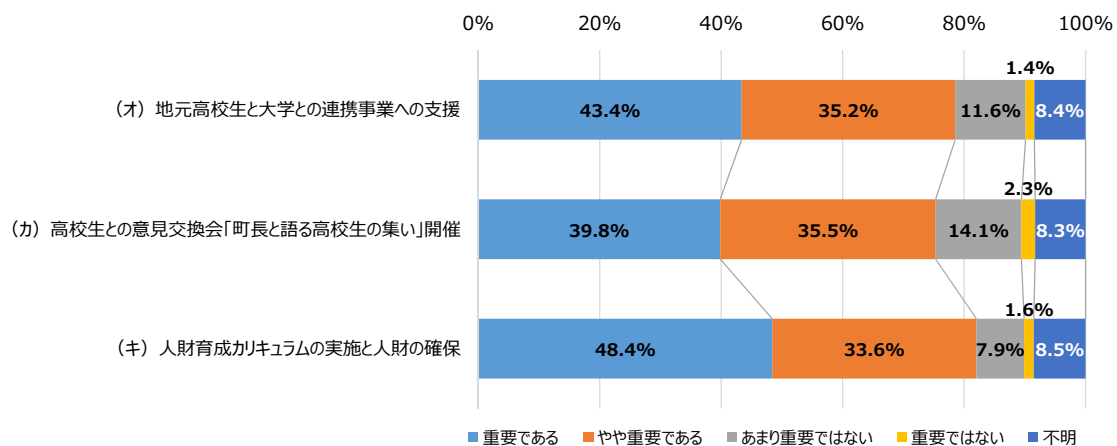
問 5 : 取り組みについての重要度 (SA)

【地域に根ざした雇用の創出】



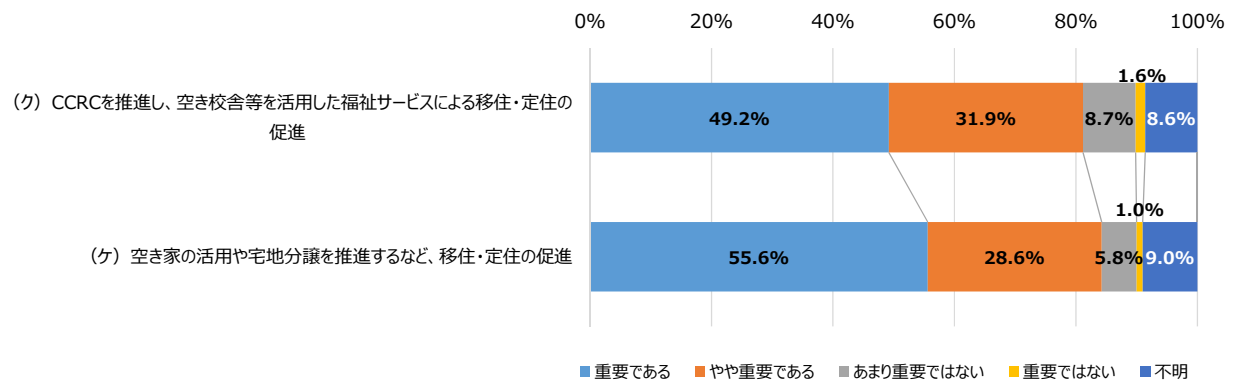
「町を元気にできる人財の育成」の分野では、各取り組みとも 8 割程度の人々が重要度が高い（重要である、やや重要であるの合計）と回答している。

【町を元気にできる人財の育成】



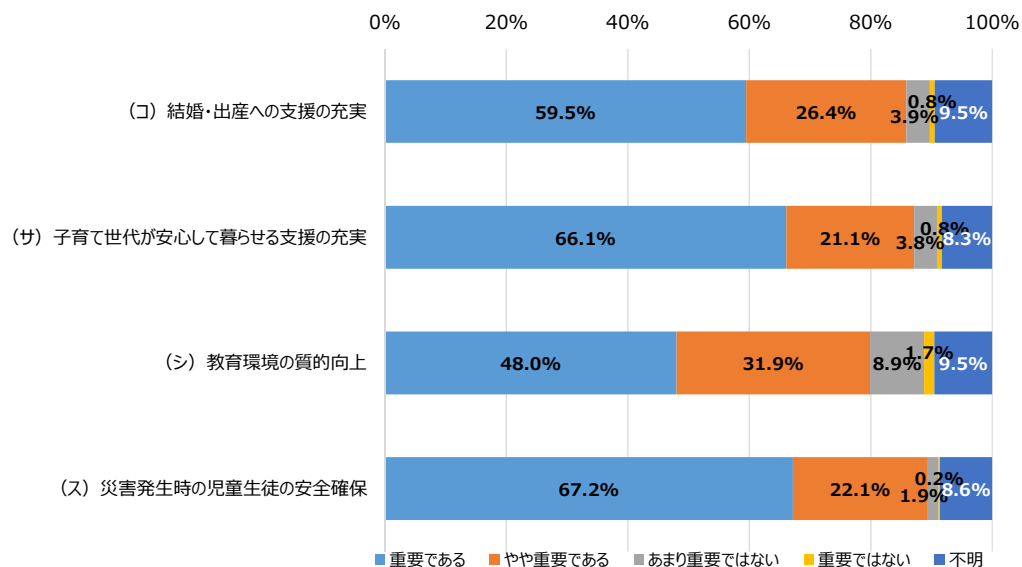
「人の流れをつくり、移住・定住の促進」の分野では、各取り組みとも 8 割以上の人が重要度が高い（重要である、やや重要であるの合計）と回答している。

【人の流れをつくり、移住・定住の促進】



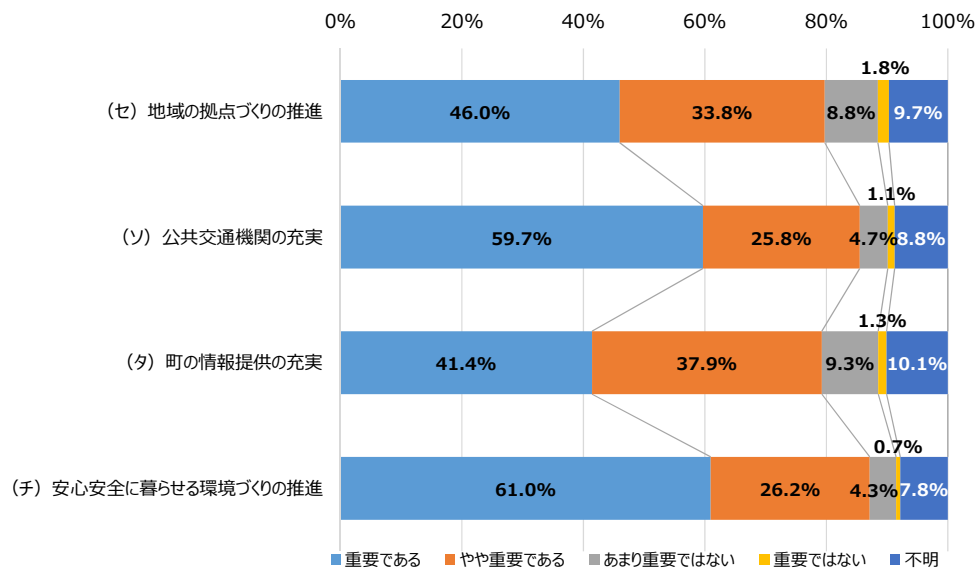
「結婚・出産・子育て環境の充実」の分野では、各取り組みとも 8 割～9 割程度の方が重要度が高い（重要である、やや重要であるの合計）と回答している。特に、「子育て世代が安心して暮らせる支援の充実」、「災害発生時の児童生徒の安全確保」では「重要である」と回答している人が多い。

【結婚・出産・子育て環境の充実】



「特色ある持続可能な地域社会の形成」の分野では、各取り組みとも8割～9割程度の人が重要度が高い（重要である、やや重要であるの合計）と回答している。特に、「公共交通機関の充実」、「安心安全に暮らせる環境づくりの推進」では「重要である」と回答している人が多い。

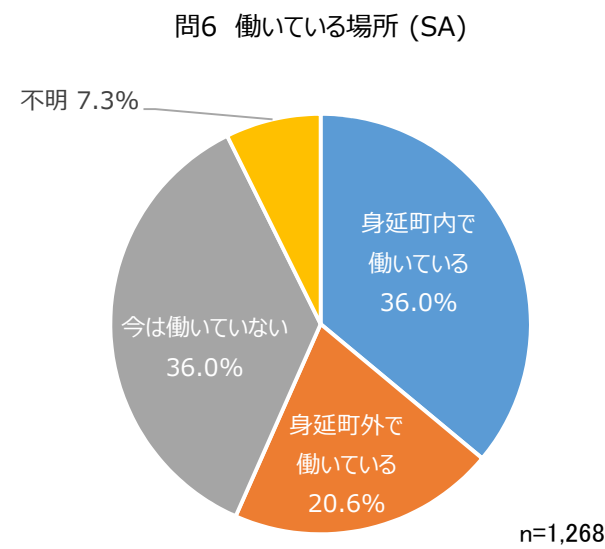
【特色ある持続可能な地域社会の形成】



	N						%				
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	不明	サンプル数	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	不明
起業支援及び新規事業所の誘致	784	310	58	17	99	1,268	61.8%	24.4%	4.6%	1.3%	7.8%
農業振興による新たな地域産業と雇用の創出	635	416	105	12	100	1,268	50.1%	32.8%	8.3%	0.9%	7.9%
観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大	670	375	94	21	108	1,268	52.8%	29.6%	7.4%	1.7%	8.5%
地場産業の活性化とPRの強化推進	673	399	80	14	102	1,268	53.1%	31.5%	6.3%	1.1%	8.0%
地元高校生と大学との連携事業への支援	550	446	147	18	107	1,268	43.4%	35.2%	11.6%	1.4%	8.4%
高校生との意見交換会「町長と語る高校生の集い」開催	505	450	179	29	105	1,268	39.8%	35.5%	14.1%	2.3%	8.3%
人財育成カリキュラムの実施と人財の確保	614	426	100	20	108	1,268	48.4%	33.6%	7.9%	1.6%	8.5%
GCRCを推進し、空き校舎等を活用した福祉サービスによる移住・定住の促進	624	405	110	20	109	1,268	49.2%	31.9%	8.7%	1.6%	8.6%
空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進	705	363	73	13	114	1,268	55.6%	28.6%	5.8%	1.0%	9.0%
結婚・出産への支援の充実	754	335	49	10	120	1,268	59.5%	26.4%	3.9%	0.8%	9.5%
子育て世代が安心して暮らせる支援の充実	838	267	48	10	105	1,268	66.1%	21.1%	3.8%	0.8%	8.3%
教育環境の質的向上	609	404	113	21	121	1,268	48.0%	31.9%	8.9%	1.7%	9.5%
災害発生時の児童生徒の安全確保	852	280	24	3	109	1,268	67.2%	22.1%	1.9%	0.2%	8.6%
地域の拠点づくりの推進	583	428	111	23	123	1,268	46.0%	33.8%	8.8%	1.8%	9.7%
公共交通機関の充実	757	327	59	14	111	1,268	59.7%	25.8%	4.7%	1.1%	8.8%
町の情報提供の充実	525	480	118	17	128	1,268	41.4%	37.9%	9.3%	1.3%	10.1%
安心安全に暮らせる環境づくりの推進	773	332	55	9	99	1,268	61.0%	26.2%	4.3%	0.7%	7.8%

問 6 : 働いている場所 (SA)

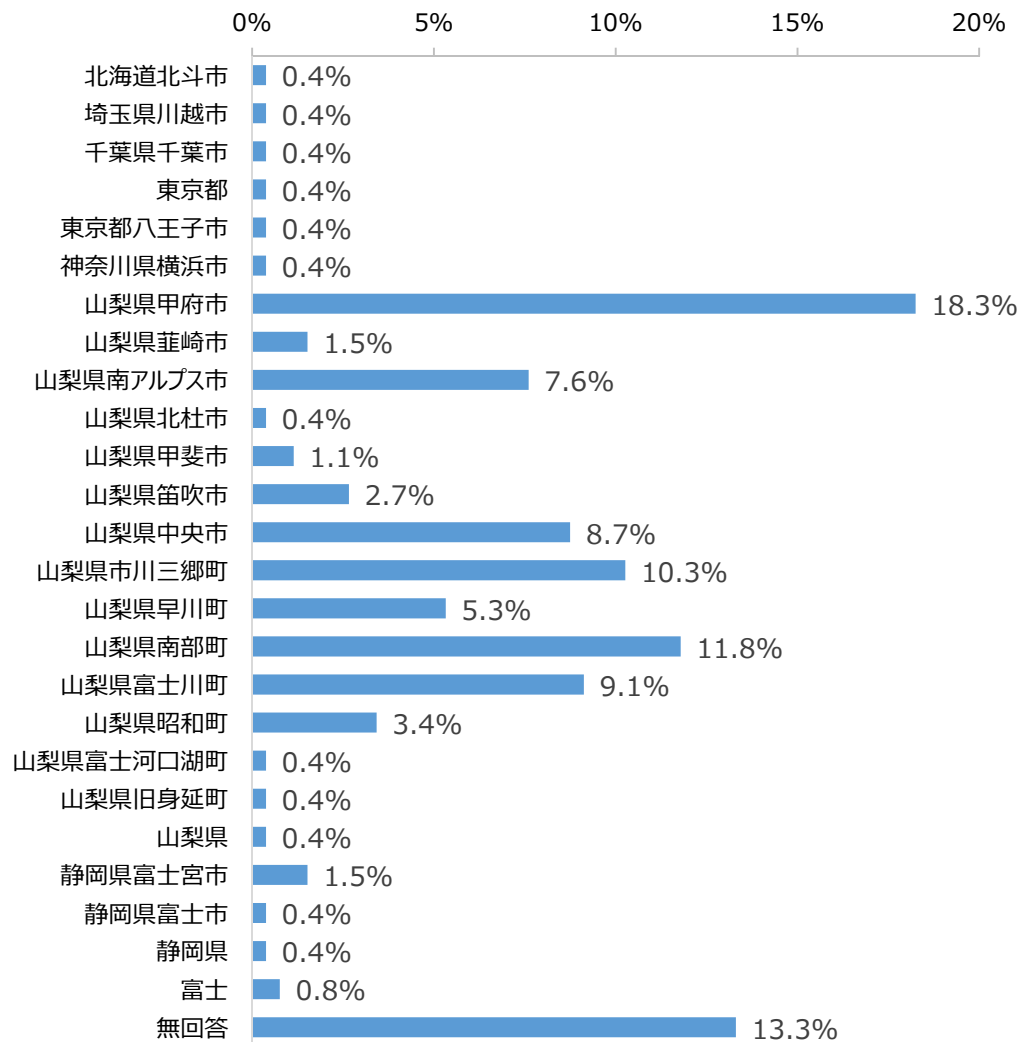
「身延町内で働いている」と答えた人の割合が 36.0%、「身延町外で働いている」が 20.6%となっている。



	N	%
身延町内で働いている	457	36.0%
身延町外で働いている	261	20.6%
今は働いていない	457	36.0%
不明	93	7.3%
サンプル数	1,268	100.0%

【身延町外で働いている市町村】

問6：働いている場所（MA）



n=263

問 6：身延町外で働いている市町村	N	%
北海道北斗市	1	0.4%
埼玉県川越市	1	0.4%
千葉県千葉市	1	0.4%
東京都	1	0.4%
東京都八王子市	1	0.4%
神奈川県横浜市	1	0.4%
山梨県甲府市	48	18.3%
山梨県韮崎市	4	1.5%
山梨県南アルプス市	20	7.6%
山梨県北杜市	1	0.4%
山梨県甲斐市	3	1.1%
山梨県笛吹市	7	2.7%
山梨県中央市	23	8.7%
山梨県市川三郷町	27	10.3%
山梨県早川町	14	5.3%
山梨県南部町	31	11.8%
山梨県富士川町	24	9.1%
山梨県昭和町	9	3.4%
山梨県富士河口湖町	1	0.4%
山梨県旧身延町	1	0.4%
山梨県	1	0.4%
静岡県富士宮市	4	1.5%
静岡県富士市	1	0.4%
静岡県	1	0.4%
富士	2	0.8%
無回答	35	13.3%
計	263	100.0%

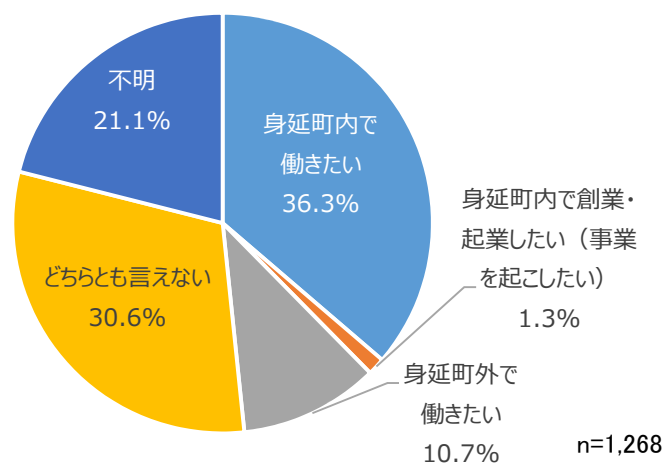
問 7：希望する働く場所（SA）

「身延町内で働きたい」と答えた人の割合が 36.3%、「身延町外で働きたい」が 10.7%となっている。

「身延町内で働きたい」との回答者数は 460 人で、前問で「身延町内で働いている」と回答した人（457 人）とほぼ同数であるが、「身延町外で働きたい」との回答者数（136 人）は、前問で「身延町外で働いている」と回答した人（261 人）を大きく下回っている。これから、身延町外で働きたいわけではないが町外で働いている人の存在が推察される。

「身延町内で創業・起業したい」と答えた人の割合は 1.3%となっている。

問7 希望する働く場所 (SA)



	N	%
身延町内で働きたい	460	36.3%
身延町内で創業・起業したい（事業を起こしたい）	17	1.3%
身延町外で働きたい	136	10.7%
どちらとも言えない	388	30.6%
不明	267	21.1%
サンプル数	1,268	100.0%

問 7-①：身延町内を選ぶ理由（FA）

問 7-①：身延町内を選ぶ理由	件数
家が近いから	347
現在の職場で働きたい	12
地域貢献	33
信仰	2
寺院	1
自分が住んでいる町であり、町内のどの企業がどのような仕事を行っているかを大体は知っていて働く際の重要な判断材料になって考えることが出来るから	1
サービス業だから	1
町内で働くことで地域の人とのハブになれる。町外に働きに行く人達への町内でおきている出来事や事件の情報を伝える役目ができる	1
身延町でなければ出来ないビジネスをしていきたい	1
資源が豊富にある	1
身延山を Sustainable & Well-being な先進的な観光地にしたいから。また、それを実現できるポテンシャルを持っているから。京都・高尾さんにはない住民、観光客、二拠点居住者それぞれにとって、心地よい空間を創りたい。	1
この場所はとてもパワーがある場所で、外部の人間にも魅力的なエリアが多くあるが、それを発信できていない。これを発信する仕事をしていきたい	1
この場所でしかできない仕事だから。	1
身延に永住するつもりなので、就職先があればぜひ身延で働きたい。現状、ローンなどを考えると金銭的に町外（私の情報収集不足なら、すみません）で就労するしかない。	1
契約があるから	1
身の動く限りハウスの様な建物で働いてみたい	1

問 7-②：あると良い支援（FA）

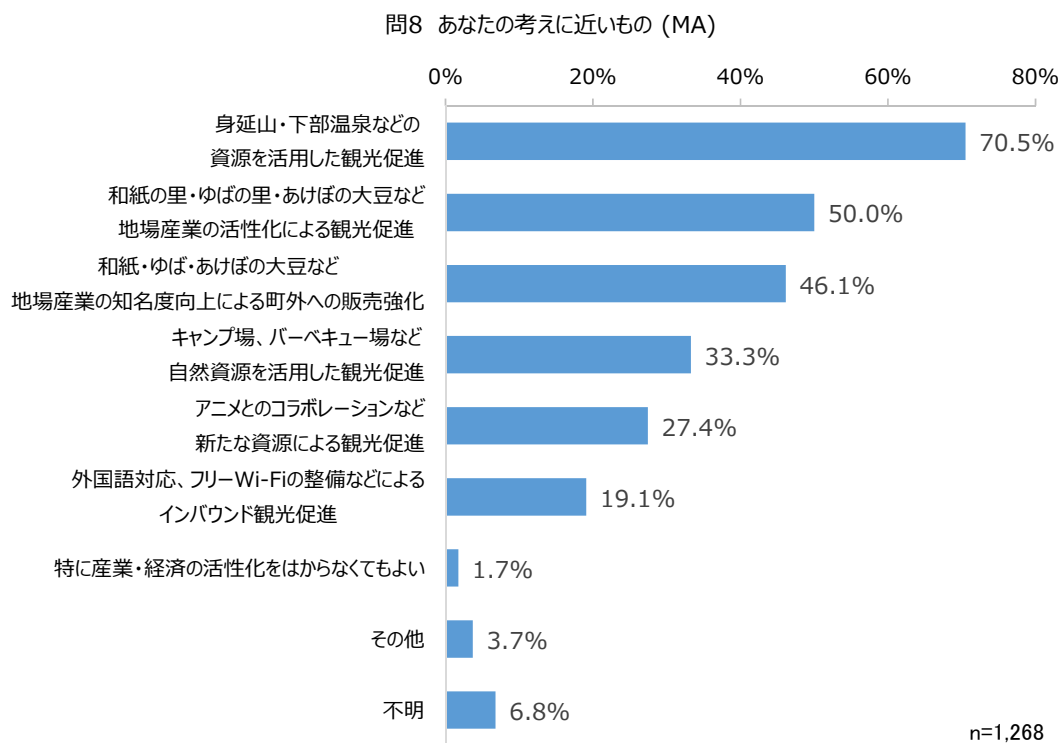
問 7-②：あると良い支援	件数
起業したい人へのセミナー、など	1
補助金、企業セミナー	1
広報、起業補助金	1
金利のゆうぐう、起業は助金、税のゆうぐうそち、空家のしょうかい	1
きぎょ補助金とネットワークに関する支援	1
補助制度の充実(簡単なもの)	1
起業補助金。起業セミナー、相談会。ノウハウ。色々なジャンルの起業体験者の講演会 etc	1
人のネットワーク	1
お金よりもアドバイスと人的支援	1
上記の様な措置	1
どれも	1
外部(他地域からの意見)の目の導入、地域内だと固定概念から抜け出せない。	1
町内、生まれた地域で働く事ができる、生きる意欲が違ふ、これで活性化	1

問 7-③：身延町外を選ぶ理由（FA）

問 7-②：あると良い支援	件数
（町内には）仕事がない・選べない	78
人間づきあい（知り合いと同じ職場で働くのが煩わしい）	10
現在の職場で働きたい	9
外の情報や刺激が魅力だから	7
仕事帰りなどの買い物等に便利	7
西嶋に住んでいて、南に移動するのに不更を感じる為	1
他社との交流がしづらい	1
なんとなくです。	1
交通が不便	1
自営だから	1
自分がよいと思うところなら、町内外問わない。	1

問 8：身延町の豊かな自然資源や地場産業などを活用して身延町の産業・経済を活性化する方法について、あなたの考えに最も近いもの（MA）

「身延山・下部温泉などの資源を活用した観光促進」と回答した人の割合が 70.5%と最も高く、次いで「和紙の里・ゆばの里・あけぼの大豆など地場産業の活性化による観光促進」（50.0%）、「和紙・ゆば・あけぼの大豆など地場産業の知名度向上による町外への販売強化」（46.1%）と続いている。

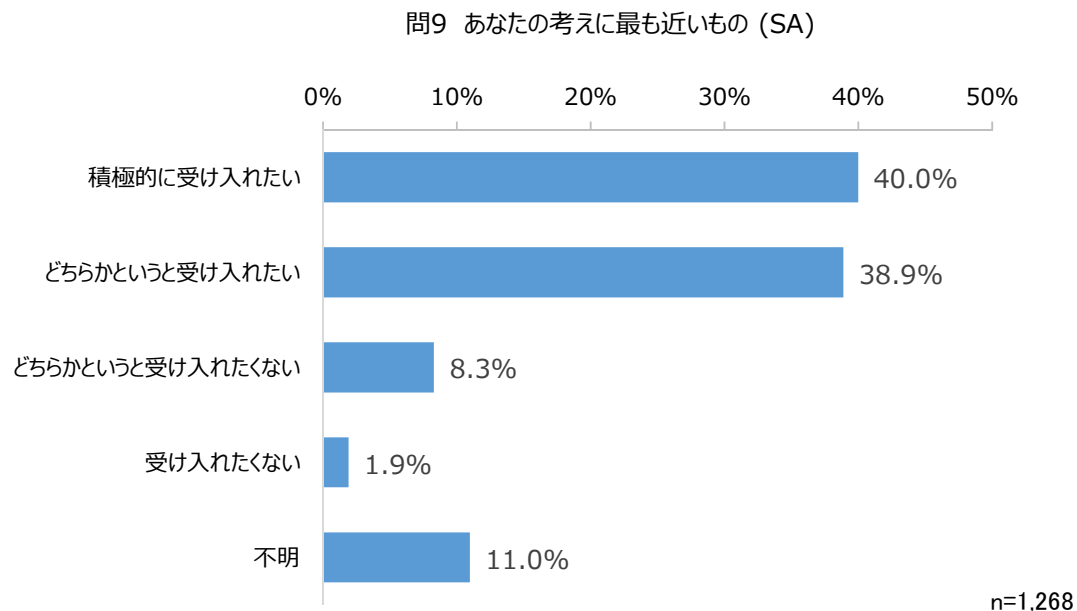


	N	%
身延山・下部温泉などの資源を活用した観光促進	894	70.5%
和紙の里・ゆばの里・あけぼの大豆など地場産業の活性化による観光促進	634	50.0%
和紙・ゆば・あけぼの大豆など地場産業の知名度向上による町外への販売強化	585	46.1%
キャンプ場、バーベキュー場など自然資源を活用した観光促進	422	33.3%
アニメとのコラボレーションなど新たな資源による観光促進	348	27.4%
外国語対応、フリーWi-Fiの整備などによるインバウンド観光促進	242	19.1%
特に産業・経済の活性化をはからなくてもよい	22	1.7%
その他	47	3.7%
不明	86	6.8%
サンプル数	1,268	100.0%

問 8 : その他	件数
「豊かな自然」はありふれていて、売りにはならない。	1
<身延山だけではイメージが暗すぎる為> 町全体の明るいイメージアップ 遊休地の利用等	1
1～6 は昔から検討一部実施しているがパツとしない別の物を	1
IT 技術を導入し、ウェブでの情報発信を行う	1
あちこち観光の促進しないでとり合ず身延山を中心に行ったらどうですか	1
いずれも活性化するとは思えない	1
大型施設	1
外国の方の入れ墨でも温泉に入れる様にするなど観光資源としての温泉の使用	1
クラフトパークにハウスイチゴでもいいのでは	1
クラフトパークを一大スポーツ施設として、大会合宿イベント会場として活用	1
クラフトパークを野外イベント会場にして各種企画する。	1
ケアハウスなどの施設の充実	1
工場、若者が身延からでなくても働く職場を作る	1
交通網を要しない企業誘致、IT、電話センター等	1
自然の里身延に子供向けのプールが必要だと思います（色々なプールです）	1
商業施設の増設	1
体験形農業の開発	1
中央横断自動車全通を見込み、総合的に静岡、神奈川との連携強化費強い	1
電子マネーの導入	1
農産物直売所を作る	1
農林業の事業化による雇用創出	1
平須の青少年自然の里の将来性は全く無し、財源の無駄 早く終ること。	1
文化財を活用した観光資源	1
ベンチャー企業などの誘致	1
放置林整備による雇用創出	1
町ごと大手資本に身売り又は経営委託	1
道の駅を利用した宿泊施設など強化	1
身延山久遠寺と連携して多くの人に心の安らぎを与える事のできる現実的なプランを考える。これこそが身延の特徴を活かした道でありその発展に伴い付随して関連する産業・経済が活性化されます。	1
身延山と刀剣乱舞のコラボ	1
身延線電車で中富町の鉄道と中部横断を利用して山梨身延町発展を期待しております	1
身延線の活用（町内 8 駅の利用）R52 号の衰退（高速道開通のため）	1
身延山、下部温泉、あけぼの大豆、意外に下部・身延・中富の大自然をもっと掘り起こしてほしい。一部の地域だけでは活性化にならない。	1
身延山のさくら、クラフトパークの花、本栖湖の富士山、中之倉の紅葉 自然を取り入れた花や紅葉などの PR	1
山の多い地形を活用したスポーツ拠点づくり、MTB、ロードバイク	1
山をつかいレジャー施設を創っては。	1
やる気とセンスのある人、起業に町をプロモーションしてもらう	1
ユーチューブやテレビなどメディアを活用した PR 活動	1
若者が来て楽しめる観光地をつくり活性化。	1
若者が来る町に	1
無回答	8
計	47

問 9：身延町のインバウンド観光について、あなたの考えに最も近いもの（SA）

「積極的に受け入れたい」、「どちらかというを受け入れたい」がそれぞれ 4 割程度であり、あわせて 8 割程度が受け入れに肯定的な結果となっている。



	N	%
積極的に受け入れたい	507	40.0%
どちらかというを受け入れたい	493	38.9%
どちらかというを受け入れたくない	105	8.3%
受け入れたくない	24	1.9%
不明	139	11.0%
サンプル数	1,268	100.0%

問 9-①：「どちらかというを受け入れたくない」「受け入れたくない」理由（FA）

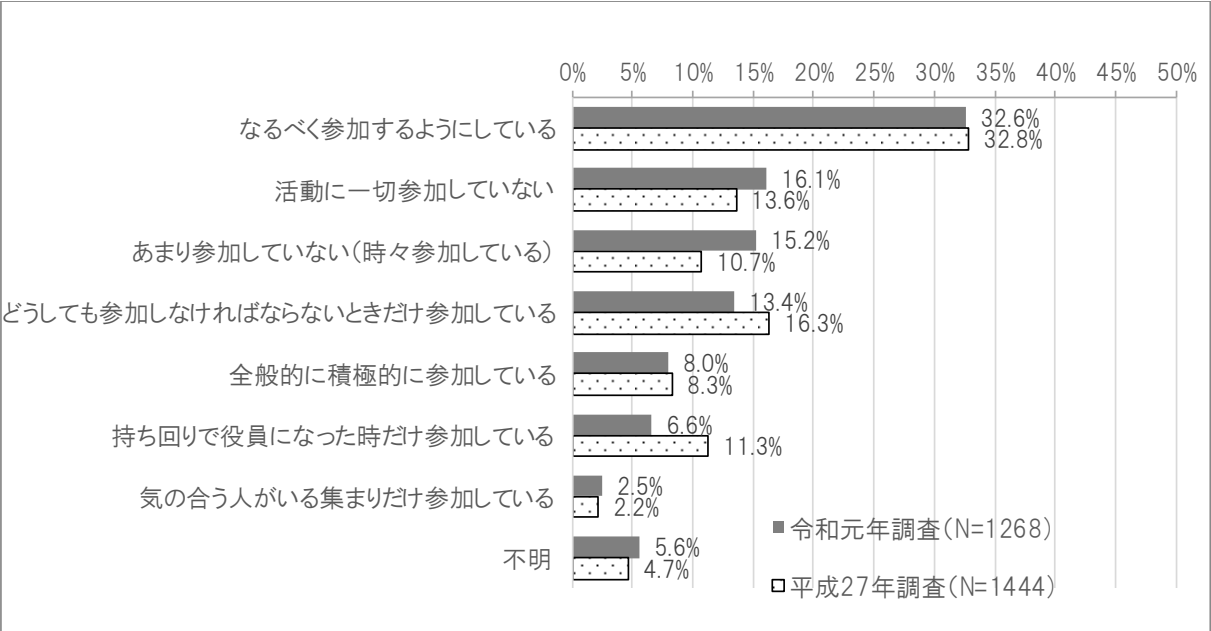
問 9-①：「どちらかというを受け入れたくない」「受け入れたくない」理由	件数
こわい、不安がある	53
言語面などで対応できない	16
日常生活への悪影響	12
まずは日本人に受け入れられる観光地でなければ、外国人にも魅力的には写らないと思う。受け入れるみのぶのクオリティーの向上が必要。	1
国内の観光客受け入れへの取り組みが不十分だと思うので、まずはそこに力を入れてほしい。	1
来て頂くのは本当にありがたいと思いますが、特に積極的に誘う必要はないかと思うので。	1
日本人観光客の集客に努めてほしい為	1
費用対効果を考えているのかな？	1
日本、山梨の中でも、特に観光で特化した場所ではなく国内観光もままならない状況でインバウンド観光を考えるのは、意味がない？ 受け入れ以前の問題	1

問 10：地域や各種団体・サークル等の活動にどの程度参加しているか（SA）

「全般的に積極的に参加している」と「なるべく参加するようにしている」と回答した人の割合は 40.5%、「あまり参加していない」と「一切参加していない」が 31.3%となっており、活動に参加している人が多いことがわかる。

義務的な参加といえる「どうしても参加しなければならないときだけ参加している」と「持ち回りで役員になった時だけ参加している」は 20.0%あった。

平成 27 年調査と比較すると、「活動に一切参加していない」「あまり参加していない」が増加傾向にある。

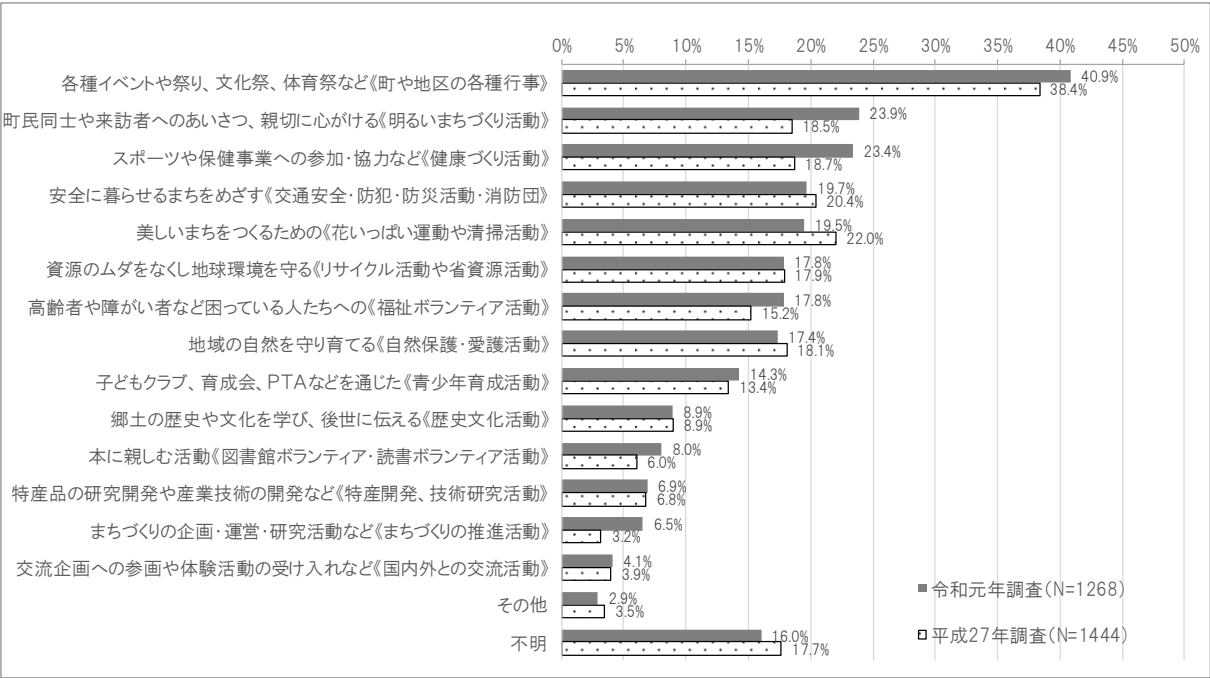


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
なるべく参加するようにしている	413	32.6%	474	32.8%
活動に一切参加していない	204	16.1%	196	13.6%
あまり参加していない(時々参加している)	193	15.2%	155	10.7%
どうしても参加しなければならないときだけ参加している	170	13.4%	236	16.3%
全般的に積極的に参加している	101	8.0%	120	8.3%
持ち回りで役員になった時だけ参加している	84	6.6%	163	11.3%
気の合う人がいる集まりだけ参加している	32	2.5%	32	2.2%
不明	71	5.6%	68	4.7%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 11：どのような活動に参加しているか(または参加したいか)（MA）

参加活動では、「町や地区の各種行事」が 40.9%、「明るいまちづくり活動」が 23.9%、「健康づくり活動」が 23.4%の順となっている。

平成 27 年調査と比較すると、「明るいまちづくり活動」「健康づくり活動」等が増加傾向にある。

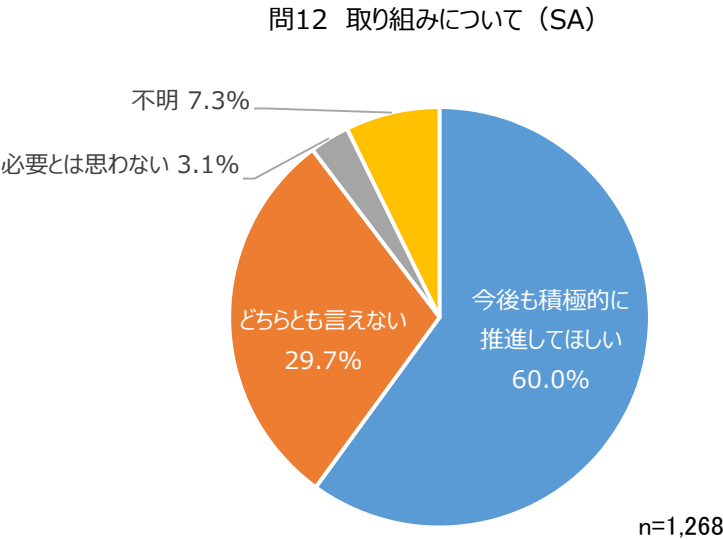


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など《町や地区の各種行事》	518	40.9%	554	38.4%
町民同士や来訪者へのあいさつ、親切に心がける《明るいまちづくり活動》	303	23.9%	267	18.5%
スポーツや保健事業への参加・協力など《健康づくり活動》	297	23.4%	270	18.7%
安全に暮らせるまちをめざす《交通安全・防犯・防災活動・消防団》	250	19.7%	295	20.4%
美しいまちをつくるための《花いっぱい運動や清掃活動》	247	19.5%	318	22.0%
資源のムダをなくし地球環境を守る《リサイクル活動や省資源活動》	226	17.8%	258	17.9%
高齢者や障がい者など困っている人たちへの《福祉ボランティア活動》	226	17.8%	220	15.2%
地域の自然を守り育てる《自然保護・愛護活動》	220	17.4%	261	18.1%
子どもクラブ、育成会、PTAなどを通じた《青少年育成活動》	181	14.3%	194	13.4%
郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える《歴史文化活動》	113	8.9%	129	8.9%
本に親しむ活動《図書館ボランティア・読書ボランティア活動》	102	8.0%	87	6.0%
特産品の研究開発や産業技術の開発など《特産開発、技術研究活動》	87	6.9%	98	6.8%
まちづくりの企画・運営・研究活動など《まちづくりの推進活動》	83	6.5%	46	3.2%
交流企画への参画や体験活動の受け入れなど《国内外との交流活動》	52	4.1%	57	3.9%
その他	37	2.9%	50	3.5%
不明	203	16.0%	255	17.7%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 11：その他	件数
お寺へ来て下さる方に自分で出来るかぎり新設にする様心がけています	1
地区の行事全搬	1
ソフトバレーのサークル、スポーツ少年団（指導）	1
外国人への接客が勉強できるつどいがあれば参加したい。	1
特産品を積極的に購入している	1
保護司・日蓮宗檀家信徒協議会役員（第 2 部会長）	1
動物の保ゴ活動	1
毎日ウォーキングしているので 1 人暮らしの方に一声かけている ④とダブリが...	1
町歩き、ウォーキング	1
ウォーキング、登山、などスポーツ関連活動	1
小中学校の諸行事	1
ウェブサイトを作りたい人を集めた勉強会	1
なるべく、みんな、参加したいと、思っている	1
（設問全て）その時の体調次第で極力参加している	1
町内では活動していない	1
体がわるく活動出来ない	1
病気の為	1
休	1
怪我の為リハビリ中で活動出来ない	1
足が悪いので参加できない	1
年令が無理	1
多く参加したいと思いますが、高齢故残念です。	1
高齢のため活動出さない	1
高齢（86.7 才）のため、他に迷惑をかけないように心掛けています	1
自分が高期高齢者なので意に反して行動に限外がある	1
仕事をしているので活動できない	1
日々忙しいため、時間がとれません	1
多忙なため活動への参加はできない	1
不参加	1
参加していない	1
ありません	1
わからない	1
特になし	4
無回答	1
計	37

問 12 : 「地元高校生と大学が連携したまちづくり研究」への支援、「町長と語る高校生の集い」、「みのべーしょん 2 8 8 」のような取り組みについて (SA)

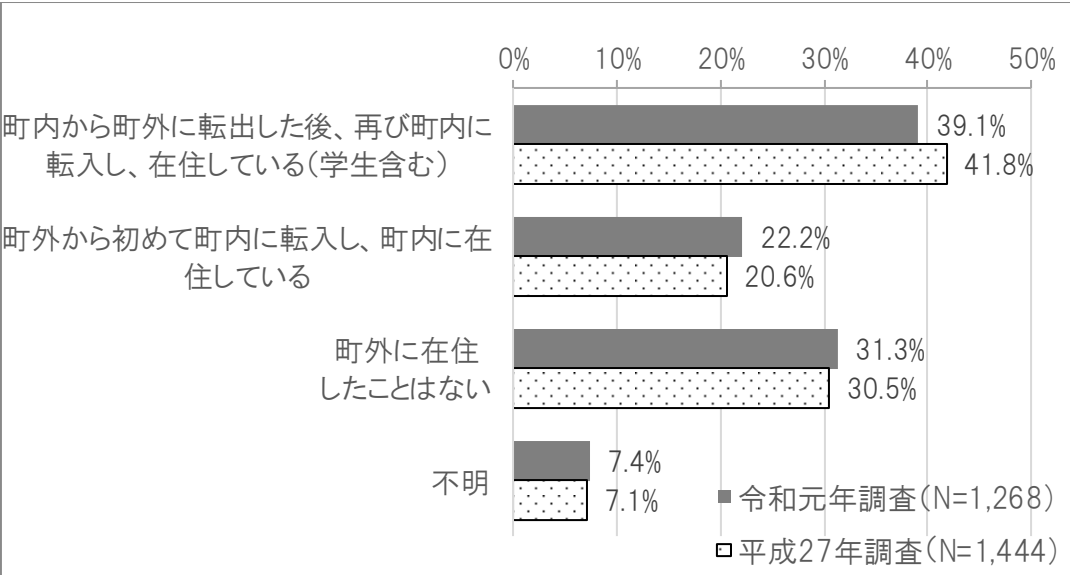
6 割の人が「今後も積極的に推進してほしい」と回答しているが、「どちらとも言えない」も 3 割程度となっており、取組内容の理解がされていない可能性も推察される。



	N	%
今後も積極的に推進してほしい	761	60.0%
どちらとも言えない	376	29.7%
必要とは思わない	39	3.1%
不明	92	7.3%
サンプル数	1,268	100.0%

問 13：身延町外に在住したことがあるか（SA）

町外居住経験者は 61.3%、未経験者が 31.3%である。777 人の町外居住経験者のうち、U ターンの転入者が 63.8%、町外からの初めての転入者が 36.2%である



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
町内から町外に転出した後、再び町内に転入し、在住している(学生含む)	496	39.1%	604	41.8%
町外から初めて町内に転入し、町内に在住している	281	22.2%	297	20.6%
町外に在住したことはない	397	31.3%	441	30.5%
不明	94	7.4%	102	7.1%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

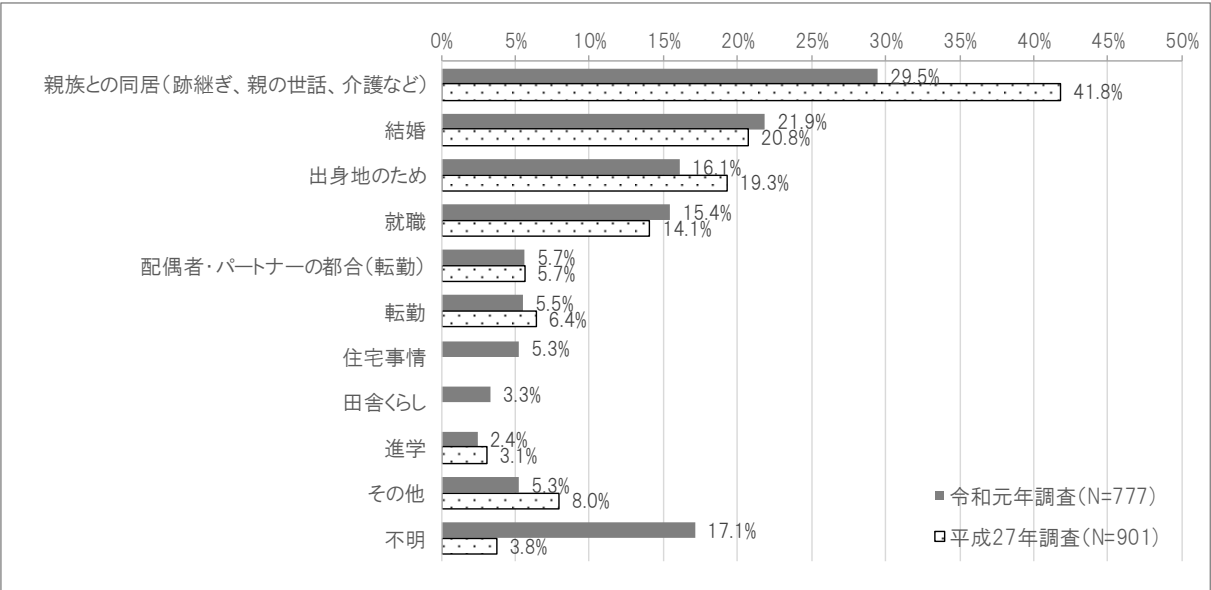
問 13-①：在住したことがある市町村（MA）

都道府県	市区町村	件数	都道府県	市区町村	件数	都道府県	市区町村	件数	都道府県	市区町村	件数	都道府県	市区町村	件数
東京都	千代田区	1	神奈川県	横浜市	37	千葉県	千葉市	4	山梨県	甲府市	93	その他	北海道礼文町	1
	港区	3		横浜市青葉区	1		市川市	2		甲府市下曽根	1		青森県青森市	1
	新宿区	5		横浜市緑区	2		船橋市	4		甲府市中里	1		岩手県盛岡市	2
	文京区	2		横浜市港北区	2		木更津市	1		甲府市丸の内	1		岩手県大船渡市	1
	台東区	7		横浜市港南区	1		松戸市	3		富士吉田市	8		宮城県名取市	1
	墨田区	1		横浜市栄区	1		野田市	1		富士吉田市忍野村	1		福島県広野市	1
	江東区	5		川崎市	15		成田市	2		都留市	6		福島県田村市	1
	品川区	6		川崎市高津区	1		佐倉市	1		山梨市	1		茨城県那珂湊市	1
	目黒区	2		川崎市多摩区	1		旭市	1		牧丘町	1		茨城県土浦市	1
	大田区	11		相模原市	6		習志野市	2		大月市	2		茨城県水戸市	1
	世田谷区	15		相模原市相模大野	1		柏市	1		大月市早川町	1		栃木県	2
	渋谷区	2		横須賀市	4		八千代市	1		韭崎市	3		栃木県足利市	1
	中野区	10		鎌倉市	3		我孫子市	1		南アルプス市	29		栃木県宇都宮市	1
	杉並区	11		藤沢市	3		計	24		若草町	1		群馬県	2
	豊島区	6		小田原市	6	静岡県	静岡市	15		甲西町	1		群馬県伊勢崎市	1
	北区	5		三浦市	1		静岡市清水区	2		北杜市	3		群馬県太田市	1
	荒川区	1		秦野市	1		浜松市	1		北杜市長坂町	1		東京都	1
	板橋区	10		厚木市	3		沼津市	5		甲斐市	12		富山	1
	練馬区	8		大和市	2		三島市	2		甲斐市長塚	1		福井県	2
	旧練馬区	1		座間市	1		富士宮市	13		敷島	1		長野県大町市	1
	足立区	2		綾瀬市	1		島田市	1		双葉町	2		愛知県	5
	葛飾区	2		計	93		富士市	16		竜王町	3		愛知県一宮市	1
	江戸川区	4	埼玉県	さいたま市	5		藤枝市	1		笛吹市	6		愛知県岡崎市	1
	八王子市	10		浦和市	1		御殿場市	1		石和町	1		愛知県豊橋市	1
	立川市	4		川越市	2		伊豆市	1		上野原市	1		愛知県名古屋	9
	武蔵野市	1		熊谷市	1		伊豆の国市	2		甲州市	1		三重県志摩市	1
	三鷹市	4		川口市	3		小山町	1		塩山市	2		三重県伊勢市	1
	府中市	4		所沢市	2		清水	1		勝沼町	1		京都府京都市	2
	昭島市	1		飯能市	1		清水市	1		中央市	24		大阪府	2
	調布市	2		本庄市	1		旧清水市	1		田富町東花輪	1		大阪府大阪市	1
	町田市	5		東松山市	2		計	64		豊富	1		大阪	1
	小金井市	1		狭山市	1	長野県	長野市	1		市川三郷町	20		兵庫県姫路市	1
	小平市	5		朝霞市	3		松本市	1		早川町	10		鳥取県倉吉市	1
	日野市	4		和光市	2		茅野市	1		身延町	1		岡山県新見市	1
	国分寺市	2		新座市	2		佐久市	1		下部町	2		長崎県	1
	国立市	2		計	26		千曲市	1		中富町	1		海外	6
	狛江市	1					軽井沢町	1		旧中富町	1		旧満洲国	1
	東大和市	1					富士見町	1		南部町	28		福岡	1
	武蔵村山市	1					辰野町	1		富沢町	1		計	61
	多摩市	2					計	8		旧富沢町	1			
	計	173								富士川町	32			
										富士川町鯉沢	3			
										鯉沢町	3			
										鯉沢	2			
										富士川町(旧増穂町)	1			
										増穂	1			
										昭和町	4			
										山中湖村	1			
										富士河口湖町	3			
										いろいろ	1			
										北巨摩	1			
										鮎沢	1			
										計	329			

問 13-②：身延町に転入してきた理由（MA）

転入理由は「親族との同居（跡継ぎ、親の世話、介護など）」がもっとも多く 29.5%、次いで「結婚」が 21.9%、「出身地のため」が 16.1%と続いている。

平成 27 年調査と比較すると、「親族との同居」が減少傾向にある。



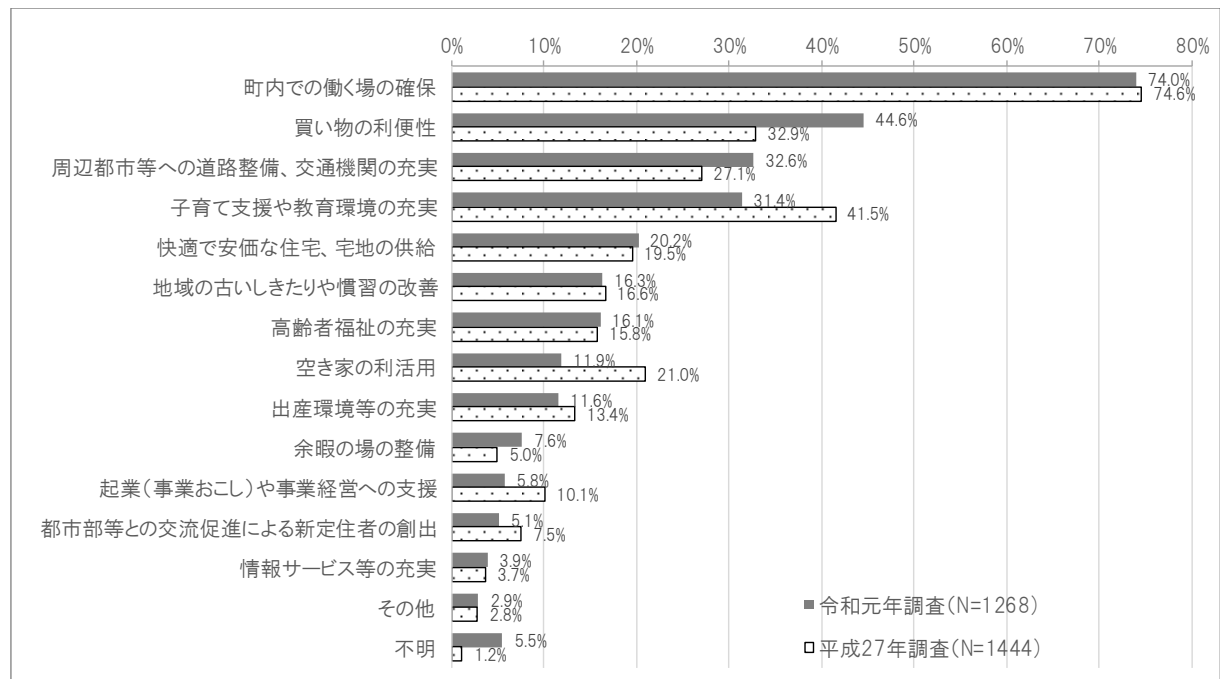
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
親族との同居(跡継ぎ、親の世話、介護など)	229	29.5%	377	41.8%
結婚	170	21.9%	187	20.8%
出身地のため	125	16.1%	174	19.3%
就職	120	15.4%	127	14.1%
配偶者・パートナーの都合(転勤)	44	5.7%	51	5.7%
転勤	43	5.5%	58	6.4%
住宅事情(令和元年調査のみ)	41	5.3%	—	—
田舎暮らし(令和元年調査のみ)	26	3.3%	—	—
進学	19	2.4%	28	3.1%
その他	41	5.3%	72	8.0%
不明	133	17.1%	34	3.8%
サンプル数	777	100.0%	901	100.0%

問 13-②：その他	件数
転職	2
離婚	3
離婚したため、仕事を続けるため	1
両親の離婚	1
仕事	1
事業をスタートするため	1
職場に近かった為引っ越し	1
通勤の利便性から	1
家業を継ぐ為	1
兄の仕事関係で店舗を営業	1
自分のやりたいことをできる「人」と「環境」があったから	1
冬期の生活環境に不便性が少ない。	1
信仰と奉仕	1
経済的理由	1
長男で家を継ぐため	1
長男だから	1
空家になっていたので長男としてリターン	1
生まれが久那土	1
生れ育った地域の充実を計る事	1
郷里に近い	1
ひとり暮らしは寂しくて、孤独だったため	1
施設があるから	1
施設入所	1
体調を悪くした為	1
仕事先がブラックで体をこわしとてあえず戻った	1
無回答	14
計	42

問 14：若年層の定住促進のために特に必要だと考えること（MA）

若年層の定住促進のために特に必要だと考えることは、「町内での働く場所の確保」が 74.0%と圧倒的に高く、「買い物の利便性」が 44.6%、「周辺都市等への道路整備、交通機関の充実」が 32.6%、と続いている。

平成 27 年調査と比較すると、「買い物の利便性」「周辺都市等への道路整備、交通機関の充実」が増加傾向にあるのに対し、「子育て支援や教育環境の充実」は減少傾向にある。



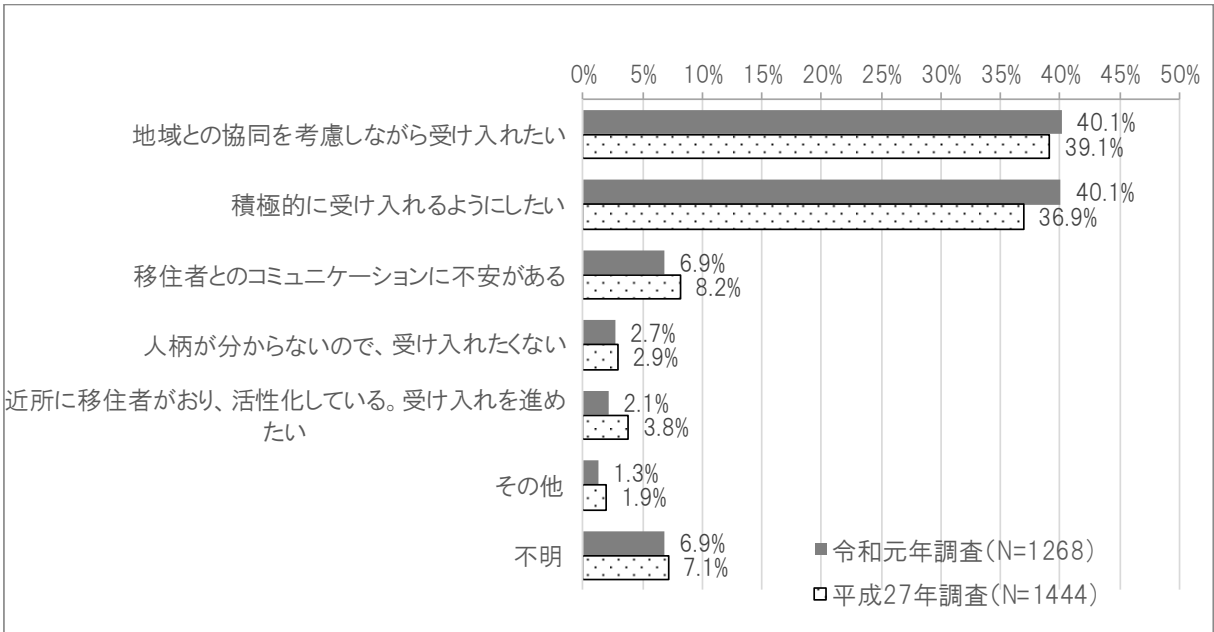
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
町内での働く場所の確保	938	74.0%	1,077	74.6%
買い物の利便性	565	44.6%	475	32.9%
周辺都市等への道路整備、交通機関の充実	414	32.6%	391	27.1%
子育て支援や教育環境の充実	398	31.4%	599	41.5%
快適で安価な住宅、宅地の供給	256	20.2%	282	19.5%
地域の古いしきたりや慣習の改善	207	16.3%	240	16.6%
高齢者福祉の充実	204	16.1%	228	15.8%
空き家の利活用	151	11.9%	303	21.0%
出産環境等の充実	147	11.6%	193	13.4%
余暇の場の整備	97	7.6%	72	5.0%
起業(事業おこし)や事業経営への支援	73	5.8%	146	10.1%
都市部等との交流促進による新定住者の創出	65	5.1%	109	7.5%
情報サービス等の充実	49	3.9%	53	3.7%
その他	37	2.9%	41	2.8%
不明	70	5.5%	17	1.2%
サンプル数	1,268	100%	1,444	100%

問 14：その他	件数
医療の充実	1
医療機関の充実	1
病院の充実	1
病院の充実・病院側で小児科医を確保できないなら町でなんとかして欲しい	1
病院に有名な専門医をお願いする	1
小児医療の充実	1
毎日みてる小児科	1
小、中、高、学校の統合の弊害が大きいため促進するのはむずかしい。	1
小・中学校が統合してしまったからやはり近くに学校は必要ではないか？	1
一度に 1 中 3 小にしてしまった事が問題ではないでしょうか。	1
小学校を旧町に一校は設置する	1
北部への中学校	1
学校を増やす	1
学校の位置	1
学校が遠い	1
義務教育の充実（無料にする）	1
大学や企業の誘致	1
安定した職場	1
大企業で働く場	1
リモートワーク、給与アップ	1
宅地が安価で購入できること。町に分譲地がもう少し安ければ良いと思った	1
空き土地を利活用（宅地として）	1
住む場所がない、アパートない	1
税金の見直し	1
税金等が高いので安く	1
外観の悪い空き家は撤去してその地区の外観が良くなるようにした方が活性化につながると思う。	1
健康・スポーツ関連の総合施設（プール必須）が必要	1
公園やサイクリングコース等の運動する場所	1
自然豊かな中で、安全な食べ物、水を自ら作ったり、手に入る事のアピール	1
日本で 1 番安全な県	1
町内外者がお金を落とす所がない	1
どこの地域でもけいたい電話が使える	1
他の町にない取り組み	1
市之瀬～大草間。早く	1
1～12 全部ですよ！	1
わからない	1
無回答	1
計	37

問 15 : 移住者の受け入れについて (SA)

「地域との協同を考慮しながら受け入れたい」、「積極的に受け入れるようにしたい」がそれぞれ 4 割程度であり、8 割以上が受け入れに肯定的な結果となっている。

平成 27 年調査と比較すると、受け入れに対して肯定的な回答がやや増加している。



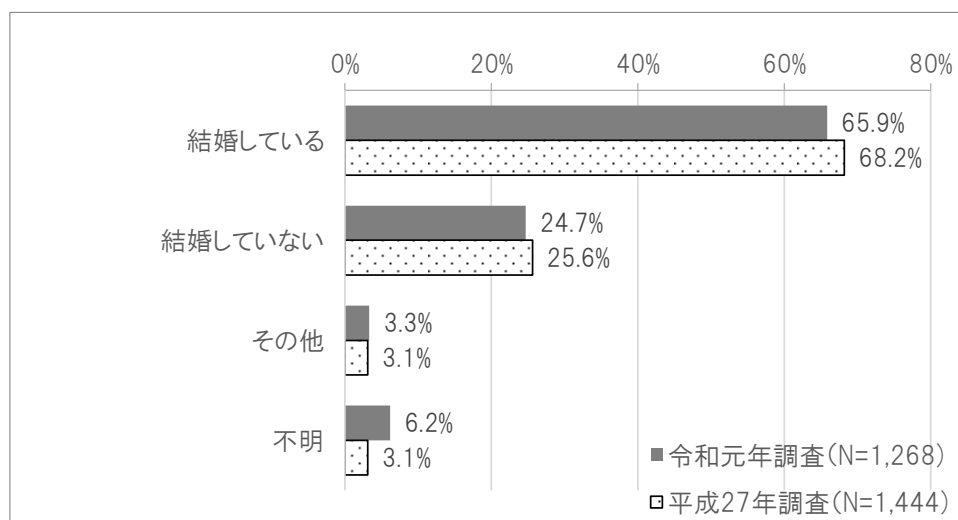
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
地域との協同を考慮しながら受け入れたい	509	40.1%	565	39.1%
積極的に受け入れるようにしたい	508	40.1%	533	36.9%
移住者とのコミュニケーションに不安がある	87	6.9%	118	8.2%
人柄が分からないので、受け入れたくない	34	2.7%	42	2.9%
近所に移住者がおり、活性化している。受け入れを進めたい	27	2.1%	55	3.8%
その他	16	1.3%	28	1.9%
不明	87	6.9%	103	7.1%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 15：その他	件数
プレ移住(マッチング)を可能にしなければならない	1
移住者の目的と受け入れ側の需要のマッチング	1
若い人が入って来るような事業であってほしい	1
ケースバイケース	1
そのために税金やらが高くなるのでは…しんどいのでなんとも言えない	1
転入者を選ぶ訳ではないので、どちらでもよい	1
人柄がわからないので不安	1
受け入れさいにはもう少しは生活が自立できる人をよく知らべてほしい	1
4 軒の移住者がありますがどの人も区には入らず地域の活動にも参加してくれません。町の方からも転入者に言葉かけしてもらいたいです	1
他県から全く知らない人が入って来る事を期待するより、現在住んでいる年寄り、子供達や親せきが、どうして出て行ってしまうのか考え、田舎の良さを感じ戻ってこれる様にする。	1
町の体制がなにもないのに移住者は来ない！	1
身延町に来たい人はいないでしょ？	1
わからない	4
無回答	1
計	17

※複数回答があったため表の回答者数と一致していません

問 16：結婚しているか（SA）

「結婚している」が 65.9%、「結婚していない」が 24.7%となっている。



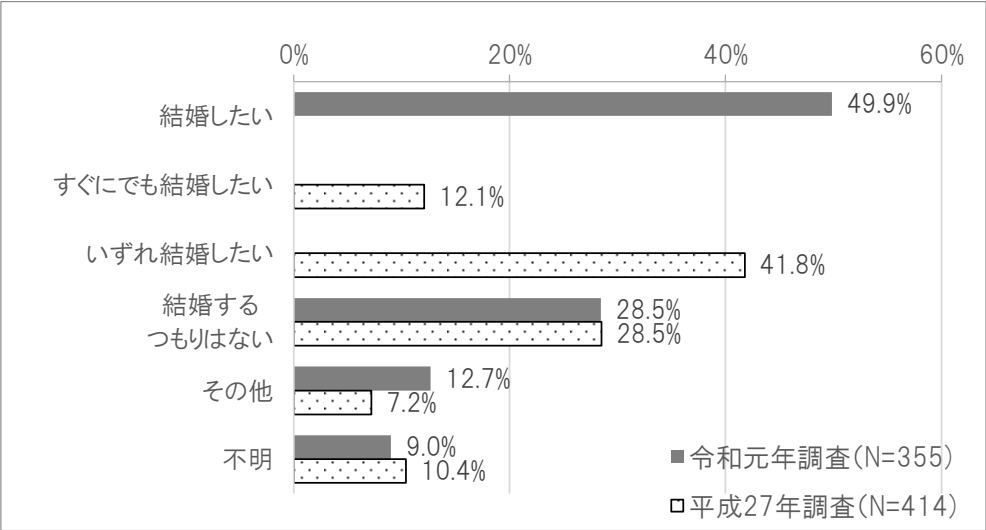
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
結婚している	835	65.9%	985	68.2%
結婚していない	313	24.7%	369	25.6%
その他	42	3.3%	45	3.1%
不明	78	6.2%	45	3.1%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 16：その他	件数
バツイチ	3
未亡人	2
離婚	2
結婚していた	1
死別	13
1人暮らし	1
今は1人	1
片親	1
無回答	18
計	42

問 16-①：将来結婚したいと思うか（SA）

「結婚していない」と回答した人に、結婚願望を聞いたところ、「結婚したい」が 49.9%に対し、「結婚するつもりはない」が 28.5%となっている。

平成 27 年調査では「結婚したい」（「すぐにでも結婚したい」「いずれ結婚したい」の合計）は 53.9%であり、「結婚したい」と回答した人の割合はやや減少している。

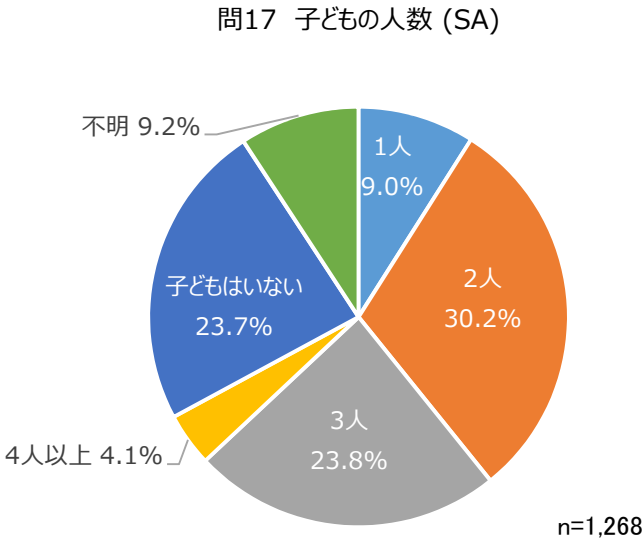


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
結婚したい(令和元年調査のみ)	177	49.9%	—	—
すぐにでも結婚したい(平成27年調査のみ)	—	—	50	12.1%
いずれ結婚したい(平成27年調査のみ)	—	—	173	41.8%
結婚するつもりはない	101	28.5%	118	28.5%
その他	45	12.7%	30	7.2%
不明	32	9.0%	43	10.4%
サンプル数	355	100.0%	414	100.0%

問 16-①：その他	件数
今後する予定	1
期会があれば…	1
出あいがあれば	1
出会いを待っている	1
良い人がいれば	1
家庭の状況による	1
子供が居るのでわからない	1
1、2 どちらともいえない	1
どちらでもない	1
どちらとも言えない	1
どちらともいえない、どちらでもいい	1
特に決めていない	1
高齢者のため	3
もう年が年なので期待できない	1
考えていない	1
つもりがない訳ではない	1
病気だから	1
平成 2 年妻他界、後 1 人	1
わからない	3
？	1
無回答	24
計	48

問 17：何人の子どもがいるか（SA）

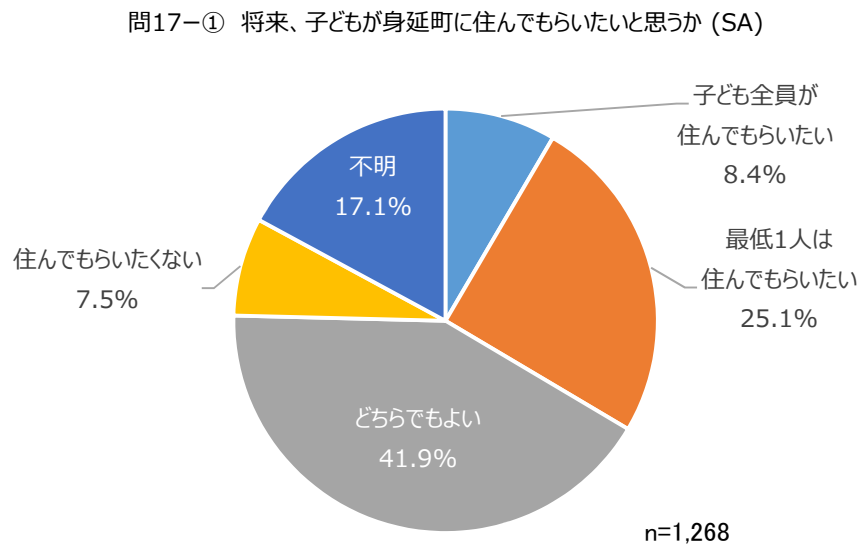
子どもの人数については、「2 人」が 30.2%と最も多く、「3 人」（23.8%）、「子どもはいない」（23.7%）と続いている。



	N	%
1 人	114	9.0%
2 人	383	30.2%
3 人	302	23.8%
4 人以上	52	4.1%
子どもはいない	300	23.7%
不明	117	9.2%
サンプル数	1,268	100.0%

問 17-①：将来、子どもが身延町に住んでもらいたいと思うか（SA）

「どちらでもよい」が 41.9%と最も多いが、「最低 1 人は住んでもらいたい」も 25.1%を占めている。



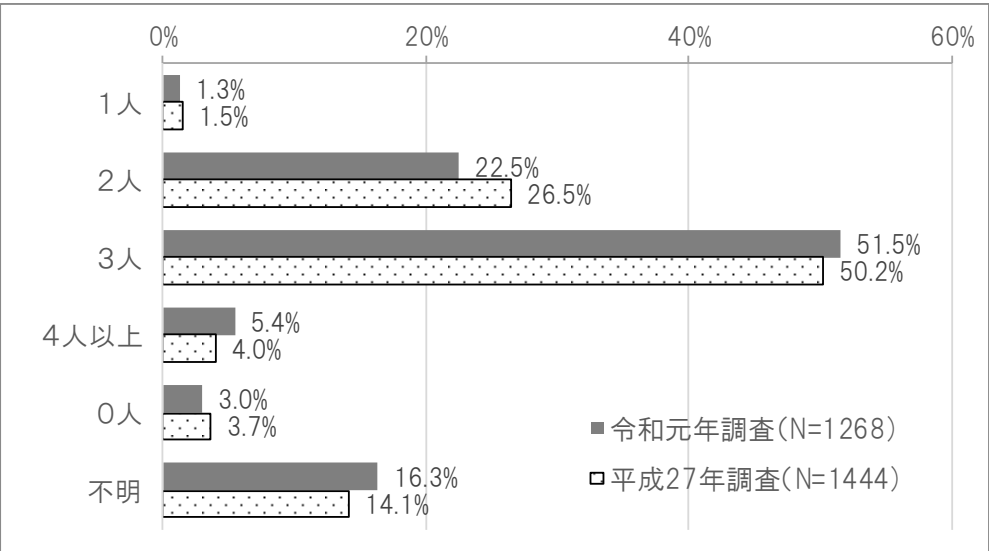
	N	%
子ども全員が住んでもらいたい	107	8.4%
最低 1 人は住んでもらいたい	318	25.1%
どちらでもよい	531	41.9%
住んでもらいたくない	95	7.5%
不明	217	17.1%
サンプル数	1,268	100.0%

問 17-②：子どもに身延町に住んでもらいたくない理由（FA）

問 17-②：子どもに身延町に住んでもらいたくない理由	件数
通学・生活などが不便	42
就職先がない	17
将来が不安	8
安心に暮らせない	7
人づきあいが煩わしい	6
選択肢が少ない	5
同年代の子どもが少ない	3
生活する費用が高い	2
自分が卒業した小学校・中学校に通わせなかった。	1
人口が多い所(自治体)に住んでもらいたい。	1
若者が居住できる環境に至っていないから	1

問 18：理想的な子どもの数（SA）

理想的な子どもの数については、「3 人」が半数を占め、次いで「2 人」が 22.5%、「4 人以上」が 5.4%と続いている。「1 人」はわずか 1.3%である。



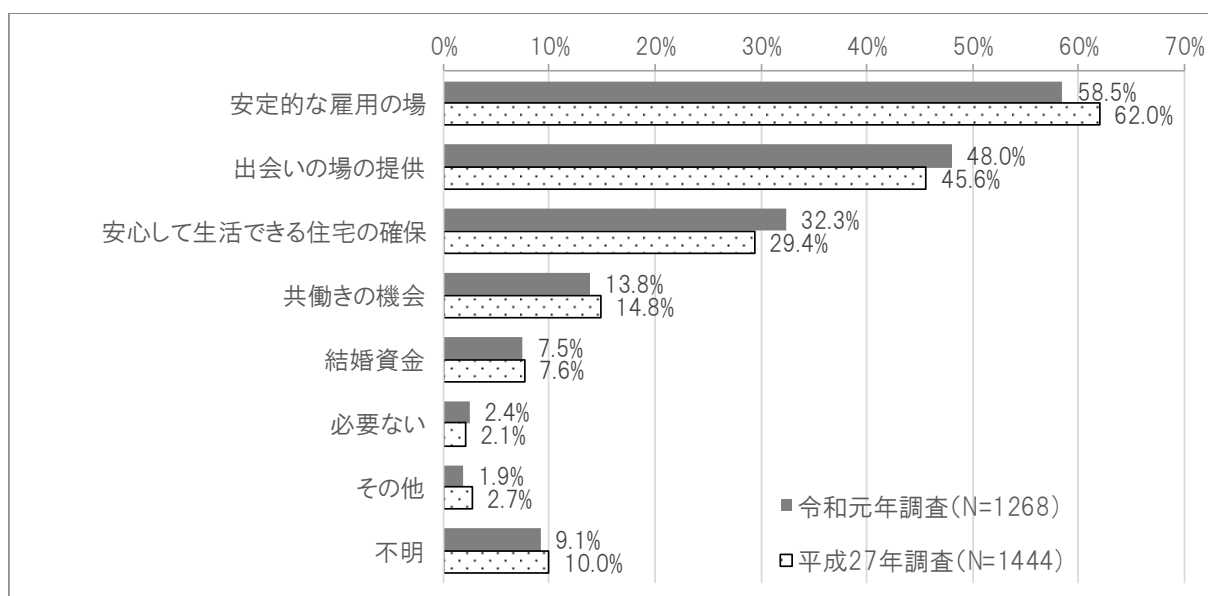
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
1人	16	1.3%	22	1.5%
2人	285	22.5%	382	26.5%
3人	653	51.5%	725	50.2%
4人以上	69	5.4%	58	4.0%
0人	38	3.0%	53	3.7%
不明	207	16.3%	204	14.1%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100.0%

問 18-① : 「1 人」「2 人」の理由 (FA)

問 18-① : 「1 人」「2 人」の理由	件数
経済的制約	118
兄弟がいたほうがよい	44
自分がそうだったから	9
男の子女の子がほしい	8
仕事との両立など時間的制約	7
高齢出産など身体的・体力的制約	6
人口維持	6
現実がそうだから	4
目が届く	2
多からず少なからず、先祖さんから預かったものは、次代に伝えたい。	1
婦人科まで行くのに不安を感じるので	1
教育の充実のために適切だと考えるため	1
町内での育児に不安。小児科がない。親が近くにいないればサポートしてくれる人もいない。ムリ。	1
3 人以上は無理、子どもの医療が充実していない。緊急時に近くに病院がない。	1
1 人は家業の継続 もう 1 人は自分の希望を实らせる	1

問 19：結婚を希望する未婚者に対する支援として重要だと思うもの（MA）

結婚を希望する未婚者に対する支援としては、「安定的な雇用場」が 58.5%と最も多く、次いで「出会いの場の提供」が 48.0%、「住宅の確保」が 32.3%と続いている。

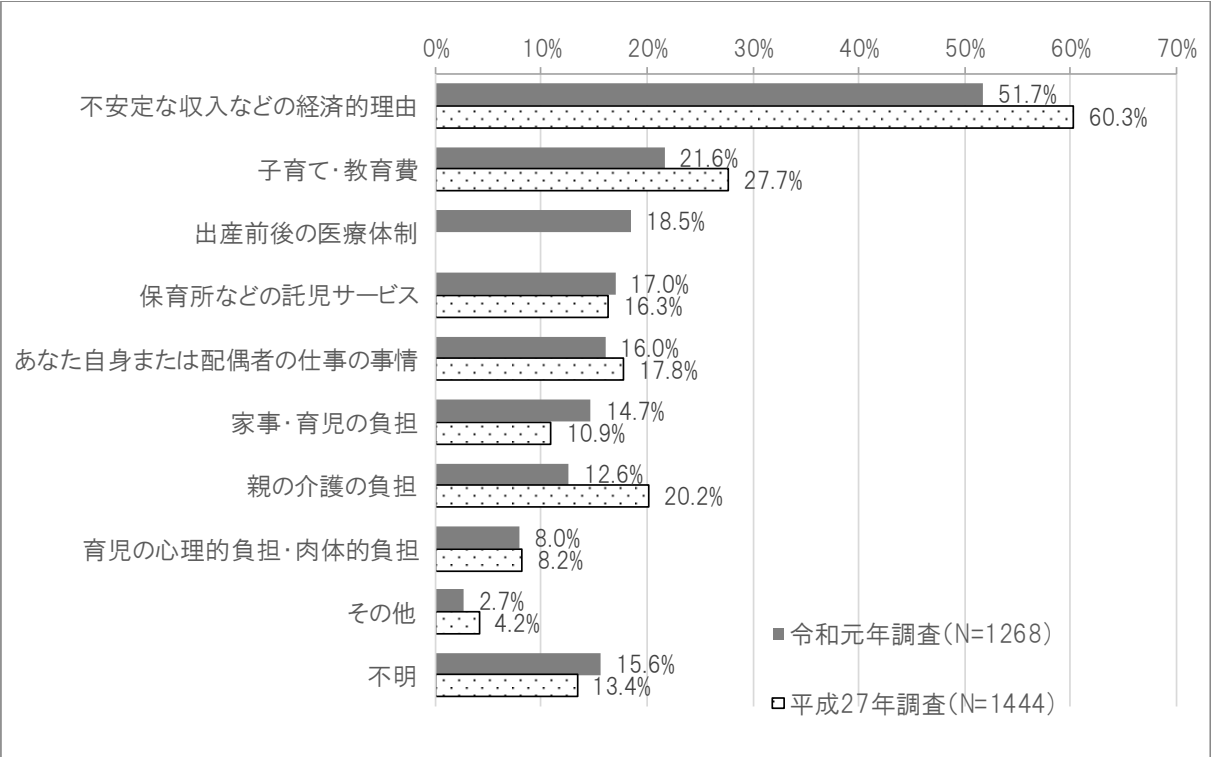


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
安定的な雇用場	742	58.5%	895	62.0%
出会いの場の提供	609	48.0%	659	45.6%
安心して生活できる住宅の確保	410	32.3%	424	29.4%
共働きの機会	175	13.8%	214	14.8%
結婚資金	95	7.5%	110	7.6%
必要ない	31	2.4%	30	2.1%
その他	24	1.9%	39	2.7%
不明	116	9.1%	144	10.0%
サンプル数	1,268	100%	1,444	100%

問 19：その他	件数
おせっかいなおばあさん	1
お見合（かたくるしくない）	1
結婚する事が当たり前の教育（子どもから）	1
結婚や子どもがいたほうがよいと思える税制の優遇	1
仕事を選べません	1
自立する力や生活力をつけられるような支援	1
住みたいと思う町づくり	1
生活する為の基本的なインフラ	1
生活の利便性（スーパーなど）	1
束縛と思い込み、すり込みからの解放	1
地域活性して若い人たちが参加しやすい地域づくり	1
地域の慣習、役割に巻き込まれない環境	1
保育園や小・中学校が自宅から徒歩で行ける距離にあること。	1
本人の前向きな気持	1
町がもっと魅力的にならないと	1
安い保育の充実した場所	1
無回答	8
計	24

問 20：結婚・子育てにとって、支障になること（MA）

結婚・子育てにとって支障となることは、「不安定な収入などの経済的理由」が約 5 割、「子育て・教育費」が 21.6%、「出産前後の医療体制」が 18.5%と続いている。

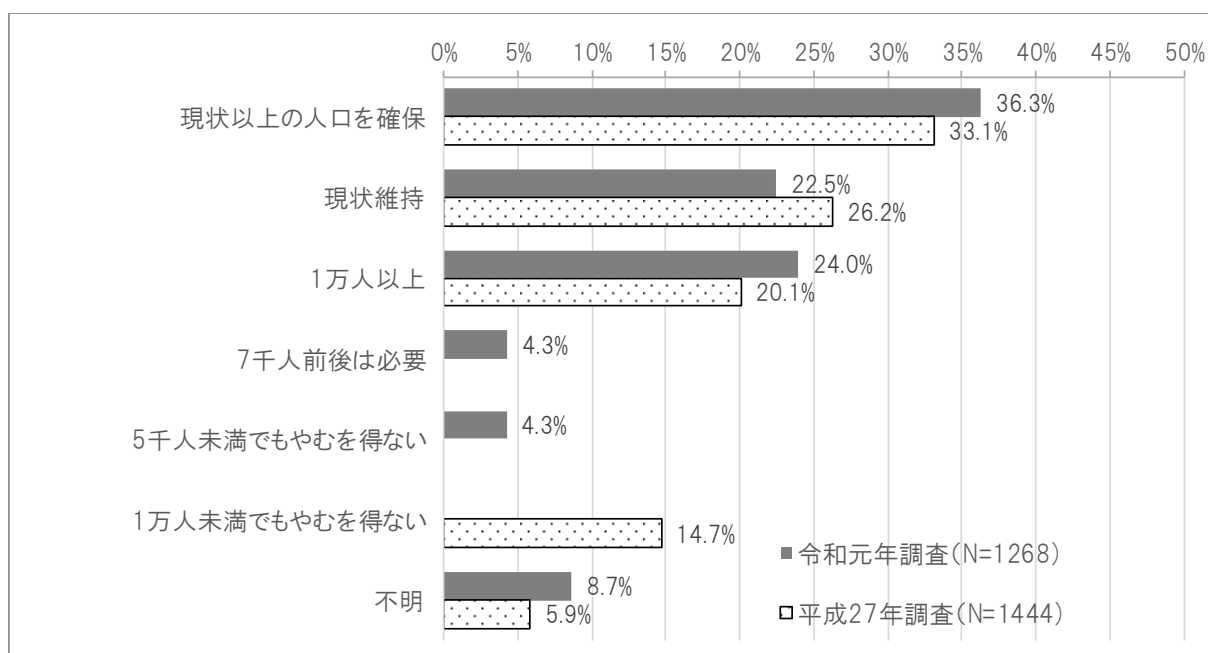


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
不安定な収入などの経済的理由	656	51.7%	871	60.3%
子育て・教育費	274	21.6%	400	27.7%
出産前後の医療体制	234	18.5%	—	—
保育所などの託児サービス	215	17.0%	236	16.3%
あなた自身または配偶者の仕事の事情	203	16.0%	257	17.8%
家事・育児の負担	186	14.7%	158	10.9%
親の介護の負担	160	12.6%	291	20.2%
育児の心理的負担・肉体的負担	101	8.0%	119	8.2%
その他	34	2.7%	60	4.2%
不明	198	15.6%	193	13.4%
サンプル数	1,268	100%	1,444	100%

問 20：その他	件数
医療機関（小児科）	1
産科・小児科が近くにあるか	1
町内で出産できない	1
病院や専門医が遠い	1
子育て費用などの支出	1
子育てをする中で、困った時の支援、手助け	1
児童相談所の身勝手な判断や行動	1
出産、子育てをするうえで、必要な物がすぐ手に入らない不便さ。そういうお店がない	1
共稼の場合子供をみてる家族（父母）がいない場合	1
学校が少ない遠いこと自体子育て環境が出来ていないと思う。	1
教育環境（統合により学校が遠く不便）	1
小中学校が近くにない	1
小中学校が身近にない。通学バスも時間的制約を受け不便	1
地域に学校がない	1
近くに学校がない	2
環境	1
交通の利便性	1
収入があれば他はなんとかかなと思う	1
将来への不安	1
住みづらさ	1
上記のほぼすべてだと思います	1
全部	1
他はない	1
わからない	1
無回答	9
計	34

問 21：町の活力を維持していくために必要な人口規模（SA）

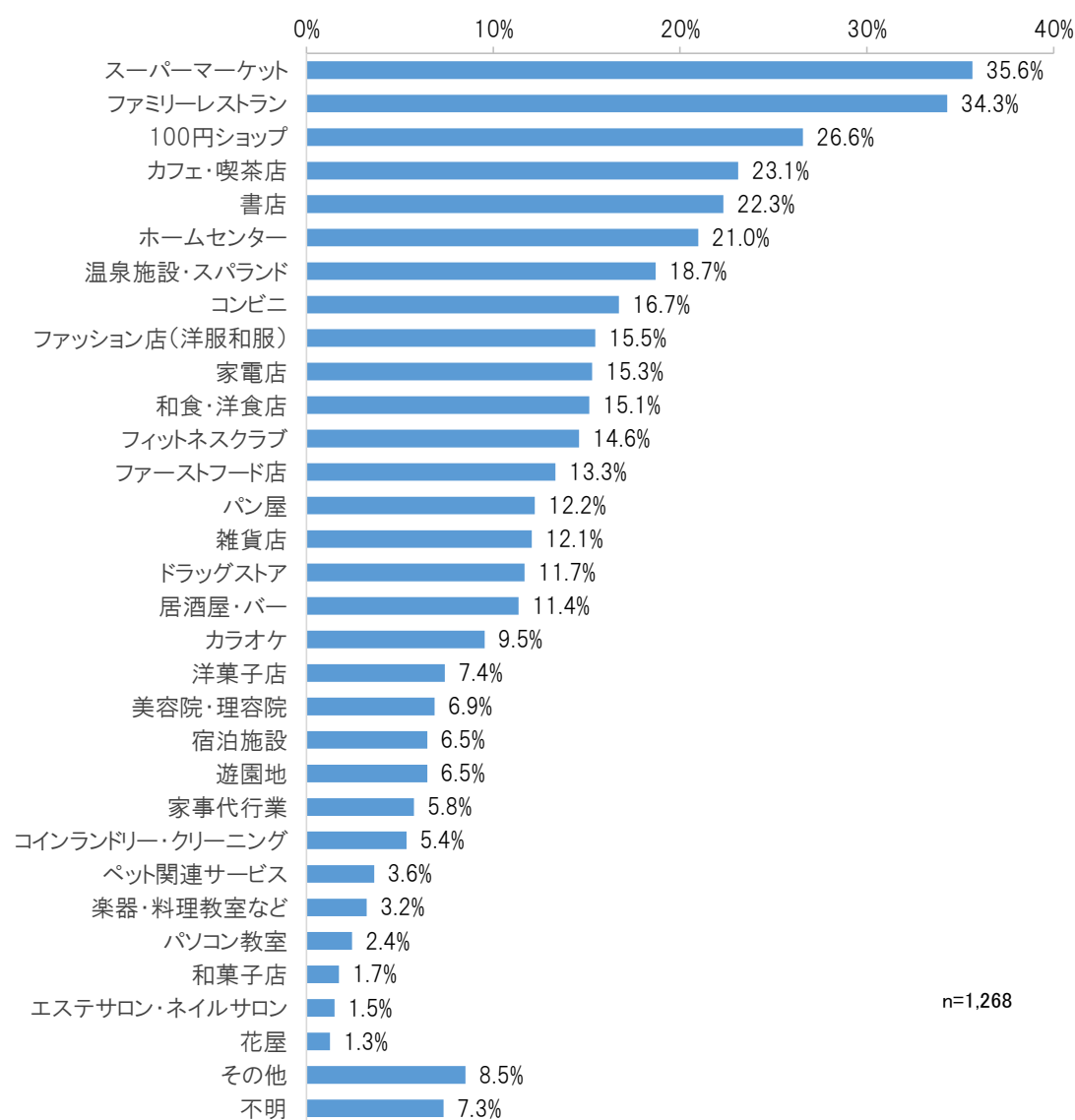
町の活力を維持していくために必要な人口規模については、「現状以上の人口を確保」が 36.3%と最も高く、次いで「現状維持」が 22.5%と、約 6 割が現状維持及びそれ以上の人口規模としている。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
現状以上の人口を確保	460	36.3%	478	33.1%
現状維持	285	22.5%	379	26.2%
1万人以上	304	24.0%	290	20.1%
7千人前後は必要(令和元年調査のみ)	55	4.3%	—	—
5千人未満でもやむを得ない(令和元年調査のみ)	54	4.3%	—	—
1万人未満でもやむを得ない(平成27年調査のみ)	—	—	212	14.7%
不明	110	8.7%	85	5.9%
サンプル数	1,268	100.0%	1,444	100%

問 22：身延町にあったらよい、もしくは、増えたらよいと思う店舗・サービス（MA）

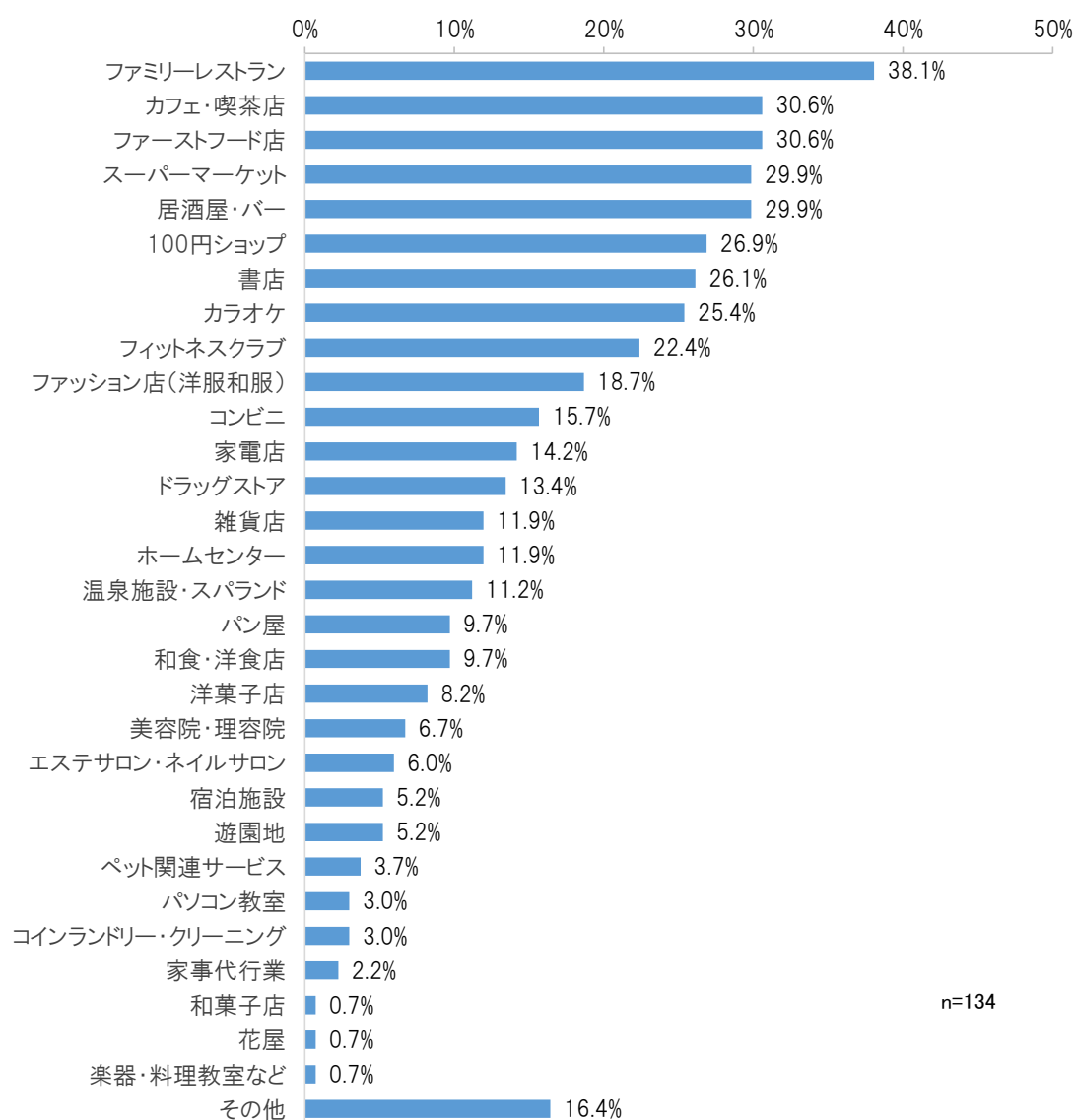
「スーパーマーケット」が 35.6%と最も多く、「ファミリーレストラン」（34.3%）、「100 円ショップ」（26.6%）、「カフェ・喫茶店」（23.1%）、「書店」（22.3%）が続いている。



	N	%
100 円ショップ	337	26.6%
ドラッグストア	148	11.7%
洋菓子店	94	7.4%
和菓子店	22	1.7%
書店	283	22.3%
雑貨店	153	12.1%
ファッション店（洋服和服）	196	15.5%
花屋	16	1.3%
コンビニ	212	16.7%
スーパーマーケット	452	35.6%
家電店	194	15.3%
カフェ・喫茶店	293	23.1%
ホームセンター	266	21.0%
パン屋	155	12.2%
和食・洋食店	192	15.1%
カラオケ	121	9.5%
居酒屋・バー	144	11.4%
ファーストフード店	169	13.3%
ファミリーレストラン	435	34.3%
パソコン教室	31	2.4%
楽器・料理教室など	41	3.2%
家事代行業	73	5.8%
ペット関連サービス	46	3.6%
美容院・理容院	87	6.9%
フィットネスクラブ	185	14.6%
エステサロン・ネイルサロン	19	1.5%
宿泊施設	82	6.5%
遊園地	82	6.5%
温泉施設・スパランド	237	18.7%
コインランドリー・クリーニング	68	5.4%
その他	108	8.5%
不明	93	7.3%
サンプル数	1,268	100.0%

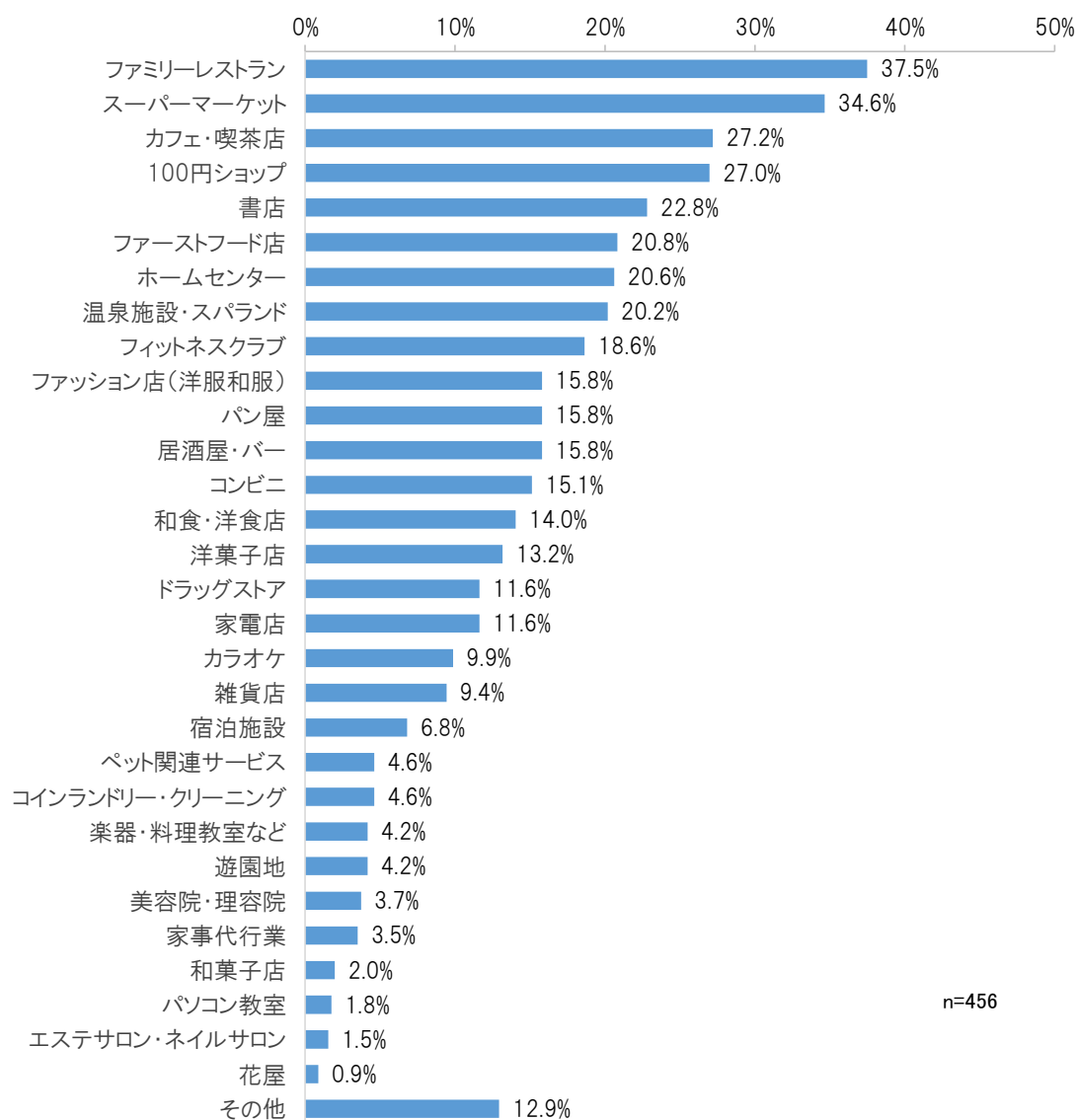
【10・20 歳代】

回答者の年代別に見ると、10・20 歳代では「ファミリーレストラン」が 38.1%と最も多く、「カフェ・喫茶店」(30.6%)、「ファーストフード店」(30.6%)、「スーパーマーケット」(29.9%)、「居酒屋・バー」(29.9%)が続いている。



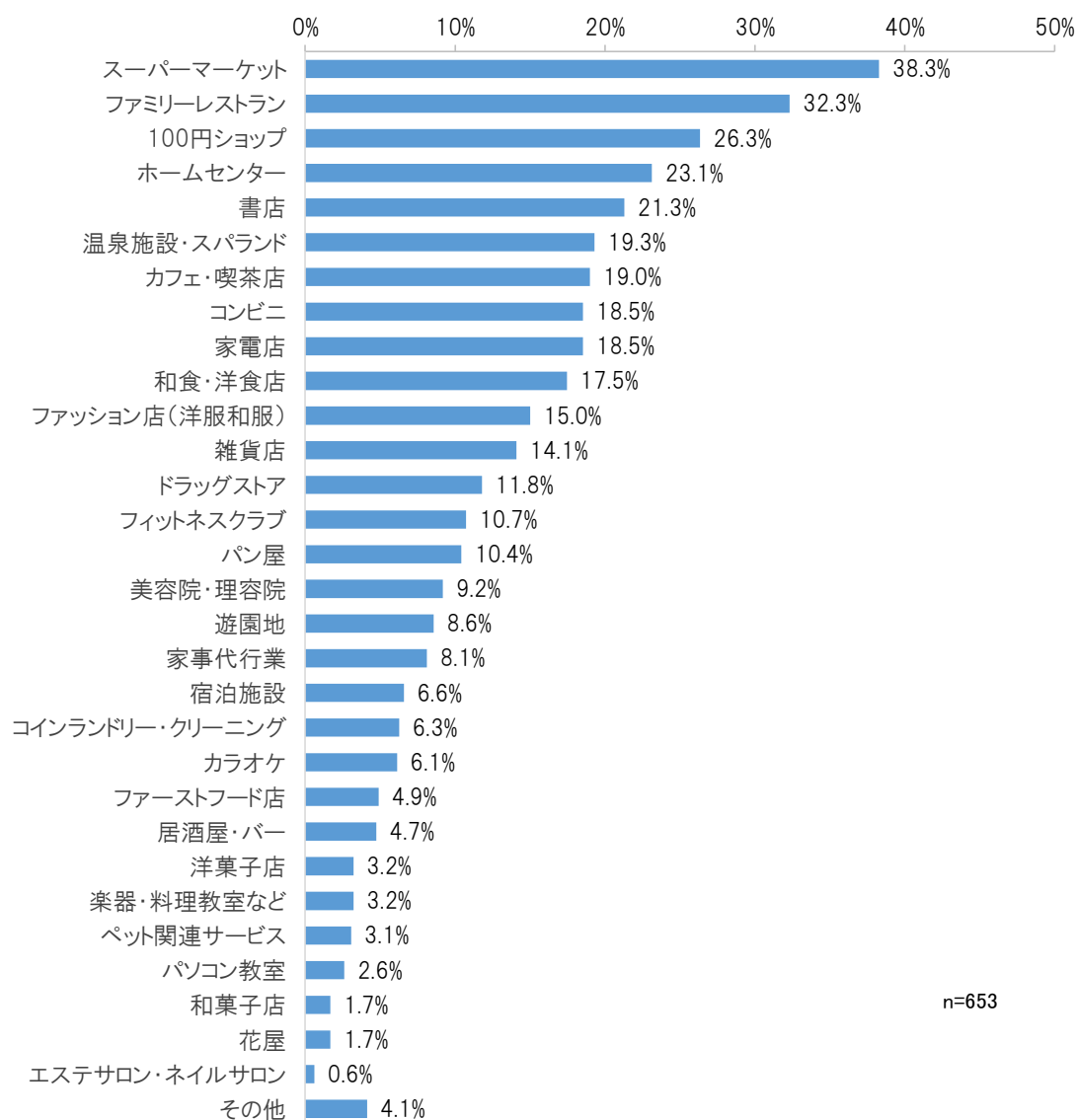
【30～50 歳代】

30～50 歳代では「ファミリーレストラン」が 37.5%と最も多く、「スーパーマーケット」（34.6%）、「カフェ・喫茶店」（27.2%）、「100 円ショップ」（27.0%）、「書店」（22.8%）が続いている。



【60 歳代以上】

60 歳代以上では「スーパーマーケット」が 38.3%と最も多く、「ファミリーレストラン」(32.3%)、「100 円ショップ」(26.3%)、「ホームセンター」(23.1%)、「書店」(21.3%)が続いている。



【10・20 歳代】

【30～50 歳代】

【60 歳代以上】

	N	%		N	%		N	%
ファミリーレストラン	51	38.1%	ファミリーレストラン	171	37.5%	スーパーマーケット	250	38.3%
カフェ・喫茶店	41	30.6%	スーパーマーケット	158	34.6%	ファミリーレストラン	211	32.3%
ファーストフード店	41	30.6%	カフェ・喫茶店	124	27.2%	100円ショップ	172	26.3%
スーパーマーケット	40	29.9%	100円ショップ	123	27.0%	ホームセンター	151	23.1%
居酒屋・バー	40	29.9%	書店	104	22.8%	書店	139	21.3%
100円ショップ	36	26.9%	ファーストフード店	95	20.8%	温泉施設・スパランド	126	19.3%
書店	35	26.1%	ホームセンター	94	20.6%	カフェ・喫茶店	124	19.0%
カラオケ	34	25.4%	温泉施設・スパランド	92	20.2%	コンビニ	121	18.5%
フィットネスクラブ	30	22.4%	フィットネスクラブ	85	18.6%	家電店	121	18.5%
ファッション店(洋服和服)	25	18.7%	ファッション店(洋服和服)	72	15.8%	和食・洋食店	114	17.5%
コンビニ	21	15.7%	パン屋	72	15.8%	ファッション店(洋服和服)	98	15.0%
家電店	19	14.2%	居酒屋・バー	72	15.8%	雑貨店	92	14.1%
ドラッグストア	18	13.4%	コンビニ	69	15.1%	ドラッグストア	77	11.8%
雑貨店	16	11.9%	和食・洋食店	64	14.0%	フィットネスクラブ	70	10.7%
ホームセンター	16	11.9%	洋菓子店	60	13.2%	パン屋	68	10.4%
温泉施設・スパランド	15	11.2%	ドラッグストア	53	11.6%	美容院・理容院	60	9.2%
パン屋	13	9.7%	家電店	53	11.6%	遊園地	56	8.6%
和食・洋食店	13	9.7%	カラオケ	45	9.9%	家事代行業	53	8.1%
洋菓子店	11	8.2%	雑貨店	43	9.4%	宿泊施設	43	6.6%
美容院・理容院	9	6.7%	宿泊施設	31	6.8%	コインランドリー・クリーニング	41	6.3%
エステサロン・ネイルサロン	8	6.0%	ペット関連サービス	21	4.6%	カラオケ	40	6.1%
宿泊施設	7	5.2%	コインランドリー・クリーニング	21	4.6%	ファーストフード店	32	4.9%
遊園地	7	5.2%	楽器・料理教室など	19	4.2%	居酒屋・バー	31	4.7%
ペット関連サービス	5	3.7%	遊園地	19	4.2%	洋菓子店	21	3.2%
パソコン教室	4	3.0%	美容院・理容院	17	3.7%	楽器・料理教室など	21	3.2%
コインランドリー・クリーニング	4	3.0%	家事代行業	16	3.5%	ペット関連サービス	20	3.1%
家事代行業	3	2.2%	和菓子店	9	2.0%	パソコン教室	17	2.6%
和菓子店	1	0.7%	パソコン教室	8	1.8%	和菓子店	11	1.7%
花屋	1	0.7%	エステサロン・ネイルサロン	7	1.5%	花屋	11	1.7%
楽器・料理教室など	1	0.7%	花屋	4	0.9%	エステサロン・ネイルサロン	4	0.6%
その他	22	16.4%	その他	59	12.9%	その他	27	4.1%
サンプル数	134	100.0%	サンプル数	456	100.0%	サンプル数	653	100.0%

問 22：その他	件数
ショッピングセンター	1
ショッピングモール	1
総合ショッピングモール	1
大型のショッピングセンター	1
大型商業施設	1
デパート	1
アウトレット	3
イオン・イオンモール	3
コストコ、IKEA とか土地が必要なもの	1
コストコ	1
ローソンストア 1 0 0	1
一般的 商店	1
なんでもあるスーパー	1
食糧品店	1
商店街	1
ホームセンター	1
DVD、CD 等レンタルショップ	1
レンタルビデオ店（ゲオやつたやなど）	1
タワレコ	1
アニメ・グッズ関係	1
カーショップ、バイクショップ	1
楽器店	1
家電等の修理店	1
靴屋	1
リサイクルショップ（買い取り）	1
子ども用品店	1
フリーマーケット	1
ガソリンスタンド	2
日曜日も営業しているガソリンスタンド	1
宝くじ売場	2
居酒屋	1
回転寿司	2
牛丼屋	1
ファミレス	1
ゆばを食べられる所	1
こども、おとな食堂（みんなでつくって食べる）	1
地産地消のカフェやレストラン	1
キャンプ場	1
キャンプ場、アドベンチャー施設（ジップライン）など	1
キャンプ場等アウトドア施設	1
公園	2
公園。ウォーキング道路。人の交流できる場所	1
スポーツジム	2
町のスポーツジム	1

問 22：その他	件数
スポーツセンター	1
スポーツ施設	1
25.も含め、室内プールを設置した総合的スポーツ施設	1
広大な場所に広い海のようなプール	1
プール	3
ゴルフ練習場	1
サイクリングコース	1
ボクシングができる場所、施設	1
娯楽施設	1
ゲームセンターなど娯楽施設	1
アミューズメント施設。卓球・ボーリングなど	1
モータースポーツ施設	1
子ども連れて遊べる施設	1
遊園地	1
室内遊園地	1
化学館	1
塾	2
学習塾（英会話）	1
英会話教室	2
教育	1
運転代行	3
土、日、祝日でせめて夜 7 時ごろ迄運営するのりあいタクシーなどがあると良い。	1
タクシーなど交通機関	1
店までの交通手段が必要。車がなければどこにも行けない。	1
病院・個人病院	3
病院など医療施設	1
小児科のある病院	1
歯科医院	2
動物病院	1
産婦人科・小児科の有る HP	1
デイサービス	1
介護サービス	1
代行サービス	1
銀行	1
ATM	1
菰崎の二コリの様なところ	1
余暇を利用した農業、その指導サポート	1
ペット可住宅	1
自衛隊	1
wi-fi スポット・ネットが使える所	2
下部駅前土地への近代的な温泉施設の新設は絶対必要。必ず当たる。	1
町民の方は何かができても、町外でお金を落とすようなので、上記からは選べません。あえて地元の方がいいというなら介ゴや見回りなど高齢者向けのものの充実でしょうか。	1
基本、個人店ではなく大手量販店に限ります	1
県内外から遊びにくるお客様がたのしめる場所	1
身延町にはないものばかりでほとんどあったらよいと思う	1

問 22：その他	件数
身延町といっても広いのでどこにあるかが問題	1
1～30 までのものがあれば住みやすい。定住したいと思えるとは思わない。	1
買物も出きません。不便所で	1
身の丈でよい	1
現状でよい	1
必要な店舗はやや揃っている	1
全てネットや車移動で充ぶん出来るので特になし。	1
現状の人口ならほぼ手の届くところにあると思う。必要以上に増やすことはない。	1
とくになし	2
無回答	4
計	122

問 23：身延町内または町外で頻繁に行くところとイベント（FA）

【行くところ：身延町内】

問 23：身延町内	件数
セルバ	159
富士川クラフトパーク	97
コンビニエンスストア	72
スーパーマーケット	70
サンロード	58
オギノキャロット	37
コメリ	36
身延山	30
ローソン	21
図書館	21
ドラッグストア	20
身延町総合文化会館	20
ホームセンター	15
病院	15
セブンイレブン	9
温泉施設	9
マツモトキヨシ	8
飲食店	7
身延町立図書館	7
食料品店	6
フレスポみのぶ	6
なかとみ和紙の里	6
身延山久遠寺	6
児童館	5
西嶋	5
ガソリンスタンド	4
富士川カントリークラブ	4
本栖湖	4
薬局	4
下山	4
買い物	3
居酒屋	3
コインランドリー	3
道の駅	3
銀行	3
職場	3
JA 中富直売所	2
サンドラッグ	2
美容院	2
スポーツ施設	2

問 23：身延町内	件数
下部温泉	2
下部温泉会館	2
門野の湯	2
ゆばの里	2
郵便局	2
飯富病院	2
身延山病院	2
体育館	2
飯富	2
飯富の商業施設	2
梅平	2
一般的商店	1
店	1
地元の野菜売り場	1
角打	1
あまんど	1
華宴	1
カフェレストラン ファミュー	1
丸一食堂	1
衣料品点	1
クリーニング店	1
ドコモショップ	1
花屋	1
中富自動車整備工場	1
グラウンドゴルフ場	1
ジム	1
相又のゲートボール場	1
遅沢のパークゴルフ場	1
町営温泉	1
パチンコ	1
みのぶ富士川観光センター	1
旧下部小	1
旧下部中学校	1
本栖高校	1
御廟所	1
常幸院	1
日朝堂	1
菩提梯	1
寺	1
大野山	1
飯富の病院	1
身延町病院	1
下部リハビリ病院	1
歯医者	1
会社	1

問 23：身延町内	件数
バイト先	1
農地	1
身延駅	1
役場	1
下部公民館	1
中富総合会館	1
西嶋公民館	1
中富すこやかセンター	1
福祉センター	1
市ノ瀬体育館	1
遅沢スポーツ広場	1
保育園	1
飯富へ買い物	1
旧身延町内	1
切石	1
久那土	1
田富方面	1
波木井	1
富士川	1
八日市場	1

【行くところ：身延町外】

問 23：身延町外	件数
イオン	114
スーパーマーケット	57
イオンモール	40
ホームセンター	34
飲食店	34
イオンモール甲府昭和	30
オギノ	28
富士川町	23
ラザウォーク	19
温泉施設	19
東京都	16
甲府	15
病院	14
フォレストモール	13
昭和町	12
ショッピングモール	10
イトーヨーカドー	10
フォレストモール富士川	10
カインズ	10
書店	10
甲府市	10
ザ・ビッグ	9
映画館	9
くろがねや	8
衣料品店	8
100 円ショップ	8
増穂	8
市川三郷町	8
大型商業施設	7
ファミリーレストラン	7
デパート	6
ショッピングセンター	6
食料品店	6
トライアル	6
コンビニエンスストア	6
ドラッグストア	6
買い物	5
オギノ富士川店	5
カラオケ	5
道の駅	5
道の駅富士川	5
中央市	5
昭和	5
富士宮市	5

問 23：身延町外	件数
大型スーパーマーケット	4
富士川町のスーパーマーケット	4
美容院	4
スポーツジム	4
河口湖	4
北斗市	4
静岡	4
商業施設	3
Aコープ	3
イオンタウン	3
リバーサイド	3
しまむら	3
西松屋	3
TSUTAYA	3
ダイソー	3
ファーストフード店	3
小瀬スポーツ公園	3
スパランド	3
つむぎの湯	3
美術館	3
山梨県立県民文化ホール	3
南アルプス市	3
岡島	3
静岡県	3
神奈川県	3
アウトレット	2
イオンモール富士宮	2
ザ・ビッグ 甲西店	2
南アルプス市のビッグ	2
カインズホーム	2
ニトリ	2
ユニクロ	2
楽器店	2
大型書店	2
スポーツ用品店	2
花屋	2
公園	2
アルカディア南部総合公園	2
韮崎中央公園	2
スポーツ施設	2
フィットネスクラブ	2
ゴルフ練習場	2
テーマパーク	2
パチンコ	2
ボウリング場	2

問 23：身延町外	件数
まほらの湯	2
みたまの湯	2
甲府方面	2
田富	2
富士川	2
富士吉田市	2
甲西町	2
南部	2
静岡方面	2
ずいひつ会	2
駅ビル	1
酒類販売店	1
直売所	1
市場	1
甲府のデパート	1
Aコープ 栄店富士見屋	1
JA いーなとうぶ	1
JA 南アルプス	1
イオン甲府	1
甲府のイオン	1
清水市のイオン	1
イトーヨーカドー甲府昭和店	1
オギノキャロット南部店	1
オギノ田富店	1
オギノリバーサイド	1
中央市のオギノ	1
増穂のオギノ	1
セルバ	1
セルバ 市川三郷店	1
トライアル南アルプス店	1
ザ・ビッグ 櫛形店	1
ザ・ビッグ白根店	1
フレスポ富士川	1
リバーシティショッピングセンター	1
田富リバーサイド	1
四季新鮮収穫広場 た・から	1
業務用スーパー	1
昭和町のスーパーマーケット	1
富士川町食品センター	1
増穂のショッピングセンター	1
増穂のスーパーマーケット	1
南部町商店街	1
セブンイレブン	1
日用品店	1
カインズ甲西店	1

問 23：身延町外	件数
コメリハード&グリーン	1
コメリハード&グリーン南部店	1
市川三郷町のホームセンター	1
ケーズデンキ	1
家電店	1
甲府市内電気店	1
赤ちゃん本舗	1
万代書店	1
ゲオ	1
南アルプス市の TSUTAYA	1
スポーツデポ	1
1000 円の美理容店	1
美容室エイム	1
甲府の美容院	1
一般的商店	1
パン屋	1
甲府市内の飯食店	1
昭和の飯食店	1
喫茶店	1
スターバックス	1
居酒屋	1
スポーツ公園	1
小瀬武道館	1
白根中央公園	1
ドラゴンパーク	1
六郷の里ニードスポーツセンター	1
市民プール	1
Kai・遊・パーク	1
沼津のスカッシュコート（スプラッシュスポーツクラブ）	1
サッカークラブ	1
サッカーの応援	1
カラオケスタジアム	1
グラウンドゴルフ場	1
ゲームセンター	1
ゴルフ場	1
動物園	1
物産展	1
ライブハウス	1
ラウンドワン	1
ゆるキャン△関連イベント	1
ウインズ石和	1
宝くじ売場	1
日帰り温泉	1
健康ランド	1
スーパー銭湯	1

問 23：身延町外	件数
風呂屋	1
石和温泉	1
川野の湯	1
甲府の温泉	1
南部の湯	1
早川町の温泉	1
やまなみの湯	1
湯殿館	1
道の駅とよとみ	1
道の駅みのぶ富士川観光センター	1
富士吉田みちの駅	1
宝道の駅	1
双葉農の駅	1
八ヶ岳	1
山中湖	1
山地	1
大村美術館	1
山梨県立美術館	1
山梨県立博物館	1
甲府の博物館	1
図書館	1
甲府県立図書館	1
富士川町 ますほ文化ホール	1
市川三郷町の児童館	1
山梨市老人ホーム	1
銀行	1
複合施設	1
甲府昭和	1
小瀬	1
甲府駅	1
甲府へ買い物	1
山梨市	1
櫛形	1
峡西	1
田富方面	1
田富町	1
中央市へ買い物	1
甲西町へ買い物	1
早川町の畑	1
北斗市方面	1
増穂へ買い物	1
甲斐市	1
市川	1
南部町	1
石和	1

問 23：身延町外	件数
岡嶋	1
とよとみ	1
県外	1
静岡県静岡市清水区	1
静岡県清水市	1
御殿場	1
伊豆方面	1
静岡方面富士	1
富士	1
長野県松本市	1
長野県原村	1
長野などでのコンサート	1
長野などの商業施設	1
東京方面	1
横浜	1
箱根	1
関東方面	1
関東～関西	1
大阪	1
東海方面	1
海外	1
海外旅行	1
会社	1
アドバンスト	1
イスボット	1
スパ	1
ブルーアース	1
同好会	1
東洋医学会館	1
パソコン教室	1

【イベント：身延町内】

問 23：身延町内	件数
みのぶまつり	53
富士川クラフトパークのイベント	34
身延町総合文化会館のイベント	19
お祭り	11
コンサート	9
峡南の夏まつり	7
身延山御会式万灯行列	6
身延町総合文化会館の文化祭	6
富士川クラフトパークのお祭り	5
図書館のイベント	5
西嶋和紙まつり	4
身延山御会式	4
地元のお祭り	3
下部みそ蔵出しまつり	3
初詣	3
体操教室	3
身延町内のお祭り	2
地区のお祭り	2
一色ホテルまつり	2
バラまつり	2
わんぱく祭り	2
下山愛宕祭典煙火大会	2
身延山関連	2
西嶋のイルミネーション	2
イルミネーション	2
ゆるキャン△関連イベント	2
美術館	2
町が行うイベント	2
身延町総合文化会館のコンサート	2
愛育会	2
児童館のイベント	2
あけぼの大豆産地フェア	1
あけぼの大豆収穫祭開催	1
地域のお祭り	1
秋まつり	1
沢奥のお祭り	1
下山のまつり	1
西嶋の秋祭り	1
とよおか夏まつり	1
親子ふれあいまつり	1
花火大会	1
身延山朝勤	1
久遠寺朝謹	1
身延山久遠寺御会式	1

問 23：身延町内	件数
身延山の行事	1
身延山の初詣	1
身延山豆まき	1
身延山講座	1
身延山久遠寺のお祭り	1
身延山久遠寺開闢会御入山行列	1
久遠寺の法要	1
醍醐山を愛する会の醍醐山一斉登山	1
富士川クラフトパークの子供祭り	1
富士川クラフトパークのバラ祭り	1
金山でのイベント	1
下部味噌作り体験イベント	1
なかとみ和紙の里のイベント	1
道の駅しもべのイベント	1
道の駅のイベント	1
ゆるキャンの下部小中キャンプ	1
旧下部小・中学校でのイベント	1
音楽会	1
自衛隊のコンサート	1
路上ライブ	1
ヤマダバンドのコンサート	1
歌の発表会	1
ジュニアコーラス	1
蔡倫書道展	1
現代工芸館の展示	1
美術館などの企画展	1
芸能発表	1
公開講座	1
趣味の教室	1
読書会	1
朗読会	1
子育て系	1
ベビー教室	1
弓道行事	1
身延スポーツ少年団の柔道	1
孫のスポーツイベント	1
花見	1
花見会場	1
桜の頃	1
花の観賞	1
町の行事	1
町で主宰するコンサート	1
身延町すこやかクラブ	1
中富総合会館のイベント	1
中富学級	1

問 23 : 身延町内	件数
下部地区公民館の体操とフォークダンス	1
下部支所のニコニコ健康クラブ	1
地区の文化祭	1
地元の行事	1
敬老会のイベント	1

【イベント：身延町外】

問 23：身延町外	件数
コンサート・ライブ	37
花火大会	15
市川三郷町 神明の花火大会	13
お祭り	10
南部の火祭り	8
サッカー観戦	7
映画鑑賞	6
県民文化ホールでの催し	5
美術展・展覧会	5
物産展	5
ゴルフ大会	4
クラフトイベント	4
マルシェ	4
アイメッセのイベント	3
イオンでのイベント	3
道の駅富士川のイベント	3
観劇	3
演奏会	3
アイドルのコンサートやイベント	3
骨董市	3
フードイベント	3
買い物	3
南部町だけのこまつり	2
甲府駅北口のイベント	2
甲府駅北口よっちゃばれ広場のイベント	2
スポーツ観戦	2
フリーマーケット	2
デパートの物産展	2
朝市	2
旅行	2
家族の行事	2
フェス	2
各地のお祭り	1
公園のお祭り	1
信玄公祭り	1
大法師さくら祭り	1
とうもろこし収穫祭	1
ビールまつり	1
ワインまつり	1
南部町あじさい祭り	1
富士川町 富士川まつり	1
南アルプス早川山菜まつり	1
昭和町のお祭り	1
台ヶ原宿のお祭り	1

問 23：身延町外	件数
富士宮市のお祭り	1
収穫祭	1
農業収穫祭	1
各地区の農産物収穫祭	1
小瀬スポーツ公園	1
小瀬スポーツ公園体育館	1
小瀬スポーツ公園のサッカー	1
小瀬スポーツ公園の野球	1
小瀬でのスポーツ観戦	1
JA ふじかわのイベント	1
県民の日の行事	1
道の駅なんぶのイベント	1
道の駅めぐり	1
清里などでのイベント	1
富士山麓のイベント	1
富士川町の朝市	1
県外でのイベント	1
東京でのイベント	1
長野県でのりんご他のイベント	1
スポーツ大会	1
大相撲観戦	1
弓道行事	1
サッカー	1
Jリーグ	1
柔道の月次審査	1
ジョギング	1
富士スピードウェイのスーパーGT	1
Mt.富士ヒルクライム	1
野球観戦	1
ヨガ教室	1
舞台	1
書道展	1
県立美術館	1
サブカルチャー等のイベント	1
ダンスパーティー	1
ディズニー	1
刀剣乱舞関係	1
のみの市	1
車のイベント	1
車の展示会	1
展示会	1
デパート等のイベント	1
お酒が飲めるイベント	1
ラーメンフェス	1
山梨ラーメングランプリ	1

問 23：身延町外	件数
自然観察会	1
花見	1
花めぐり	1
庭園めぐり	1
韮崎中央公園内のミニ SL	1
収穫体験	1
体験型イベント	1
子供向けイベント	1
ハイハイレース	1
有名人が来るイベント	1
季節行事	1
クリスマスイルミネーション	1
観光	1
ボランティア	1
学習会	1
講演会	1
講習会	1
甲府でのセミナー	1
田富でのカルチャー教室	1
習い事	1
発表会	1
フラワーアレンジメント	1
山梨県立男女共同参画推進センター	1
文学館	1
化学館	1
つむぎの湯の敬老会	1

問 24：あなたが思う身延町の名所と特産品（FA）

【名所】

問 24：名所	件数
身延山	1,274
下部温泉郷	989
山梨県富士川クラフトパーク	667
身延山久遠寺	560
本栖湖	249
なかとみ和紙の里	163
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	101
七面山	42
みのぶ自然の里	32
西嶋イルミネーション	27
身延山のしだれ桜	22
木喰の里微笑館	22
みのぶ ゆばの里	22
本栖湖からの富士山	21
「ゆるキャン△」の聖地	20
身延山久遠寺奥之院	19
温泉	14
身延山久遠寺のしだれ桜	12
ほたるの里	12
なかとみ現代工芸美術館	12
しだれ桜	10
一色のホテル	10
句碑の里	9
身延山ロープウェイ	8
山梨県富士川クラフトパーク内 富士川・切り絵の森美術館	8
湯之奥金山	8
道の駅みのぶ	7
富士五湖	6
自然	6
身延町総合文化会館	6
大野山本遠寺	5
毛無山	5
富士山	5
富士見山	5
富士川	5
道の駅しもべ	5
本栖湖のキャンプ場	4
大野山	4
しょうにん通り	4
木喰	3

問 24 : 名所	件数
醍醐山	3
波木井山	3
富士川の景色	3
桜	3
ホテル	3
国道 300 号	3
身延山久遠寺御草庵跡	2
大聖寺の蓮の花	2
木喰仏	2
宿坊	2
門西家住宅	2
下部	2
富士川カントリークラブ	2
キャンプ場	2
身延駅	2
道の駅	2
身延山内宿坊	1
身延山の節分	1
身延山のムササビ	1
身延山門前町	1
身延山周辺	1
身延山久遠寺菩提梯	1
身延山久遠寺・山内宿坊	1
身延山御会式	1
大野山本遠寺「お万の様の墓」	1
大聖寺	1
大聖寺の木造不動明王坐像	1
上沢寺	1
慈観寺	1
龍雲寺	1
上沢寺のさかさ銀杏	1
大本堂	1
七面山奥之院	1
七面山敬慎院	1
常幸院	1
南松院	1
行学院覚林坊日朝堂	1
奥の院のダイヤモンド富士	1
鬼子母神堂	1
鏡円坊	1
鏡円坊の桜	1
木喰上人生誕地	1
武田氏関連の場所	1
下部地区の溪流	1
下部リバーサイドパーク	1

問 24 : 名所	件数
七面山からの日の出	1
七面山より見る富士	1
三方文山	1
身延のスカイツリー醍醐山	1
波耕山	1
山梨百名山	1
富士山から出る朝日	1
ダイヤモンド富士	1
南アルプス	1
蛾ヶ岳	1
安部峠	1
富士川沿いの桜並木	1
アカショウビンの繁殖地	1
ハコネサンショウウオの繁殖地	1
桜並木	1
町内の桜のきれいな所	1
各桜の名所	1
大野しだれ桜	1
下山工業団地の桜	1
県道帯金付近の桜	1
寺平の桜並木	1
塩之沢駅のライトアップ	1
しだれざくらの里	1
一色のホタルまつり	1
宮木のほたる	1
各地の紅葉	1
早川の紅葉	1
甲州いろは坂	1
景色	1
トレッキング	1
ヤマメつり	1
身延町湯之奥	1
博物館	1
富士川ふるさと工芸館	1
美術館	1
西嶋の和紙の工場めぐり	1
西嶋和紙 それぞれの工房	1
西嶋の手漉き紙処	1
下山大工	1
身延駅前	1
身延駅前通り	1
富嶽三十六景	1
県道市川三郷身延線	1
県道山保久那土線	1
大城梅ヶ島林道	1

問 24 : 名所	件数
飯富	1
飯富のローソンから見える河むこうのがけ	1
梅平	1
西嶋	1
西嶋、峡南橋付近の朝霧	1
西山	1
身延町	1
町内にある隠れた名所	1

【特産品】

問 24：特産品	件数
あけぼの大豆	740
ゆば	664
みのぶまんじゅう	385
和紙	165
西嶋和紙	98
大豆	66
味噌	52
竹炭	51
椎茸	45
南天	22
下部味噌	18
みのぶゆば	18
ヤマメ	16
あけぼの大豆の味噌	12
かくし最中	9
まんじゅう	7
五大のゆば	6
ミネラルウォーター	6
あけぼの大豆の枝豆	5
あけぼの大豆の豆腐	5
あけぼの大豆のゆば	5
豆腐	5
たけのこ	5
米	5
印鑑	5
ゆるきやん関連商品	5
野菜	4
枝豆	3
大豆製品	3
大島農林産物直売所のコロッケ	3
ゆず	3
茶	3
下部温泉まんじゅう	3
南天のど飴	3
木桩	3
豆もち	2
道の駅の味噌	2
梅	2
小梅	2
甲州小梅	2
水	2
温泉水	2
下部温泉ミネラルウォーター	2
ほうとう	2

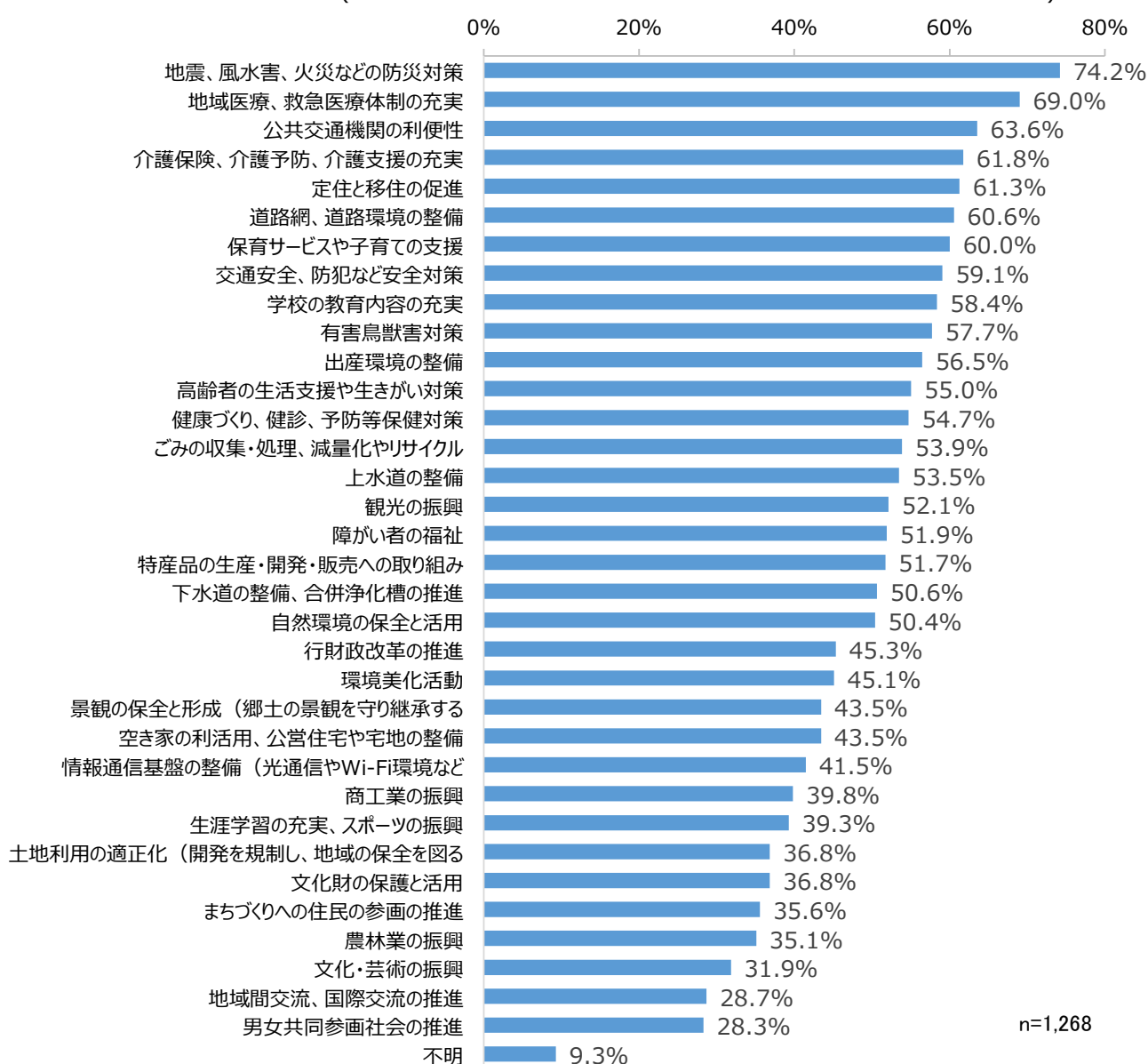
問 24：特産品	件数
かやあめ	2
兜もなか	2
桜	2
印鑑ケース	2
手漉き和紙	2
なかとみ和紙	2
砂金	2
数珠	2
あけぼの大豆のお赤飯	1
あけぼの大豆のきな粉	1
あけぼの大豆のきな粉あめ	1
あけぼの大豆シューマイ	1
あけぼの大豆シューマイとうふ	1
あけぼの大豆の加工品	1
あけぼの大豆関係	1
あけぼの大豆など	1
豆乳ソフトクリーム	1
市之瀬の味噌	1
金山味噌	1
手作り味噌	1
ゆばソフト	1
ゆば子ちゃんコロッケ	1
うどん	1
かき	1
きのこ	1
きやらぶき	1
こんにやくいも	1
干し椎茸	1
身延椎茸	1
フキ	1
山菜	1
その他の野菜	1
農作物全般	1
農産物	1
自宅でそれぞれの人が作る野菜	1
フルーツ	1
柿	1
ぶどう	1
桃	1
自家製こしひかり	1
昆布茶	1
鮎	1
川魚	1
ヤマメの甘露煮	1
ジビエ	1

問 24：特産品	件数
ミネラルウォーター信玄	1
富士山の雪どけ水	1
うどん	1
身延そば	1
おざら	1
たきこみごはん	1
温泉水ほうとう	1
かぼちゃのほうとう	1
蕎麦鶏丼	1
馬鹿丼	1
いもようかん	1
かじか寮のパン	1
くりせんべい	1
しもべまんじゅう	1
最中	1
身延羊羹	1
南天あめ	1
栄屋のかりんとうまんじゅう	1
栄屋の水まんじゅう	1
堺屋の水まんじゅう	1
しだれ桜	1
桜に関するもの	1
紅葉	1
ヤマユリ	1
竹	1
竹製品	1
竹炭加工品	1
のし入れ	1
切絵	1
絵手紙	1
木工品	1
仏具	1
身延山のおみやげ	1
身延山門内のパワーストーン	1

問 25：今後のまちづくりにおける、取り組みの重要度（それぞれについて SA）

特に重要だと思う取り組みは、「地震、風水害、火災などの防災対策」が74.2%と最も高く、次いで「地域医療、救急医療体制の充実」（69.0%）、「公共交通機関の利便性」（63.6%）、「介護保険、介護予防、介護支援の充実」（61.8%）、「定住と移住の促進」（61.3%）である。一方、低い順では、「男女共同参画社会の推進」が28.3%と最も低く、次いで「地域間交流、国際交流の推進」、「文化・芸術の振興」、「農林業の振興」、「まちづくりへの住民参加の推進」である。

問25 特に重要だと思う項目（それぞれについて重要かどうかをSAで質問し、重要という回答が多い順に並べた）

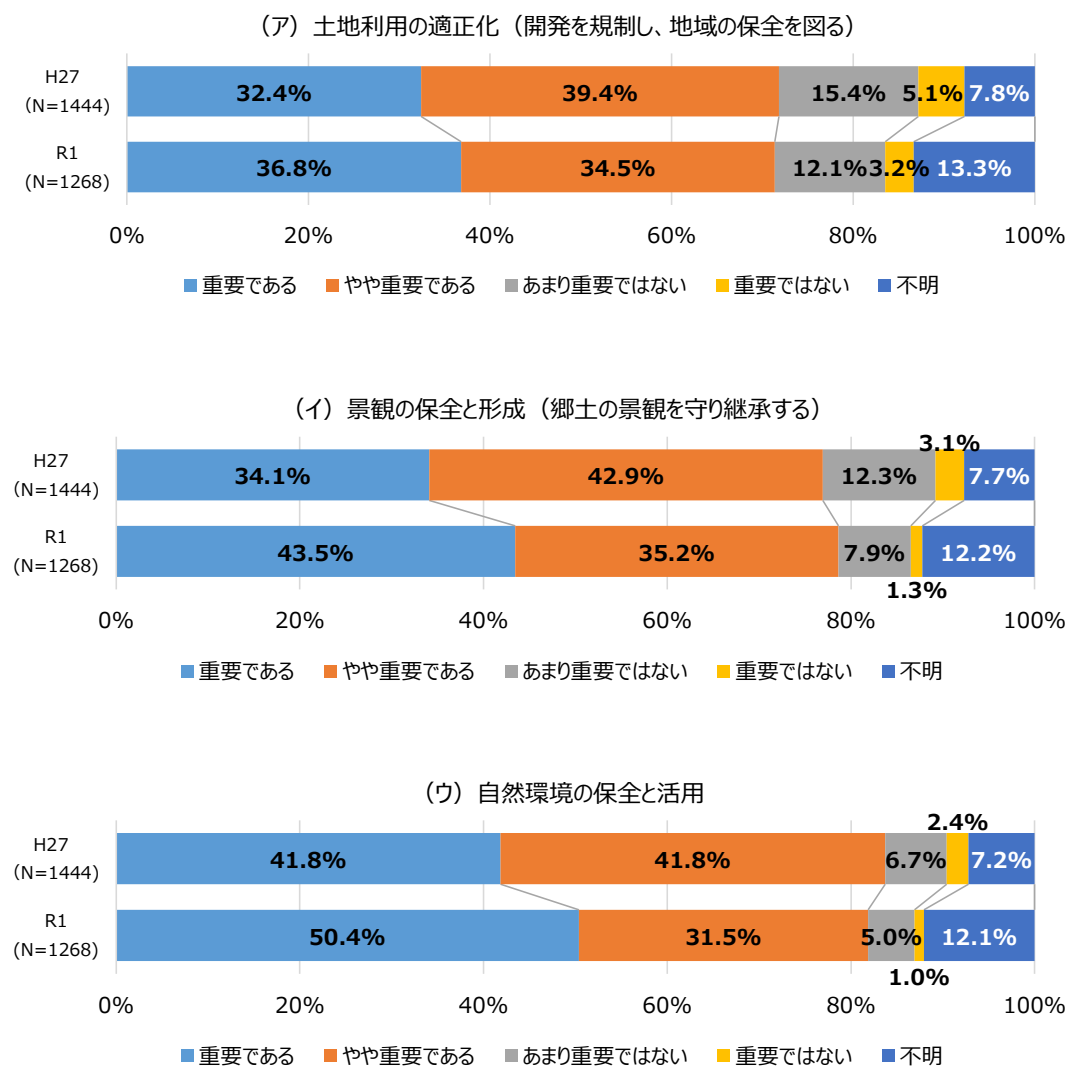


	N	%
地震、風水害、火災などの防災対策	941	74.2%
地域医療、救急医療体制の充実	875	69.0%
公共交通機関の利便性	806	63.6%
介護保険、介護予防、介護支援の充実	783	61.8%
定住と移住の促進	777	61.3%
道路網、道路環境の整備	768	60.6%
保育サービスや子育ての支援	761	60.0%
交通安全、防犯など安全対策	749	59.1%
学校の教育内容の充実	740	58.4%
有害鳥獣害対策	732	57.7%
出産環境の整備	716	56.5%
高齢者の生活支援や生きがい対策	698	55.0%
健康づくり、健診、予防等保健対策	694	54.7%
ごみの収集・処理、減量化やリサイクル	683	53.9%
上水道の整備	678	53.5%
観光の振興	661	52.1%
障がい者の福祉	658	51.9%
特産品の生産・開発・販売への取り組み	656	51.7%
下水道の整備、合併浄化槽の推進	642	50.6%
自然環境の保全と活用	639	50.4%
行財政改革の推進	575	45.3%
環境美化活動	572	45.1%
景観の保全と形成(郷土の景観を守り継承する	551	43.5%
空き家の利活用、公営住宅や宅地の整備	551	43.5%
情報通信基盤の整備(光通信やWi-Fi環境など	526	41.5%
商工業の振興	505	39.8%
生涯学習の充実、スポーツの振興	498	39.3%
土地利用の適正化(開発を規制し、地域の保全を図る	467	36.8%
文化財の保護と活用	467	36.8%
まちづくりへの住民の参画の推進	451	35.6%
農林業の振興	445	35.1%
文化・芸術の振興	404	31.9%
地域間交流、国際交流の推進	364	28.7%
男女共同参画社会の推進	359	28.3%
不明	118	9.3%
サンプル数	1,268	100%

以下、分野ごとに平成 27 年調査と比較する。

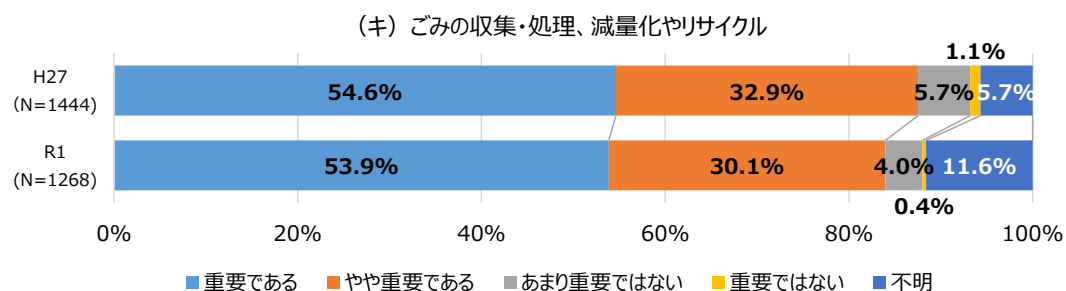
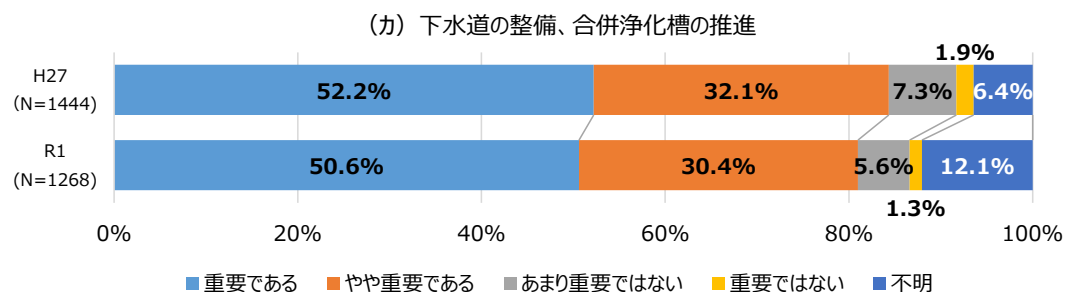
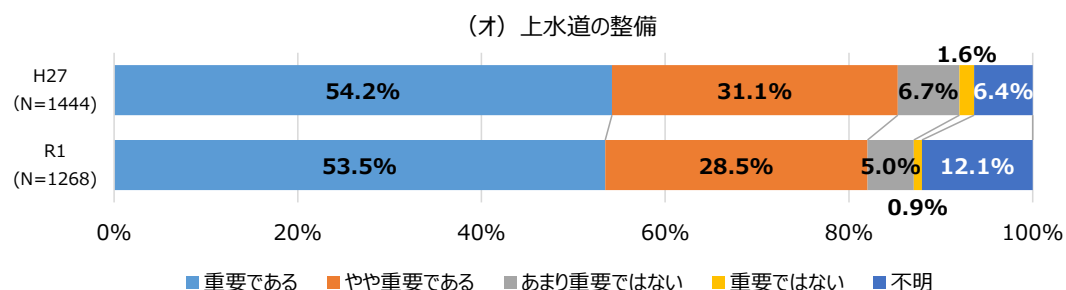
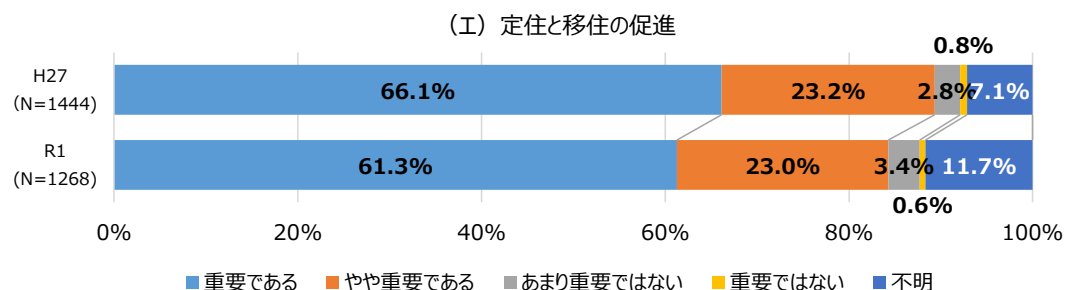
【土地・自然環境】

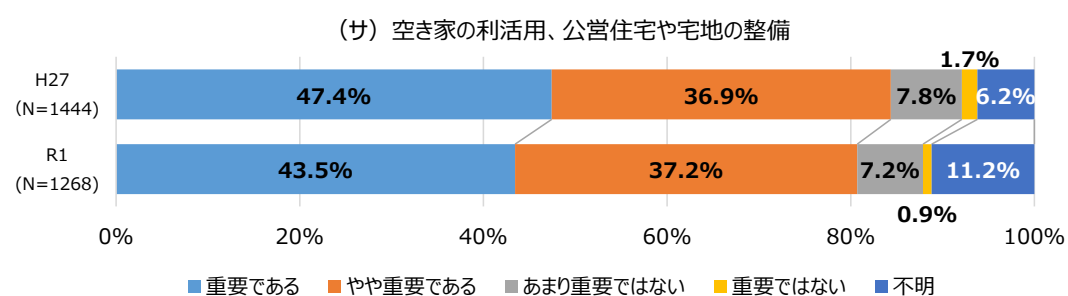
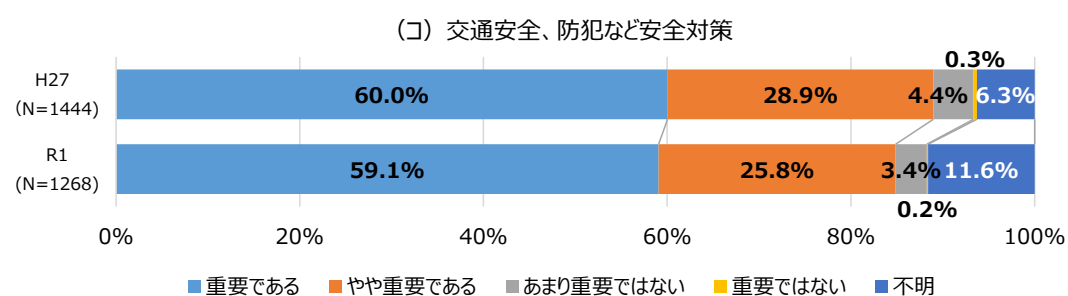
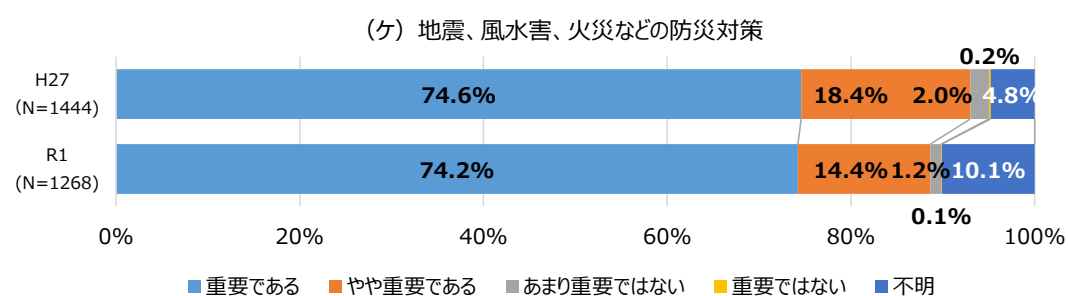
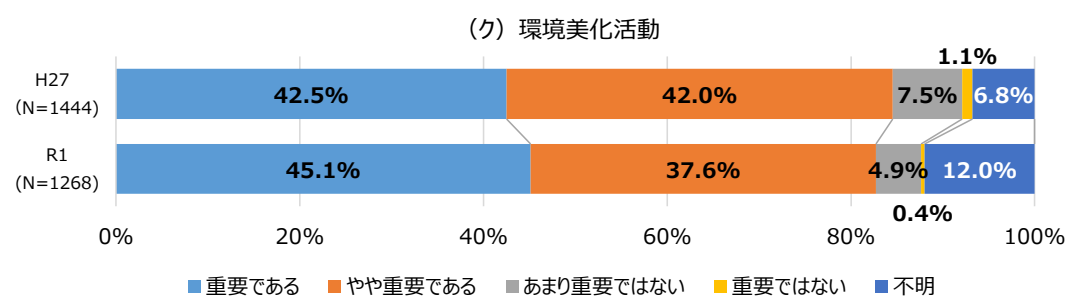
令和元年調査では、「土地利用の適正化」「景観の保全と形成」「自然環境の保全と活用」いずれも、「重要である」が多くなっている。



【暮らし】

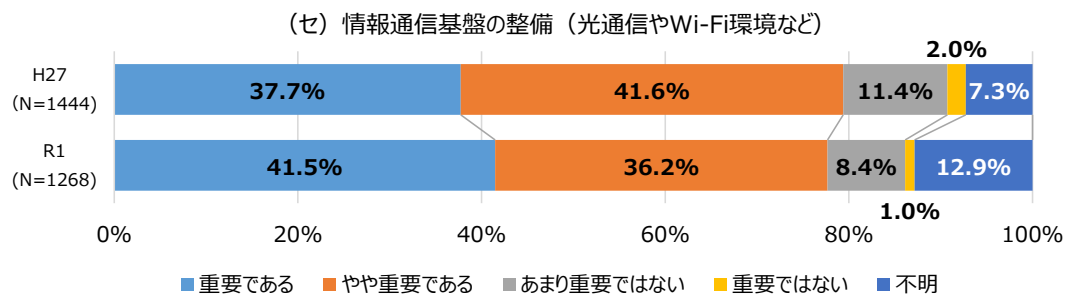
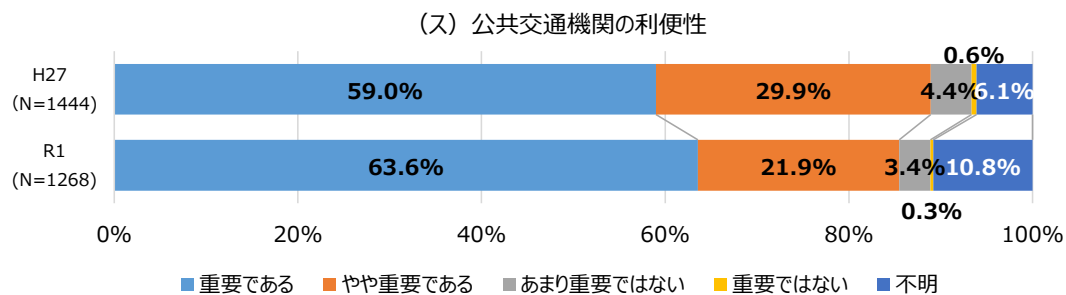
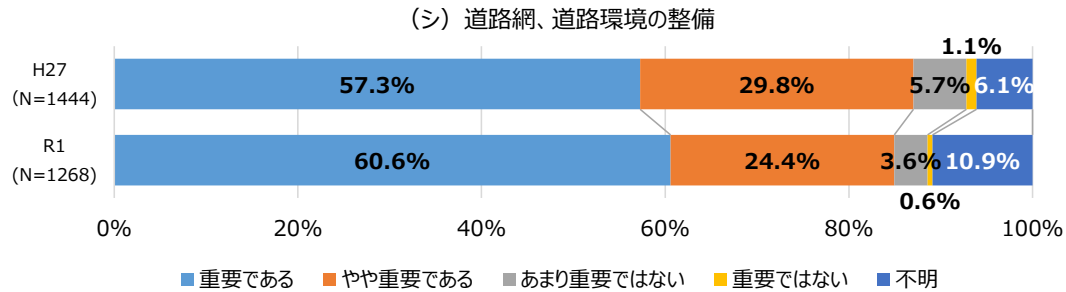
経年変化は大きくないが、令和元年調査では、「環境美化活動」で「重要である」がやや多くなっている。





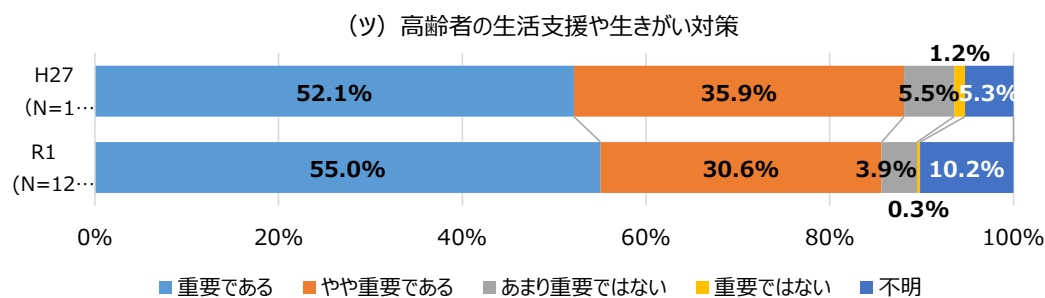
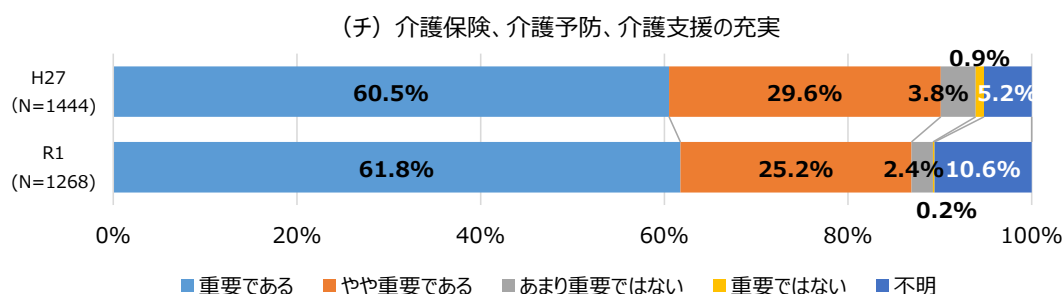
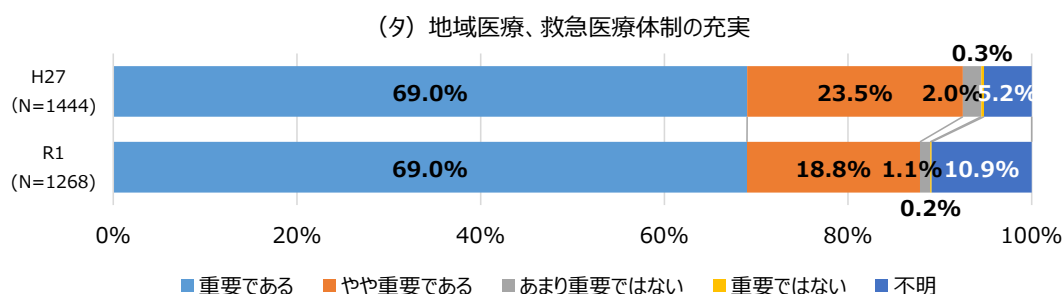
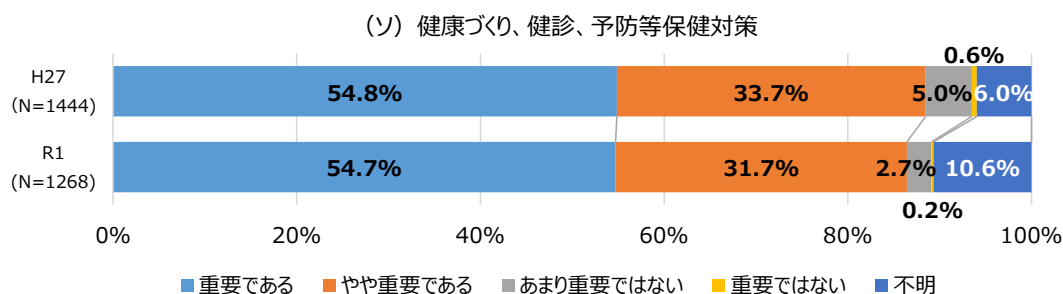
【交通・通信】

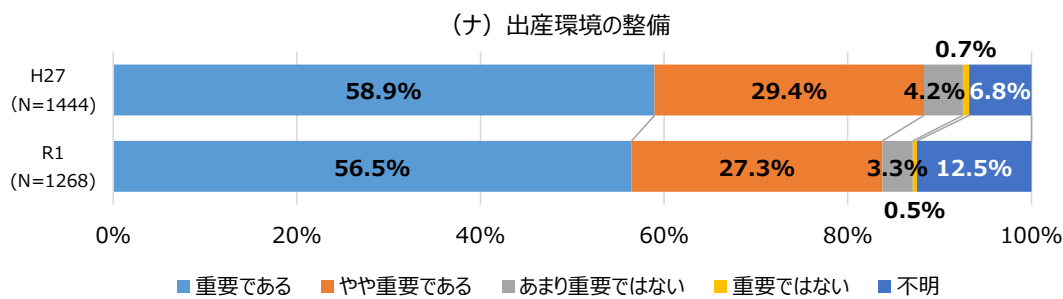
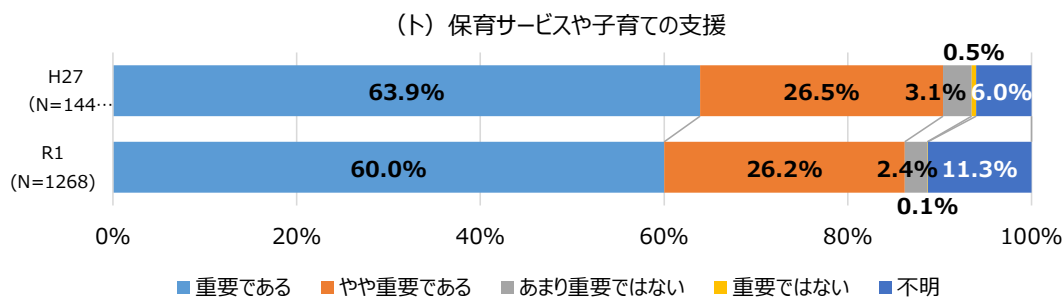
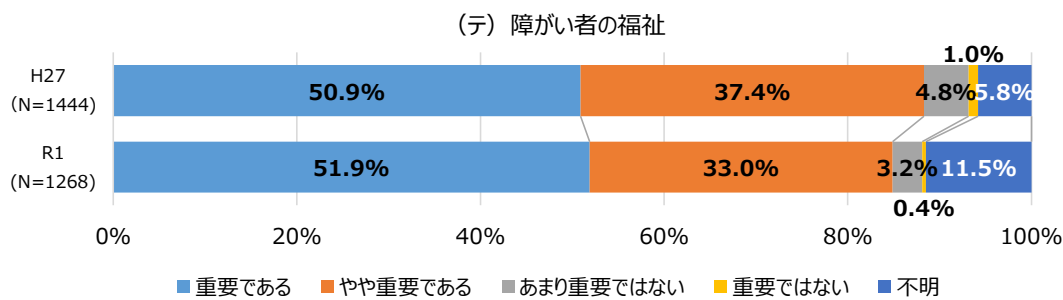
令和元年調査では、「道路網、道路環境の整備」「公共交通機関の利便性」「情報通信基盤の整備」いずれも、「重要である」が多くなっている。



【保健・医療・福祉】

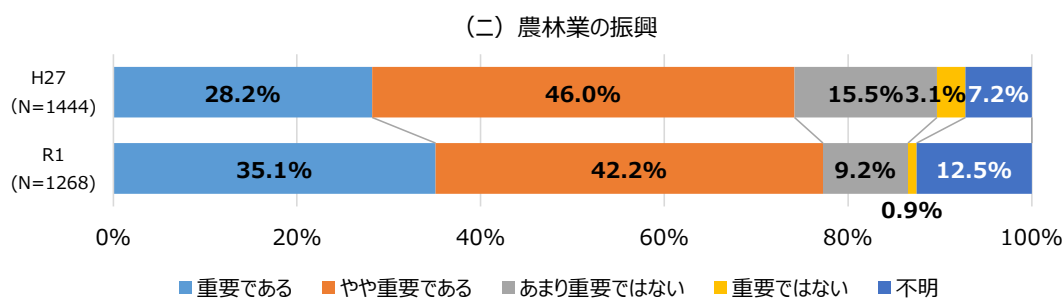
経年変化は大きくないが、令和元年調査では、「高齢者の生活支援や生きがい対策」で「重要である」がやや多くなっている。

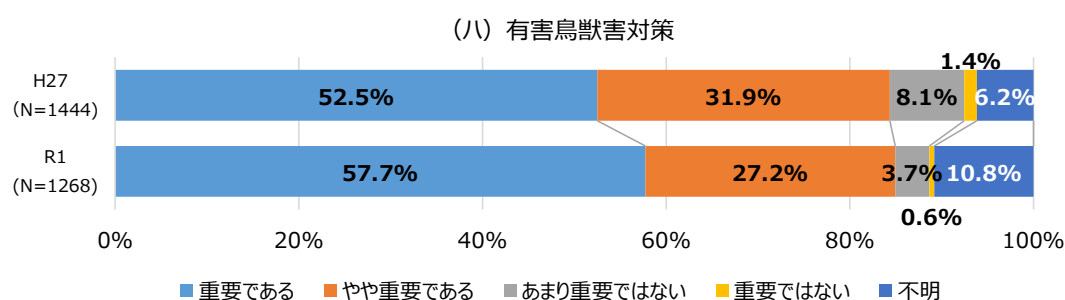
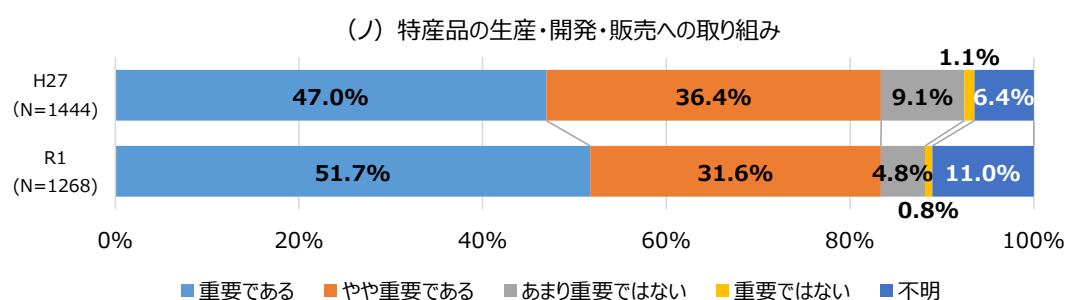
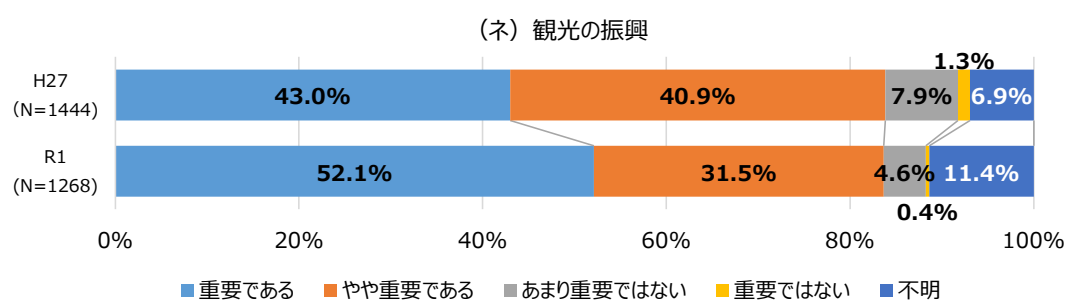
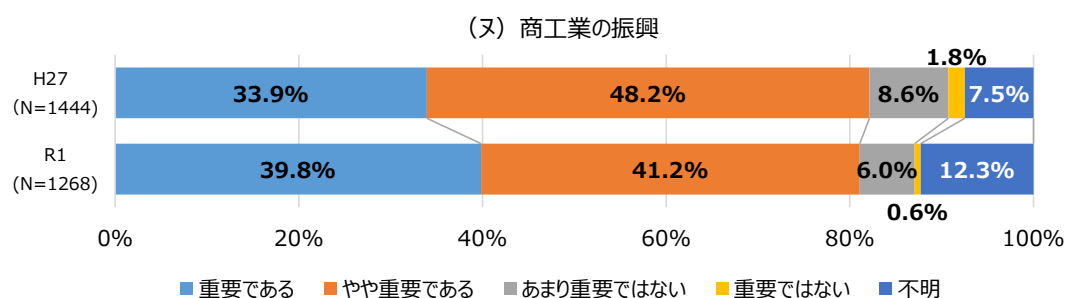




【産業】

令和元年調査では、「農林業の振興」「商工業の振興」「観光の振興」「特産品の生産・開発・販売への取り組み」「有害鳥獣害対策」いずれも、「重要である」が多くなっている。

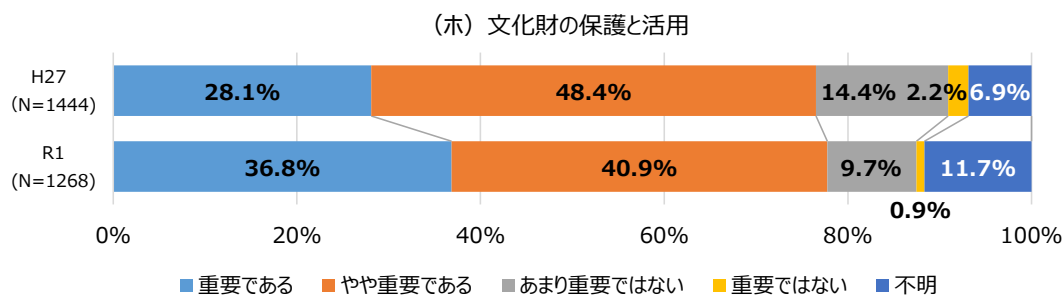
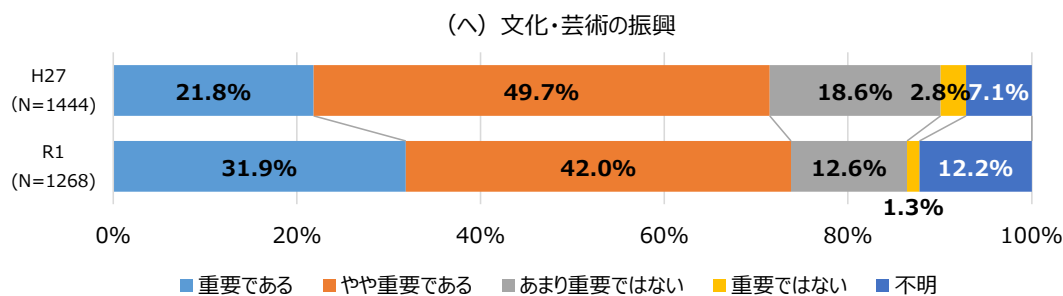
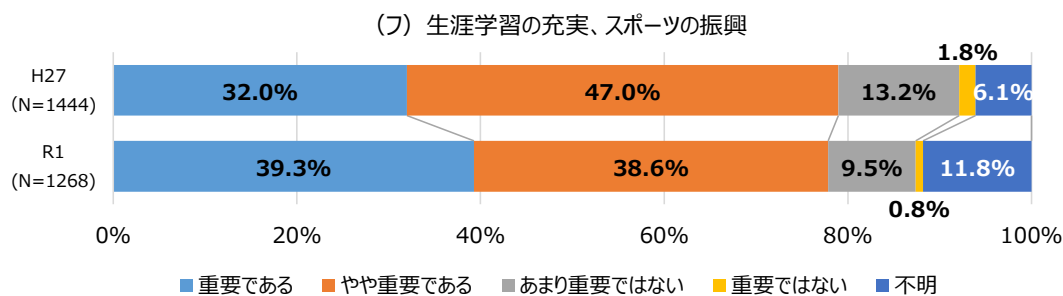
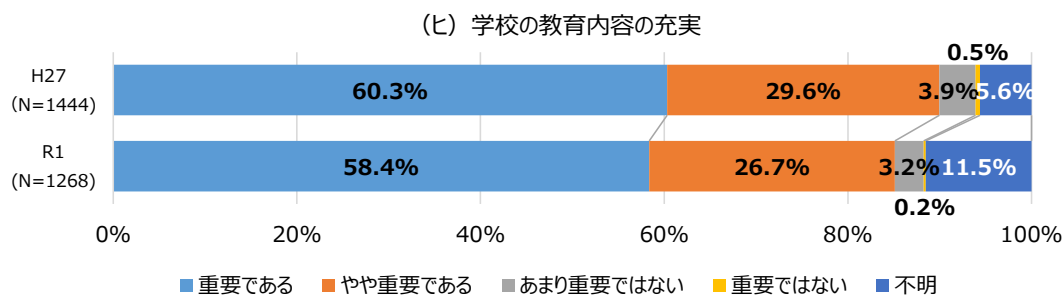




【教育・文化】

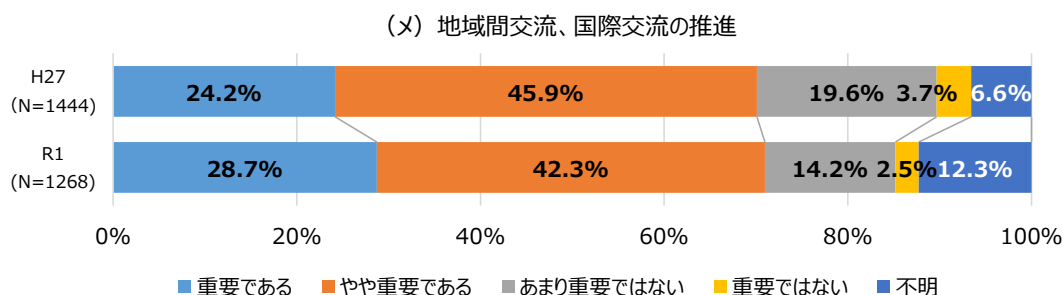
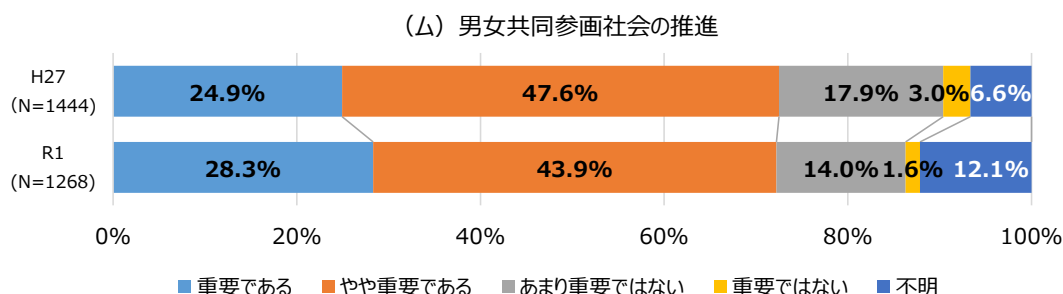
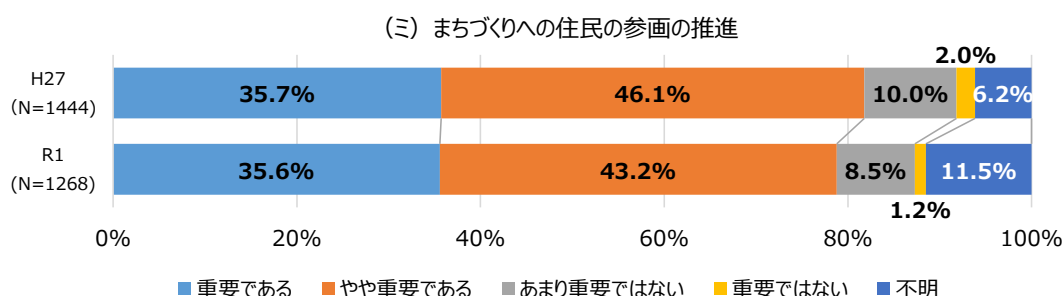
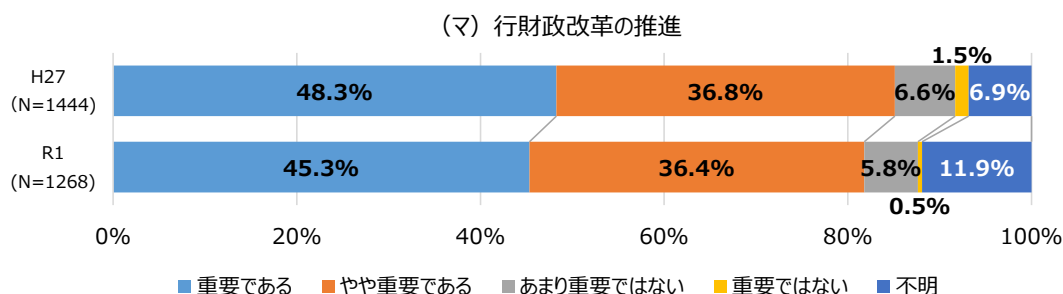
教育・文化の分野の中では、「学校の教育内容の充実」で「重要である」が多くなっている。

平成 27 年調査と令和元年調査を比較すると、「生涯学習の充実、スポーツの振興」「文化・芸術の振興」「文化財の保護と活用」で、「重要である」が増加傾向にある。



【まちづくり推進】

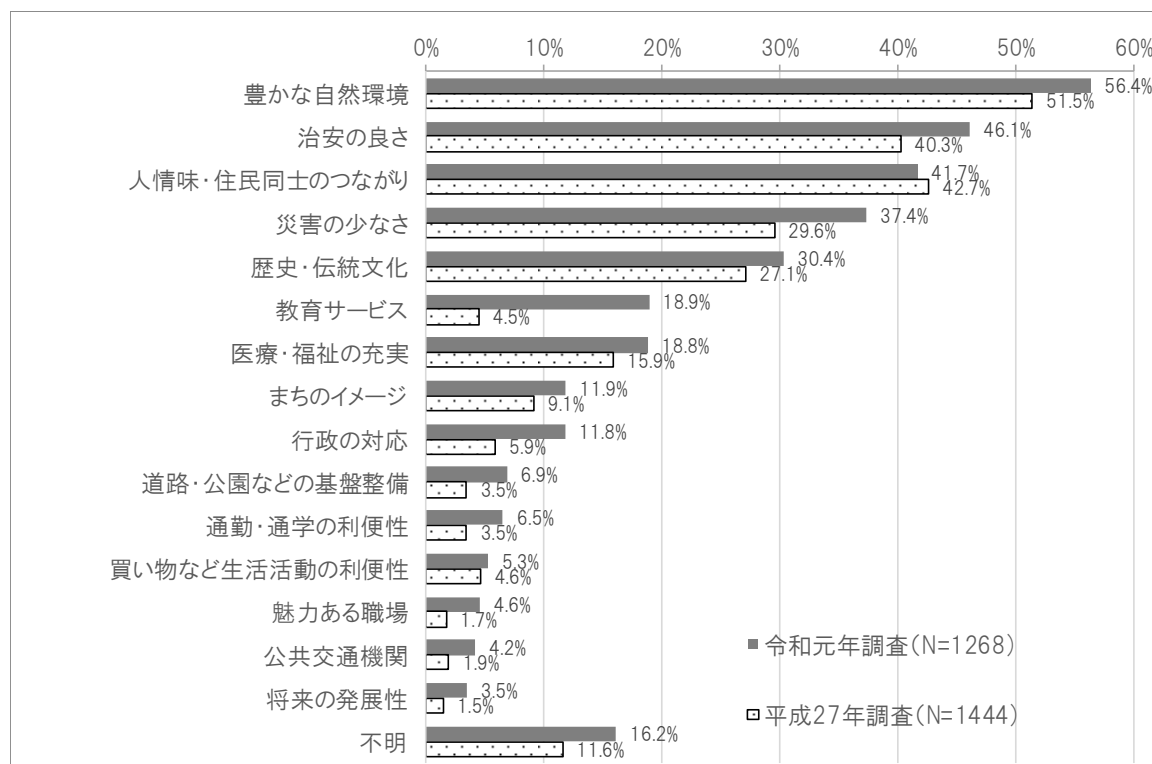
経年変化は大きくないが、令和元年調査では、「男女共同参画社会の推進」「地域間交流、国際交流の推進」で「重要である」がやや多くなっている。



問 26：他の市町村と比較して、身延町の「良い点」（MA）

身延町の「良い点」は、「豊かな自然環境」が半数以上と最も多く、次いで「治安の良さ」、「人情味、住民同士のつながり」の順になっている。

平成 27 年調査と比較すると、「災害の少なさ」が増加傾向にあり、防災に対する意識の高まりがうかがえる。

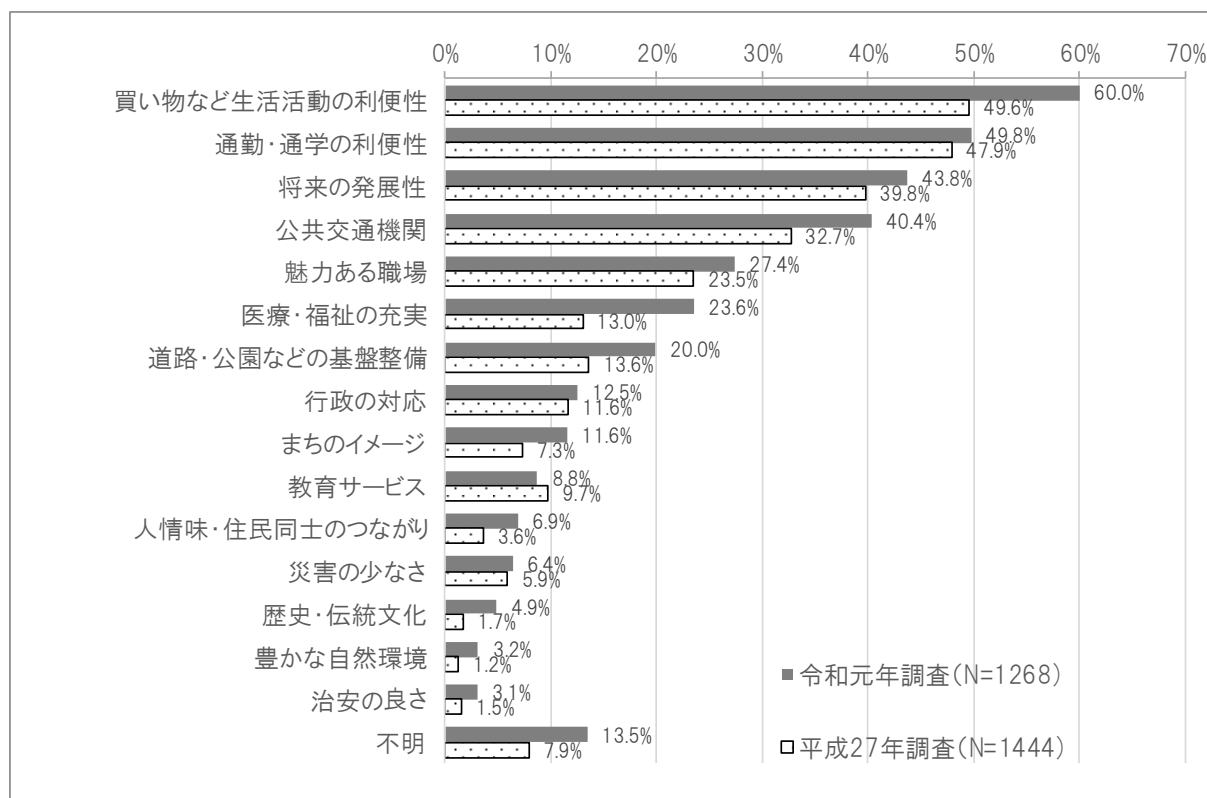


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
豊かな自然環境	715	56.4%	743	51.5%
治安の良さ	585	46.1%	582	40.3%
人情味・住民同士のつながり	529	41.7%	616	42.7%
災害の少なさ	474	37.4%	427	29.6%
歴史・伝統文化	385	30.4%	392	27.1%
教育サービス	240	18.9%	65	4.5%
医療・福祉の充実	239	18.8%	230	15.9%
まちのイメージ	151	11.9%	132	9.1%
行政の対応	150	11.8%	85	5.9%
道路・公園などの基盤整備	87	6.9%	50	3.5%
通勤・通学の利便性	83	6.5%	50	3.5%
買い物など生活活動の利便性	67	5.3%	67	4.6%
魅力ある職場	58	4.6%	25	1.7%
公共交通機関	53	4.2%	28	1.9%
将来の発展性	44	3.5%	21	1.5%
不明	205	16.2%	168	11.6%
サンプル数	1,268	100%	1,444	100%

問 26：他の市町村と比較して、身延町の「良くない点」（MA）

身延町の「良くない点」は、「買い物など生活活動の利便性」が約 6 割と最も多く、次いで「通勤・通学の利便性」、「将来の発展性」の順になっている。

平成 27 年調査と比較すると、「買い物など生活活動の利便性」の増加が目立つ。



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
買い物など生活活動の利便性	761	60.0%	716	49.6%
通勤・通学の利便性	631	49.8%	692	47.9%
将来の発展性	555	43.8%	574	39.8%
公共交通機関	512	40.4%	472	32.7%
魅力ある職場	348	27.4%	340	23.5%
医療・福祉の充実	299	23.6%	188	13.0%
道路・公園などの基盤整備	253	20.0%	197	13.6%
行政の対応	159	12.5%	168	11.6%
まちのイメージ	147	11.6%	105	7.3%
教育サービス	111	8.8%	140	9.7%
人情味・住民同士のつながり	87	6.9%	52	3.6%
災害の少なさ	81	6.4%	85	5.9%
歴史・伝統文化	62	4.9%	24	1.7%
豊かな自然環境	40	3.2%	18	1.2%
治安の良さ	39	3.1%	22	1.5%
不明	171	13.5%	114	7.9%
サンプル数	1,268	100%	1,444	100%

問 26-①：「良い点」を選択した項目について、具体的な内容（FA）

<1.通勤・通学の利便性分野>

- 通学バスがあるので親も安心できる。
- スクールバス等、子育てには助かっている。
- 中部横断道のおかげで少し時間が早くなった。
- 身延線の駅が近い
- 学校のバス通学は、いろいろと考えていてくれてありがたいです。
- スクールバスの利用が出来る事。賛否ありますが、将来的にはみとめられる事だと思います

<2.買い物など生活活動の利便性>

- 買物等について、車がある人にとっては、セルバ等は便利である
- 車があればどこでも行ける
- のり合いタクシーはとても良い
- 近場にスーパーがある
- 飯富なので生活用品・食料品等の購入が容易にできる。
- セルバ等生活に必要なものはだいたいある
- 他の市町村は余り分らないが買物など生活活動の利便性にしてのデマントなど助かって居ると思います。
- 商店が一ヶ所ですべての品が買える
- 車ですぐ近くにスーパー、コンビニ、薬局があり不便はない
- セルバ・サンロード等、一部地域に関しては、地域住民の拠点として機能している。
- 自宅に近い所には、病院、金融、飲食店もありとても便利です。

<3.医療・福祉の充実>

- 医療の面では、泌尿器科等増やしてほしい科もあるがまあまあ充実していると思う。
- 病院が3つあり福祉についても社会福祉施設が音頭をとっているので安心できる
- 大きな目の病院が2つある。
- 病院、スーパーなどちかくにあり、診療科目が多いので
- 医療の充実がとても良い
- 病院の車が有ること
- 医療に関して各病院が地域医療に貢献していると思う。
- 教育に対する補助、子育てに関する女性が充実している（学校教育・病児保育など）
- 医療と福祉は、行き届いたサービスができてと思う。
- 大きな病院が数多くあると思う。
- 飯富病院があることで、どの年代も安心して医療をたくすことができる

- わかりやすく充実している
- 総合病院が2つ有る。福祉施設が多く有る。
- 大きな病院がない地域で、人の命を救う事のやるべき事が出来ているかな
- 無料で病院に行けるのが高校生まではありがたい
- 子供に対する医療費など無料など
- 検診などの充実とケア。
- 病院もすべての科が診察出来る
- ディサービス等、学童保育等他の町に負けない、人に寄り添ったサービスをしていると思うから
- 自分が病気にかかった時とてもよく対応してくれたと思うので。
- 18歳未満の子どもの医療費無償
- 飯富病院、身延山病院が設置されており、福祉サービスも他町より充実されている
- 介護施設がよい
- 高齢化による福祉対策は充実していると思うが地域の商店がない不便さだ
- がん検診の無償化など

<4.教育サービス>

- 給食費額補助、入学支援金
- 教育サービスの補助があって助かっている。
- 教育や保育サービスは他所にないほど充実している
- 緑に囲まれた子育てにはとても良い環境で、子育ての支援がとても充実している
- 保～中への給食費等
- 子育て支援で様々なものが無料になり、経済的にも助かる。
- 子育てをしている若い親はあまりお金がかからない
- 児童・生徒タブレット貸与、修学旅行費補助。
- 教育サービスはとても良いと思う。子育てにかかるお金を公費で負担していただけるのはとても良い点
- 小中学校への各種補助やインフルエンザワクチンの補助など本当にありがたいと思う。このことをもっと全国に向けて自慢やアピールしてもいいと思う。多くの町外民が知らないというのがもったいない。
- 次期を担う若者、子育て世代への支援が手厚い。
- とくに子育てに関しては近隣市町村にはないレベルの高さがあると思う。とても助かってます（経済的に）。
- 教育の観点・子供医療等の充実
- 子供達に対してのすべての無償かたのもしく思います
- 学童保育が充実されている。
- 少数の生徒の中でも将来性のある先端の教育を実施している
- これほど子供達に良くしてくれる町は他にありません。本当に助かります。自然と歴史と… 本当に良い町で子供の頃から大好きです。
- 子育てしやすい町になりつつある。（補助的な意味で）

- 向学館等の勉学への力の入れ方も良い点と思います。
- 児童館を利用していますが、イベント等子どもが喜んで通っています
- 子育て支援は他町村よりだいぶ手厚くしていただいて、本当にありがたいと思っています
- 小人数で教員が親身になって教えてくれるから、通学バスも有るから
- 子供の数が少ないから行き届いた政策ができるのですが全〇的にみても胸を張って行ける素晴らしいです。もっとこれを県内外に宣伝した方が良いと思います。
- 教育、学校にかかるお金補助はとても助かってます。その分子供の習い事に行かせることができます。
- 子育て支援や学校教育支援が町外・全国に誇れるレベルにある。

<5.人情味・住民同士のつながり>

- 地域的に超えかけ合いがまだ残っている。
- 年上の人といろいろな話ができ良いも悪いも自分なりになんだんし、自分自身が大きくなれる●が気がする。いろいろと勉強になる。
- 古きよき人情が残っている。漆黒の夜空に耀くイルミネーション、多くの方に楽しんで頂いていますが、裏方はとても大変です。私財を投じ、労力を提供し、地域の活性化に努める姿にすがすがしい情熱、住民同士のゆるぎないつながりを感じます。
- 地域の人が地域の人をお互いに知っている
- 住民同士のつながり。困った時に良く助けていただいています。
- 都会と違って困った時などに御近所さんが助けてくれる協力してくれる。
- 1人で居ますが地域の方々に助けられています（女性には出来ない事等）
- 無尽などの気楽な集まりがある。
- 車が動かなかった時や、洗濯を干していない時など近所の人心配して、すぐ連絡をくれる。不審者情報などの話しもあり聞かない
- おとし物を届けてもらったことも、たびたび。暮しにゆとりがあり、のんびり、ゆったり暮せて、笑いがある。似たもの同志で助け合って、地域に広がりをつくっていく。
- 昔からの付き合いを大切にしてい、地域のみなさんも一緒に子供に関ってくれる。
- 町内会が機能している。
- 町民同士のつながりは田舎ならではの。災害時、支援の必要な人のチェックなど気くばりがある。
- 世代の違う人とも地域の役を通して交流でき、いろいろと学ぶ所がある
- "こまった事は助け合う。1日でも会わないと心配して声をかける。
- 今までに何事もなく安心して暮らせた。
- 山々に囲まれおいしい空気と四季の美しさ"
- 親などをみていると、何かわからないとか部落の役などしたときなども、あまり知らない人たちでも、やさしくおしえてくれたり、仲間になったりをみているので。他は特にない
- 地域の行事に参加すると小さい子どもを皆がかわいかがってくれます。
- あいさつのたえない雰囲気です安全にすごせる

- 閉鎖的ともいえるが、住民同士の結束はかたく、協力体制は良くできていると感じる＝治安の良さにつながる。歴史、自然がなくなったら身延でなくなる気がする。
- となり近所や地区内のつながりを感じる。
- 身近での住民が困った人がいれば、自分には関係ないという態度ではなく住民同士で手を貸す、支え合う、助け合う集落である。
- 高齢化社会でもお年寄りが元気に過ごされている。自助・共助のたまもの。
- 子育てを以前に囲まれた所でのびのびとでき、地域のおじいさん・おばあさんにも子供をかわいがってもらえる。
- 昔から住んでいる人が多く自分は知らない人でも祖父母や両親を知っているのでよくしてくれる
- 体操で町の職員が時折伺って指導してくれます。
- 全般的には自然環境に恵まれ、住民同士のつながりは良い。しかし以前に比べ、住民同士のコミュニケーションが少なくなっている。
- 高齢者と語る会や地域のお祭りなどが継続できている
- 区民全体で行う行事が残されている。（祭りが子供から老人まで参加する）
- 人口減少している中残っている住民同士きずながより強くなった様に思えます。
- 近所間の挨拶が日常的に行われている。近隣への農産物のおすそ分けが気軽に行われてる。
- とんりの人のすがたがみえないとなにかあったのかと心配になる
- 地域の祭りなど、他町に出ている若い人が苦心しても地域のことをやろうとする人が多いこと。人とのつながりを大切にする空気があること。
- 引っ越してきたが、隣保の人をはじめ、地区の方がとても優しく声をかけてくれた。

＜6.行政の対応＞

- 行政の対応にも感謝します。
- 積極的な取組み対応
- 身延町発展のために様々な施策に邁進している。
- 窓口など、とても親切に分かりやすく対応していただいた
- 町役場でいつも親切に対応してもらっている。
- 全ての面において若い職員の応対、考え方がしっかりしていて信頼でき、将来安心感あり
- 身延町は行政の対応が他町村より好いと思う
- 地域の方も役場の方も、親切。何かあるとすぐに対応して下さる。
- 役場の職員の方の対応いつも気持ち良く接してくれる
- 地域の方の温かさを感じる。市役所の方も、優しくて助かります。田舎の良さを、しみじみ思います。ありがとうございます！！
- 親族の事で相談した際親身になっていろいろ教えてもらいました。こちらの質問にも丁寧に答えていただきありがたかったです。

＜7.魅力ある職場＞

- 楽しく仕事ができている

- 工業団地へのハイテク産業（合板工場）の導入により、他の関連産業へ刺激

＜8.治安の良さ＞

- 玄関のかぎをかけないくらい治安はいい。
- 事件事故の少なさ
- 悪そうな人は見かけないので。
- とくに大きな事件などなく平和。コンビニなどにたまって子も少ない。
- 治安はとても良いと思います。30 年以上住んでいて、軽度のもも含め、犯罪に巻き込まれたことはありません。また、災害もほとんど経験したことがありませんので、住みやすい環境ではあると思います。
- 防犯パトロールをしてくださり防犯対策が充実しており治安が良い
- ヤンキーがいない。
- 人がいないから治安よい
- 全国で想定外の災害多発の中極めて少ない環境を人とのつながりもあるので治安も良い。日本一安心安全の町をめざす
- 鍵をしなくても被害に逢ったことがない
- 犯罪も少ないし、子どもたちも不良は少ない。
- 夜窓を開けて寝られるほど治安は良い。
- 大きな災害もないし、外国人による職業研修の為の定住者が増えているがトラブルもなく治安悪化につながっていない所は評価できる。
- 犯罪いじめ等あまり耳にしない
- 現在治安に関しては良い方だと思うが、空家増や人口の減少により不安を感じる

＜9.災害の少なさ＞

- 避難場所が遠いけど幸い今のところ災害が少ないので助かる
- 大きな台風や災害が今の所なくて良い。
- 地形の環境かわからないか、今のところ災害が少ない
- 大雪や地震などに見舞われても被害は少ない。
- 平和で安全な生活ができている
- 谷・山が多い割りに少ない
- 過去においては、災害の少なさは「日本一」だと思う
- 雨量規制による通行止めにはたびたびありますが、大きな災害は少ないと思います。
- 地形に関係しているかもしれないが以外と大きな災害が発生していない気がする
- 山や川がすぐ近くにあるのに意外と災害が少ない。治山工事が進んでいるのか…？
- 富士川等急流が故に豪雨の時の水捌けの良さ。
- 今回の台風で（19 号）特に感じた 近所のつながり、避難に当り、地区役員消防等頑張ってもらったと思い、改めて災害が少なくて良かった。やはり身延山（日蓮上人）に守ってもらった。

- 山村地域にあるが、比較的災害対応整理されており行政の災害対策が良好である（情報提供等）

<10.公共交通機関>

- 家の近くに駅がある
- 乗り合いタクシーの使かい良さ
- 身延のりあいタクシーなど、使いやすい交通機関だと思う。
- 高れい者など、気軽に利用できる。
- "コンビニ
- で通販で対応できる。町営バスがとても役に立っています。月に1回程度の通院で交通費が助かっています。"
- 交通の利弁性、乗合タクシー等
- 現状、町営バスやデマンド交通などで良いと思う（もう少し、自宅へ近い所までコースへ入って頂きたい。）
- 新宿・静岡のバスの活用

<11.道路・公園などの基盤整備>

- クラフトパークの充実した施設。
- 最近時の道路整備
- 山奥まで道がある
- 中部横断道の開通
- 甲府市内を歩いていたら2度つまづきころびました。身延町内ではその様な道路に穴があいたところはあります。
- 町とは関係が無いと思うがクラフトパークの管理はすばらしい
- 中部横断道もできつつあり、便利になると思う
- 国道52号、中部横断道
- クラフトパークは町外からの親子の利用が多く知名度がある
- 国道300号の改良 クラフトパーク
- 広い公園も自由に使えるのも子供は喜んでいます。
- クラフトパークの良さ（但し、スケートボード場などの施設がほしい）

<12.歴史・伝統文化>

- 木喰さんなどの歴史を大切にしている為
- 身延山に関すること。下部温泉郷、西島和紙、木喰上人
- やはり身延山という名前が大きいと思う
- 身延山御会式など、歴史あるものを続けていて良い。
- 西嶋神楽などの継承（無形文化財・県）
- 800年の歴史の身延山及周辺の自然環境と人情の厚い身延町民ですかねー

- 各地区に伝統芸能有る。
- 身延山や下部温泉、金山など全国に誇れる歴史がある。
- 信仰の町として古くからの文化を大切に守っていること。日本全国で「身延山、日蓮宗」と言う通じるのはうれしい。山里の風景がとてきれいで自慢できる。
- 身延山久遠寺のイベント等伝統文化があり、良いと思う。町に日蓮宗が息づいているように感じる。
- 西島和紙や身延山とした歴史・伝統があるところ。
- 身延山信山を代表する歴史的文化
- 歴史ある伝統が息づいている町のイメージ
- 歴史的な建物、伝統がある（身延山・下部温泉）
- 日蓮宗の総本山である久遠寺があるのは、全国に誇れる魅力だと思う。久遠寺周辺の商店街が、もう少し風情ある景観にできれば、他県や他地域からの観光者が増え、さらに魅力ある町になると思う。
- 西嶋神楽等の伝統文化
- 昔から伝わる伝統文化が継続している。（例）お盆の行事、お正月の行事
- 日蓮宗の総本山久遠寺関係のお寺等、西嶋和紙の伝統も
- 久遠寺はみのぶの歴史文化の象徴である。
- 日蓮聖人が九ヶ年過ごされた御草庵跡や、御廟所、久遠寺大本山など歴史上重要な場所が美しい自然の中に存在する事。
- 御会式など引き継がれているから
- 歴史的にも鎌倉時代に日蓮宗総本山が築かれたことや戦国時代武田 24 将の一人の穴山氏が所内を支配統治していた。

＜13.豊かな自然環境＞

- 町内、山と川で囲まれ豊かな自然環境に恵まれている
- 身延山、温泉、湖と魅力的な財産があるのだから活かしてほしい。下部温泉街なんて寂しすぎる雰囲気。
- 都会では味わえない自然の移り変わり。
- 豊かな自然環境は簡単に作れるものではないので、他の市町村に誇れるものだと思う
- 豊かな森林資源
- 他県からの友達が素敵な自然にとて感動。住んでいる私もそう思う。
- 動物の声が聞けるくらい自然豊かな場所なので。
- 身延山、七面山、木喰の里等また長塩の獅子舞、西嶋の神楽等町全体が豊かな自然の仲にあり小細工はしない方が良い
- 水がキレイ、ホタルがいる
- 本栖湖などの自然
- 数の少なくなった動物、植物が残っている
- 水がおいしい

- 自然の良さと治安が良く、温泉も多くあり、国立公園である本栖湖も半分あり大変良い町である。
- 土地が多く、活用することで一大産業ができる可能性がある。
- クラフトパーク・本栖湖などの展望がよい。
- 自然の多さが、教育的・知識的に良い部分もある。
- 春夏秋冬の周囲の景色がすばらしい
- まわりに自然がある。公園も遊びやすい（整備がちゃんとしてあるので
- 自然ゆたかでのんびりしていてイイですね。ゆるキャン△でもり上がっていくと◎
- 自然からの恵み。山でとれるわらびなど。畑の多さ、ご近所からの頂きもの
- 朝窓を開けると山が見え、鳥が鳴き、ステキな所に住んでいると感じます
- 4月上旬の山の色を見るとここに生きていてよかったと毎年感ずる
- 自然が多い、富士山に近い
- 四季のうつろいが実感できる。近所の皆様と無尽をしたりして楽しめる
- ホタルやカワセミがいてとても良い環境である。
- 身延山
- 本栖湖、温泉、和紙、、、東京静岡から近くに、これだけの資源を持っている町は他にない。"
- 本栖湖や七面山からの景観の良さ
- 美しい自然や文化財があるから。水と空気が綺麗なので野菜が美味しい。
- 自然が豊かで歴史的建造物もありそれは残していってほしいから

<14.まちのイメージ>

- 久遠寺、クラフトパークを中心として有名
- 温泉・歴史ある寺・アニメ・食べ物など。
- ゆるキャンで町の紹介。身延山や久遠寺。
- 信仰のイメージ、のどかな、いなか
- 身延町といえば身延山をイメージします。歴史を感じることでできる場所だと思います。パワースポット！
- 特色ある町（久遠寺）なのでイメージだけは良いが若夫婦にとって教育サービスは子育てをする時は良いが、将来に不安が残り、他町へ行ってしまわないでしょうか
- 自然に囲まれた身延山・下部温泉等におけるゆったりとしている田舎のイメージ
- 身延町の悪いイメージは全くなくやぐざ等といったことも聞いたことはないところ。山に囲まれ空気も悪くなく環境もとてもいいと思います。

<15.将来の発展性>

- 土地が広く有り、発展性が有ると思います。住民の人情が有るので良いと思います。
- リニヤ開通で観光に期待大
- 身延山寺院等や本栖湖やクラフトパーク、中富工芸美術館 PR により発展性は増す。

- 具体的な設備もちろん必要だが心が 1 つになる事からの設備投資が必要。人と人が継がってからの基盤投資
- 将来に発展性については、ゆるキャンやあけぼの大豆の加工品など、これからもきたいできるものが数多くあるから。
- 中部横断道、リニア新幹線の全通により町内の観光資源、事業環境が大きく飛躍することが期待できる。

問 26-①：「良くない点」を選択した項目について、具体的な内容（FA）

<1.通勤・通学の利便性分野>

- 電車の本数が少ない
- 交通が良くない（駅）
- 家から活動場所（会社、学校）までの交通、きより
- 近くに学校がないこと。
- 通勤するバスが少ない為、待ち時間がありすぎる。昼の務めなので 5:00 の帰りのバスを待つのは大変です。
- できれば、徒歩通学させてあげたい
- 中学校が広いエリアで 1 校
- 通勤、買い物など国道 52 号を利用しているが、主要な道路な為、混むこと
- バス等の本数が少ないし、今後の子供は多くの人数が遠くてかよわなければならなくなる。身延線の本数も少ない。居住地の近くにお店がなくなってきている。
- 渋滞がひどい
- 中学校が遠すぎる。子どもがいても心配で通わせられない。
- 学校が廃校になるのは、とても辛く寂しいですね。通学の便利さがあれば学校の選択も自由にできる希望がありますね。買い物等は確かに大変です。遠いですね。交通機関が大きな課題ですね。
- 統合もしようがないが、不公平がないよう町の中心部にして欲しい（学校）
- 学校の統合の強引さが、まだ残っている。早く新しい中学校を作り、新たな環境で町行政をすすめてほしい
- 旧下部町に学校がない
- 災害時小中学校に迎えに行けるのか

<2.買い物など生活活動の利便性>

- 身延町には大きなスーパーがない所。
- 子育てに必要な物が町内で調達できないことが多い。限りある週末の時間が買い物の移動時間にとられることが非常に不便。通学も公共交通を利用しにくく他の市町村へ通うとなると負担が多きい
- 近くにあったスーパーが閉じてしまい高齢者にとって買い物するにとても不便になっているとよく話を聞きます。移動スーパーも来る様ですがコストも高い様です。
- 運転免許を返したらショッピング、通院など不便だろうなあと思っています。
- 若い人達は、車があり買い物など行けるが高齢者や車の免許などない人は交通手段がかぎられているから
- 買物弱者が多い。車を持たない人は大変。町外からの行商人だけでは利便性に欠けます。一考して下さい。

- 交通の便が悪く自家用車が必要になる。町外でまとめて用をたす方が楽。
- ローソンばっか
- 買物等生活状況が悪い（旧身延地区）。旧身延地区は、スーパーがない。すべて買い物は南部町か飯富まで行かないと用が足せない。旧コマの跡地へ、住宅用地作っても、スーパーとホームセンターがなければ家を立てても、しかたない。旧身延地区へぜひスーパー・ホームセンターを誘致してほしい。これが住むための絶対条件である
- 全国チェーンのお店の方が安いので町外で買ってしまう。
- 飯富～西島あたりは良いですが、それ以外は店舗がない
- 買い物する所がない。（服や雑貨）。ちょっとゆつくりしたい所（カフェ）などもないところ。
- 車がつかえなくなったので不便 移動スーパーも来ない
- バス等の移動手段も少なく、今後が少く不安です。免許返納後の対策の至急考えてほしい。
- 久那土の方だと移動スーパーとかあまり見ないし、年よりは大変に思います
- 電車やバスの本数が少ない。大人は車が持てるが学生は大変。食べ物などはスーパーがあるので良いが服などは町内で買えない
- 家具家電を買うために約 1 時間車を走らせる点。終電（甲府→身延）が早すぎる。退化していきような感じがしている。
- バスなど身延から南部方面にないので使いにくい。駅前に飲みに行きたくても足がない。
- 子供服など売っている所がなく遠くに買い物に行っているため。
- 常葉住民は甲府方面が大切な生活圏です北川集落から三沢迄はカーブが多数あり特に冬は凍結し交通事故も多発してます。だから若い人は町外に出ていきます。早く三沢～市之瀬間のバイパスの実現が必要です。
- 障害者、高齢者は買物が出来ずに週に 1 度来てくれる移動スーパーで高いけれど（賞味期限も切れている）買っている
- 学用品が売っているところが少なく、品数も少ない！急にノートが必要になった時、富士川町のホームセンターまで夜かいに行った事もあります。
- 乗合いタクシーを地域密着型にすべき。車の車種を変えても（一部）入れる道を運行すべき。
- 車にたよらなければ生きることささ難しい。若い頃はなんとも思いはなかったが、最近、運転が苦手になり苦痛です。バスもしくはタクシーがもっと利用しやすければ使いたいです。買い物・病院に自車を使わなくても気軽に行ける町になってほしいです。
- 衣類や家電などを買うときは町外に出なければならない。
- 自動車で移動できない高齢者たちの買い物の場として、地元スーパーが機能していたが歩いて買い物に行けるスーパーが無くなり、資金力に劣る。地方の資本の中型スーパーが経営継続できなくなっている。閉店、撤退事業、非常に厳しい状況である。
- セルバエリアの酒屋跡地がもったいない。
- 車社会だが、高齢者は運転もできず降り合いタクシーも上手に使いなれば、かなり外出に不自由がある。町で積極的に容易に利用できるようにして自立支援するべきかと思う。
- バスや乗り合いタクシーがあるがそれでも大変。

- 久那土駅の近くに住んでいます。西嶋オギノに買い物に行くとしますと町のバスで一回行き帰り600円かかります。月に二、三回となりますとたいへんです。年金生活者の近所の人たちの意見です
- 食料品店、衣料店、薬店が少ないと思います
- 富士川町のフォレストモールのように飯富セルバ周辺がもっと店舗数が充実すると良いと思う。
- 川崎にいた時は歩いて10分の所に都市銀行支店がありましたが、現在は甲府が沼津まで車で往復3時間かかっています。また食材を買うために中富のスーパーに車で約20分走らなければならず何をするにも遠く時間がかかる。でも、これはしょうがないと思っています。これらの良くない点を越える数々の良い点があるので結果満足しています。

<3.医療・福祉の充実>

- 病院等の診療科目が少ない。
- 休日・夜間の急病の時病院で担当医不在の理由でたらい廻しにされる事が多い。
- 車がないと移動が不便。特に耳鼻科や産婦人科など
- 特に小児科がなく毎日やっていない。とても不満。曜日で病気になるわけでないのに、遠い病院まで大変。子供が少なくて学校が無くなりこれでは人は集まってこない
- 病院の診療科目の不足、人口減少による活力の低下
- 医療に関して、小児科や医療設備の充実さが不足している。産婦人科は必要。
- 介護施設等が少なく、施設の充実を計ってもらいたい。
- 自家用車を利用出来ない場合の不便さが大きい。アクセス方法が少ない。バス、電車を利用した場合の乗り継ぎが悪く遅い時間帯がない。医師不足と医師の力量不足など
- 身延山病院、飯富病院を町内にあり、又福祉も手近にあり安心だがすぐ（急に）はいま一つ
- 病院の存続の危機感
- 働く場がないので通勤に時間がかかる。予約しないと病院にかかれぬ。
- 身延には小児科専門の病院がなく、身延山病院では週2回しか受診できないので急な病気にすぐに対応出来ない点。
- 小児科がなく救急の時に困っている。
- 人口の問題があるのですが、専門医のいる総合病院がほしいです。遠方まで行くのは大変です。
- 医療で、小児科が少なすぎます。毎日やっていない、午前中やっていない、では子供に何かあったら、困ります。
- 分娩施設、動物病院がなく、近くにもない
- 子供を安心して産め、安心して病院に通えることの大切さは言うまでもない。子育ては、個人の仕事ではなく行政の（国家）の仕事であると思う。もっと安心できる環境整備が望まれる（保育料の無償化などは評価しています）

<4.教育サービス>

- 身延高校にみりよくがない。進学コースなどのみりよくある学校がなければ人はあつまらない
- 様々な大人（価値観）に触れられる教育を望む

<5.人情味・住民同士のつながり>

- 近年隣や住民同士のつながりが、うすれてきていると思う。交流の機会も少なくなっている。
- 住民のつながり。口のいまい人が多い（八方美人）
- 20年以上住んでいますが、異邦人扱使い 今もつづいている。努力しているけれど苦労しています。日々孤独感や不安を感じています。
- 過疎地が多い。人情味が無くなる。
- 古い因習が残っている地域が未だ有る
- 交通の便が悪く、商店の少なさも重なって高齢者が住むには大変な地域も多い。また、住民同士のつながりは強いが、圧力も強く息苦しい時もある。
- 人とのつながりを持てる場いつでもどこでも集まり語ったり何かできる場所。公園などの整備が全然できていない。
- 地区によっては古い考えの人が多く、村八分みたいな扱いを受ける場合があるところ
- 人間関係は閉鎖的でよそから来た人に対して冷たいと思います。
- 時代にそぐわない制度、例えば外に勤めに出る人間が多い中、消防等の地域活動を行わせる等、負担が大きすぎる。

<6.行政の対応>

- 職員の対応が悪いと感じることが多々ある。（行政とは違う？）
- 地域住民の声が町に届きにくい。町政への住民の関心の低さは深刻。（町議と町民が語る機会の出席者数の少なさは異常。他市町村でも同様の会はあるがここまで少ない）
- 買い物はやはり不便。必要な物が町内に無く、町外まで行くことも。その他は正直わからない。行政の対応や職場の環境などは個人の感想だと思うから気にしなくても良いのでは？
- 役場で1ヶ所で用事が足りない。教育関係、福祉関係、上下水道関係が1ヶ所で用事が足りない事
- あけぼの大豆拠点施設など、何をやっているのかいまいち分からない。ねむっている機械など、あったらもっと活用していきたい→何のキカイがあるのか分からない
- 身延がTVでやることなど、無線や紙媒体とかで知らせてほしいと思う時もあります
- 行政の方が町外にいることは、あまり良く思いません。それなりの覚悟で職員になってほしいと思ってしまいます…。
- そして申し訳ないのですが…態度が悪く、悲しい気持ちになったこともあります（そうでない方が多いと思いますが）。税金を使って頂いていると思うと、憤りを感じることもあります。まずは、あいさつくらいしっかりしてほしいと思います。若い方もそうですし、年配の方もがっかりすることもあります。今度とも身延町の看板として、大変かと思いますが、よろしくお願いいたします
- 町役場職員が町外に住み、人口を増加したい、定住推進など、矛盾を感じる。役場職員が町内に住まず、そのようなことを言える立場ではない。

- 対応がおそい。良い事はスピーディーにしてほしい。役場職員は町民なんだから自分が良いと思ったら自信をもって仕事をしてもらいたい。
- 公共インフラの減少。困っている所へ親身の対応が感じられない
- 介護保険料、町民税が高い。対応が地域によってことになっている。在宅介護については充実していない
- 小・中とも統合になってバス通学となり子ども達の運動する気持ち、体力の低下
- 3町合併から15年たつのに、観光課やら観光センターやら、観光についてバラけすぎだと思う。
- 若い人たちの働く環境があまり整っていない。高齢施設が少ない。（特養ホームがあってもいつ入れるのか分からない）行政の町民の税金の使い方をもう一度見直すべき、余計な部分に使われているように思う
- 行政の対応の悪さ。近りんになんか悪さだと思います。クレーム受付のセクションを作った方が良いと思います。
- 行政が真剣に町の将来を考えたアクションをおこしていない。各種施策を実施してもその検証をして見直し、方向修正をしていない。施策のやりっぱなし。
- 担当課間の連携不足（話がわかる担当者にたどりつくのに時間がかかる）
- 行政に親族がいるところは早急に対策してくれるが、そういう人がいない所は何もしてくれない
- 空き家の水もれ発見した時の対応が南部町と違う。確認、結果、対処したことの連絡があり、「水もれに限らず、何か気になる事があつたら、気軽に役場に連絡してください。」のひと言で、また何かあつたら連絡しようと言う気になった。身延町は、「はい。」と「わかりました」で終わった。早川町も「連絡ありがとうございました。」のひと言はありました。
- 転居届が事情があり遅れました。窓口の方の対応が怖くて泣きそうになったとお嫁さんが言っていたのを思い出しました
- 町の行事にどうしたら多くの人が参加出来るかを考えてもらいたい 交通のかくほ等送迎を望みます。

＜7.魅力ある職場＞

- 職場が少ない
- 商店の廃業、撤退、若い人にとって魅力ある職場の少なさ
- 職業の選択ができない
- 聞いたことがない
- 地域に収入・条件がいい職場がない
- 中年層も勤められる職場がもっとあってほしいと思う（中年層の募集が少ない）
- 働く場が少ない。町内（せめて峡南地域）に通いたいと思っていても働く場がない（自分のスキルの問題もあるとは思いますが）。
- 若い人、特に大学を卒業した子どもたちが、務められる職場が通える場所にあるといいと思います。若い人が定住できる町になってほしいと強く望みます。
- 職場自体が少ない、甲府で求人があっても家が遠いと就職に不利。身延線などの本数が少ない。

<8.治安の良さ>

- 交通面や災害対策へ配慮が少ない。治安も良いとは言えず変な人がいる
- 夜中になると、暴走族などが多く、音がうるさい。
- じゅう害対策をして欲しい。

<9.災害の少なさ>

- 災害で危険な場所が沢山ある改善して欲しい
- 災害が発生した後、今の状況や今後の対応はどのように変化するのか知らせがないことが多い。
- シカ、サル、イノシシへの対策
- 災害は今の所少ないですけど早川富士川のていぼうを見てもらいたい

<10.公共交通機関>

- 高速バス（身延駅付近からの）充実を希望します。外（県外）へのアクセスが気軽に出来ないのがストレスです。住んでる場所でしか行動できないことが不満です。電車やバスを使って気軽にでかけられるようになってほしい。
- どこに行くにしても車が必要だから。
- とくに、旧下部の交通機関が悪い。下部は旧身延、旧中富にくらべ、こりつしている。
- 公共交通機関は本数が少なすぎる。身延線は遅れることなどが多い
- 坂登りが多い、公共交通機関が不便
- 身延線の鰍沢口駅～身延駅間の本数の少なさ
- 息子 3 人、高校進学時、甲府市内で下宿生活をした。まだまだ手許におくきたかったのに、残念だった。この地域の交通の利便性だけが泣きどころだった。
- 身延線の本数が年々少なくなっている為
- 代行がないのであそべない
- 高齢化もすすみ、免許証の返納等が呼ばれている中、利用できるバスの本数が 1 日に朝と夜しかなく、しかもデマンドバスも平日と土曜日の夕方 5 時までというのは本当におかしい。また夜に代行をたのんでも甲府市内とくらべると、頼める業者もなければ料金も 3 倍近くするのは本当におかしい。利用客が少ないからバスを運行できないと町はおっしゃるが、利用したい時間にバスがないのだから利用したくてもできないのが本当のところだと思う。町のうただの町のキャラだのにお金をかけるならこうしたところに税金を使ってほしい。
- 買物に行きたい時いけない。バスが昼の時間にないこと
- バス、電車の本数が少なくなっているのは仕方がないことなのかもしれませんが、その代わりの策がほしい。
- 鉄道や道路等が少なくすぐに運休や通行止めになる。
- 岩間駅へ行くバス（通勤・通学時間）が欲しい
- 東京↔身延のバスの時間が長い。特急バスみたいのがあると、外からお客さんが来やすい？

- 車がないと買物に行きにくい。バスなどの台数の少なさ。高速バスの停留場所が不便。人口減少により将来の展望が不安
- 今の状態では運転免許返納は無理です
- ・電車がもう 1 時間あると助かります
- 下部駅は観光の中核にもかかわらず、「無人駅」なのは問題である。
- 下部温泉街の「駐車場不足」は問題である。
- コミュニティバスのような定期便が 1 時間に 1 本位あると良い。
- 新宿↔身延のバス、最終バスがもう少し遅い時間だと助かります。でも！甲斐岩間駅のPが無料で助かっています！
- 移動手段が乗り合いタクシーしかなく、町内を走るバスは利用できない。（ぐるぐるまわるだけで 1 日かかってしまう）
- 身延線の富士・身延行き電車の本数が少ない。

<11.道路・公園などの基盤整備>

- 山間地に部落が点在するので、竹や木が道の両脇に繁って倒れてくる
- 道路整備について町道側溝を町にお願いした所交通に支障がないと云われたことがありました
- 住民が集まる事の出来る公園が少ない。空家がある。
- 田舎に行けば行くほど道路の整備されていないところが多く、生活をしていても危険を感じるが多い
- 三沢、市之瀬間のトンネルの整備
- 中富～耳川下部温泉間が開通して国道がすいたが、事故などの時通行止めになってしまったら、混んでしまったりする
- 町道の狭い所が多いこと。無料駐車場が少ない
- 道路の線などが消えかかっているあぶない
- 近くに小さな公園がなく、散歩してあそびに行ける所がない。散歩していても、空家ばかりで怖い。
- 帰省する家族や他県から来て遊べる公園が少ない
- 52 号線の道路に穴があいているところがずっと直らない。でこぼこしている。走りにくい
- 手つかずの自然が多いし、整備されていない雑木もたくさんあり非難する時に道路を塞ぐ場合もあるため心配でもある
- 救急車が入らない地域がある
- クラフトパークに大人が楽しめる遊具があっても良いと思う。

<12.歴史・伝統文化>

- 継承的なイベントに参加がすくない。好きな事とか嫌いな事でなく、当然参加しなければならない事に対しても参加が少ない
- 西嶋和紙の手漉き職人が減っていると聞く。是非、後継者を育てて和紙の良さを後世に伝えてほしい
- 身延の歴史・文化を大切にする PR する場所がない。特に文化が非常に遅れている。

- 久遠寺の存在は町にとり大きなプラスですが、自然を壊し、景観を犠牲にしてまで駐車場や昇降エレベーターをつくる価値はあったのか。町として意見できなかったのか、とは思います。

<13.豊かな自然環境>

- あらゆる所にふじづるがかかり山も道も手入れが出来ていない
- 道路の雑草このところきれいに刈ってないのが残念です。周囲がすぐ山で、のびほうだいの木々で年毎に太陽がさえぎられています。

<14.まちのイメージ>

- 下部温泉郷の景観が悪い。山間の道路交通網のため、大雨等による通行止めが多い
- 魅力ある職場が少なくまちのイメージがくらい
- 町名が暗い
- 他の市町村の人から、身延町と話してもどんな所かわからない人が多いのでまちのイメージは良くない
- 町外の人が身延町と言うと高い山と川に挟まれた所でさるやイノシシが出るんでしょうと言って町のイメージがとても悪い
- 老人が多く若い人特に旧下部地区の学校廃校により子供達の減少であると共に結婚も身延町と言うだけで見合いもしてくれない現状です
- 魅力的なものがあるはずなのに PR が下手だと思う。市川三郷町は同じ特産物がありますが正直 PR が上手いです。
- 身延町は富士川町を境に、山の中及び中心から遠いというイメージで見られている。身延町と言ったら身延町と言う答えしか返ってこない。

<15.将来の発展性>

- 行政で箱物等の建設が多く、将来孫達に負債を残す事はさけたい。
- 人口減少に伴う不安
- 町に活気がない
- 他の町に比べて活性が無い。行きたい場所も無い。中高年が楽しめる場所やイベントが無い。
- 高齢者や子どもなど（ハンディキャップをもつ人）交通弱者には住みにくい場所だと思う
- 運転の出来ない人や歩くのも困難な高齢者のためのサービスを増やして欲しい。動ける手段がなければ生活は充実したものにはならない。今現在では、身延町の将来性は全く見えない。
- どの部落も若い人 子供がいない事
- 生活活動の利便性、教育サービス、医療機関等将来の発展性に不安を感じる。廃校、廃屋が多く過疎化が著しい。
- アニメの聖地になったので多少若い人に認知されたが、まだまだ足りないと思う。
- 身延←→静岡・富士宮を行き来していますが（車で）、地形のことなのでしかたないですがとにかく急な坂が多くて疲れます。身延線や路線バスなど活性化すれば、お年寄りなども移動が楽になっていいと思うのですが。また、別紙を見て自分の町のことが今、身延に 11,595 人しか住んで

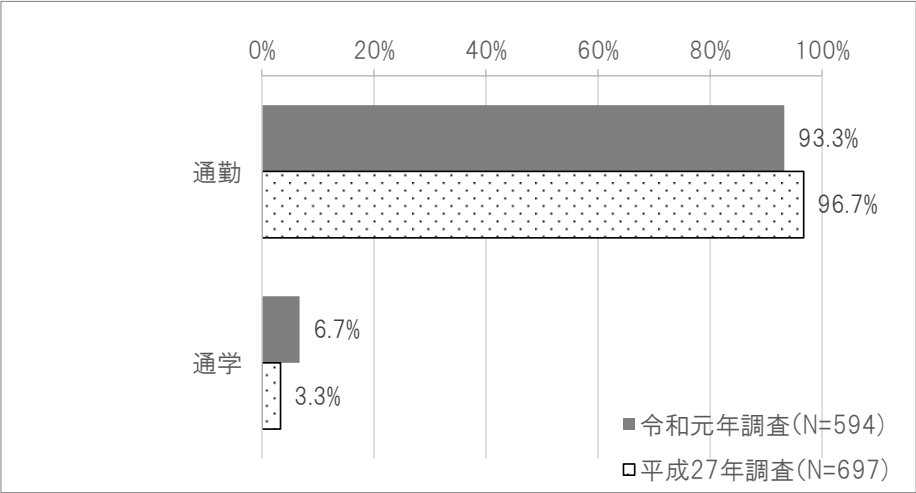
いないなんて知りませんでした。（知ろうとしなかった自分に問題あるですが。知るきっかけをただけて良かったです。）これから更に人口は減少していくとのことですが、どうやったらもっと活気がでるか町全体で考え、取り組まないといけないと痛感しました。

- 人口が 10 年前と 4,000 人くらい減少しているので不安です。若人を何とか流出から止めてください。
- 町の展望がまったく見えない
- 限界集落になりつつある。子供の数が少ない。結婚していない人が多い。田んぼの放棄地が多くシカやイノシシがふえて作物を作るのに大変です。
- 働く、住むに対して活性がない。10 年・20 年先が見えない
- 危険な道路をなくす事
- 予程思い切った施策がない限り発展性は見込めない
- 特に医療関係で専門医の不足ではないですかね 創生総合戦略は理解できますがすぐ実行しないと身延の将来が不安です（各区ごとに区会を催し町民全体の意見を聞いてほしい）
- 他の市町村と同じような将来性、対策ばかりであり、このままでは身延町の良さをなくし、活性化も出来ず終ると考えるため。
- 町外に出てしまう人が多くなりそうだから
- 古いしきたいや祭りなどの強要。高齢者が多いため若年層への負担が増える。なにかしらの役員が
- 空家と農地放棄家庭が多くなり近所の方々はめいわくになるため行政から注意文書をだしてほしいです。特に地主が（家主）県外で話し合いが出来ない。
- 将来の発展性は大きな工場誘致などあれば変化もあるのかも。そうすると又、新たな問題も出てくるので難しい
- 将来の発展性を確保することはこれからの課題。ここで金を稼げるようにする必要がある。老人が増える事を考えると「足」の確保は重要。
- 行政マンが 20 年後の身延町に自ら住みたいという町を目指してほしい。
- 利便性は、飯富一極集中。そもそも職場がない。働くところも、育てるところも、遊ぶところも無くなる一方、消防、安協、区の役員等々の面倒事だけが残っている。これでは若い世代は住みたがらない。

問 27：通勤・通学している場所（SA）

通勤・通学の別については、通勤者が 93.3%、通学者は 6.7%である。

【通勤・通学の別】



	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
通勤	554	93.3%	674	96.7%
通学	40	6.7%	23	3.3%
サンプル数	594	100.0%	697	100.0%

【通勤・通学の場所】

問 27：市町村	N	%
甲府市	76	12.6%
都留市	2	0.3%
韮崎市	3	0.5%
南アルプス市	18	3.0%
北杜市	1	0.2%
甲斐市	2	0.3%
笛吹市	7	1.2%
上野原市	1	0.2%
中央市	20	3.3%
市川三郷町	26	4.3%
早川町	16	2.7%
身延町	295	48.9%
南部町	29	4.8%
富士川町	25	4.1%
昭和町	9	1.5%
富士河口湖町	1	0.2%
静岡市	1	0.2%
富士宮市	6	1.0%
富士市	2	0.3%
静岡県	2	0.3%
県内	4	0.7%
県外	5	0.8%
不明	52	8.6%
サンプル数	603	100.0%

※「通勤・通学している」と回答した方

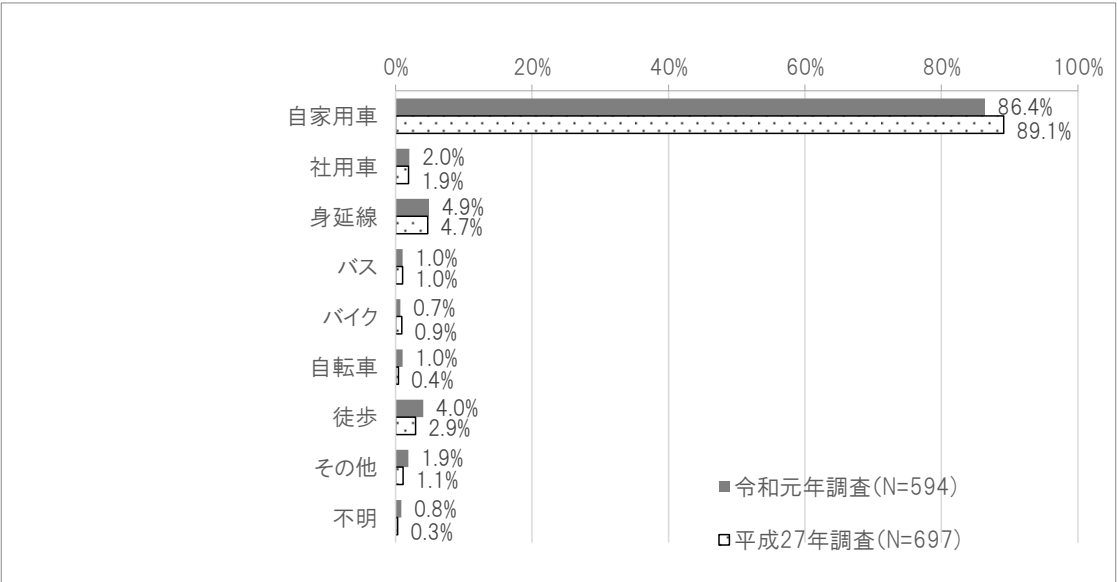
※市町村名が複数の回答がある

問 27：地区			件数	問 27：地区			件数	問 27：地区			件数	問 27：地区			件数
甲府市	塩部	1	北杜市	無回答	1	身延町	下山	18	南部町	南部	4				
	横根	1		計	1			下田原	1		本郷	1			
	横根町	1	甲斐市	無回答	2			下部	17		万沢	2			
	丸の内	4		計	2			下部地区	1		無回答	22			
	国母	1	笛吹市	御坂町	1			角打	1		計	29			
	酒折	2		石和	1			丸滝	3	富士川町	鯉沢	4			
	上石田	1		石和町	1			久那土	1		峡南	2			
	西部	1		無回答	4			常葉	4		小林	1			
	池田地区	1		計	7			身延	19		無回答	18			
	中央	1	上野原市	上野原	1			身延地区	1		計	25			
	中央区	1		計	1			身延・和田	1	昭和町	無回答	9			
	湯田地区	1	中央市	一町畑	1			静川	4		計	9			
	南部	1		臼井阿原	1			切石	1	富士河口湖町	無回答	1			
	飯田	1		乙黒	1			切石 他	1		計	1			
	武田	1		玉穂	1			大河内	3	静岡県	静岡市	1			
	宝	1		田富	1			中富	7		富士宮市	4			
	甲府方面	1		臼井阿原	1			波木井	2		富士宮市山	1			
無回答	55		無回答	14		梅平	17		富士宮市芝川 (西山)	1					
計	76		計	20		飯富	8		富士市	1					
都留市	田原	2	市川三郷町	高田	1		豊岡	3		富士市中里	1				
	計	2		黒沢	1		原	1		静岡県	1				
韮崎市	無回答	3		市川大門	2		三澤	2		静岡方面	1				
	計	3		六郷	2		小原島あたり	1		計	11				
南アルプス市	宮沢	1		無回答	20		瀬戸	1	県内	無回答	4				
	櫛形	1		計	26		帯金	1		計	4				
	西嶋	1	早川町	保	1		曙	1	県外	東京都	1				
	桃園	1		無回答	15		西嶋	2		東京都品川区	1				
	白根	1		計	16		西嶋、飯富	1		横浜市	1				
	無回答	13						門内	1		無回答	2			
	計	18						無回答	171		計	5			
									計	295					

※地区名が複数の回答がある

問 27-①：通勤・通学の主な手段（MA）

通勤（通学）者の交通手段は自家用車が 86.4%、社用車を合わせると 9 割程度になる。



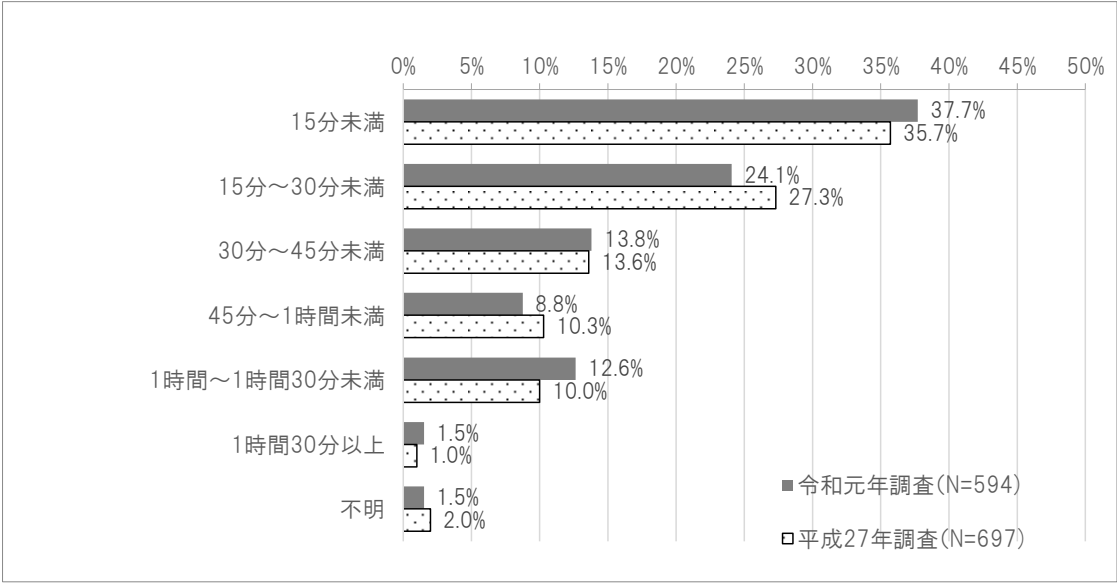
	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
自家用車	513	86.4%	621	89.1%
社用車	12	2.0%	13	1.9%
身延線	29	4.9%	33	4.7%
バス	6	1.0%	7	1.0%
バイク	4	0.7%	6	0.9%
自転車	6	1.0%	3	0.4%
徒歩	24	4.0%	20	2.9%
その他	11	1.9%	8	1.1%
不明	5	0.8%	2	0.3%
サンプル数	594	100.0%	697	100.0%

問 27-①：その他	件数
乗り合いタクシー	2
送迎車	3
同僚の車	1
電車	1
新幹線	1
代車	1
計	11

問 27-②：通勤・通学に要している時間(片道)と距離(片道)（SA）

通勤（通学）の所要時間は、15 分未満が 37.7%と最も多く、15～30 分未満（24.1%）とあわせると 61.8%が 30 分未満の通勤時間である。

【時間】

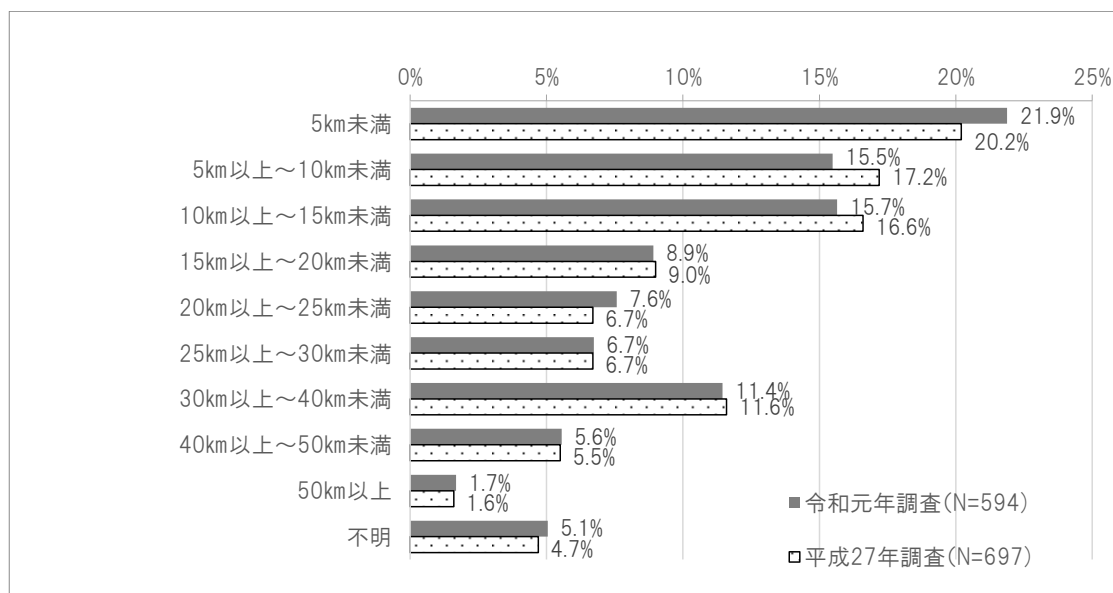


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
15分未満	224	37.7%	249	35.7%
15分～30分未満	143	24.1%	190	27.3%
30分～45分未満	82	13.8%	95	13.6%
45分～1時間未満	52	8.8%	72	10.3%
1時間～1時間30分未満	75	12.6%	70	10.0%
1時間30分以上	9	1.5%	7	1.0%
不明	9	1.5%	14	2.0%
サンプル数	594	100.0%	697	100.0%

問 27-②：時間(片道)：その他	件数
1 時間 30 分	1
1 時間 50 分	1
2 時間 30 分	2
2 時間 50 分	1
3 時間 30 分	1
無回答	5
計	11

【距離】

通勤（通学）距離は 5km 未満（21.9%）、5～10km 未満（15.5%）、10～15km 未満（15.7%）、15～20km 未満（8.9%）と 62.0%が 20km 未満の通勤距離である。

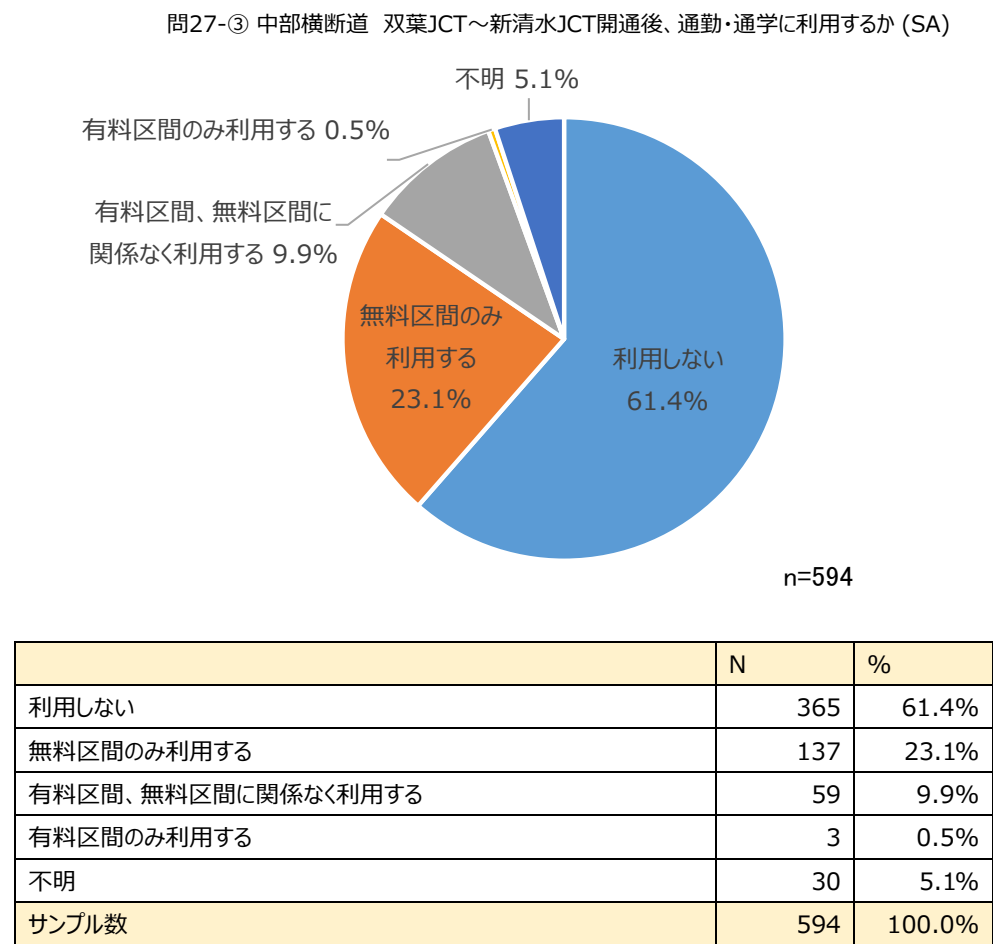


	令和元年調査		平成27年調査	
	N	%	N	%
5km未満	130	21.9%	141	20.2%
5km以上～10km未満	92	15.5%	120	17.2%
10km以上～15km未満	93	15.7%	116	16.6%
15km以上～20km未満	53	8.9%	63	9.0%
20km以上～25km未満	45	7.6%	47	6.7%
25km以上～30km未満	40	6.7%	47	6.7%
30km以上～40km未満	68	11.4%	81	11.6%
40km以上～50km未満	33	5.6%	38	5.5%
50km以上	10	1.7%	11	1.6%
不明	30	5.1%	33	4.7%
サンプル数	594	100.0%	697	100.0%

問 27-②：距離(片道)：その他	件数
90～100km	1
100km	1
140km	1
無回答	7
計	10

問 27-③：中部横断自動車道双葉JCT～新清水JCT 開通後、通勤・通学に利用するか（SA）

「利用しない」（61.4%）、「無料区間のみ利用する」（23.1%）、「有料区間、無料区間に関係なく利用する」（9.9%）の順となる。



問 28 : 「地域に根ざした雇用の創出」について、意見や要望 (FA)

<企業誘致・起業支援に関する意見>

- 高齢者を積極的に雇用する企業の誘致。(60 歳代/男性)
- このまま子供が成長しても、町内で就職するところ、したいところがあるだろうかと考えた時、あると思えない。魅力的な企業の誘致をお願いしたい。(40 歳代/女性)
- 雇用の企業を誘致する事も大切だが、人材創りを進めた上で。(60 歳代/男性)
- 昨年新規事業所(キーテック)誘致したけど町内の森林は木材は不必要なのでそのような事業所の誘致はいかがなものですか。身延町に必要な事業所の誘致を考えて下さい。(60 歳代/男性)
- 企業が入れる町になると良い。学生や、働く人が増えれば自ずと人は集まると思う。(30 歳代/男性)
- 新企業の誘致には優遇制度を定めたり、授校などの校舎の無料借付等、どこの町でもやっているとは思いますが、おもい切ったアイデアが必要だと思います。(60 歳代/女性)
- 地元に雇用を創出できるような企業を誘致できない限り、これ以上の発展はないと思う。特に 52 号線沿いに誘致できれば、いいのですが…。(60 歳代/女性)
- 人口を維持していくためには、働く場所が必要です。企業を誘致することを始め、新たな分野での雇用をつくり出すなど、若い人たちが地元に残る対策をお願いしたいと思います。(50 歳代/男性)
- 生活安定を第 1 に考え企業の流入を促進。(70 歳以上/女性)
- その考えは悪くはない。是非進めてほしいと思う。ただ、このままでは町の衰退に歯止めをかけることは難しいのではないかと思います。人を呼べる産業の誘致を積極的に進めてほしい。(50 歳代/男性)
- そもそも子育てをしている親の意識が身延にいても…と思っている人が多く子供を高校早ければ中学から町外へ出したがっているのが現状 地元に企業をせつかく誘致しても町自体に魅力が必要では。(50 歳代/女性)
- 町内に住み、町内で働けるよう社宅などを提供できるようにサポートする。魅力のある仕事を町内に作る。農業など、身延ならではの 町内だと起業しやすい仕事を起業支援。(20 歳代/男性)
- 人があつまる商業施設の誘致が重要だと思います。拘束が開通し、外から人が来やすくなるので。アウトレットやミニ遊園地など目玉となる何かがある施設など。(30 歳代/女性)
- 法人税の全額免除など、創業に係る、費用の負担を、行わないと、大幅な改善はない。(20 歳代/男性)
- 町に人をよび、企業をよび、お金をよべば活性化がある。(50 歳代/男性)
- 若者の働く場所をもっと誘致し安心して生活できる町にしてほしいです。(70 以上代/女性)
- 若者が、やる気で仕事できる企業の誘致。(50 歳代/女性)

- 都会で暮らす若者の誘致に力を入れていきたい。PC 一つあれば仕事ができちゃう今、家賃が高く、人混みの多い所で仕事をするより家賃がリーズナブルで、自然豊かな場所で仕事をできることを PR すると効果大だと思う。(20 歳代/男性)
- 情報化が進み、仕事が東京ではないとだめ、という時代はもう終わります。東京で多くのクリエイターは家賃の高さを悩んでいる人が多いので、クリエイターの誘致をする。(20 歳代/男性)
- やはり大きな企業がある事は町のイメージに関係してくるし雇用の創出には必要不可欠ではないですか？雇用の為のプロジェクトメンバーの選出も不可欠と考えます。(60 歳代/男性)
- 山梨は地震による津波の被害はありません。近県の静岡方面に安全生をアピールして企業の誘致を計って下さい。折角下部温泉早川インターが開通するのでほっておくことは無いと思いますが。(70 歳以上/男性)
- 新規事業所の誘致。(70 歳以上/男性)
- “新規事業所の誘致”これが一番大切だと思います。(18・19 歳/女性)
- 新しい事業所や、魅力ある町にして、雇用される人が一人でも多く身延町に定住してほしいと思う。(30 歳代/男性)
- 起業支援及び既個人的事業の継続、再開支援を徹底的に行う。(70 歳以上/男性)
- 起業支援と共に工場、企業誘致に力を入れ、若い人たちの働く場を増やすことが、定住の促進にもつながると思います。(60 歳代/女性)
- 働く場所(会社、工場、団地等)積極的に誘致。(70 歳以上/不明)
- 就農支援。高速道路の IC 周辺への企業誘致。(30 歳代/女性)
- いろいろの仕事を誘致。(40 歳代/男性)
- 大企業の誘致により若者の定住化を望む。(70 歳以上/男性)
- 大きな企業が身延町にあれば良いと思います。(30 歳代/女性)
- 大企業の誘致。(30 歳代/男性)
- 中央(首都圏)、県内他市長からの優良企業誘致を、更に積極的に働きかけて頂きたい。(70 歳以上/男性)
- 魅力のある企業誘致が必要。(50 歳代/男性)
- 企業の誘致(有名な)。(60 歳代/女性)
- 優良企業の誘致が必要である。(50 歳代/男性)
- 小さくても大きくても将来性のある会社誘致。(70 歳以上/女性)
- 中小企業などを誘致して若い人が身延で働き定住してもらえるような政策を積極的にやる。また町内の人で何か事業を起こしたい人への支援など、林業へ力を入れたほうが良い。(40 歳代/女性)
- 会社の誘致。(60 歳代/不明)
- 企業の人材の必要性を訴えて広く周知されたい。(70 歳以上/不明)
- 企業の誘致、工業地帯の造成。(50 歳代/男性)
- 企業の誘致をしっかりとしてほしい。(50 歳代/女性)
- 企業誘致。(40 歳代/女性)
- 企業誘致以外はないと思うが厳しいのではないかな。(60 歳代/不明)

- 企業誘致が大事だと思うが……。 (70 歳以上/女性)
- 企業誘致に力を入れて下さい。 (60 歳代/女性)
- 企業誘致による雇用の促進。 (70 歳以上/男性)
- 企業誘致を積極的にやる。 (70 歳代/不明)
- 企業誘致を引き続きお願いしたい。 (40 歳代/女性)
- 企業を誘致しても働く人が集まらないと思う。 (30 歳代/女性)
- 積極的な企業誘致がないと雇用創出もしない。 (40 歳以上/女性)
- 工業団地の分譲がもっと必要 ・若者の定住と子育て世代との融合。 (60 歳代/男性)
- 工業団地等での地元住民の雇用を促進してもらいたい。シルバー等も含めて。 (70 歳以上/男性)
- 10 月で終わる企業があるとか、大きな工場の誘致が必要。 (70 歳以上/不明)
- 工業団地等、連絡を取り、身延町在住者の雇用の創出を図りたい。 (70 歳以上/男性)
- 工業の仕事ばかりのような気がする。 (40 歳代/女性)
- 工場の誘致。雇用の促進。 (60 歳代/男性)
- 工場誘致も、頑張って成功していると思うけど、さらに会社、工場を誘致して雇用促進をして欲しい。若者が集う所があると良いと思う。 (70 歳以上/女性)
- IT のサーバー室や大型施設等 新しく建設する事で雇用もうまれる。ただ、観光客が来ないと意味が無いので話題性が必要と思う。日本最大キャンプ用品販売とか。 (30 歳代/女性)
- 地元にもっと工場がほしい。公共交通の不便性。 (70 歳以上/男性)
- 積極的に工場誘致をして下さい。 (70 歳以上/女性)
- 近くに、工場等の誘地を頑張って行い、若者の流出を止めなければ、発展はないと思う。 (70 歳以上/女性)
- 中部横断自動車道も開通の間近になり今以上に町内への工場・帰郷・誘致をし、町民の雇用の場所作りをすると思う。 (60 歳代/男性)
- 中部横断道がかいつうしたことに伴い、町でも積極的に企業誘致を行い雇用の創出を生み出すよう努力すべきである。 (60 歳代/男性)
- 中部横断道が全通した暁にどのくらいの企業（仕事）の誘致ができるか。それによって今後人口が流出するか、流入する将来が決まると思うし、今の自分自身も町内で働きたいと思っているので期待しています。 (40 歳代/男性)
- 中部横断道全面開通により工場誘致に積極的に取り組む 東京・静岡・長野に更に近くなる為。 (60 歳代/男性)
- 中部横断道の開通にともない静岡との交流が増加すると思いますが、静岡方面の企業を積極的に誘致していただきたい。 (60 歳代/男性)
- 中部横断道も整いつつあり、企業誘致を積極的に行い、若者の流出を少しでも止めてほしい。 (60 歳代/不明)
- 中部横断道の開通を契機に、さらに企業誘致に力を入れてください。また、地場産業（西嶋和紙やあけぼの大豆など）を大切に、PR してください。 (20 歳代/女性)

- 中部横断もあるし企業をどんどん誘致してほしい。人が増えれば生活に関わる店も増え、雇用も出てくる。(30 歳代/女性)

＜あけぼの大豆・和紙などの特産品に関する意見＞

- あけぼの大豆の生産。大塩大畑地区を整備して、獣害対策をしてあけぼの大豆を生産する。(60 歳代/不明)
- 曙大豆の生産拡大。県・国とタイアップし、遊休農地を開拓し、大規模農業法人を設立する。曙大豆は一般的食用と、ヘルシーな大豆ミート等で販路拡大を図る。サラダボウル的な若者が就業できるような法人を目指す。(40 歳代/女性)
- あけぼの大豆でやっていくなら、農業でやっていく会社を誘致して町が仲介して遊休地を広げ、大量に作れる様にする。災害対策のためにも農地は残して欲しい。(60 歳代/不明)
- あけぼの大豆について：6 次産業化は続けていただき良いと思います。収穫数が少ない現状、耕作放棄地の面積を考えると生産に携わる人を増やす（就農支援）ほうが良いのでは。ゆるキャン人気でイベントにはたくさんの方が来ているようですが、イベントで終わってませんか？その後町にお金がおちるようにならないければ意味がないと思います。(30 歳代/女性)
- あけぼの大豆の加工品を充実させて、年間を通して雇用できる場の提供をはかる。(60 歳代/女性)
- あけぼの大豆の生産者をみると高齢者の方が多い。農業で生活出来るような仕組があれば良いと思う。たとえば町内の野菜を給食に使う等。(町のお金は町で使う) (50 歳代/女性)
- あけぼの大豆の様な次なる特産品を見出し、関係する事業に従事する雇用の創出を生み出す事が必要。(60 歳代/男性)
- 以前、旧原小の建物で、曙大豆を使った製品を扱っているとニュースで見ました。とても良い取り組みだと思います。そこで雇用が生まれてもっと多くの人々が携れば経済も活発になると思います。(30 歳代/女性)
- 今や有名なあけぼの大豆ですが、需要の割に供給が少ないような気がします。私の友人（曙、生産者）が、年々体がきつくなっていくとおっしゃっています。後継者不足ですね。働き手の育成が急務だと思います。外国人労働者などどうでしょうか。(70 歳以上/女性)
- 移住者集団農業促進により荒廃農地削減やあけぼの大豆事業促進を進める(70 歳以上/不明)
- 休耕地など農場整備を行い大規模な農地に「あけぼの大豆」の他特産品を見い出して、若者から老人まではたらける農業法人等を設立して、これに行政の出資を行う。(70 歳以上/男性)
- 特産品のあけぼの大豆の栽培を町外からも呼び込んで大量に生産して加工、生のまま何でもありだと思うのでそこから雇用が生まれると思います。(70 歳以上/女性)
- 何か 1 つにしぼって、集中的に盛り上げていくのが良いかと思います。起業は難しそうですが、あけぼの大豆をつかった飲食店、お土産など、また畑の拡大など。(30 歳代/不明)
- 公園があり、子どもが遊べる所に、身延の特産品をビュッフェスタイルで食べれる様な場所があるといいですね。(30 歳代/女性)
- 地域の特産を生かした雇用の促進（農産物・空休耕地の解消）。(50 歳代/不明)

- 身延町の特色をいかした商品を開発して雇用の確保をしたら良いと思う。(50 歳代/女性)
- 和紙や農業の担い手、古くからあるお店を受け継ぐなどマッチングがうまくできたら。(20 歳代/女性)

＜身延山・下部温泉など観光資源に関する意見＞

- 観光名所をふやし、そのための職員の雇用など増えたらいいと思う。(30 歳代/女性)
- 観光や特産品を、もっと多くの方々に知っていただくよう PR したい。マスメディアや SNS を上手に活用したい。(50 歳代/女性)
- 現在勤務している町内の企業では、雇用・交通の問題から町外移転を考えている。製造業ではもっと良い立地はいくらでもあるため、どうしても町内にしか設置できない観光業や特産品の製造業などの雇用を創出すべきと考える。(20 歳代/男性)
- 地域産業としての和紙、温泉業への雇用促進を進めてもらいたい。(70 歳以上/男性)
- 町の特色を活かした観光業務と学校廃校の場の誘致運動。(70 歳以上/女性)
- 中京→静岡→身延→富士五湖観光といったインバウンド観光のルートづくり、呼び込みといったことも検討したら。(60 歳代/男性)
- 身延山の全国への PR、特産のあけぼの大豆の品質維持。(60 歳代/不明)
- 身延町は身延山及び下部温泉に代表される観光業の充実を徹底しなければ雇用は生まれない。(70 歳以上/不明)
- 身延町地域の自然を生かした（他の地域では真似の出来ない事）仕事の創出が良い。養殖魚の仕事。お万の（大野にある寺）日蓮宗との関係とその出来事を物語にして、観光を PR して都会から客を呼び込む事業。(70 歳以上/男性)
- 新たな産業の創出と同時に今ある観光資源をもっと有効に使うべき。例えば身延山の桜だけであれば人が呼べるのであれば、人を雇って四季折々の植物をもっと大規模に植えてみても良いのでは？それに付随する商品開発も!! (40 歳代/不明)
- 身延山、下部温泉などの名の知れた場所もあるので県外の方が来て数時間楽しめる所があれば雇用につながるかなと思います。(50 歳代/男性)
- 下部温泉で働いていた人が JR を利用して多くいましたが、今は皆無に近い。下部温泉を活性化して、会社を定年した人の雇用もすすめて欲しい。(70 歳以上/女性)
- 遊休農地を利用して農産物を栽培しても販売ルートがなくなってしまう（ゆばの里）。宗教的な問題があるかもしれないが、もっと身延山をアピールして観光客を呼びこんだら良いのでは…。(50 歳代/女性)

＜農業・林業などに関する意見＞

- 高齢化による休業した田畑、山林も多いので地域的に農林業の雇用の促進を考えたらどうだろう。(70 歳代/男性)
- 町民が高齢者になり、田、畑が草だらけなので草食動物（やぎなど）を飼ってチーズなど加工食品を作る。どくだみ草がはえている所は雑草がないので、どくだみ草を植えて会社に売る。(70 歳以上/男性)

- 52号沿いに竹が繁茂しているのが気になります。適性な伐採や竹の活用など。地域のおいしい野菜などを使って。(60歳代/不明)
- 畑の草をとってあり、耕してあると、年よりも作物を育てる意欲があると思う。JAと共同して、休耕畑の活用について考えていく。年間を通して、栽培できる農産物(だれでも作れるもの)(この農産物といえないが…)を広めていけるとよい。ボランティアの育成をして、イベント等でのボランティアの方の協力を得ていく。ボランティア→「おたすけ隊」のように…各家庭の要望に対して、解決できるような取組も必要な気がする。中部横断道を活用しての企業の誘致ができるように、アピールをしていく。(50歳代/女性)
- 山林、木材、水資源の活用で地産地消費型にする。バイオマス発電、小水力発電。(60歳代/男性)
- 森林整備も含めた森林の活用事業。(60歳代/女性)
- 手入れの必要な山林がたくさんあるので自伐林業等に対する補助金制度を設け、雇用につなげてほしい。(30歳代/男性)
- 沢山作った農作物を気軽に売ることかできる場所があればありがたい。(不明/不明)
- 天候に左右されない農業。(50歳代/女性)
- 農業、林業の事業化 里山の整備、放棄地の利活用、等により鳥獣被害をくいとめる。(70歳以上/男性)
- 農業、林業を活性化した方が良いと思います。(40歳代/男性)
- 農業を頑張ってもけものにやられ、それを守る為に費用がかかったりそれにみあう、よいものは出来ないので、そこにあまり力を入れるのはどうかと思う。それをやりたい人も少ないと思う。それなら商業を活性化すべきではないか。(20歳代/女性)
- 農業をもっと重要な産業だと考えてほしい。(60歳代/不明)
- 身延町内で収穫体験を増やして欲しい。(20歳代/女性)
- 町の自然環境を活かした産業を起こし、その雇用を創出する。(50歳代/男性)
- もし、くわ茶、柿の葉茶作りの工場が出来れば、くわの木や柿の木を植えて協力します。(50歳代/女性)
- 本栖湖周辺の活用 遊休土地活用(地域大規模農業)。(60歳代/男性)
- 林業を中心とした開発に特化すべき。(60歳代/男性)

<空き校舎・空き店舗・空き家の活用／施設整備に関する意見>

- 高齢化に伴いデイサービスなどがますます必要になると思います。久那土小跡地をそういう施設に活用して、雇用の創出をして下さい。(50歳以上/女性)
- 空き校舎を利用した小企業の誘致を検討は。(60歳代/男性)
- 空校舎の利用を早めに考え、そこに新たな雇用が創出される。(50歳代/不明)
- 廃校になった校舎を使用して雇用がうまると良いと思う。(40歳代/女性)
- 廃校の利用促進。(70歳以上/男性)
- 廃校を何とか利用を。(70歳以上/女性)

- 1人で仕事をする大工さん左官さん畳屋さん植木屋さん農家など職人さんを集めて1つの会社をつくり、廃校になった学校の教室を使っているいろいろな仕事を請負ったり若い弟子を募りやがては1人前になって職人になる。(60歳代/女性)
- 若い世代の人たちが働けておとずれでも楽しめる町づくり。観光、農業、地場産業に何かとコラボしてPR。下部、久那土など空いている校舎を利用し何かを生産したらどうか？(60歳代/不明)
- 空店舗がふえています。この利用促進をはかって下さい。(70歳以上/男性)
- 身延町役場の職員様毎日御苦労さまで御座居ます。私達も皆様も年老いて病院へ行くのが一日の役目のようです。昔は子供の声でにぎやかでしたが、今では全々声がしません。本当にさみしい村です。若い方は富士川町の方へ出て行かれます。何とかして古民家を改造して若い人に理用していただく様にしてくれたらよいではないでしょうか。勝手なこと書きまして申し訳ございません。どうぞよろしくお願いいたします。(70歳以上/女性)
- 遊休地を利用した新たな特産物の開発。空き家を利用した民泊施設。(田舎体験ができるとか)(50歳代/女性)
- 若い人達が遠くへ足を運ばなくても幾つかの集会的娯楽施設(カラオケ、ボウリングとか、スポーツジムなど)下部温泉などヘSPAなど雇用も生まれるのでは又観光客増 他所にないような施設。(70歳代/女性)
- 若い人の安住をかためないと雇用は無理。そこから、スタートすべき。ベンチャーへの場所の貸出等、企業とタッグ組む。(20歳代/女性)

＜雇用について全般的な意見＞

- 他町村の施設では、地元の方を主に採用していますが本町の施設では、他町村の方を採用している様に思います。主に、地元の方々を採用して頂きたい。(70歳以上/女性)
- 雇用の条件によく大学卒、大学卒予定と学歴がまずありき。人の能力ややる気は学歴と関係があるのでしょうか？役場職員の採用も例外なし。大学に行っても手足の器用な人、外国語を話せる人、発想力豊かな人、頭の回転の早い人と、人間関係が上手に出来る人…何かと始めようとする時、そんな人達の才能を見出してこれらの取組のメンバーに迎えることが必要ではないかと考えます。例えば、衰退している身延山への信仰、信者の減少…でも身延の事を心配し真剣に考えている若者もいます。そんな人達にどうか傾聴して頂きたい。(50歳代/女性)
- まず身延町で雇用が創出できるのかが大きな疑問。(20歳代/男性)
- 町内の若者が地域に就職できないと他地域に流出するので地域にいる就職希望者を優先してほしい。(50歳代/女性)
- 安心して働ける企業を増したい。(70歳以上/不明)
- 「働く場所を」ということがすぐ伝わってきます。(60歳代/女性)
- 今のままの雇用では、満足に子供を大学にも出せない。(40歳代/女性)
- 就労の場の確保と所得を高めるために新たな選定を進め
 - ①年間を通じて高所得が得られるもの
 - ②高齢者にも対応ができるもの
 - ③地場資源が有効活用できるもの

- ④生活の変化に対応して需要が長期的、安定的に見込まれるもの（60 歳代/男性）
- 華やかな職場が無ければ若い人は定住して働かない。（50 歳代/男性）
 - 移住者は若者の確保には雇用先がしっかりと生活は困難になる。（60 歳代/女性）
 - 「地域に根ざした」をあまり強くないで、若い人が根づくものなら何でも良いと思う。（60 歳代/男性）
 - 地域に根ざした雇用となると職種が限定されてしまうので、なかなか難しいと思う。行政の手腕をみてみたい。（30 歳代/女性）
 - 地域に根ざした雇用にこだわることはないとおもう。なぜなら南アルプス市や中央市には人材が不足している工場が多い。（60 歳代/男性）
 - 根ざしてなくてもいいのでは？ 働かせえすれば。（40 歳代/男性）
 - 何が地域に根ざしているかわからないが今商売をやっている人がもうやめるって言う。これでは町の雇用の継続もなくなってしまう。（60 歳代/不明）
 - 子育て世代の人達が働きたいと思えるような雇用があれば、良いのに…。（50 歳代/女性）
 - 子育て中の人の方がもっと働きやすい仕事とかがあったら嬉しい。（20 歳代/不明）
 - 若い人達が安心して働ける場所があれば人口も増えるのでは、何か思います。（60 歳代/女性）
 - 若者が働きたいと思えるような場をつくってほしい。（20 歳代/女性）
 - 若者が働ける場所の確保。（40 歳代/男性）
 - 若者の正規雇用の企業が増えると良い。（60 歳代/女性）
 - 町内にもっと女性が働ける店や作業所などが増えたらいいなと思う。ファミレス、ファーストフード店などちょっとお茶ができる場所があったらいいなと思うし雇用に繋がると思う。（40 歳代/女性）
 - 女性が働ける職場がもっとあったらいいと思う。（60 歳代/不明）
 - 我家の長男も就職は県内ではあるが、地元から出ている。現実には働ける企業が地元になく為選択肢もなかった。長期に安定した企業を地元で置く事をどのようにしたら出来るか。（60 歳代/女性）
 - 外国人労働者の雇用を増やすことで、伝統文化の継承ができるのではないのでしょうか。（20 歳代/男性）
 - 現状身延で働いていないので考えた事はありませんが雇用があったほうが良いと思います。（30 歳代/男性）
 - 働きたいと思うような職場が必要。（50 歳代/女性）
 - 選べるだけの仕事がなく不満。（20 歳代/男性）
 - 働く場が無い。どのように雇用を創出するのか不明。（50 歳代/男性）
 - 働く場がなければ生産年齢人口は集まらないので、一番重要ではないか。外国人だろうと職場があっても、働く人がいて税金を納めてくれば、自然と人口減少にはどめもかかる。（30 歳代/不明）
 - 働く場所がない。雇用の確保を。（40 歳代/女性）
 - はたらく場所がないため、若者が出て行ってしまふ、もっとはたらく場所をつくってほしい。（50 歳代/女性）

- 働く場所の創出。(40 歳代/不明)
- 働く場を増やす。(70 歳以上/女性)
- 働ける場をふやして下さい。身延では結婚してしようと、離婚してしようと金が安く、何も関係ないと思います。(20 歳代/女性)
- 身延町に住んで、身延町で働ける場所を希望します。(70 歳以上/女性)
- 身延町は会社が少ないので社員としてはたらく場をふやしてほしい。(40 歳代/男性)
- もう少し幅広い職種があれば良いと思う。(30 歳代/男性)
- もっと雇用の創出がほしい。(40 歳代/女性)
- 雇用がなければ人口は増えないのもっと促進してもらいたい。(30 歳代/男性)
- 仕事する所がありません 私は障害者です もう少し 中富総合会館●を利用してほしいと思います。(60 歳代/男性)
- 町内で働く場所を多く求める。(60 歳代/男性)
- 町内に雇用が少なく、皆甲府方面に出ていることが多いと思う。だったら町外に住むので、住もうと思わない。(30 歳代/女性)
- 雇用の場所が少ないため若い方々が外へ流れてしまう現状で、税金も上がり、雇用があり、買い物など利便性を求め町外へ出てしまう現状を何とかしてもらいたい。(40 歳代/女性)
- 様々な人にとって魅力がある職業が無い限り、雇用は生れないため、仕事を増やすことが大事だと思います。(20 歳代/女性)
- 条件の合う働ける場所が少ないと思います。(30 歳代/女性)
- 農業、観光、地場産業で雇用が増えてもパートタイムや季節なので若い人には向かない。(40 歳代/男性)
- 賃金が他の町に比べて安すぎるので上げて欲しい。金額が良ければ多少他の条件が悪くとも人は集まると思う。できるだけ地域の人を雇用して欲しい(町内の企業は)。町がシルバー世代を行事毎に雇ってみたら。(40 歳代/女性)
- 最低賃金の引き上げ、働く場所(工場だけでなくデイサービスなど福祉施設)を増してほしい。(20 歳代/男性)
- 旧中富町で働く場所が少ない。時給を上げてほしい。(20 歳代/女性)
- 介護施設で働く人への高賃金。(60 歳代/女性)
- 介護職につく人材が少なく、賃金を上げるとか、職場の環境改善を良くしたら人員が増えるのではないかと思われる。(70 歳以上/女性)
- ケアハウス等の施設を充実させることに●●る。(60 歳代/男性)
- 新たな雇用が増える事はとても良い事だと思いますが、若い人が対象で中年層の募集が少ないのが残念です。新規事業所の誘致の時に雇用人数も重要ですが、年齢の幅もできれば広げてほしい。(40 歳代/女性)
- 近くで働く場所が少ない 年令がかさむほど働く所はない。(50 歳代/女性)
- 高齢化…これからの時代は、インターネットを活用した取組が重要だと思う。(50 歳代/男性)
- 高齢者も元気で働きたい人が多いのでハローワークをもっと活用すべし。(20 歳代/男性)
- シルバー人材の職場充実。(40 歳代/男性)

- 人材センター（シルバーセンターのみならず若年も含めた）の活生化、充実させる。（70 歳以上/女性）
- 地域雇用として高齢者を強い味方とし知恵やアイデアを出し合い夢中になれる仕事として取り組みたいと思います。（60 歳代/女性）
- 定年後に戻ってきやすい環境作りをしてほしい（働ける場所を作ってほしい。例えば観光、大豆関連等）。（60 歳代/女性）
- 定年したり 60 代の雇用がたくさんあったらいいと思います。（60 歳代/女性）
- 若い人はもちろんですが、元気なシルバー世代の雇用があれば高齢化の町も活性化するのではないと思う。（60 歳代/不明）
- 身延町の企業の雇用の様子を流してほしい。（50 歳代/女性）
- 会社の移転とか失くすべき。（50 歳代/不明）
- 今ある企業が出ていかにないように。（50 歳代/男性）
- 雇用者の教育も必要である。（40 歳代/女性）
- 指導者（リーダー）に当たる者の知識工場とスキルアップを希望。信頼出来る指導者がいてこそ強い組織が確立し、雇用の創出 優秀な人材確保にも繋がると思う。（60 歳代/女性）
- 雇用の創出は企業経営者にとっても直面した課題である。まず基盤を確立するためには設備投資が必要であると思うが、原資を捻出する策がない…。この策を行政側として知恵があれば提案してもらいたい。（70 歳以上/男性）
- 雇用はしたいのですが、見合う売上げが期待出来ません。（70 歳以上/女性）
- 事業所の誘致も必要と思いますが身延町内既存の（零細企業）（大部分にあたりますが）に雇用があるように助成をしても良いと思いますが。（70 歳以上/女性）
- 雇用のチラシは目にしますが、受け入れる職場の内容が悪い場合が多く長続きしないケースもあるのでは 内容が良ければ職を求めて来る人も多くなると思う。（50 歳代/女性）
- 地域の企業を強し、雇用の創出につなげる。民間でできる事はまかせる。（60 歳代/男性）
- 地域に雇用の創出のハードルをパーアップを望みます。（70 歳以上/男性）
- 雇用を増やすには企業が身延に来ることはもちろん、そこで勤める人が不便のないよう交通機関、商業施設の整備が必要。コンビニ、定食屋、等も必要。（20 歳代/不明）
- 人口が減っていると同時に生活出来る職場がなければどんどん他の町外へ転出してしまおうと思います。（70 歳以上/女性）

<他との連携に関する意見>

- （県内でも）地域ごとに、性格や差があると思います。身延は、甲府と静岡の中間に位置しています。（早川町に行くためには、身延を通らなければならない事など）他の自治体と協力して雇用を創出してもらいたい。（30 歳代/男性）
- 産学連携活動やインターシップができると良いのではないのでしょうか。（20 歳代/女性）
- 民間企業とタックルしないと町で（役所）で何かやるのはムリがある。（アイデア的にも）（40 歳代/女性）

- 民間の企業側から見て、魅力ある地域、活力ある自治体、雇用したくなる人財などの情報収集や分析が必要ではないでしょうか。(60 歳代/不明)
- 特産物の研究や、コラボ企画などは民間での営業経験・企画経験がある方を新たに雇用するのもアリだと思います。今、福祉業界に携っていますが、コラボすることで身延のイメージ向上と活性化に良いと思います。(30 歳代/女性)

<教育に関する意見>

- 観光地は多いが、どこも PR 不足で訪れる人が少ない。身延町内に大学施設を誘致し、若者を呼込むなど行ってほしい。(50 歳代/男性)
- 全国でも見られない専門学校の創立、一人口が増えるー (70 歳以上/不明)
- 保(幼)・小・中の教育を充実していただいているので、さらに高・大も行政・民間で共に特色ある教育を展開し、内外から魅力ある学校教育環境を創出し、若者をしっかり育てあげることに注力していきたい。特に人口減の厳しい状況にあって、内外の目を身延に向けさせるには、公私ともになって全国に類を見ないくらいの高校や大学を経営・運営していくぐらいのことをしないと打開できないと思う。(60 歳代/不明)
- 若い人達の勤めができる会社をつれてこなければならぬとか、大学とかもあったらいいかと思う。スポーツとかで長期に練習できるような所を作る。(60 歳代/女性)

<道路・交通に関する意見>

- 中部横断道の活用。(30 歳代/女性)
- 地域発展の基本は道路、交通整備につくる。三沢●市の瀬間のトンネルは長い間の希望であるが実現しないのが現実。これでは人がいなくなる。(50 歳代/男性)
- 地価は安い、交通の便が良くない？ (60 歳代/男性)
- 道路の拡充、雨量 300mm 以上あっても交通止めにならない道路にしてもらいたい。企業の最大の弱点は物資が不足することです。この点をふまえ企業誘致して頂ければ雇用の創出が出来るのではないかと思います。(70 歳以上/女性)

<その他>

- 身延町内に住んでいながら、身延町が取り組んでいる事を全く知らない為、先ずは、どのような取り組みをしているのか、周知させる事が大切だと思う。(問 2 8 ~ 3 2 . 共通) (30 歳代/男性)
- 「第一期身延町町人だと創生談合戦略」の実施結果はどうなったのか、町民に意見を聞く前に戦略を実施した立場から結果・報告があるべきでないか？ (以下の質問に対しても同様) (70 歳以上/不明)
- いいと思います。(30 歳代/女性)
- 安定した収入と職種を解決するには、無理な土地・地域ではないかと思う。(50 歳代/男性)
- 今は仕事をしていないが、親の介護をしている。時があくかぎり仕事をしたが、むりである。(60 歳代/男性)

- 今老人が元気で行く所がなくもてあまして居る。その方々をボランティアなどに協力してもらったら。
(70 歳以上/男性)
- ひとり親でも安心して働ける町づくりを促進してほしい。(70 歳以上/男性)
- 町にお願い どの町にも目をくばっておなじようにつき会をして下さい お願い致します。(70 歳以上/女性)
- 家庭をもち、複数人の家族がいてこそ、安定がある。結婚しない若者たちに働きかけたい。(70 歳以上/女性)
- 旧中富町飯富●の境界●のターゲット エートの活用を一考したい 埋土をして工場●地や娯楽施設業をしたら●●●●●にある山をくずし平地をつくる。(70 歳以上/男性)
- 現状、雇用の創出は期待できないので、住みやすさを重視した方がよい。(40 歳代/男性)
- 個人事業されていた方が町外に移住しているのが目立ちます。子育て環境の不满によるものの様です。誘致だけでなくサポートも大切かと。6 次産業化に伴い、パッケージデザインなども JTB が担当した様ですが地元（県内）のデザイナーを起用すべきだったと思います。とても残念です。ゆるキャン効果はすばらしいと思いますが、決して続くものではありません。一時的なブームに力を入れすぎる事はしないで下さい。町のうたとしてゆるキャンで起用されているアーティストさんによる CD が配られました。全戸に無料で配布する必要はなかったと思います。和紙の里では分からない、それぞれの和紙工房の魅力があると思います。生産者さんが現場をもっと PR すべきかと思います。(30 歳代/男性)
- 町内で雇用を増やすことは大切だと思いますが、限界があると思います。町外の職場で働く人がいかに町内に住んでもらえるかが重要だと思います。(30 歳代/男性)
- 身延町にもっと会社があれば良いですが、誘致も難しいですね。私が子供の頃のように身近に商店があった頃、みんな歩いて行きました。人がいれば店があり自車を使わずとも生活できます。すべては“人”ですね…。(40 歳代/女性)
- 住みやすい町づくり、住むにあたり各手続の簡素化、わかりやすい行政、高齢者施設等、すべてをまかなえる等、子供のいる世帯の子供の面倒（働く親の為にの意味）をみてもらえるようなシステムの確立。(40 歳代/不明)
- 代行サービスがない。電車の最終もない。身延町で遊べないから金をおとせない。(40 歳代/男性)
- 高齢者のため思う様に意見が出ません おわび致します。若い人がいないため子供を産む事が出きず 段々高齢者が多くなりあと何年には部落がなくなるのでは？と廻りの人と話してます。(70 歳以上/不明)
- 例えば、役場や県職員が退職しても一般人と同じではだめ色々知っていると思うので協力して下さい。(70 歳以上/男性)
- 特になし。若者が少ないのに…。(70 歳以上/女性)
- 特に難しく考える必要は無い事と思います。明るい気持で取組む事だと思います。(70 歳以上/男性)
- 年よりやひとりくらしの高齢者、交流の場がなく話の相手もないし、とても淋しいと思います・町を全体に元気が感じられません。(50 歳代/女性)

- 若い人の移住も大切だが、高齢者の移住を進める事により介護施設で働く人が増え人口減にブレーキがかかるのでは、正し要介護人口は 30 年もすると激減するため介護施設も縮小することになり介護者は職を失う事になる。（70 歳以上/男性）

問 29 : 「町を元気にできる人財の育成」について、意見や要望（FA）

<講演・教室・交流等に関する意見>

- ・人財育成の為の講演や教室の実施 ・都市部の人財の確保 ・他町との交流により人財育成。（60 歳代/男性）
- 意見交換会の取りくみは良いと思いますが、その後どれくらいの数が実際には動くのでしょうか？しだれ桜のクラウドファンディング以外話に聞きません。みのべーしょんについても同様です。話に出て、実際に行動に移していかないと意味がありません。行動に移せない理由があるのでしょうか？（30 歳代/男性）
- 異事業者間の話し合いの場を開く。（民間事業者、公的機関、大学生等）（70 歳以上/男性）
- "移住者同士交流会等により意見交換等により第三者からの町に対する考えを聞く事も参考になる"（70 歳以上/不明）
- 外国人観光客をもてなす為語学の勉強会を開催して欲しい。甲南のテニスコートを有効活用し、色々な世代の人が毎日テニスをしている様な活気が欲しい。子供の頃から身延町に愛着を持ってもらえるようにする。（40 歳代/女性）
- 外部講師などを呼び、まちづくりについて学べる機会がほしい。町について、まちづくりについて、考えている方は多いです!!町民が主役のまちづくりを。（20 歳代/女性）
- 各地で活躍されている、まちづくり専門家を講師として、まちづくりに関する様々な分野の知識を学ぶことのできる研修などを開催。引き続きお願いします。（60 歳代/男性）
- 気楽に話し合える場を作りたい。（20 歳代/男性）
- 高校生と語る相手が町長…？ではなく、商工会青年部等 町の活性化に直結している方の投入はどうでしょうか？（60 歳代/男性）
- 高校生の意見も大事であるが、広く町民の意見対話する場がない。各種検討会も広く町民を公募し、活発な意見交換が欲しい。（40 歳代/女性）
- 交流の空間やスペースが必要だと思います。より良い人間関係、地域の絆がつないで欲しい。（50 歳代/女性）
- とにかく若い人達が集まる機会。楽しむ場所作りを願う。（70 歳以上/女性）

<若者・教育に関する意見>

- 若者も身延の良さはよく理解していると思われるので 仕事として農業体験ツアーの企画などできる人を。（60 歳代/不明）
- 今から義務教育を受けている子供達は本町の財産である。この子供達が本町で●を、本町の活性化の更に●●得える。魅力ある本町の姿を提示することによって、町を元気にできる人材育成ができるのではないかと思います。（70 歳以上/男性）
- 今のところ、それが誰を対象にどのように行われているかが全く伝わって来ない。高校生だけ？（40 歳代/女性）

- 今のままでは、子供は街に出てしまうが止められない。(40 歳代/女性)
- "魅力的人材を強力に応援する制度。・若い人の意見を聞いて、その人達が又、戻って来なくなる制度"。(70 歳以上/ 男性)
- 学生が大学卒業後に身延に戻って来てくれる事を望みます。(50 歳代/女性)
- IT 人材は今後とても大切な人的リソースです。今後は子供から、プログラムや英語を学ばせ、次の世代のテクノロジー開発をすべきです。(20 歳代/男性)
- 学生時代にスポーツで頑張った人材をもっと町のために働いてもらう。(60 歳代/女性)
- 学生の時からもっと教育。(40 歳代/男性)
- 教育環境の整備が人材を育て、やがて人口の増加につながる。小中高を含めた教育のレベルアップが絶対に必要。(70 歳以上/不明)
- 高等教育(高校以上)は町内で行っても甲府等の都市部のレベルには追い付けないため、町外で教育を受け、成長できる人材を育てるために、充実した義務教育を行い高いレベルの知識を伝える人材を育成すべきであるとする。(20 歳代/男性)
- 県内外から起業したい若者に廃校にした教室を提供する。(50 歳代/女性)
- 子育て世代、又は高校生・中学生など若年層の町政への関心を高めることが急務。その世代の意見を聴く機会を数多く実施する。(50 歳代/不明)
- 地元の高校生や大学生が町に残ってよい町づくりの為に研究したり意見交換を多いにして行ってもらいたい。(30 歳代/男性)
- 地元の高校を大切にすべき。(50 歳代/男性)
- 子供が増えて活性できれば良い。(40 歳代/女性)
- 子供達が身延町に住みたいと思える環境。(50 歳代/女性)
- 今、とても子供達(幼小・中高)に支援して頂きありがとうございます。この子供達が将来身延に帰ってくるには、やっぱり企業…でしょうか。難しい質問ですね。(40 歳代/女性)
- 子供たちが身延に山梨に残って働きたいと思える企業が少なすぎる。いくら人材育成しても外に流れていってしまいます。(40 歳代/女性)
- 子供達の意見や若い人達の希望など話し合う機会をもっといただいているので今後も続けていってほしいです。(40 歳代/女性)
- これから町を支えてくれるであろう若い人々の育成は、今、これからの感覚を持った人でないと、出来なと思います。(60 歳代/女性)
- 失礼ながら、こういった取り組みをしていることも知りませんでした。私も学生のときだったらぜひ参加してみたいと思うほど良い取り組みだと思います。例えば、農林高校のように、地元の特産物を使って商品作りをするとかできればおもしろそうです。(30 歳代/女性)
- 地元高・大学生の意見を聞いても卒業後は地元に残らないから私としては交換会の実施はどうか。20〜30 才代の身延に居る若者達と意見交換会を実施してはどうですか。(60 歳代/男性)
- 小・中学生がわくわくするような町づくりのために、子どもたちの声をきいたり、高校生や 20 代の若者が行政に関心を持つような働きかけをして、将来の人材育成につなげてください。(20 歳代/女性)

- 小中学校の教育次第である。(60 歳代/不明)
- 速効力とすればすでにいろいろ経験を積んでいる外部の方。将来的には生徒。学生に多面的な教育の機会がある事と何より愛町心を小さい頃から育てる。(60 歳代/女性)
- 地域おこしの活動に、高校生などを積極的に参加してもらう。(50 歳代/女性)
- 小さいうちから人財育成に取り組むべき。(40 歳代/女性)
- 町長との会話だけでなく、町議会等を見学させ町議との対話、又各職場体験をさせ各企業の幹部との対話をする事も育成になるのでは？(60 歳代/男性)
- 町内外から若い人のアイデアを取り入れる。町内の学生に地域の良さを伝える。(70 歳以上/女性)
- 町内から県内の大学へ通っていた学生で、県外・町外へ就職するが、いつか必ず身延に戻ってきたいという方に 2 名も会いました。その方々が戻って来れるような町でありたい。みのバージョンは好事例ででしょうか？「町を良くしたい」と集まった人が初期にはたくさんいたのに戻つばみで、もったいなさしか感じませんでした。本当に町を良くしたい人が役場内に何名いらっしゃいますか？(30 歳代/女性)
- 町内に学校・大学、研究所等がなく、人財自体いない。(50 歳代/男性)
- 町内の高校生以上の若者にアンケートし、人材育成してほしい。(70 歳以上/女性)
- "町づくりの根幹は、教育にあると思います。この町を愛する若者が増えること。そのためには、幼少期～思春期の「楽しかった、熱狂した思い出」や「地域の方々に良くしてもらった思い出」が必要と思います。それが、やがて恩返しという形で、この町を想う人財が帰ってくると思います。"(20 歳代/男性)
- 町づくりの研究も良いですがそれを支える財政（資本）が必要。こちらの教育が優先。(40 歳代/男性)
- 町の高校生や若い人達が地元の良い点を見詰め直して、地域での人間性あふれる人財を作してほしい。(70 歳以上/男性)
- 町の中心になっていくべき若い人達のアイデアをくみ取る。例えば報奨金等を出すコンテストをする。今“ゆるキャン”が話題ですが、この利用を町で後押し、かかわっている若い人達の確保と補助金。(60 歳代/女性)
- 町を元気にするのは子、若い人だと思うので若い人向けのイベントを企画したり、ファミレス等をつくる。(20 歳代/不明)
- 町を好きになってもらえるように、小さい頃から参加できるイベントなどを開催したり、町の魅力などを学ぶ学習機会を作る。町に対して、どんな人でも意見しやすい環境づくり。(20 歳代/男性)
- 身延高校の生徒で部活動に入らない生徒が増えているので、参加人数の少ない高大連携に部活をしない生徒を入れることをしないと人材の育成ができないと思う。(20 歳代/女性)
- 身延町にどういった仕事があるか、身延町出身の学生を中心に知ってもらうところからやっていくのいいのではないのでしょうか。(20 歳代/女性)
- 若い子達の雇用から、SNS を使い、人財の確保、身延を元気づけてくれそうな人財発掘をする必要あり。(20 歳代/女性)

- 若い人、エネルギーのある人がいないわけではないのに集まる場所やきっかけがなく交流できていないのではないかな？もっと町をあげて地域は町の人達が交流参加しやすい環境を作る必要があると思います。（50 歳代/女性）
- 若い人が定住しないと厳しいと思いますよ。（50 歳代/不明）
- 若い人達(特に中高生)や、女性の意見を反映させることが重要と考える。（60 歳代/男性）
- 若い人で少しでも町が良くなる様な考えを出してほしいと思います。（70 歳以上/不明）
- 若い人に働ける場所をつくる。（50 歳代/女性）
- 若い人をあつめて下さい。介護は人手不足です。（20 歳代/女性）
- 若い者が住める町にすることが重要ではないか。（50 歳代/男性）
- 若者が安心して働き、結婚、子育てができなければダメだと思います。（60 歳代/女性）
- 若者が定住できないと発展しないのでいい事だと思います。（60 歳代/女性）
- 若者の意見をとり入れる。（60 歳代/不明）
- 若者の住み良い場所。（40 歳代/不明）
- 芸術などの方達に町の感じをかえてもらったり、若い方達に店を提供。いろいろな、おもしろい店を営業させ住んでもらう。（60 歳代/女性）

＜中高年・シニア世代に関する意見＞

- 切石では若い人達がいません 老人だけです 空家ばかりです。（60 歳代/男性）
- 高校生、大学生などの若者の育成も大事だと思うが、それ以上の年代の方へのアプローチも必要だと思う。（50 歳代/男性）
- "高校生以下の若者を育成しようとしても無理があると思う。なぜならほとんどの若者は、将来、もっと利便性の良い土地に暮らしたいと思っているから。もっと地域に根ざした中年男女に人材を求めた方がいいと思う。"（60 歳代/女性）
- 高齢者でも生きがいを持って働けるような場所を作る。生きがい→元気になる→町が活気づくみたいな。（40 歳代/女性）
- "シルバー人材活用には力を入れてほしい"（50 歳代/女性）
- シルバー人材センターの機能拡張して広く利用可能にすべき。その為の下部組織を発展させ、廃業を防ぐ。（60 歳代/男性）
- シルバーでも働ける場所を作してほしい。（不明/不明）
- 青年団的なものを検討できないか。（70 歳以上/男性）
- 退職後の時間を、地域活動をしたい方が多くいると思います。ボランティアの活動などの企画があると、ありがたいです。（70 歳以上/女性）
- スローガンを掲げて幅広い年代で形成された組織で活動出来る事が理想。（60 歳代 /女性）
- 若い人材の育成もよいと思いますがもっと 50 代 60 代 70 代の人からも意見を聞く交換会を増やしても良いと考える。（60 歳代/男性）
- 若者ばかりが頑張っても町民人口の大半は高齢者なので、その人たちの意識をもっと町作りに積極的に向かせないとだめだと思う。ぜひ町長には小中学生高校生など子供だけでなく、地域でも話をきいてもらいたいと思う。（40 歳代/女性）

<専門家・外部人材に関する意見>

- 各部門の専門家の育成が必要である。(70 歳以上/男性)
- 県内外から広く応募(専門分野)。(70 歳以上/女性)
- 医療ソーシャルワーカーなど介護保健や医療法についての事務的なプロをそだててほしい。または雇用してほしい。(20 歳代/男性)
- "ウォーキングや登山のガイド等の育成。"(60 歳代/男性)
- 介護士への補助。(60 歳代/女性)
- 芸術家が住みたくなる町づくり、人づくりも良いかと思う。(60 歳代/男性)
- 西嶋和紙の手漉き職人の人材育成。それには和紙製品のインターネット等での PR、販売促進を拡充。(60 歳代/女性)
- "コネでの採用のイメージが強いです。本当に優秀だと思う人を雇うべきだと思います。この人に町をまかせたいと思う人があまりいません。本当に育成したいなら、実際に成功しているところの人を呼んだらどうでしょうか？"(20 歳代/女性)
- 元気な県外の町に学びに行くべきだと思います。また、一般企業の広報活動へ参加した方が良いと思います。身延町出身の県外在住の方を募集した方が良いと思います。(30 歳代/女性)
- 他所から来た若い人が中心となってイベントを年に 1 ~ 2 回もして身延町在住の人が知らなければ何も伝わらない。宣伝する効果をもっとたくさん使って まずは、イベントを知ってもらう 足を運んでもらうのが第 1 歩ではないのでしょうか？(50 歳代/女性)
- 地元の人ばかりでなく外からの人材や地元から一度外に出た人の活用を含めた"人材"を育成していってほしいと思います。起業家への支援を厚くしてほしいと思います。(50 歳代/男性)
- 地域外の若い人を身延に呼んで意見をきく、体験してもらうなどいいかなと思います。(30 歳代/男性)
- とても良い事です。しかし、今はリタイアしていても免許、技術を持っていた人達に町外はもとより県外からのグループに楽しく教え指導する会を宿泊しながらして頂く。(60 歳代/女性)
- 町の活性化のできるイベントを考える。町外からの移住者の人材育成。(40 歳代/男性)
- よその地の人と地元の人が両方で考えないと気づきがなくダメだと思し。ファイトある人が数人いれば何かできる気がする。(60 歳代 /不明)

<リーダーやグループ・運営に関する意見>

- 育成を待っていたら財政破綻する。リーダーシップがとれる人材をさがすのが先。(50 歳代/男性)
- 意見の言える人だけでなく、地域から優れている人を推薦して人材を掘り起こしてもらいたい。(60 歳代/不明)
- 色々な会議、イベントの中から、リーダー的存在になる人材を見抜いて活用されたい。(70 歳以上/不明)
- リーダーシップを取る人がいれば助かるが、意見等言う人が少ないと感じます(マンネリズム？)(60 歳代/男性)
- 活動への補助が必要。まかせきりでは続かない。(30 歳代/男性)

- 起業したい人への金銭的（助成金）援助。（30 歳代/女性）
- 企業や産業が必要とする人財の育成が大切ではないでしょうか。次世代の産業を支える人財は地元で育成し、サービスを提供する雇客（観光客）は、企業が育てるという町づくりはどうでしょうか。（60 歳代/不明）
- グループを創設し生涯を保障する生活圏を造り—活躍させる。（70 歳以上/男性）
- 人財という名のリーダーを育てる必要はあると思うが、1 人ではできないことが多いので全体をしっかりまきこんでいく視点も重要と思う。周りが支えなければどんなに有能な人材も宝のもちぐされとなる。（30 歳代/女性）
- 人材育成はよいことだと思う。同時に人財誘致もありだと思う。団体組織ということより、個人でもグループでも町を元気にしたいと思う人々が、自由に取り組み、それを支援することもあってよいと思う。（50 歳代/男性）
- 年齢差・男女差を越えて、やる気のあるグループを育てる。そういうリーダーに逢いたい。若ければ若い程いい。（70 歳以上/女性）
- 年令に関係なく町内の人材と、送出し一つのグループを●ち●●●い。（70 歳以上/男性）
- 場所を提供する。西嶋の和紙の里など多大なる設備投資をしているがもう少しイベントをした方が。教室（夜間の）。（60 歳代/男性）

<地域おこし協力隊・地域文化に関しての意見>

- 地域おこし協力隊の利用。（40 歳代/男性）
- 地域活性化は移住者しかし情熱を持った移住者を●いろいろな面で援助して新しい風を入れない限り発展性はないと考えています。（70 歳以上/女性）
- 地域協力隊の方が、一生懸命やって下さっているのを見てきているので、私たちも出来る限り支えてあげたい。身延を好きになってもらうことで良さを発信してもらえ、次の人を呼ぶきっかけになると思う。（60 歳代/不明）
- 身延町の地域おこし協力隊は、とても素晴らしく町民として、本当にありがたいです。協力隊として、力を発揮できるようこちらサポートできることがあれば協力したいです。（30 歳代/不明）
- 地域のつながりをさらに強化する。（30 歳代/女性）
- 地域の古いしきたりや行事への参加が多く、町外へ転出したい、という声を多く聞きます。（30 歳代 /男性）
- 地域の祭りや行事が人口減とともにやりにくくなってきているが、それでも他町村に住んでいても忙しい時間をやりくりして帰ってきて参加してくれる若い人が少なくない。こうしたものへの奨励や、財政的補助は望めないものでしょうか。（60 歳代 /男性）
- 伝統行事を守る。（40 歳代/女性）

<地域資源に関しての意見>

- あけぼの大豆、和紙などが大企業とコラボされたりすれば、町民としての誇りなど沸くのかも。「身延と言ったら〇〇」「身延は〇〇がいい」と言うのが 1 つでも出来れば、街の活性化にも興味もつかもれないですね。（30 歳代/女性）

- 育成もですが、いわゆる田舎を目玉にした事業を行っている方を見つける事も必要に思います。
(50 歳代/男性)
- 「ゆるキャン△」への対応おそすぎ。(20 歳代/男性)
- ゆるキャン△の活用を今後とも続けてほしいです。(18・19 歳/女性)
- ゆるキャン△を活用した町おこしはいいと思います。ただ「肉を食う会」など町民は知らなかったの
…町外の人に来てもらうのもいいですが、まずが、町内の人に知ってもらい参加してもらい楽しんで
もらい町の人々が元気になると…いいなと。(30 歳代/女性)
- ゆるキャンが旬なうちに、若いオタクの声を聞いてみては？(40 歳代/男性)
- ゆるキャンのブームがすぎた時が不安。(20 歳代/男性)
- 身延山と町が協力して信者が短期滞在出来る様 空き家を利用する事を考えたらどうか？そのた
めの人材を役場で持ったらどうか。(70 歳以上/男性)

<町役場に関する意見>

- 本町においては、高学歴の方々を良く採用している様に思います、高卒でも、アイデア豊富な方が
多勢いらっしゃるのでそう言う人達も、採用なさったらいかがでしょうか。(70 歳以上/女性)
- まず、行政職員の育成、仕事の見直しにより、職員の削減。(70 歳以上/不明)
- 先ず役場の職員がそういう人財であるべき？だと思いますが…。(50 歳代/女性)
- 町●の人達の意識を変えて頂き、一人一人がどんな事が出来るかを創造して、地元の活性化に
尽くして頂きたい。(60 歳代/女性)
- 町の職員の人材育成をしっかりと行い。公務員の甘い考え方を変えて行く事から始めて見てはどう
でしょうか。(60 歳代/男性)
- 町役場の職員さんの気持ちよいあいさつなど日常的なとりくみをすすめてほしい。(70 歳以上/男
性)
- 身延町を愛し町の良さを知らせるべき職員町民との協同の話し合いの場を研修が必要かと。
(70 歳以上 /男性)

<その他>

- “町を元気にできる人財”を育成するためには、“町を元気にできる人財”が育てていかなければつ
ながらないと考えます。(20 歳代/女性)
- 「人財の育成」だけではだめ。地域に応援する気持がないので、そこから考えねばだめ。(70 歳以
上/男性)
- “・各地域などのサークルの紹介・作物をつくっていない畑が各地にあります、草にしないように、き
れいにしておくことが大切。草になっているとさみしい感じがする。(活力が感じられない)”。(50
歳代/女性)
- 育成といっているが本当に育てているのか？どこも人材不足の為信用ならない。(40 歳代/女
性)
- いろいろな人が、夢を持って来てくれているのは理解していますが定住してくれる人がいるのか、わか
りません。(70 歳以上/女性)

- 経験や技術、知恵を惜しみ無く伝えてくれる人材。（60 歳代/女性）
- 現在、えらい人（県議等）とつながりのある人がいばっているようです。名もない庶民が大切にされるようになれば良い。（70 歳以上/男性）
- 現状を良く知り、参考になる事を広く求め、方行に合わせ人財育成に取り組む。（70 歳以上/女性）
- コミュニケーションパワーのある人財をたのみます。（70 歳以上/男性）
- 正直、本当に「人財」が育成できるのか疑問ではある。無職の私が大きな口を叩けないが、希望はほとんど持っていないし、最も生産性のある年代へのメリットが全くないように思える。町の宝というのなら、あまねくメリットがあってしかるべき。（20 歳代/男性）
- 人口減少を止める事がまず先に、町長、議員、職員さんの発想とやる気行動力に期待。（60 歳代/男性）
- 人工不足。（40 歳代/男性）
- 人材育成は非常に難しい。（40 歳代/男性）
- 人財の育成より、介護を重視した方がいいかと…。（30 歳代/女性）
- 人材をいくら育成しても出ていかれては意味がない。（20 歳代/女性）
- 人材を増やすことが大切だと思います。（30 歳代/男性）
- 人がいなければ育成もできない。（30 歳代/男性）
- 住みます芸人のようなキャラクターをつくる。（50 歳代/男性）
- 積極的に推進して、少しでも若者が増え、住みやすい町になれば活気になり人口も増えるかも…。（70 歳以上/女性）
- 難題であるが、人が多く集まれば（人口増）自然と人材は集まると考えます。したがって、基本目標 5 による人口規模を多くする環境を確保する。（70 歳以上/男性）
- その他：本気で町民からの意見を集めたいなら、アンケートの回答期限が短すぎると思いました。アンケートが届いてから 2、3 日して葉書が届き、“1 週間後までに返送して”と急かされる事は、不快でしたし、形だけで良いからアンケートを取っている様に感じました。（30 歳代/男性）
- ただ何をすれば良いとか、ではなく、ひらめくような考え方をする人を見付ける、または、見い出す。（50 歳代/男性）
- 特に考える問題は無いと思います。（70 歳以上/男性）
- 皆が楽しく出来る人財が町に大勢いればよい。（70 歳以上/不明）
- もっと楽しむ場所が欲しい。スポーツジムの振興。（70 歳以上/不明）
- 身延町はとても街灯が少なく夜（夕方）子供たちが歩くのにとても危険です。街灯を増やして下さい。特に小中学校の周りをお願いします。（40 歳代/女性）
- 身延町へのあつい想いの人ならよいが、実現的でないような妄想ばかりで夢を描く時間はいらない。（40 歳代/女性）
- 魅力ある職場があれば転出する事なく町にとどまっていると思います。（70 歳以上/女性）

問 30 : 「人の流れをつくり、移住・定住の促進」について、意見や要望（FA）

＜空き校舎・空き家に関する意見＞

- ・空き家を移住者や無償貸与、住むにあたり改装費用の補助・中富中学校におけるサバゲー事業を廃止させた理由がわからない。あれ以上の活用法はなかった。あれ以上の活用法を説明に欲しい。（20 歳代/男性）
- 空き校舎、空き家の活用をさらに推進してほしいです。福祉サービス施設（←空き校舎）施設の整備をぜひお願いします。今からの人財育成も大切ですが、福祉面の充実も同じくらい大切だと思います。（60 歳代/女性）
- 空き校舎の利用は大事であり、今は維持するだけでも大変ではないかと思う。（60 歳代/男性）
- 空き校舎はどうか役立つ方法を考えてほしいです。学校の合併で、空き校舎が一気に増えました。早川町のヘルシー美里やヴィラ雨畑のように何か活用をしてほしいです。（30 歳代/不明）
- 空き校舎等を利用した福祉サービス等は大いに期待したいが 空家に転入してくる事に関しては、過去に経験しているが良い印象がなく、人口増となっても賛成しかねない。（60 歳代/ 男性）
- 空家が多いが誰も住む人がいない（鯉沢から南はムリ聞いたところがある）アピールが（宣伝）ないと思います。（60 歳代/男性）
- 空き家が多いので格安で住んでもらえたら。（30 歳代/ 女性）
- 空き家がたくさんあるので利用して人口が増えるように考えてほしい。（30 歳代/男性）
- 空き家がどんどん増えているので、山の中で生活している方々を下へ移住させるような環境づくりをお願いしたい。（40 歳代/女性）
- 空家対策…廃家の解消／住宅地の提供。特定空き家の指定拡大（不在宅地の解消）。（50 歳代/不明）
- 空家等、町が買いあげて、移住、定住者に提供するという事も良いと思います。（70 歳以上/女性）
- 空家等の登録を促進。（70 歳以上/男性）
- 空家の増加に伴い、地域の過疎が進んでいる。若者が少ない為かコミュニケーションも少ない。空家対策を考え、二件一件何が出来るか検討する。（60 歳代/女性）
- 空き家の利用にあたり社会的弱者（たとえばシングルマザー）が安価で住みやすい住居を提供し移住を進める。（60 歳代/女性）
- 空き家バンクを本格的に実施。最低年 10 軒はやらないと。（70 歳以上/ 男性）
- "空き家も増えていて、管理や防犯面が気にかかる。長期間開いているのならつぶしてしまうのはどうか…。アパートが少なく、「住みたい」と思った時にあまり選べない。"（30 歳代/不明）
- 空き家利用とあるが、リフォームする費用が足りるか不安。（20 歳代/男性）
- 空家を積極的に活用するために町の補助等。（60 歳代/男性）
- 空家を低家賃で貸付、移住を役所で都会人に斡旋する。（70 歳以上/男性）

- 空き家を土地と一緒に無料で貸し出す（地主とのコンセンサスが取れた場合）。（60 歳代/男性）
- 空き家をリノベーションして売り出す。（50 歳代/女性）
- 空家を利用 人工をへらさないように。（70 歳以上/女性）
- 余っていてもったいないと常々感じます。（30 歳代/女性）
- 家を住まなくなって解体した後、土地が売れない、買ってくれる人もいないこの管理の事を考えると移住しにくい。土地は価値がない、荒れ地にしておける所ならよいが定期的に草刈りが必要では移住 ● 無視・所有権はそのままでも町が預かり地域に共有畑や花畑として貸出し、花の多い身延ようにしたい。（70 歳以上/男性）
- "移住を決めてから、空き屋バンク空き土地バンクを知りました。とても良い政策だと思いますので、ぜひもっと広く宣伝してほしいと思います。特産物をコラボできれば、その時にチラシを入れられますしね。"（30 歳代/女性）
- 外人さんが移住されている家があるが、コミュニケーションがとれないと不安だと思う。空き家が本当に多いのでどうにかして欲しい。使っていない建物は（おみせやビル？）少し怖い。（20 歳代/女性）
- 公営住宅の空室が多くなっている。家賃を補助するなど若い世帯への入居促進を図る。（60 歳代/女性）
- 国外・県外の人に定期的に安価な空き家情報を提供する。災害が他県で起きた際、いち早く被災者を受け入れ、住居を提供する。国道ぞいに花（球根）を沢山植えきれいな町をアピールし町内に足をはこんでもらう。（40 歳代/女性）
- すごいスピードで空き家が増えています。子育て支援など充実しもっと宣伝し移住者を増やすよう努力してほしいです。（70 歳以上/女性）
- 都会に住む知人は（身延出身者）は、身延の気候が過ごしやすいと必ず夏には訪れます。移住・定住はむりでも、空き家を短期期間貸し出し、別荘のように使用にするとか（安価に）。（50 歳代/女性）
- 廃校となった学校施設を利用し、今後、日本社会全体がどこでも抱える少子高齢化の高齢者対策をはじめとした福祉サービスの拠点としていくことで雇用確保や移住定住者の受け入れにつなげられないかと思います。（50 歳代/男性）
- 身延の人が増穂に家をたてる。身延は家をたてるところがないと言ってるのを聞く。西島なら駅にもそんな遠くないし家をたてるには良いと思うので空家をつぶしてたてられるようにしたら良いのでは。（40 歳代/女性）

<住宅に関する意見>

- 移住者に無料の住宅の提供（30 年以上の定住）（身延町での就職）等条件。（70 歳以上/女性）
- 移住を進めたくても若い世代が入居できる住宅が無い。中高年相手にしか促進ができない。（30 歳代/男性）

- 市川三郷町で行っている都会からの移住者に対して税金・住宅新築について補助しているらしい、又、早川町等は中学校生迄などで若い家庭（子供がいる事）が多く、小中学校の児童が多くなった事など身延町もその取り組みを進めてほしい。（70 歳以上/女性）
- 住居だけあっても誰も入りません。この項目は後廻し。（40 歳代/ 男性）
- 新築した際の補助金を増してほしい。丸滝のような土地を増してほしい。（20 歳代/男性）
- 宅地分譲の推進は良いと思いますが価額を安くして定住が多くなるようにしてもらいたい（建設費に比例しなくても良いと思います）。（60 歳代/男性）
- 団地に住んでいる人々が家を求める時、町内に住めるよう宅地分譲事業をわかるように進めてください。空き校舎を地域活動や、福祉サービス、町内外の企業の入居などに活用できるよう取り組んで下さい。（70 歳以上/女性）
- 定住する人がいない。減少しているのは、税金も高すぎると思います固定資産税が高すぎです。これでは家を持って定住出来る人はいないと思います。（70 歳以上/女性）
- 定住促進住宅（？）の利用がスムーズに行っていない様です。体験住宅（貸与）の内容の見直しを。（70 歳以上/男性）
- 土地代が高い。富士川町等とあまり変わらない感じがする。（30 歳代/男性）
- 年配の方々が息子、娘と同居しながらないので町外へ出てしまう。町内に新しく家を建てたくても土地がないと聞いた事がある。（40 歳代/女性）
- 農地を宅地化し身延町独自の施策で広く PR し人口を増加させる。（70 歳以上/女性）
- 夫婦や単身で住めるきれいなアパートが必要だと思います。結婚を機に多くの友人が富士川町のアパートへ転出しました。地理的に不利な身延町内こそ、結婚しても住める場が必要です。（30 歳代/男性）
- 身延町に住みたいと思っている人はいると思います。安くて済みやすい住宅がもっとふえたらよいのかなと思います。（30 歳代/女性）
- 安い住宅をたくさん作ってまず住んでもらう。（40 歳代/ 男性）
- やすくて質の高い住居の提供。（20 歳代/男性）
- 家賃が高い（町営住宅）ので家賃の安い町営住宅の確保（単身用も含め）。（40 歳代/男性）
- 家賃が高すぎ（団地）。もう団地の時代じゃないと思う。上九一色のように 1 戸建ての家を提供（安い家賃）するとか考えないと定住する人はいないと思う。（50 歳代/不明）
- 若者が安心して住める住宅の確保。（50 歳代/女性）

<雇用・起業に関する意見>

- ※やはり働く所が一番重要だと思います。（70 歳以上/男性）
- 移住、定住させるには まず働く場所の提供だと思う。現在の状態ではむずかしいと思う。（70 歳以上/女性）
- 移住・定住を促進するためには、安心して働ける企業や公共交通機関が必要。（60 歳代/不明）

- 色々やられているので、すごいと思います。大手の企業とタッグを組んでその家族に住んでもらう…徳島県神山町の様な古民家を借りてサテライトオフィスにして人を集める（東京の IT 企業がたくさん集まっています）などですか？（30 歳代/女性）
- 移住したい、田舎暮らしがしたいと思っている人のうち、定住する人の割合はとても低いと思う。仕事絡みでないと移住しない。（30 歳代/女性）
- 問 28・29 と似ていますが、企業がいてくれる町にするのは…どうしたら良いのでしょうか？企業の要望をきいてみる！とか！？でしょうか。（40 歳代/女性）
- 会社でなく天職をみつける事。天職をみつけて そして そこに場をつくる。順では（学校）大人、小人、利方の。（60 歳代/男性）
- 起業家への経済的支援が一番だと思います。身延で起業したら家賃一年間無料などを行い、多くの起業家を育てるべきです。（20 歳代/男性）
- "起業したいと思える魅力的な店舗、空き家、二拠点居住しても良いと思えるコワーキングスペース、宿泊施設、移住者への経済的支援が必要と思います。"（20 歳代/男性）
- 起業の誘致。（40 歳代/不明）
- 工場、企業の誘致をして人口増と就業場所の確保。（60 歳代/ 男性）
- 雇用がなければ定住もないと思います。（40 歳代/女性）
- 雇用の創出から移住や定住につながると思います。（70 歳以上/女性）
- 仕事があれば、促進しなくても良いのではないかと。（30 歳代/男性）
- 就農支援(I ターン・U ターン含む)。介護分野等での外国人技能実習生の受入。（30 歳代/女性）
- 職場がもっとあれば良い。（40 歳代/女性）
- 地域産業の活性化により、衣食住が保証され、地域内で需要が高まり、定住人口の増加が期待される。一過性の人口問題より、次世代を支える企業が求める人口の増加が必要ではないでしょうか。（60 歳代/不明）
- 地域の人達の雇用（地元のことを良く知っている）空き家対策など。（70 歳以上/女性）
- 町内で働ける場所を増やす。（20 歳代/女性）
- 定住には問 28 の回答のように、生活できる環境（働く場所等）が必要。（70 歳以上/男性）
- 働く所、住む所があり、安定した生活ができる事。（60 歳代/女性）
- 働く場所が、たくさんあることが、定住の促進になると思います。（50 歳代/女性）
- 働く場所が少ない。（70 歳以上/ 不明）
- 働く場所がなくてはだめだと思う。（50 歳代/ 男性）
- 働く場所をつくり、若者の定住。（50 歳代/ 男性）
- 本人に技能や経済力があると望ましいが雇用先がないと厳しい。（60 歳代/女性）
- 無住宅をリフォームしてでの定着と職業斡旋と地域マッチングをセットで提示しないと都会人には響かない。起業を志す若者への補助も必要。（60 歳代/男性）
- 若い人が移住できる様、雇用場所が必要。（50 歳代/女性）

＜生活環境・社会インフラに関する意見＞

- "・これからの子供の成長を助ける事の出来る町にしてください。（経済・教育）・共働きが安心して出来る町にしてください。"（70 歳以上/女性）
- ・都市部との交流から流れをつくり、移住定住を ・U ターンが出来るような町づくり（結婚や子育て世代へのアピール）の為補助の拡充。（60 歳代/男性）
- 移住・定住を進めるためにも、何か魅力のある物がほしい！自然のよさだけではどうにもならない気がします。（70 歳以上/女性）
- 150mm くらいの雨で孤立するような町に人はこない。（60 歳代/不明）
- CCRC は必要。（60 歳代/不明）
- 自然環境は素晴らしいので CCRC は需要があるのではないかと思う。施設自体も重要だが、ご家族が気軽に訪問できるように交通の便や医療機関と連携、周囲の環境整備等も同時に進めていただきたいと思います。（40 歳代/不明）
- 移住、定住の促進を図る前に実際に住もうと思えるよう医療、交通、買物等が不便なく行える環境を整備すべきである。（60 歳代/男性）
- 生活環境をよくする。先住民が移住者に対して、もっとオープンに接するべきだと思います。（50 歳代/女性）
- 移住・定住促進前にやるべきことがたくさんあるだろうと、町外から来た子育て世代の私は思う。一度児童館で子供を遊ばせていたとき、移住ツアー？みたいなご家族が何組か見学に来たが、児童館にいた母親たちとは一切言葉を交わさないような雰囲気引いた。子供をふやして、移住者をふやしたいなら若い子育て世代を集めて意見を聞くべきだと思う。（40 歳代/女性）
- 今住んでいる、働いている人達が身延で住みたいと思えるような町作りをしていくことが必要と思います。“身延町なんて何もない”とよくききますがそんなことはないと思っています。今住んで居る人達ももっと身延を好きになれることが重要と思います。（30 歳代/男性）
- 今の身延には住んでもデメリットしかない。良いところを町民に聞いても、同じものしか挙がってこない為、今回のアンケートを通して新しい魅力を発見、活用して移住定住に活かす必要あり。（20 歳代/女性）
- 親子三代が定住し、その後、他地区との交流が出来る町であつたら……。 （70 歳以上/男性）
- 買い物、公共施設、娯楽、教育、医療、これらの充実していない所に誰が住みたいものですか。（40 歳代/男性）
- 介護付き高齢者住宅の誘致または、町営で。（60 歳代/男性）
- 結局は若い人たちが住みやすい町にならないと人口も増えないし交通の便もあるし町だけの問題ではないと思います。学校が近くにないという事もネックになっているのでは……。 （60 歳代/女性）
- これ以上、小学校を減らさない。（40 歳代/女性）
- 災害時に受け入れ出来る施設づくりを行い、定住をはかり人口増加につなげる。（30 歳代/男性）

- 地元の子ども達が外で学んだあと地元にもどって来なくなる町づくりを進めていきたい。学校教育の充実を含め身延町への愛着をもつような“人財”を育てていきたい。住む場所の確保も必要である。（50 歳代/男性）
- "充実した基盤を作ることが先決だと思う。"（60 歳代/ 女性）
- 小中学校の教育費の保護者負担が軽減されていることをもっと全県的に PR してほしい。（20 歳代/女性）
- 食事処、医療機関、働く場所は必須。（50 歳代/男性）
- シルバーが気軽に立ち寄れるカフェのような所があればいい。有料でもいい。（不明/ 不明）
- 自然の美しさを利用して住みよい街作りにしたい。（70 歳以上/不明）
- 住みやすさをもっと追求して欲しい。（50 歳代/男性）
- スローガンを掲げて幅広い年代で形成された組織で活動出来る事が理想。（60 歳代/女性）
- 住んでいる者に良い町にすることが重要ではないか。（50 歳代/男性）
- 生活に必要な店がなくなりつつあり、安定した職に付くようになる若い人が多い中、地元での生活が不便になり、住む人が少なくなるのを変えていかないといけない。（例）：行政で理容院・床屋を運営する等）（50 歳代/男性）
- 交通機関の利便性向上。（30 歳代/女性）
- 国道・県道の主要道路の整備（大雨で通行止めでは困る）。（50 歳代/ 男性）
- 中部横断道を早急に完成させる。（20 歳代/不明）
- 道路の充実 中部横断も無料区間を多くして欲しい。（50 歳代/女性）
- 都会から移住してきた人の中には運転免許がない人が多い。今まで必要としないので、なので、駅の近くや交通の便を良くした方がいいと思う。（70 歳以上/女性）
- 移住・定住を促進するためには車をプレゼントしたほうがよいと思う。（30 歳代/女性）
- 町民の生活内容が充実した良い形を生み出して、表現。（70 歳以上/男性）
- 働く場所、住む場所、買い物できる場所、みんな生活できる環境がそろわないと大変だと思う。（60 歳代/不明）
- 保育園（共働きの出来る環境）小学校、中学校、高校までの一環教育（町外、他県から集人出来るような環境、人材）若い世代に魅力ある企業、人が集る事が出来れば促進に繋がるのでは。（70 歳以上/女性）
- 他の町にはない魅力のある制度づくり、例えば上下水道料金が全国で 1 番低いとか？（南部町に比べ高すぎでは？）（60 歳代/男性）
- まずは身延に来てもらいやすくする。多種多様なイベントの開催や誘致し、様々な人に来てもらえるきっかけを作る。自然の中でも暮らしやすいよう商業施設などを誘致などし、の暮らしやすさの向上をする。（20 歳代/男性）
- まずは魅力あるまちづくり？（50 歳代/女性）
- 豊かな風土がノーベル賞受賞に結びつく山梨研究機関の育成。（70 歳以上/男性）
- 若い人が入って来てくれる環境が必要である。（60 歳代/男性）
- 魅力のある店を連ねて流れをつくる。（60 歳代/女性）

＜広告宣伝、ウェブサイトや SNS 等に関する意見＞

- （多くの方に）身延町を知ってもらうために、SNS 等のツールを使い知ってもらって、興味を持ってもらい、人の流れを作ってもらいたい。（30 歳代/男性）
- ・町のホームページの改善…ホームページを開いた時に、特徴がすぐわかるものにしたらどうでしょうか。…アピールの仕方を考えていく。（50 歳代/女性）
- 移住、定住している方をマスコミ等を利用して多方面に紹介する事を望む。（60 歳代/男性）
- 移住、定住のメリットを明確にして、受け取り側にしっかりと伝えるべきだと思います。（30 歳代/女性）
- 県内外へ、身延の良さを PR し町内外へ PR 出来ればいいと思う。（70 歳以上/男性）
- 今後、空き家も増えてくると思うので、移住や定住してもらえるように町の良いところをアピールして、移住や定住してくれた人を広報や HP などで紹介してほしいと思う。（町内外にアピールできるので）。（40 歳代/女性）
- 町外へのアピールをネットや移住の支援施設への出店？をしたほうが良いと思います。（30 歳代/女性）
- 東京から近いので、四季折々の美しい風景、旬の食べ物を発信する。（60 歳代/不明）
- 都会の方に田舎のいい所をもっとアピールする。（40 歳代/男性）
- とても良い内容だと思いますが、身延町外の人々の認知度は低いと思います。PR 活動が重要だと考えます。（20 歳代/女性）
- 町の意味力：豊かな自然、利便性、教育、食の確保、趣味のすすめなどひとつひとつクリアして都市部にむけたアピールが必要。（60 歳代/女性）
- 身延町外の人とはとりあえず身延は遠い、すごい田舎だと思っています。そのイメージを変えられるようなびっくりすることが起こるといいなと思います。（20 歳代/女性）
- もっと身延のいいところ（子育て推進等）を町外・県外にアピールしてもらいたい。中部横断道ができて、だいぶ通勤の幅もひろがったと思う。有料区間の通勤補助（半分でも）とかあったらいいなと思う。年上限 1 万とかでも。（40 歳代/女性）
- "身延町の魅力をアピールというか発信することが必要だと思います。"（50 歳代/女性）
- 身延町の自然環境の良さを PR すること。富士山富士五湖を生かした観光ルートの整備。（60 歳代/不明）
- 若い人に向けた移住の宣伝をいろいろ考える。（40 歳代/女性）

＜移住者に関する意見＞

- 移住者を増やすうえで、具体的なイメージが大切だと思います。どのような人を町に呼びたいか年齢・職業・生活スタイルなど。どんな町にしたいか具体的なイメージが出来れば、どんな人が呼びたいかイメージ出来、その為に何が必要か今、何をすべきか、どこで PR すべきか見えてくるのではないのでしょうか。フワッと「移住者を増やしたい」「定住者を増やしたい」では他の地域に流れてしまうかと。（30 歳代/男性）
- 移住はかまわないが、信用できる人か判断しづらい。（20 歳代/男性）
- 県外の高齢者より県内の若者世帯の移住促進に力を。（40 歳代/男性）

- 高齢の方はやめて下さい。若い人をあつめて下さい。(20 歳代/女性)
- 子育て支援が手厚い割に、子育て世代へ向けての移住・定住促進はされているのでしょうか？若い世代の移住が増えている他地域のロールモデルを研究したり、勉強に何うなども必要ではないかと思います。現状では町内へ移住できる若い世代は雇用される人ではなく、起業したい人、手に職のある人だと思います。(30 歳代/女性)
- 子供たちにお金を掛けることには賛成だが、学校・就職等で町外へ出てしまうことを考えると複雑。就職でもどって来た人達へ手厚くしたらどうかと思う。(50 歳代/女性)
- どうしても身延町に移住したいと思える人のみに来てもらえるよう、環境のみ整えていき、受動的に活動を行うべきであるとする。町内の慣習、文化を理解してもらう。定住し続けたいと思う人のみを受け入れればよいと思う。(20 歳代/男性)
- 都市部と違い利便性がないので若者はどうしても一度は大都会へと目が行きます。定年間近の人達に（町内出身者）呼びかけしターンして若い人の人口確保を願います。(70 歳以上/女性)
- 戻ってきたいと思う町を目指していきたい。一度外に出て経験や知識を高めた若者が地元愛や新しい視点で町を活性化するのに活躍してくれると思う。また、移住にこだわらず集落維持のボランティアなど双方にメリットのある関わり方をしたい人々にも目を向けていくことも大切。(20 歳代/女性)
- まずもって今後町職員新規採用に当たっては、原則として町内在住者を優先すべきでは。他町からの移住。定住者への手厚い支援、若者の住宅連接への検討もすべき。(40 歳代/ 女性)
- 若者の移住は困難、地域差（旧町単位）がありすぎる。(70 歳以上/不明)

<その他>

- 移住して来た人があった時、区長さん又は民生委員さんなどに町の方からお知らせしていただく訳にはいかないのでしょうか。(60 歳代/女性)
- 一部の人でなく町全体で取組めば良いのでは？(60 歳代/不明)
- 各戸の年収が増えれば（結婚・出産・子育て）充実。(60 歳代/男性)
- 奇抜な企画じゃないと無理。すべて無料。税金免除など。(40 歳代/男性)
- 子供達が成長し結婚をし、家を出て、町外に移り住むことに自分達も賛成しましたが、今思えばやはり昔ながら長男は家にいて生活することが良いと思います。町、地区で育てていただき、そこに貢献することなく、自分達も老いて行くことにすべての不安を感じ、反省しております。(60 歳代/男性)
- 人口をへらしていくような施策はやめてほしい。転出者の数を知ってほしい。人口減るのは全国的うごきで±0 の目標はムリ。(静岡の長泉町のことを学んでほしい) (40 歳代/女性)
- 自然に促進する問題だと思います。(70 歳以上/男性)
- 手段が分からない。(40 歳代/女性)
- "生活資金が重要、自分は年金生活なので年金で充実させてほしい。" (60 歳代/男性)
- 地域の連携不可決。(30 歳代/女性)
- 強みをさらに強める。(50 歳代/男性)

- 出来るかぎりの取りくみを、未経験であっても、お手伝い出来ることはないだろうか。（70 歳以上/女性）
- 出ていってしまう若者に対する対策をとるべき。（20 歳代/女性）
- とても良い事だと思います。私達の村にも 2 世帯増え、仲良く過ごしています。違う考え方もあり、視野が広がり良い勉強になっています。（60 歳代/女性）
- 人の流れをつくり移住定住に賛成です OK。（70 歳以上/男性）
- まず元々の住民が流れないようにするのが重要なのでは？さほど田舎でもなくさほど発展してもない身延町に移住してもらうのははっきり言って厳しいと思う。（20 歳代/男性）
- みせかけの支援では定住しないのでは…。 （50 歳代/男性）
- 魅力ある町づくりの為には行政の一致団結した研究、努力、実行、指導が必要と思う。（70 歳以上/男性）
- 魅力ある町づくりを強力に進める。委員会を設立してしっかり取りくむことが必要であると思います。必ず結果を出すメンバーを速みやかに送出して始動してほしい…。 （70 歳以上/男性）
- 山と川を自然を自由に開発出来る農地等の規制の緩和と●●の対策等を地域を上げて話し合ってみることが必要ではないか。（70 歳以上/男性）
- リニヤ開通で大きくかわる。古い家は解体し景観をはかり今から計画的に 10～年すぐだ 輸出入の時代は終。観光収入に力を入れて。（70 歳以上/男性）

問 31 : 「結婚・出産・子育て環境の充実」について、意見や要望 (FA)

<医療・教育に関する意見>

- 安心して出産、子育てするのは病院ですので専門医です。早川・身延町で一諸に考えて下さい。
(60 歳代/男性)
- 安心して、結婚、出産、子育て出来るには保育園は良いが学校が少ない。病院 (産婦人科) がない。(60 歳代/女性)
- ・出産費の助成 ・近くに産院が欲しい ・小児科も欲しいです。(70 歳以上/女性)
- 会社、学校、病院が連立していないと知り合うきっかけがないので出会いが少ないので事業主が出て来ないと自然と交流の場が少ないと思われる。(70 歳以上/女性)
- 学校・病院 充実したものがない。(60 歳代/不明)
- 職場・産院・小児科・保育園・学校と一緒につながりが車の移動 30 分以内位の範囲でおさまらないと、定住には結びつかない。まずはこの要件の中のひとつでも他の町にはない魅力を出さないといけないと思う。(40 歳代/女性)
- 子育て環境は充実していると思いますが、出産場所が遠いのが大変でした。(30 歳代/女性)
- これから出産・子育てを考えるにあたり、産婦人科に少し不安があります。身延に新たにクリニックと言うのは難しいのですが、どこかの病院に産科を新設とか。←難しい注文なのもよくわかります。すみません。(30 歳代/女性)
- 産婦人科が近くにあると、若いママたちが、出産に前向きになるのでは？(50 歳代/女性)
- 出産させてくれる病院が遠い。(70 歳以上/女性)
- 出産時、身延町だと環境が整っていないため、不便だと思う。産婦人科のある病院がもう少しあれば良い。身延町にずっと住み子育てしていくなら町内で出産出来る所がないのはおかしい。(20 歳代/女性)
- 出産する病院や子供を育てていくうえで、専門の病院が少ないと思う。(60 歳代/女性)
- 出産出来る病院がないのが不便です。／少人数クラスでのんびり出来ていいのですが、町外に行き、人数の多い学校と触れ合うと見方も変わるのかなと思います。(30 歳代/女性)
- 出産できる病院の確保と少ない子供の教育環境作り。(60 歳代/男性)
- 出産について。とても病院が遠いので検診日と陣痛になった時大変。ここで育つのは自然に恵まれて良いのですが、通学に大変。(60 歳代/女性)
- 近くに産婦人科の病院がないことが問題である。(60 歳代/女性)
- 町内で出産できる所がないため、一ヶ所でもそういう所があればいいと思います。保育所は待機児童がいないと聞いていてそういう所をアピールする。婚活イベントの充実(変わったイベントなど)。
(30 歳代/女性)
- 町内に出産を受け入れてくれる病院が必要だと思います。(50 歳代/女性)
- 大変だとは思いますが、病院に産科がほしいですね。あと乳児でも面倒をみってくれるような環境があると働いているお母さんも安心できるのではないのでしょうか。(60 歳代/男性)

- 若い年齢でも子どもを育てやすい環境にしてほしい。産婦人科がもっと近くにあると助かる。(20 歳代/不明)
- 救急車で HP (病院) 行くにも 1 時間以上。重症だったら死んでしまう。甲府、富士吉田には土日祝、夜間の小児救急センターがあるのに峡南方面にない。南部の方だったら静岡に行かなくちゃいけない。(30 歳代/女性)
- 医療がぬけていますよ……。小児科を作して下さい。身延山病院の小児科に行く人が少ないのは週 2 に 2 時間しかやっていないのと、先生がコロコロ変わって「かかりつけ医」になりえないから母親たちは苦労して他の町の小児科まで行っているのです!!とにかく常設で小児科を作らないことには話になりません。議会だより等で議題にもあがらないのは本当に失望します。(40 歳代/女性)
- 医療費の無償化、保育の無償化も必要だと思いますが、町内に小児科もなく衣料品店もなく、親が町外で働くとなると何か子供にあった時に対応ができないので、職場が近く便利な他町市に転出してしまうのではないのでしょうか。(50 歳代/女性)
- 子どもの病院が困る。町内の病院で色々対応してほしい。(30 歳代/男性)
- 子供服などが近場で買えるよう、西松屋などがあったら嬉しいです。身延山病院のように長時間待たされる病院では無い小児科専門の病院が欲しいです。(20 歳代/女性)
- 子供をふやせと言っても近くに病院がなく遠くまで行かなくてはならず大変だと思う。(30 歳代/男性)
- 小児科(身延山病院)が週 2 回しか外来がないということでは地域の医療が不十分です。医療の充実をお願いします。(40 歳代/女性)
- 小児科に限られた日しか受診できないのは困ります。子育て世代の移住者を増やしていきたいのであれば重要かと思います。(30 歳代/男性)
- 飯富病院で病児を預かってもらえるポスターを見ました。とてもよい制度だと思いますが、利用率はどの位でしょう。より利用しやすくする方法があればよいと思います。(60 歳代/不明)
- 病院(小児)が遠い。(30 歳代/女性)
- 補助金等は他市町村と比べても恵まれていると聞きますが医療面では住みにくい町だと思います。(30 歳代/男性)
- 病院がない。学童保育の充実。(50 歳代/女性)
- 町内で共働きのできる環境・働き口の確保・時間外でも子どもをみくれる保育所の確保、出産できる病院は少ないと思いますが少しでも確保する子育て支援充実。(60 歳代/女性)
- 使っていない学校、保育園を利用して学童保育をしてくれる場所が多くあれば若い母親が働き安くなると思う。(不明/不明)
- 若い世代が町外へ出ていってしまう→在町している若い世代が結婚の機会逃すと思うので若者が定住したいと思う町づくりが必要。子育て支援はこのまま続けてほしい。子どもを生みたい、生めると思える環境が整っていないと感じる。(どうしても病院が遠い)。(30 歳代/女性)
- 早朝や夜まで預かってくれる保育園が必要。(20 歳代/男性)
- 保育園 学校が無い。閉園するような町には若い人はなかなか住まないと思う。(50 歳代/不明)

- 保育園、学童保育など、働きながら子育てできる環境整備。飯富病院があるが夜間診療の充実など安心できる地域医療にも力を入れてほしい。(60 歳代/男性)
- 保育園、小学校中学校が少なすぎる現状では無理ではないか。(60 歳代/不明)
- 保育園が必要と思う。小・中学校も近くにあってほしい。(30 歳代/女性)
- 小学校・中学校の統合により、ますます人口減に…教育に関して積極的に取り組む事が必要かも(PTAとの協力で)。(70 歳以上/女性)
- 少子化で学校も統合し、減少してきた。その土地に学校がないと過疎がすすむばかりである。これ以上学校をへらさないで下さい。(50 歳代/女性)
- 学校が減り、子供に残れ、or 帰ってこいとは言えない。(40 歳代/女性)
- 小中学校の統廃合により町から若者離れが進み、出生数はこの 7 年間で 3 分の 1 の 25 人まで激減している。遠距離通学の不便さを緩和する手厚い支援をすべきと思う。(40 歳代/女性)
- 少人数であっても、地域に学校が無いというのは大きく、子供(息子)に先祖代々の地であっても町内にもどって来いとは言えない。(60 歳代/男性)
- 近くに学校。(40 歳代/男性)
- 町が広い為、現状の教育現場(保育・小・中・等)の分散化を再度考えてはどうかと思う。(60 歳代/男性)
- 専門学校創設で一気に解決。(70 歳以上/男性)

<経済的サービスに関する意見>

- 経済的な負担軽減についてはこの町に住んでいて良かったと思えるものはあります。これがどう広まるか？またこの負担軽減が目指すものは何か？強く発信されるとよいと思います。(40 歳代/男性)
- 結婚・出産・子育ての時期は、非常にお金がかかります。現在身延町で行っている子育て支援をはじめ、さまざまな取り組みは、素晴らしいです。子育て日本一を目指す町になっていると思います。これを是非継続してください。(70 歳以上/女性)
- お金をばらまけば若い世代や人口がふえる訳ではない。バラまいて若い世代へ借金つくるのなら意味がない。保護者はそんなことを求めている。(40 歳代/女性)
- 給食費や修学旅行無償化、医療費などとても助かっています。さらに、学力が日本一になるなど力を入れて取り組むことで教育の町としてアピールできる。(40 歳代/女性)
- 教育支援は著しく充実してきていると思います。(学校数、児童生徒数が少なくなったことからだと思いますが…)子育てにはよい環境だと思います。がやはり大学を卒業してから町内に住み続けられる職場環境が厳しいのが現実です。どうしたらよいのでしょうか？企業誘致でしょうか？(50 歳代/女性)
- "結婚後の居住地、出産、子育てにかかる経済的支援が必要と思います。"(20 歳代/男性)
- 現状の政策を認識していないが、保育料等費用面の待遇改善。(50 歳代/不明)

- 子育て、教育に関し無料化や環境整備に力を入れていて良いと思います。これが将来町を元気にできる人になり、やがては定住にもつながると思います。（60 歳代/女性）
- 子供を産んだ人への支援が必要です。経済的支援をすべきです。（20 歳代/男性）
- 財源が少ないのに無償化制度では人口は増えない。若者が働く場所、生活できる収入源が有る町づくり。（60 歳代/男性）
- 出産祝金が 1 年後ってというのがなんか微妙。出産して 1 年間が大変なので頂けるなら早めにほしいと思った。（40 歳代/女性）
- 町内に結婚して住むかどうかを考えたとき、交通網の利便性や買い物の利便性などは、1 つのパロメーターとなります。例えば、通勤者に対する一部補助などもありかなと思います。ただ補助には受益者負担の原則も必要で、学校給食や修学旅行なども金額ではなく一部でよいのではと思います。（50 歳代/男性）
- 保育・教育にかかる経済的負担の軽減はとても助かるが、子どもの少なさが気にかかる。（30 歳代/不明）
- 保育料の負担は大きいと思うので町内全保育所無料に期待したい。例えば、東京のどこか 1 ヶ所にと言う場を設けるのではなく複数ヶ所設けてみたら良いのではないかと思う。（60 歳代/男性）
- 補助金 充実している。（40 歳代/女性）
- 身延中では、生徒たちが受ける英検の料金が他の中学よりかなり安いと聞きました。こういったことをどんどん行い、お子さんを持つご家庭の負担を減らし教育につなげることはとても良いと思います。（30 歳代/女性）
- 昔よりはお金も下りたりしていいと思う。（50 歳代/女性）
- 無料化がしっかりしていて充実している。（40 歳代/女性）

<その他サービスに関する意見>

- 学校、保育園でおこなっている、フッ化物洗口…町内全ての児童・生徒に町のお金を使った方がいいのではないのでしょうか。（希望者ではなくて…）・フッ化物洗口にどのくらいの費用が、かかっているのでしょうか？（50 歳代/女性）
- 交流の場を積極的に町で取り組んでやる。安心して出産、子育てが出来る様、資金の援助と保健師の充実。（60 歳代/男性）
- 以前は近所に世話好きの人がいて、あそこの息子は適齢期だとかいって、縁結びをした人がいました。今は結婚相談員となるとちょっとひけてしまいます。（秘密を守らない人が多々おります）。（70 歳以上/女性）
- 教育は十分充実している町だと思うので不妊治療などサポートを充実できたら。（70 歳以上/男性）
- 結婚出産により母親としても働ける制度を確立し、働きやすい環境を作って頂きたい。（60 歳代/女性）

- 結婚適齢期まえ即ち小学校中学校の女子生徒に生れ育った所へ再び帰り結婚する教育をなんらかの形でする以外に方法はない様な気がします。県外の大学に進学してしまうと大概卒業後は県外の企業に就職県外の人との結婚と進んでしまいます。(70 歳以上/女性)
- 結婚の相手をさがす機会をつくってもらいたい。(40 歳代/男性)
- 子育ての環境については、医療費、教科書、給食費など、とても充実していて感謝しています。結婚については、出会いの機会やイベントがあると良いのかと思います。(30 歳代/不明)
- 支援は充実していると思う。今後は、共働き夫婦やシングルマザーが仕事と子育てを両立できるようなサービスなどの支援があれば有り難い。託児（夜間）や習い事ごとなどへの送迎、時短勤務や男性の育休推進など。(20 歳代/女性)
- 資金的な事は全国でやっている。安心して楽しく生活できる場所を作らないと。(70 歳以上/男性)
- 男女の出会いの場を多く設け、子孫繁栄の大切さを導く。(60 歳代/男性)
- 出会いのイベントを さりげない出会いを。(60 歳代/男性)
- 出会いの場を作ることがすべて。(30 歳代/男性)
- 出会う場を安く（参加費）あってほしい。(40 歳代/ 男性)
- 子育てをするには良い環境だが、生活するのに不便なのが問題。(20 歳代/女性)
- 町から出産祝金入学支度金他色々の補助があるが、同級生となる子供が少ないことが一番の不安であるので転出を少なくする対策を考えてほしい。職員の方々に他町村から通勤している方々にも難しいが協力してほしいと思う（身内から・・・）。(70 歳以上/女性)
- 若者達が元気になるような、イベント（スポーツ等）をたくさん、やってもらいたい。(70 歳以上/女性)
- 若者の集い触れ合う場と、企画づくりに取り組む事。身延町を若者の町にする事が第一であると思う。(70 歳以上/男性)
- 公園の充実。(30 歳代/女性)
- 若い方に定住してもらうのは、公園や自然があつたり安心できる、人間関係の良い町でないと。交通の不便なのが難点。(60 歳代/女性)

<広告宣伝に関する意見>

- 教育、住居の無料化等 積極的に他県に P Rしていく。(60 歳代/男性)
- 施策の内容は良いと思います。もっとインパクトある宣伝が必要。(70 歳以上/男性)
- 世界の観光客は日本人以上に日本について知識のある人がいます。ネットから知識をえています、ネット I T の町の職員を充実させて世界へ向けて打って出れば絶対に効果があると思います。(70 歳以上/女性)
- 自然豊かな場所での教育を進め、費用面での支援を厚くする教育や子育てを充実させてほしい。人口を増やすには、若い人が町内にいることと、結婚することが必要である。それに向けて対策を考えたい。町内外に身延町のよさをアピールしていきたい。(50 歳代/男性)
- 出産・子育ての支え人は充実しているのかなと思います。町内外にアピールすれば人口増加につながるのかなと思います。(30 歳代/男性)

- 出産や子育てに関して、身延町はとても良いと思います。子育てにかかるお金を負担してくれたり、出産祝等もいただけます。もっと外の人にアピールするべきだと思います。（30 歳代/女性）
- 町中外に、町内で住むことのメリットを PR、婚活町中 1 日旅行など、町の魅力に触れながら婚活できるイベントの開催。お祭りやイベント時の様子（子どもが楽しんでいるところ）を SNS などで広報。（20 歳代/男性）
- 若い人がこの 3 つの環境がどの程度整っているか知らない。（広報を見ないと思うので）良い所、新しい取り組みを考え現在の町民から広めていく必要あり。（20 歳代/女性）

<その他>

- 人間の知恵は無限です。アイデアはぽちっと出るとノーベル受賞者吉野さんがおっしゃっていました。まっすぐ進む剛直さも必要だが真面目一辺倒だとつぶれてしまう。リラックスも大切だともおっしゃっていました。個人も、企業も、行政も、構えず柔軟な対応も時には必要ではないでしょうか。（70 歳以上/女性）
- 3 つが安心できる環境は増してほしい。（30 歳代/女性）
- 3 つすべての環境を充実させようとするのではなく、1 つでも山梨県内で身延町が一番である環境を作ったらどうでしょうか。すべての環境を整えることは難しいと思います。（60 歳代/不明）
- 余りにも考えないで、自分の明るい生活と楽しい生活を保つ事が必要かと思います。（70 歳以上/男性）
- 改めて、これからの人々にアンケートをとった方がいいのではないのでしょうか？すべての面で神経質になりすぎている。子育て教育はもうすぐ 70 才になる私には理解しがたいので。（60 歳代/女性）
- 安定した収入を得られる環境づくり→間引きの充実につながる。（70 歳以上/男性）
- 今の制度でよいと思う。（50 歳代/男性）
- 今は地域に子供がおりませんが（小さな子供）いつかは子供達の声が響き渡っているような所になったらうれしいです。（60 歳代/女性）
- 詳しく制度を理解できていないが、引き続き充実に力を入れてほしい。（20 歳代/男性）
- 現状のままで十分です。とてもありがたいです。（40 歳代/女性）
- 現状よいと思う。（20 歳代/不明）
- 国外から人を連れて来た方が早いのではないですか？（40 歳代/男性）
- 子育て支援はともいろいろと取り組みをして頂いて助かっています。引き続き継続をお願いします。（40 歳代/女性）
- これからの若い人達が前に向って活動してほしい。（70 歳以上/不明）
- 様々な子育て支援策が打ち出されていることは若年層の一部の希望。（50 歳代/不明）
- 支援充実はありがたい。（60 歳代/不明）
- 支援の充実。（70 歳以上/男性）
- 充実している。（60 歳代/女性）
- 十分な施策は行っていると思います。子育て環境はいいと思います。まずは結婚、わかりません。（60 歳代/女性）

- 出産、子育ては町のレベルではなく国が真剣にとりくむ問題だと思う。環境の整備も町では大変だと思う。(60 歳代/不明)
- 問 30 と併せて、悪循環ですね。若者に魅力ある町とは何か、再考願います。(40 歳代/男性)
- 既に終わっていますが、孫の事を考えると不安になります。(70 歳以上/女性)
- 少子化や人口減少、店が近くにない不便さや老化して不自由な毎日の生活になるのが不安だ。(60 歳代/不明)
- ぜひこのまま継続で頑張って下さい。本当にありがたく思います。(40 歳代/女性)
- 他の自治体、国と協力して行ってほしい。(30 歳代/男性)
- つつましくいく 出す時は出す。(70 歳以上/ 男性)
- 低価格の分譲住宅、若者たちの為に企画づくり、若い人達に定住してもらう(早川町の様に)。(70 歳以上/女性)
- 低収入でも生活可能な環境をつくる(低家賃、空田・畑の利用活用)。(70 歳以上/男性)
- どうしても高齢者が多いため、そういった方々の対策が多くなるのは仕方ないが、町民の中にはその他の世代もあるため、全世代の福祉環境・支援の充実が必要と考える。(20 歳代/男性)
- 年よりやひとりくらしの高齢者、交流の場がなく話の相手もないし、とても淋しいと思います。町を全体に元気が感じられません。(50 歳代/女性)
- 日本各地の先進的な取り組みを参考に「結婚・出産・子育てするなら身延町！」と選ばれるような思いきった取り組みをしてほしいです。(20 歳代/女性)
- 働く環境がしっかりしていれば問題ない。(50 歳代/男性)
- 皆様町のために頑張って下さい。(70 歳以上/女性)
- 身延町内で結婚・出産 育児をしていても 主人の働く場所が遠くであれば通勤を考えると負担が大きく、そのため住居を町外としてしまうのは当たり前であるので、いくら充実してもダメなのではないでしょうか。(50 歳代/女性)
- 身延町に所帯家族がもてるように 持ちたいと思うような取り組みを期待している。(50 歳代/男性)
- 身延町の方々、町を住みやすくしようとする一生懸命な姿が伝わってきます。(60 歳代/女性)
- 身延で出産できるイメージがありません。(20 歳代/女性)
- 昔とちがい、今とても支援して頂いているので助かっています。この件についてはありがたい。感謝のみ！です。(40 歳代/女性)
- 難しいと思います。(30 歳代/女性)
- メリットよりもデメリットのほうが大きい このままでは子供がいなくなってしまう。(40 歳代/女性)
- 用事を預かり、子育て世代に協力することが、これまでもあった。長期・短期を問わず、これからも、手伝いたいと思う。(70 歳以上/女性)
- 若い世代が定住できる様、職場の確保。教育の充実。(70 歳以上/女性)
- 若い人達がいません。(60 歳代/男性)
- 若者が安心して暮せる町づくりをし、子どもたちが、子どもたち社会で遊べる学べる環境を望む。(70 歳以上/男性)

問 32 : 「特色ある持続可能な地域社会の形成」(まちづくり全般)について、意見や要望 (FA)

<町の方針・方向性に関する意見>

- 一般的にあたりさわりのない事を行っても何も変わりませんので、ちょっと非道と思われることや時代に逆行した方針を探ってみては？ どうせ人口は減るのでやぶれかぶれの態で。(40 歳代/男性)
- 町としてやりたい事が見えない。総合的でなく特色ある指針を示して欲しい。(70 歳代/男性)
- 雇用の増加、定住人口の増加といった他の市町村が行っている対策を行うのではなく、特色を出すならば、本物が分かる人や静かで豊かな自然など、落ちつきを重視した対策を行っていくべきであるとする。(20 歳代/男性)
- 特色がないので持続ができないんだと思う。他県とか他町に出向いていくべき。(情報収集など) アンケートを参考にするだけでなく他県他町の特色を学ぶべき参考にすべきと思う。(50 歳代/不明)
- 土地もなし特にこれといって力を入れる物が少ない。(40 歳代/男性)
- 何がどの様に特色のあるのか公私で研究していく。(70 歳代/男性)
- 町全体をブランド化することが必要な気がします。税収あってこそ町の発展があると感じて居ります。(70 歳代/女性)
- 身延町といったら〇〇というものは人と人とのつながりを大事にしていける様に。(30 歳代/女性)
- 難しいが地域特性を生かした生活環境の提供。(50 歳代/不明)
- ・誰でも安心して安値で住める居住のある町。・近い職場のある町。そして坪貸しの畑も合わせて。・子供を安心居て育てられる町にしてください。(70 歳代/女性)
- この町に住み続けたいと思える様環境推進を希望します。身延町には独自の優れたものや場所が沢山あると思います。そういうものを糧にまちづくりが行われたらいいと思っています。(60 歳代/女性)
- 身延町に住み続けたいと思うようになる人が少しでも多くいれるような環境を作っていく事が重要だと思う。その為にはこれから何が必要か考えてほしい。(30 歳代/男性)
- 自然環境を活用し、社会変化に対応できる地域づくりを望む。(70 歳代/男性)
- 山林、水を生かした産業の創出と独特な文化（寺や自然）を発信し、地域に住んで誇りをもてる社会をつくる。(70 歳代/男性)
- 山・谷・川あり自然を利用して住みよい町にしたいです。(70 歳代/不明)
- 豊かな自然と、人財のまち。呼びかけ次第で企画を生かせると思う。(70 歳代/女性)
- 人口を増やし、生活が不便と感しない町。(50 歳代/ 男性)
- 住みやすい町づくり、住むにあたり各手続の簡素化、わかりやすい行政、高齢者施設等、すべてをまかなえる等、子供のいる世帯の子供の面倒（働く親の為にの意味）をみてもらえるようなシステムの確立。(40 歳代/不明)

- 人口減少・高齢化・少子化に対し若い方・子育て中の方々には手厚く。高齢者でも元気な内は
お互い助け合い自助努力が必要。役場退職者は情報も経験もあるので天下りでなく地域で先
頭に立ってボランティア活動に参加してほしい。（60 歳代/女性）
- 生活を確保するためのライフライン等の基盤整備促進及び維持管理の充実を図る。（70 歳代/
男性）
- 余りにも難しい考えは必要無い事と思います。明るい環境を築く事が重要かと思います。（70 歳
代/男性）
- 以前ニュースで見た「コンパクトシティ」。これ、身延でつくってみませんか？災害に強く通学・通勤
しやすく高齢者も安心。どこかにモデル地域をつくってやってみる。とか。1つの地域に住民を住ませ
てみる。そして便利な地域。私ならそこへうつりたいです。（40 歳代/女性）
- 各地域の集約化、コンパクトな町にする。（60 歳代/男性）
- 身延町は集落が点在していて今のままでは行政サービスは限界である。将来的に人口減が見込
まれている中で各集落を町の中心へ移動させコンパクトな町づくり方向変換するしかない。（60
歳代/不明）
- 人口の減少が進み、すべての機能が集約化されることで、効率化が求められ、質が高まり、逆に
生産性が高まる分野が期待されるのではないのでしょうか。町民一人一人の生活の質の向上、所
得の向上に繋がればよいのではないかと思います。（60 歳代/不明）
- 中心は、人のつながりと思います。障害を持っていない人などいなく、年を取る誰もが。その時安心
して暮せる環境を。（60 歳代/男性）
- 子供達が身延にのこってくれる社会になればと思う。（60 歳代/不明）
- 子供を増やすこと。お店がなさすぎて町外に出てしまうからファミレスや洋服店、カフェのお店を作っ
てほしい。タピオカのお店や、インスタ映えする場所、カラオケがあると良いと思う。（20 歳代/女
性）
- 自然災害がありすぎます。好きな仕事が出来ません、お店もなさすぎです。（20 歳代/女性）
- 地元の子を地元で育てるべき。（50 歳代/男性）
- 若い人達住みやすい環境づくりが大切だと思います。（50 歳代/女性）
- 若い文化を取り入れ、新しいものとの融合をはかるべき。（20 歳代/女性）
- 若者が集まるような町を目指して行けば良い。また一度外へ出た人も帰って来てふるさとで働き生
活できるような環境を作っておけば戻ってきやすいのではないかと。（40 歳代/女性）
- 若者が住みやすい所、希望がもてる地域にしてもらいたい。（60 歳代/不明）
- 若者がこの身延町に魅力と希望をいだって生活できる対策を模索し、行政と町民との対応の中で
早期に実行していく必要があると思う。（70 歳代/男性）
- 私はこの場所は東京へのアクセス、ネット回線の速度から IT の町になると考えています。IT 人材
を育て、新しいソリューションが生まれる町だと思います。（20 歳代/男性）
- ・地域をよりよくする為には、時間がかかっても町民の問題の共有 ・地域の魅力を伝える動画
（変わった地名他）"（60 歳代/女性）
- 住民がその気になって、目的を共有することが必要。（20 歳代/男性）

- 少子高齢化社会で難しくなっているが、町民様々な方々の知恵をコミュニケーション化により町民参加型の町づくりの創造が大事だと思う。また、各集落に在籍する職員は地域のリーダー的存在になってほしい。（40 歳代/女性）
- 「みのぶ自然の里」「枝垂桜の里づくり」これらの施策の各年ごとの実績問題点、今後の対策を公開してほしい。実態を町民に知ってもらう必要がある。（上記の 2 施策は常に街づくりの重要な施策として町長、議長がはなしている）（70 歳代/不明）
- 行政の言葉は理解が難しい。もっと簡単にわかりやすく出来ないか。どれだけに町民がまちづくりに理解を示しているか疑問がある。（50 歳代/男性）
- このアンケートを通じて、魅力あるまちづくりは一朝一夕にはできないということを改めて感じました。皆が、同じ方向を向いて、一歩ずつ努力していくことが必要だと認識しました。（60 歳代/女性）
- もっと町の情報及び活性化のある町づくりの情報を町民にアピールしていく事が良いと思う。この基本目標 1 ～ 5 の事については知らない町民は多いと思います。色々の職業の人に意見を聞く事も良い事だと思います。もっと生まれ育った身延町をもっと元気にしたいと思います。（60 歳代/男性）
- 町民の意識改革（町、全体を良くするんだ）に。（70 歳代/男性）
- これまでに実施して来た事が、中途半端であるのでもっと十分定着するまで力を入れた方がよい。（60 歳代/男性）
- 発展的な行政。（70 歳代/不明）
- 率先して行動できるリーダーを教育（研く）されたい。（70 歳代/不明）
- 町会議員さん達にもっと本当に町の為に尽力して欲しい。（60 歳代/女性）
- 町が苦労していろいろな施策に取りくまれていることにはとても感謝しています。やはり人口が減少することは持続を可能にしないと思います。そういった視点で施策推進されることを期待します。（40 歳代/男性）
- 働く場所があり若者の地域への定着が進めば町全体の活気が出ると思います。（50 歳代/男性）
- 町づくりには、基本的に人間の確保がいる事には働く場所（工場やスーパーなど）が優先順位だと思う。（60 歳代/女性）
- 町で頑張っている小規模商店や企業が生き残っていけるような そういう人達がつながって町を盛り上げていける活性できるような 町づくりかできれば、住んでいる人たちも賑わってもっと町が元気になれると思います。（50 歳代/女性）
- 主たる産業や企業もなく高齢化や人口減少が進む当町の現状から町を存在させ、今ある行政サービスを堅持させるためには税収増が課題であり、そのためには企業誘致を始め人口減を食いとめる方策、ふるさと納税を増やしてもらえよう行政の方で知恵を出してもらいたい。（60 歳代/男性）
- 将来的な事を考えて、若者や子供の事については、とても大事な事だと思います。しかし、身延は老人が多い割に行政の関心が薄い気がします。今回のアンケートについてもそうです。介護者の苦労は大変なものです。支援を必要としています。（50 歳代/女性）

- 安心安全に暮らせる環境づくり・・・獣対策も大きな課題ですね。時々クラフトパークに行くのですが、土日曜日は特にイベントがなくても子ども連れの家族が多く訪れています。無料で一日過ごせますが、維持費もかかりますので、何か町にお金が落ちるシステムを作れるといいと思います。（50 歳代/女性）
- 境南地区が一番遅れている。県全体見てとり残されている。目を向ける人がない。国の優秀校を卒業しても県内で活躍する人がない。グループ 1 つの機関を造りあげる これだけの資料を収集して、どれだけ活用できる本気になって考えてほしい、次のノーベル賞を受賞できるグループを育てること。（70 歳代/男性）
- 特産物を使った商品の開発やマーケティング戦略に力を入れてほしい（外部発信）。農家への補助、一人親家庭の支援など困っている人々に手を差し伸べてほしい。孤立している人々への支援と地域づくりへの参画をセットにして考えてはどうか。（30 歳代/女性）
- 廃校になった校舎、校庭の再利用の実施を早くする。草が延びた校庭はそれだけで町のイメージがさみしいものとなっている。（60 歳代/女性）
- 安易な考え方と思うが、今回の災害で都会から田舎に移住する人もいるかもしれない。思い切って山を開拓して分譲地をつくるのも良いのでは…。（50 歳代/女性）
- ケアハウス等の施設の充実。（この街に住んでいれば安心という事が必要だと思います。）（60 歳代/男性）
- 地域に娯楽施設を設ける。（70 歳代/男性）
- 「町のうた」は身延の特色を出していないように思います。（40 歳代/女性）
- 町の 15 周年記念 CD は各戸に配布する必要があったのでしょうか？無料コンサートも行うそうですが予算のムダだと感じました。HP の充実、広報の内容（イベントカレンダーくらい）が見られると良いと思います。町内在住の方に積極的に仕事を頼むことで町に関心を持ってもらうことも必要だと感じます。（30 歳代/女性）

＜連携に関する意見＞

- 1 つの担当課だけで考えてはダメ。いろんな現状を知るかが横のつながりもち考えるべき。役所が一体化しないと住民に求められてもムリ。（40 歳代/女性）
- 他の自治体、国と協力して行ってほしい。（30 歳代/男性）
- 町役場を中心に境域現場－身延山大学、身延高校、身延中学、各保育園－久遠寺：KEY.TEC.、各病院、富士カントリークラブ等、各施設－なかとみ和紙の里…等 横の連携を密にして、アイデアを出し合う・若い人の意見をくみ取る。町全体で－地域の活性化に取り組みことを期待します。（60 歳代/女性）
- 旧町村での施策がまちまちなので、連携した企画を作り、実行して頂きたい。あけぼの大豆の種が高すぎると言う声を聞く、単価が高いので販売先が余り無いと言う声も聞きます 見直しも必要ではないでしょうか。（70 歳代/女性）
- 県外の成功例の研修（知恵を借りる）。（70 歳代/女性）
- 広域行政への取組みを進める。（ひとつの町で考えるのではなく地域全域で考える）（例：峡南圏域）（50 歳代/不明）

- 成功している町に行き勉強してきたり、上に立つ人は昔の考えは捨ててほしい。リーダーシップを取れる人が上に立ってほしい。(40 歳代/女性)
- 問 26－①にも記述しましたが、身延町は大きく変わるチャンスを迎えています。町内現有団体とも連携して最大限の発展を期待します。(70 歳代/ 男性)
- 町全体一体化が乏しい(広域の為か)旧町の生活特異性が有りすぎる。町全体が(大きい事業)への感心、努力、一体化が必要。(70 歳代/女性)

<防犯防災に関する意見>

- 空家が増えたり、高齢化のために安心安全に暮らせることは重要だと思います。人手が減り、野生動物が増えての被害や防犯防災などへの不安が大きいのに対策を講じてほしいと思います。(50 歳代/男性)
- 避難所に指定されている場所の設備が整っているのか見直して欲しい。高齢者は移動手段がないので考えてほしい。身延町内にすぐかけつけ対応してくれる警察官がいて欲しい(南部町から来るとなると時間がかりすぎる)。野生動物を何とかしてほしい(イノシシ、シカ)。普通に道路に出てくるのであぶない。(20 歳代/ 女性)
- 古い習慣を取り払ってもらわないと、住みにくくて仕方ないです。(40 歳代/男性)
- 防災拠点の確保について、形だけでなく本当に災害時に必要とされるもの(場所)を確認していきたい。今、地球環境は大きな変化をとげていて、想定外のことであり得るので、“防災拠点の確保”は一層重要であるとする。(50 歳代/男性)
- 防災拠点の確保をお願いします。公共交通の点は、町のバスなどで、対応していただけてますが、利用者のニーズ(時間帯や曜日、目的地など)をもっと聞いて、利用しやすい環境づくりをお願いします。(30 歳代/不明)
- 防災に力を入れてもらいたいです。(30 歳代/男性)
- 防災の取り組みに力を入れてほしい。台風 19 号を経験し、多くの人が避難に慣れておらず、抵抗があるように感じた。防災訓練で避難所に泊まるプログラムなどを入れ、災害時に避難する方も運営する側も落ち着いた行動がとれればと思う。(20 歳代/女性)
- 防犯対策で子供の通学時間帯にシルバーの方に道に出てもらえたりしてもらえると子供達も安心だし、高齢者もちよとした仕事みたいになるので生活にはりあいがもてると思う。(40 歳代/女性)
- 社会保険加入者でも人間ドックの受診をさせて欲しい。陸の孤島にならない様防災に力を入れて欲しい。(50 歳代/女性)

<観光に関する意見>

- "・とても大変なのですが…国道県道の道ぞいの木の枝(道の草)等切って、見た目によい環境が大切だと思います。具体的には、国道 52 号西嶋に向かう(北に向かう)あまんだうあたりの予告灯が、木の枝で見えにくい。早川町に向かう、小原島からの道ぞいの草が道路をせまくしている。・あけぼの大豆を商品(ブランド品)として、売り出しているが、地元の人が買いにくくなり、

値段が高くなりすぎて思うように購入できなくなるのはいかなるものなのでしょうか？ぜひ検討していただきたい。（50 歳代/女性）

- 観光客が来てくれる様な魅力的スポットを増やした方が良いと思います。小さなスポットではなく話題性のある、おしゃれキャンパー、バイカー、ゆるキャンファン、ロードバイク等何かに特化した施設等。（30 歳代/女性）
- 観光にしろ、移住にしろ、外から人を増やしたいのであれば景観を良くしたほうがいいと思う。求める田舎像は草が生い茂ったありのままの田舎ではなく、キレイな田舎だと思う。（30 歳代/女性）
- あけぼの大豆の製品開発など良いと思います。（50 歳代/女性）
- 身延町の特産を使った食べる所がもっとほしいです。桜の時期は人がたくさん来るので、あけぼの大豆を使ったものとか、ゆばを使ったものとか……。稼げる時に上手く特産を使うといいのかなと思ったり…。あとは、メディアを上手く使うこと？情報社会なので全国に発信できるよう、そういう所に税金を使っていたくといいいですね。あと、役場の観光課さんに町のパンフがあっても意味ないと思います。積極的に個人店とかに置かせてもらってもいいのでは？（30 歳代/女性）
- せっかくのゆるキャンブーム、このまま下火にさせてしまってはもったいない。（20 歳代/女性）
- せっかくゆるキャンというすごいきっかけがあるので、もっとスピーディーに活動していかないと変わらないのではないかと思います。（20 歳代/女性）
- せっかく宿坊をもつ身延山久遠寺があるのだから、もっと活かすべき。日本三大霊山としてブランド化を。歴史はあとからつくれるもの。今ある財産を大切に。下部温泉もとてももったいない。夏にずっと入れるぬる湯、貴重です。温泉会館も早く観光客のニーズをとらえた大きくて新しいものに建てかえて下さい。朝市ももっと大きくやると良いです。役場の方々は親切な人が多いし、子育て支援も感謝しています。でも、どれも重要なところが抜けていたり残念なところが多かったりして、町の将来には不安を感じています。（40 歳代/女性）
- 身延山久遠寺を利用して町作りにしたら町のおえら方が身延山の行事に招待されるだけでなく、もう少し利用すべきである。（70 歳代/男性）
- 身延山下部温泉を宣伝して、お客さんが来ると雇用が生まれる事で人が定住し社会が形成されると思います。（70 歳代/男性）
- 身延山との観光の強化。（50 歳代/男性）
- 身延山ー七面山の「修行走」のようなイベントを考え発展させていく。「ゆるキャン」聖地を活かした地域活性等。（60 歳代/男性）
- 日蓮宗総本山身延山が有りながら、もう少しなんとかかなんないかと思う。もったいない。（70 歳代/女性）
- 京都、高野山とは違うのになれる可能性が大いにあると思います。身延山は、すべての人が過ごしやすい観光地（NOT オーバーツーリズム）の最先端のモデル地域を目指すべきだと思います。2050年のCo2Oミッションに向けた取り組みにも積極的に取り組む、挑戦するべきだと思います。（20 歳代/男性）
- 身延山本山でありますから奈良・京都等に少しでも準じてもらいたい。やはり観光ですかね。拠点は身延山周辺です。JR 身延駅より身延山ルートの整備が必要と思われます（60 歳代/男性）

- 身延町に観光で行ってみたいと思わせる何か 食べ物や特産品 名所となる物など 人を呼ぶ事が出来る何かを なにかしら考えてどんどん試して行く力が必要だと思う。身延町の価値をたかめるためにも。(50 歳代/女性)

<イベント等に関する意見>

- 「身延を元気にする」小論文コンテストの開催（「身延の〇〇が好き」もアリかも）。町民を対象に、コンテストを行う事で、面白い意見も出るのでは？と思います。賞金もしくは商品ディズニーペアチケットにすれば、若い人も真剣に考えると思うので、どうでしょうか？ぜひ、若い智恵を聞く場を作って頂きたいです！（30 歳代/女性）
- ・人口減は、全国的な課題です。発信方法もいろいろ有ると思いますが、空き家などに手を加え、疑似体験して頂いたらどうでしょうか。・インバウンド観光について…先日行われた「覚林坊」と「南部歌舞伎」とのコラボ・意表。(70 歳代/女性)
- 行事が少なくなる今 以前の行事を復活。(40 歳代/ 男性)
- いろいろなイベントをやってほしい 花火大会など人が集まれるイベント。(50 歳代/女性)
- 音楽、映画、モータースポーツ等、特色。(40 歳代/男性)
- 子供たちが、家の中で、ゲームで遊ぶことが多かったり、塾やその他の習い事などで、地域の中で遊ぶことがないと感じるので、子供を外へ出る催し物や、学校の機会が増やせたらと思います。(60 歳代/男性)
- この町に住み続けて良かったと思えるために、若い嫁さん方々に色々の町の話し合いに参加してもらって、楽しい嫁さん同士の集いなども計画してみてもと思います。私は高齢者ですし、県外からこの町に来て現在も同じ世代の友人との絆が多々あり、楽しく生活して現在も仲間づくりの大切さを感じます。お互いに認め合い助け合いアドバイスしながら生活することが良い方向ではないでしょうか？(70 歳代/女性)

<交通に関する意見>

- ある一部のところだけが良いかと思う。山間部などは元気がありません。車も不便ですもう少し昼間のバスの時間をふやしてほしいと思います。(60 歳代/男性)
- 高速道路、六郷⇄下部温泉が開通し、大変便利になりました。短時間で移動できます。道路は大切だと思います。久那土⇄下部間のトンネルも早くできることを願っています。(70 歳代/女性)
- 峠越えをしなければ甲府方面に行けないという、地理的条件を早く解消してもらいたい。特に冬場の通勤等安全上でも大きいと思う。(60 歳代/男性)
- 中部横断道の活用。(30 歳代/女性)
- 中部横断道ができて、たぶん一部の所にしか人はこないだろうから栄えるのは部分的なんだろうと思う。ほかの地域はより取り残されていくんじゃないかと心配している。(20 歳代/男性)
- 町内にカフェが無いのは問題点かと思います。出来れば個人でカフェ経営をしたい方が移住して来て欲しいと思っています。交通ですが身延⇄新宿間のバスの本数がもう少し多ければ日帰り客も呼びこめるかと。(30 歳代/男性)

- バスの時刻と電車の時刻がもう少し合ったら利用しやすいです。(30 歳代/ 男性)
- バスの本数を昼間や日曜にもふやしてほしい。デマンドバスもせめて 9 : 00PM までつかえるようにしてもらえればいろいろ利用の幅が増え、町が活性化されると思う。(40 歳代/女性)

＜広告宣伝に関する意見＞

- PR が下手。(20 歳代/男性)
- YouTube、Instagram のアカウントが上手く使われていない。SNS で話題になるような場所、食べ物を考え、現在のアカウントを盛り上げるべき。身延の特色を見てもらう機会を増やす。ただ、流行が入ってくるのが、ブームが去ったあとなので最先端のものを取り入れなければ意味がない。プラスしてヘルプマーク取得出来るようにして欲しい。(20 歳代/女性)
- 住民が地域のことをアピールできるような場所や環境を整えたら良いと思う。ごみの分別、ペットボトル、プラスチックを網に入れる必要性が分からない。(50 歳代/男性)
- あけぼの大豆はとても大きくて甘いのもっと宣伝して方が良いと思う。(40 歳代/女性)
- 人口の減については歯止めとして即対策は難しい。身延町の魅力を PR し、人をこちらに呼ぶ事の対策を考える。一人一人が行動し考える機会を持つ事。意識を変える。(60 歳代/女性)
- 水仙の球根を各家に配って、各家庭の庭から花だくさんにする。車道から見ても花あふれる町にして、SNS や写真家に来町してもらい広めてもらう。まずは身延町から知ってもらうことを続けるようにして欲しい。(40 歳代/女性)
- 町外、県外から身延町を発信できる人をプロジェクトに入れてみてはどうですか？その道のプロ的な人が入った方が良いと考えます。(60 歳代/男性)
- 町内外へ身延の良さを PR すべきと思う。(70 歳代/男性)
- 特産物や名所などを SNS で発信するのはどうでしょう。Twitter でご当地キャラ（ゆるキャラ）がつぶやくのを何気なく追いかけてちゃったりします。最近ではしんじょうくん。身延にゆるキャラっているんですかね？私が知らないだけ？？(30 歳代/女性)
- 今、住んでいる方への暮らしのサポートをし、町外へ移住してしまわないようにする。暮らしやすさ（子育て、介護、通勤学などの利便性 UP）を作りだし、まずは行ってみたいと思わせるような PR をし、来た人には住んでみたいと思わせるようなイベントや観光計画対応。(20 歳代/男性)
- ゆるキャン効果で去年は多くの町外の人々が来たので、観光名所をもっと PR し、にぎやかな身延町になって欲しいと思います。そのための宣伝などもっと言ってほしいです。(30 歳代/女性)
- ゆるキャンでもっとアピールしたり、特産品の PR、主要駅での PR 活動高速道路での PR 活動をした方が良いと思います。また、ネット広告、CM、ユーチューブでの働きかけもしたいと思います方がいいと思います。(30 歳代/女性)

＜その他＞

- 「記入ください」もいいですが、積極的に聞きに来て下さい！文章にするのはムズカシイデス！！話せる機会はいろんな所にあると思います。(50 歳代/女性)

- ・食生活（塩分摂取量について、食改の方だけでなく町全体で意識する） ・百歳体操の継続 ・飯富病院が要改善（？）要再編（？）で名前があがっていましたが、これほど地域に役立っていることを町もアピールすべきだと思いました。（60 歳代/不明）
- 行政の信頼に魅力を期待いたします。（70 歳代/男性）
- 大勢の家族で家庭生活をする家族であれば良いと思う。子供その親達も昔のことに理解できるのではないのでしょうか。（70 歳代/女性）
- 最近総合文化会館の駐車場について、町民の利便性より管理を重視する方に重点を移しました、ものすごく不便になりました。結局町民が困っているのです。元にもどして下さい。今のままでは住みにくい点が一つ増えただけです。（70 歳代/男性）
- 趣味の野菜づくりも獣にあらされて、ささやかな楽しみもがっかりです。動物の方がお年寄より頭がいいのかなと思うこともあります。（70 歳代/女性）
- 本気とは思えない。（60 歳代/男性）
- 街の便利にはかなわない！（40 歳代/女性）
- 身延が広くなり以前のように町に対して、興味がなくなりました。何をするにも役場も遠くなり、唯に何を申し上げていいかもわからなくなりました。（70 歳代/女性）
- 町県民税がもっと安くなってほしい。（40 歳代/男性）
- 身延町ささえ合い協議会が設立された。ボランティアなども含め福祉政策は●●と受け止めております。若者にターゲットを絞った政策を打ち出し、町民をまきこんだ議論をすることによって●●以上の結果が生まれると信じます。（70 歳代/男性）
- 申し訳ありません。粗雑な頭では、非常に難しい問題で…。（60 歳代/男性）
- 老人が増え、一人暮らしが増え、空き家が増え、本当に心配！「なんとかしてほしい」切実な望みです。（70 歳代/女性）
- 私の時は父母よりおばあさんが小学校の時いてお茶など出した思い出がある。2 世帯は少ないと思います（同じ家で）。（60 歳代/男性）
- 私の実家の所より全然いいと思う、みんなが良く考えていると思う、協力的で良い。（60 歳代/女性）

アンケート調査票

生まれてよかった・育ってよかった・住んでよかったと思えるまちを目指して

まちづくりアンケート

～調査ご協力をお願い～

平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、国も地方も「まち・ひと・しごと創生」の取り組みを進めています。

身延町は、国・県の「総合戦略」を勘案して平成27年度から令和元年度を計画期間とする「第1期身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「まち・ひと・しごと創生」の取り組みを進めており、今年度が最終年度となりました。この「まち・ひと・しごと創生」の取り組みは、令和2年度以降も引き続き行うことが必要とされていることから「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取り組みを進めています。

このアンケート調査は、令和2年度から令和6年度を計画期間とする「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するにあたり、町民の皆様のご意向を把握し、反映していくための資料とするために実施するものです。

ご多用のことと存じますが、将来の身延町のまちづくりに向けてご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月4日

身延町長 望月 幹也

※「まち・ひと・しごと創生」とは、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していく取り組みのことです。

※「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは、「まち・ひと・しごと創生」を実施するための計画書です。

<ご記入にあたっての留意事項>

■このアンケートは、町民の皆様から、3,000人を抽出してお送りしています。宛名のご本人様にご回答をお願いします。

■回答結果はすべて統計的に処理し、回答者ご自身にご迷惑がかかることは一切ございませんので、率直なご意見をお寄せください。

■ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、封をして **10月16日までに** 投函（切手不要）をお願いします。

■お問い合わせ先

身延町役場 企画政策課 企画政策担当 TEL：0556-42-4801（直通）

身延町まちづくり町民アンケート 調査票

【問1】次の（ア）から（キ）の各項目について、該当するものをそれぞれ選んで、番号に○印をつけてください。

（ア）性 別	1. 男 性 2. 女 性
（イ）年 齢	1. 18・19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
（ウ）職 業 (主な職業を1つ)	1. 農林業 2. 製造業・建設業 3. 商業・サービス業 4. 公務・団体勤務 5. 医療・福祉 6. その他の職業 7. 無職（専業主婦・主夫、学生含む）
（エ）居住地区	（下部地区）1. 下部 2. 久那土 3. 古閑 （中富地区）4. 西嶋 5. 大須成 6. 静川 7. 曙 8. 原 （身延地区）9. 下山 10. 身延 11. 豊岡 12. 大河内
（オ）身延町での 居住年数 (旧町から通算)	1. 10年未満 2. 10～19年 3. 20年以上
（カ）同居家族	1. 配偶者 2. 子 3. 孫 4. 父 5. 母 6. 祖父 7. 祖母 8. その他（ ） 9. 本人のみ
（キ）お住まい	1. 持ち家 2. 民間賃貸住宅 3. 社宅 4. 公営住宅 5. その他（ ）

【問2】現在の身延町は住みやすいですか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 【問3】あなたは、これからも身延町に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- 【問3-①】 問3で1または2と回答した方にうかがいます。 思う理由は何ですか。

1. 自分にあう仕事（職場）がないから
2. 商売や事業経営に不利だから
3. 勤務地、通学地が遠いから
4. 交通が不便だから
5. 買い物が不便だから
6. 生活・住宅環境が悪いから
7. 災害による交通規制があるから
8. 医療や福祉面が不安だから
9. 進学など子どもの教育環境が不安だから
10. 余暇や娯楽の場が少ないから
11. 老後の生活が不安だから
12. 人間関係や近所づきあいが大変だから
13. その他（ ）

1. 将来は身延町に戻って居住したいと思う
2. 身延町に戻って居住することは考えていない
(理由:)
3. どちらとも言えない

ここからは、別紙「人口推移と総合戦略の取り組みの概要」をご参考に
していただき、ご回答ください。

●第1期身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

【問4】身延町では、平成27年に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に以下の取
り組みを行っております。取り組みの状況について、どの程度満足していますか。次の
(ア) から (チ) の各項目について、6つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○
印をつけてください。

《(ア) から (チ) のすべての項目についてご回答ください。》

基本 目 標	まち・ひと・しごと創生総合戦略の「基本的方向」 (取り組みの内容)	満 足	やや 満 足	やや 不 満	不 満	わ か ら な い	知 ら な か う た
地域に根ざした雇用の創出	(ア) 起業支援及び新規事業所の誘致 (創業に対する補助金制度や企業誘致)	1	2	3	4	5	6
	(イ) 農業振興による新たな地域産業と雇用の創出 (あけぼの大豆6次産業化と収穫体験など)	1	2	3	4	5	6
	(ウ) 観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大 (観光地へ無料 Wi-Fi 整備、アニメゆるキャン△コラボなど)	1	2	3	4	5	6
	(エ) 地場産業の活性化と PR の強化推進 (西嶋和紙、印章業、大豆加工など、ホームページ情報発信強化)	1	2	3	4	5	6
財 町を元気にできる人 の育成	(オ) 地元高校生と大学との連携事業への支援 (将来を担う若者の「まちづくり研究事業」を支援)	1	2	3	4	5	6
	(カ) 高校生との意見交換会「町長と語る高校生の集い」開催 (町への関心を高め将来を担う人財を育成)	1	2	3	4	5	6
	(キ) 人財育成カリキュラムの実施と人財の確保 (みのパーション 288 など地域を考慮できる人財育成講習会等の開催)	1	2	3	4	5	6
定 人 住の 流れをつ 促 くり、移住・ 進 住の促進	(ク) CCRC(※)を推進し、空き校舎等を活用した福祉サービスによる移住・定 住の促進 (CCRC 導入の検討)	1	2	3	4	5	6
	(ケ) 空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進 (丸瀬宅地分譲、常葉宅地分譲、空き家バンク、移住者支援など)	1	2	3	4	5	6
境 結 の 婚・出 充 産への 実 支援の 充実 充実	(コ) 結婚・出産への支援の充実 (出会いの場提供、妊婦検診・不妊治療費補助)	1	2	3	4	5	6
	(サ) 子育て世代が安心して暮らせる支援の充実 (入園入学支度金補助・給食費無料・教材修学旅行費補助など)	1	2	3	4	5	6
	(シ) 教育環境の質的向上 (先進的取り組みタブレット貸与、園児からの英語の充実)	1	2	3	4	5	6
	(ス) 災害発生時の児童生徒の安全確保 (防災用備品の整備と避難訓練・引き渡し訓練の実施)	1	2	3	4	5	6
形 特 成 な 色 地 ある 域 地 社 域 会 域 の 域 持 域 続 域 可 域	(セ) 地域の拠点づくりの推進 (空き校舎の活用を検討をする地域検討委員会を開催)	1	2	3	4	5	6
	(ソ) 公共交通機関の充実 (バスの運行路線の再編)	1	2	3	4	5	6
	(タ) 町の情報提供の充実 (ホームページの活用充実、スマートフォン対応)	1	2	3	4	5	6
	(チ) 安心安全に暮らせる環境づくりの推進 (悪質電話被害対策、AED の普及、防犯パトロール車の拡充)	1	2	3	4	5	6

(※) CCRC…高齢者が元気なうちに地方に移住し、必要な時に医療と介護のケアを受けて住み続けることができる施設。身延町では、身延町版 CCRC (町内の高齢者向け CCRC) を検討。

●身延町の将来の方向性について

【問5】現在行っている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みについて、どの程度重要と思いますか。次の（ア）から（チ）の各項目について、4つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。
《（ア）から（チ）のすべての項目についてご回答ください。》

基本目標	まち・ひと・しごと創生総合戦略の「基本的方向」 （取り組みの内容）	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
地域に根ざした雇用の創出	（ア）起業支援及び新規事業所の誘致 （下山工業団地への企業誘致）	1	2	3	4
	（イ）農業振興による新たな地域産業と雇用の創出 （あけぼの大豆6次産業化と収穫体験など）	1	2	3	4
	（ウ）観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大 （観光地へ無料 Wi-Fi 整備、アニメゆるキャン△コラボなど）	1	2	3	4
	（エ）地場産業の活性化と PR の強化推進 （西嶋和紙、印章業、大豆加工など、ホームページ情報発信強化）	1	2	3	4
財 町を元気にできる人 育 成	（オ）地元高校生と大学との連携事業への支援 （将来を担う若者の「まちづくり研究事業」を支援）	1	2	3	4
	（カ）高校生との意見交換会「町長と語る高校生の集い」開催 （町への関心を高め将来を担う人財を育成）	1	2	3	4
	（キ）人財育成カリキュラムの実施と人財の確保 （地域を考え行動できる人財育成講習会等の開催）	1	2	3	4
定 人 住 の 流 促 移れを 進 住・つ	（ク）CCRC（※）を推進し、空き校舎等を活用した福祉サービスによる移住・定住の促進（CCRC 導入の検討）	1	2	3	4
	（ケ）空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進 （丸瀬宅地分譲、常葉宅地分譲、空き家バンク、移住者支援など）	1	2	3	4
環 結 境 の 婚 充 実 ・ 出 実 産 ・ 子 育 て	（コ）結婚・出産への支援の充実（出会いの場提供、妊婦検診・不妊治療費補助）	1	2	3	4
	（サ）子育て世代が安心して暮らせる支援の充実 （入園入学支度金補助・給食費無料・教材修学旅行費補助など）	1	2	3	4
	（シ）教育環境の質的向上（先進的取り組みタブレット貸与、園児からの英語の充実）	1	2	3	4
	（ス）災害発生時の児童生徒の安全確保 （防災用備品の整備と避難訓練・引き渡し訓練の実施）	1	2	3	4
な 特 地 色 域 ある 社 持 会 続 の 可 形 成 能	（セ）地域の拠点づくりの推進（空き校舎の活用を検討をする地域検討委員会を開催）	1	2	3	4
	（ソ）公共交通機関の充実（バスの運行路線の再編）	1	2	3	4
	（タ）町の情報提供の充実（ホームページの活用充実、スマートフォン対応）	1	2	3	4
	（チ）安心安全に暮らせる環境づくりの推進 （悪質電話被害対策、AEDの普及、防犯パトロール車の拡充）	1	2	3	4

●基本目標 1 地域に根ざした雇用の創出について

【問6】あなたの働いている場所について、次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 身延町内で働いている |
| 2. 身延町外で働いている（_____市・町・村） |
| 3. 今は働いていない |

【問7】あなたが希望する働く場所はどこですか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 身延町内で働きたい |
| 2. 身延町内で創業・起業したい（事業を起こしたい） |
| 3. 身延町外で働きたい |
| 4. どちらとも言えない |

【問7－①】問7で1または2と回答した方にうかがいます。「身延町内」を選ぶ理由は何ですか。

【問7－②】問7で2と回答した方にうかがいます。どのような支援があると良いですか。

例）金利の優遇、起業補助金、税の優遇措置など

【問7－③】問7で3と回答した方にうかがいます。「身延町外」を選ぶ理由は何ですか。

【問8】身延町の豊かな自然資源や地場産業などを活用して身延町の産業・経済を活性化する方法について、あなたの考えに最も近いものを最大3つ選んで、番号に○印をつけてください。

(※) インバウンド観光…外国人が日本の観光地へ訪れること。

1. 身延山・下部温泉などの資源を活用した観光促進
2. 和紙の里・ゆばの里・あけぼの大豆など地場産業の活性化による観光促進
3. アニメとのコラボレーションなど新たな資源による観光促進
4. 外国語対応、フリーWi-Fiの整備などによるインバウンド観光(※)促進
5. キャンプ場、バーベキュー場など自然資源を活用した観光促進
6. 和紙・ゆば・あけぼの大豆など地場産業の知名度向上による町外への販売強化
7. 特に産業・経済の活性化をはからなくてもよい
8. その他()

【問9】身延町のインバウンド観光について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 積極的に受け入れたい
2. どちらかという受け入れたい
3. どちらかという受け入れたくない
4. 受け入れたくない

【問9-①】問9で3または4と回答した方にうかがいます。受け入れたくない理由は何ですか。

●基本目標2 町を元気にできる人財の育成

【問10】まちづくりは町民の皆さんの参画が不可欠です。あなたは、地域活動や各種団体・サークル等の活動にどの程度参加されていますか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 全般的に積極的に参加している
2. なるべく参加するようにしている
3. あまり参加していない(時々参加している)
4. 気の合う人がいる集まりだけ参加している
5. どうしても参加しなければならないときだけ参加している
6. 持ち回りで役員になった時だけ参加している
7. 活動に一切参加していない

1. 地域の自然を守り育てる《自然保護・愛護活動》
2. 資源のムダをなくし地球環境を守る《リサイクル活動や省資源活動》
3. 美しいまちをつくるための《花いっぱい運動や清掃活動》
4. 高齢者や障がい者など困っている人たちへの《福祉ボランティア活動》
5. 郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える《歴史文化活動》
6. 子どもクラブ、育成会、PTAなどを通じた《青少年育成活動》
7. 本に親しむ活動《図書館ボランティア・読書ボランティア活動》
8. スポーツや保健事業への参加・協力など《健康づくり活動》
9. 安全に暮らせるまちをめざす《交通安全・防犯・防災活動・消防団》
10. 各種イベントや祭り、文化祭、体育祭など《町や地区の各種行事》
11. 町民同士や来訪者へのあいさつ、親切に心がける《明るいまちづくり活動》
12. 交流企画への参画や体験活動の受け入れなど《国内外との交流活動》
13. 特産品の研究開発や産業技術の開発など《特産開発、技術研究活動》
14. まちづくりの企画・運営・研究活動など《まちづくりの推進活動》
15. その他（ ）

1. 今後も積極的に推進してほしい
2. どちらとも言えない
3. 必要とは思わない

1. 町内から町外に転出した後、再び町内に転入し、在住している（学生含む）
2. 町外から初めて町内に転入し、町内に在住している
3. 町外に在住したことはない

【問13-①】問13で1または2と回答した方にうかがいます。どちらの市区町村に在住したことがありますか。身延町転入前（直近）の市町村名をお書きください。

1. 東京都	（市区町村名： ）
2. 神奈川県	（市町村名： ）
3. 埼玉県	（市町村名： ）
4. 千葉県	（市町村名： ）
5. 静岡県	（市町村名： ）
6. 長野県	（市町村名： ）
7. 山梨県	（市町村名： ）
8. その他	（ ）

【問13-②】問13で1または2と回答した方にうかがいます。身延町に転入してきた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

1. 就職	2. 転勤
3. 配偶者・パートナーの都合（転勤）	4. 結婚
5. 進学	6. 親族との同居（跡継ぎ、親の世話、介護など）
7. 出身地のため	8. 住宅事情
9. 田舎くらし	10. その他（ ）

【問14】身延町では、定住促進への対策が大きな課題となっています。若年層の定住を促進するためにどのようなことが必要だと考えますか。次の中から主なものを3つ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 町内での働く場の確保	2. 周辺都市等への道路整備、交通機関の充実
3. 快適で安価な住宅、宅地の供給	4. 余暇の場の整備
5. 買い物の利便性	6. 情報サービス等の充実
7. 出産環境等の充実	8. 子育て支援や教育環境の充実
9. 高齢者福祉の充実	10. 都市部等との交流促進による新定住者の創出
11. 地域の古いしきたりや慣習の改善	12. 空き家の利活用
13. 起業（事業おこし）や事業経営への支援	14. その他（ ）

【問15】身延町では、人口対策や地域の活性化などをねらいとして、移住促進事業を行っています。移住者の受け入れについて、次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 積極的に受け入れるようにしたい
2. 地域との協同を考慮しながら受け入れたい
3. 近所に移住者があり、活性化している。受け入れを進めたい
4. 移住者とのコミュニケーションに不安がある
5. 人柄が分からないので、受け入れたくない
6. その他（ ）

●基本目標4 結婚・出産・子育て環境の充実

【問16】あなたは結婚していますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 結婚している 2. 結婚していない 3. その他 ()

【問16-①】上記質問において2または3と回答した方にうかがいます。あなたは、将来結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 結婚したい
2. 結婚するつもりはない
3. その他 ()

【問17】あなたには何人の子供がいますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 子どもはいない

【問17-①】あなたは、将来、子どもが身延町に住んでもらいたいと思いますか。

1. 子ども全員が住んでもらいたい
2. 最低1人は住んでもらいたい
3. どちらでもいい
4. 住んでもらいたくない

【問17-②】上記質問において4と回答した方にうかがいます。理由は何ですか。

【問18】あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか。あてはまる番号12に○印をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 0人

【問18-①】問18で1または2と回答した方にうかがいます。理由は何ですか。

1. 出合いの場の提供	2. 安心して生活できる住宅の確保
3. 安定的な雇用の場	4. 共働きの機会
5. 結婚資金	6. その他（ ）
7. 必要ない	

1. 不安定な収入などの経済的理由	2. あなた自身または配偶者の仕事の事情
3. 家事・育児の負担	4. 出産前後の医療体制
5. 保育所などの託児サービス	6. 子育て・教育費
7. 育児の心理的負担・肉体的負担	8. 親の介護の負担
9. その他（　　　　　　　　　）	

【問21】令和元年8月1日現在の町の人口は11,595人、世帯数は5,418世帯（1世帯当たり2.1人）で、国の推計によると令和22年には、6,000人台に減少するものと推計されています。将来にわたって町の活力を維持していくために必要な人口規模はどの程度だと思いますか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 現状以上の人口を確保
2. 現状維持
3. 1万人以上必要
4. 7千人前後は必要
5. 5千人未満でもやむを得ない

1. 100 円ショップ	2. ドラッグストア	3. 洋菓子店	4. 和菓子店
5. 書店	6. 雑貨店	7. ファッション店（洋服和服）	
8. 花屋	9. コンビニ	10. スーパーマーケット	
11. 家電店	12. カフェ・喫茶店	13. ホームセンター	
14. パン屋	15. 和食・洋食店	16. カラオケ	17. 居酒屋・バー
18.ファーストフード店	19.ファミリーレストラン	20. パソコン教室	
21. 楽器・料理教室など	22. 家事代行業	23. ペット関連サービス	
24. 美容院・理容院	25. フィットネスクラブ	26. エステサロン・ネイルサロン	
27. 宿泊施設	28. 遊園地	29. 温泉施設・スパランド	
30. コインランドリー・クリーニング			
31. その他（			）

【問23】身延町内または町外で頻繁に行くところとイベントを教えてください。

身延町内で頻繁に行くところ	身延町内で頻繁に行くイベント
町外で頻繁に行くところ	町外で頻繁に行くイベント

【問24】あなたが思う身延町の名所と特産品は何ですか。それぞれ5つ以内でお聞かせください。

あなたが思う身延町の名所

あなたが思う身延町の特産品

【問25】身延町の今後のまちづくりにおいて、どのような取り組みが重要である、または重要ではないと考えられますか。次の（ア）から（メ）の各項目について、4つの選択肢からそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

《（ア）から（メ）のすべての項目についてご回答ください。》

分野	取 り 組 み	重要 である	やや 重要 である	あまり 重要で はない	重要で はない
自然 地・ 環境	（ア）土地利用の適正化（開発を規制し、地域の保全を図る）	1	2	3	4
	（イ）景観の保全と形成（郷土の景観を守り継承する）	1	2	3	4
	（ウ）自然環境の保全と活用	1	2	3	4
暮ら し	（エ）定住と移住の促進	1	2	3	4
	（オ）上水道の整備	1	2	3	4
	（カ）下水道の整備、合併浄化槽の推進	1	2	3	4
	（キ）ごみの収集・処理、減量化やリサイクル	1	2	3	4
	（ク）環境美化活動	1	2	3	4
	（ケ）地震、風水害、火災などの防災対策	1	2	3	4
	（コ）交通安全、防犯など安全対策	1	2	3	4
	（サ）空き家の利活用、公営住宅や宅地の整備	1	2	3	4
交通・ 通信	（シ）道路網、道路環境の整備	1	2	3	4
	（ス）公共交通機関の利便性	1	2	3	4
	（セ）情報通信基盤の整備（光通信やWi-Fi環境など）	1	2	3	4
保健・ 医療・ 福祉	（ソ）健康づくり、健診、予防等保健対策	1	2	3	4
	（タ）地域医療、救急医療体制の充実	1	2	3	4
	（チ）介護保険、介護予防、介護支援の充実	1	2	3	4
	（ツ）高齢者の生活支援や生きがい対策	1	2	3	4
	（テ）障がい者の福祉	1	2	3	4
	（ト）保育サービスや子育ての支援	1	2	3	4
	（ナ）出産環境の整備	1	2	3	4
産 業	（ニ）農林業の振興	1	2	3	4
	（ヌ）商工業の振興	1	2	3	4
	（ネ）観光の振興	1	2	3	4
	（ノ）特産品の生産・開発・販売への取り組み	1	2	3	4
	（ハ）有害鳥獣害対策	1	2	3	4
文化・ 教育	（ヒ）学校の教育内容の充実	1	2	3	4
	（フ）生涯学習の充実、スポーツの振興	1	2	3	4
	（ヘ）文化・芸術の振興	1	2	3	4
	（ホ）文化財の保護と活用	1	2	3	4
まち づくり の 推 進	（マ）行財政改革の推進	1	2	3	4
	（ミ）まちづくりへの住民の参画の推進	1	2	3	4
	（ム）男女共同参画社会の推進	1	2	3	4
	（メ）地域間交流、国際交流の推進	1	2	3	4

●他市町村に対する身延町の比較優位性

【問26】他の市町村と比較して、身延町のどのような点が良いと思いますか。また、身延町のどのような点が良くないと思いますか。特に良い点、良くない点と思うことを、それぞれ3つ選んであてはまる番号に○印をつけてください。

項 目	良い点	良くない点
1. 通勤・通学の利便性	1	1
2. 買い物など生活活動の利便性	2	2
3. 医療・福祉の充実	3	3
4. 教育サービス	4	4
5. 人情味・住民同士のつながり	5	5
6. 行政の対応	6	6
7. 魅力ある職場	7	7
8. 治安の良さ	8	8
9. 災害の少なさ	9	9
10. 公共交通機関	10	10
11. 道路・公園などの基盤整備	11	11
12. 歴史・伝統文化	12	12
13. 豊かな自然環境	13	13
14. まちのイメージ	14	14
15. 将来の発展性	15	15

【問26-①】問26の回答で「良い点」を選択した項目について、具体的な内容は何ですか。

【問26-②】問26の回答で「良くない点」を選択した項目について、具体的な内容は何ですか。

●通勤・通学について

次の問27から問27-③の問いは、通勤・通学されている方にお聞きします。

【問27】どちらに通勤・通学されていますか。あてはまる番号1つに○印をつけ、市町村と地区をお書きください。

1. 通勤	市町村 ()
2. 通学	地 区 ()

【問27-①】通勤・通学の主な手段は何ですか。あてはまる番号に○印をつけてください

1. 自家用車	2. 社用車	3. 身延線	4. バス	5. バイク
6. 自転車	7. 徒歩	8. その他 ()		

【問27-②】現在通勤・通学に要している時間（片道）と距離（片道）はどれくらいですか。それぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

時間（片道）

1. 15分未満	2. 15分～30分未満
3. 30分～45分未満	4. 45分～1時間未満
5. 1時間～1時間30分未満	6. 1時間30分以上（ 時間 分）

距離（片道）

1. 5km未満	2. 5km以上～10km未満
3. 10km以上～15km未満	4. 15km以上～20km未満
5. 20km以上～25km未満	6. 25km以上～30km未満
7. 30km以上～40km未満	8. 40km以上～50km未満
9. 50km以上（ km）	

【問27-③】問27-①で1または2と回答した方にうかがいます。令和2年中に中部横断自動車道の双葉JCT～新清水JCT間が開通する予定ですが、通勤・通学に利用しますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

(富沢 | C~六郷 | C間は無料区間です)

1. 有料区間、無料区間に関係なく利用する
2. 無料区間のみ利用する
3. 有料区間のみ利用する
4. 利用しない

●自由意見

【問28】「地域に根ざした雇用の創出」について、ご意見やご要望などがありましたらご記入ください。

【問29】「町を元気にできる人財の育成」について、ご意見やご要望などがありましたらご記入ください。

【問30】「人の流れをつくり、移住・定住の促進」について、ご意見やご要望などがありましたらご記入ください。

【問31】「結婚・出産・子育て環境の充実」について、ご意見やご要望などがありましたらご記入ください。

【問32】「特色ある持続可能な地域社会の形成」（まちづくり全般）について、ご意見やご要望などがありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。記入もれがないかご確認のうえ、ご返送ください。